

八王子市
高齢者計画・第6期介護保険事業計画
策定にあたっての実態調査
報告書

平成26年10月

㊤八王子市

目 次

調査の概要

1. 調査の背景と目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査結果の見方	2
4. 標本誤差について	3
5. 日常生活圏域について	4

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

1. あなたのご家族や生活状況について	1-1
2. 運動・外出について	1-14
3. 歩行について	1-18
4. 口腔・栄養について	1-19
5. 記憶や判断について	1-23
6. 日常生活について	1-25
7. 社会参加について	1-32
8. 健康について	1-46
9. 圏域別高齢者像	1-51
【資料】調査票	1-68

2. 高齢者意識調査結果

1. あなたご自身について	2-1
2. あなたのお住まいについて	2-8
3. あなたの健康状態などについて	2-14
4. お仕事について	2-19
5. 運動について	2-22
6. 高齢者あんしん相談センターについて	2-24
7. 高齢者の「サロン」について	2-27
8. 見守り訪問や地域支援について	2-28
9. 老人クラブについて	2-31
10. 防災について	2-33
11. 「終活」などについて	2-36
12. 「看取（みと）り」について	2-39
13. 成年後見制度などについて	2-41
14. 認知症について	2-43
15. 介護予防や介護保険制度などについて	2-45

16. その他、ご意見など	2-49
【資料】調査票	2-58

3. 要支援・要介護認定者調査結果

1. あなたご自身について	3-1
2. あなたのお住まいについて	3-12
3. 家族などによる介護状況などについて	3-17
4. あなたの健康状態などについて	3-26
5. 介護保険などのサービスについて	3-28
6. 運動について	3-43
7. 高齢者の「サロン」について	3-45
8. 見守り訪問や地域支援について	3-46
9. 老人クラブについて	3-48
10. 防災について	3-50
11. 「看取り」について	3-53
12. 成年後見制度などについて	3-55
13. 認知症について	3-57
14. 介護予防や介護保険制度などについて	3-59
15. その他、ご意見など	3-63
【資料】調査票	3-70

4. 介護サービス事業者調査

1. サービス種別等	4-1
2. 介護人材育成・確保について	4-8
3. 在宅医療・介護について	4-15
4. 介護予防給付の見直しと地域支援事業について	4-19
5. 自由記述	4-22
【資料】調査票	4-24

調査の概要

1. 調査の背景と目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査結果の見方	2
4. 標本誤差について	3
5. 日常生活圏域について	4

調査の概要

1. 調査の背景と目的

本調査は、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする「八王子市高齢者計画・第6期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

介護保険制度が施行された平成12年当時は、75歳以上の高齢者（後期高齢者）は全国で約900万人でしたが、現在は約1,400万人となっています。さらに、いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となる平成37年には、後期高齢者人口は2,000万人を突破することが見込まれています。今後は、特に都市部を中心に後期高齢者の人口が急増するとともに、単身独居や夫婦のみの高齢世帯、認知症の高齢者が増加することが見込まれています。

このような状況の下、今後の介護保険のあり方として、「自助を支える共助」を軸とした「安心して暮らせる地域社会」をつくる「地域包括ケアシステム」を目指していくことが重要だとされています。

地域包括ケアシステムとは、地域の実情に応じて高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で本人の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制のことをいいます。

高齢者意識調査と要支援・要介護認定者調査においては、それぞれの高齢者の日常生活の様子を把握することで、本市の今後の地域包括ケアの方向性を検討する資料とするため、従来より継続した設問に加え、家庭や地域で生涯を過ごすにあたって避けては通れない「看取（みとり）」などについて、新たに設問として加えました。

また、事業者調査においては、平成27年度より新たに開始される「介護予防・日常生活支援総合事業」に対する見通しについて設問を加えました。

2. 調査設計

(1) 日常生活圏域ニーズ調査

調査対象	介護保険の要支援・要介護認定者を除く (1) 平成25年11月1日現在の情報で、平成25年度に65歳以上の年齢に達する方のうち、平成26年3月末までに奇数年齢になる方。ただし、誕生月が10～3月であること。 (2) 上記(1)のうち、平成25年4～10月に八王子市に転入された方
調査方法	無記名自記式 郵送配布・郵送回収
調査期間	平成25年12月3日発送、12月17日締切
配布・回収	配布数28,233件 有効回収数19,760件 有効回収率70.0%

調査の概要

(2) 高齢者意識調査

調査対象	平成26年4月1日現在、本市在住の65歳以上の方で介護保険の認定を受けていない方（無作為抽出）
調査方法	無記名自記式 郵送配布・郵送回収
調査期間	平成26年5月30日発送、6月18日締切
配布・回収	配布数1,400件 有効回収数995件 有効回収率71.1%

(3) 要支援・要介護認定者調査

調査対象	平成26年4月1日現在、本市在住の方で介護保険の認定を受けている方（無作為抽出）
調査方法	無記名自記式 郵送配布・郵送回収
調査期間	平成26年5月30日発送、6月18日締切
配布・回収	配布数1,400件 有効回収数843件 有効回収率60.2%

(4) 介護サービス事業所調査

調査対象	平成26年8月15日現在、八王子市内で介護サービスを提供している事業者（無作為抽出）
調査方法	記名自記式 F A X配布、F A X回収
調査期間	平成26年8月22日発送、8月29日締切
配布・回収	配布数200件 有効回収数171件 有効回収率85.5%

3. 調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
- (2) 集計した数値（％）は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100％にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100％を超えます。
- (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
- (5) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- (6) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。

調査の概要

4. 標本誤差について

本調査の標本誤差は、次の式によって得られます。

$$k = \pm 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}} \quad \times \frac{N-n}{N-1} \approx 1$$

k =標本誤差
 N =母集団数
 n =比率算出の基数（サンプル数）
 P =回答比率

高齢者意識調査の標本誤差早見表は以下の通りです。

母集団人口を132,000人として

回答の比率(P) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
995	±2.68	±3.57	±4.09	±4.38	±4.47
700	±3.20	±4.26	±4.89	±5.22	±5.33
500	±3.79	±5.05	±5.79	±6.19	±6.31
300	±4.89	±6.52	±7.47	±7.99	±8.16
100	±8.48	±11.31	±12.96	±13.85	±14.14
50	±12.00	±16.00	±18.33	±19.59	±20.00

要支援・要介護認定者調査の標本誤差早見表は以下の通りです。

母集団人口を24,000人として

回答の比率(P) 基数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
843	±2.87	±3.83	±4.39	±4.69	±4.78
700	±3.16	±4.21	±4.83	±5.16	±5.27
500	±3.76	±5.01	±5.74	±6.13	±6.26
300	±4.87	±6.49	±7.44	±7.95	±8.11
100	±8.47	±11.29	±12.93	±13.83	±14.11
50	±11.99	±15.98	±18.31	±19.58	±19.98

調査の概要

5. 日常生活圏域について

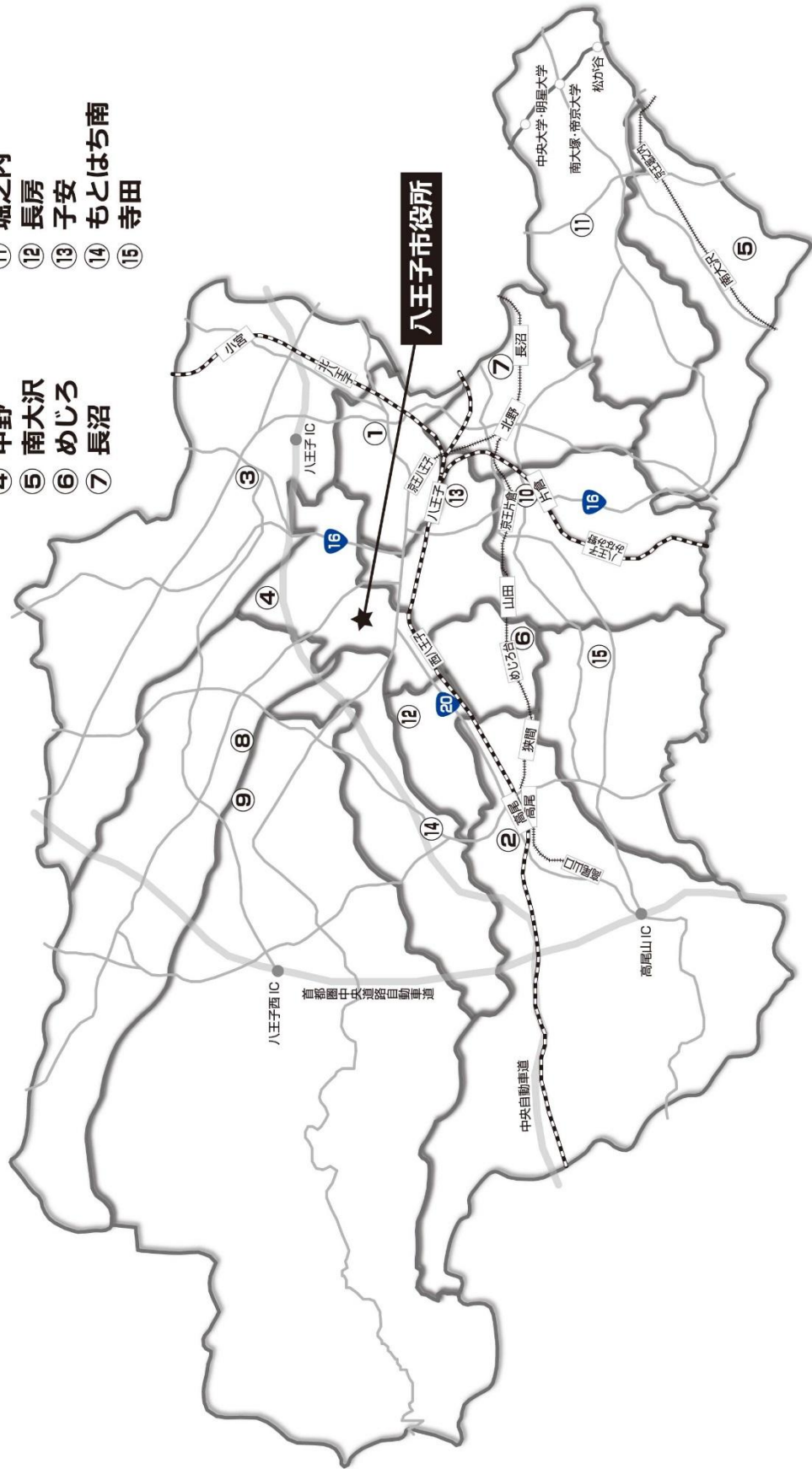
本調査では、今後の地域包括ケアシステムの推進に資するよう、現状の日常生活圏域（15圏域）をさらに細分化し（下表の□で囲った圏域）、21圏域の比較により分析を行っています。

対応する 民協地区	町区域	対応する 高齢者あんしん相談センター	
		15圏域	21圏域
第1地区	追分町 千人町一～四丁目 日吉町 元本郷町一～四丁目	中野	元本郷
第2地区	八幡町 八木町 平岡町 本郷町 大横町 小門町 台町二～四丁目	子安	大横
第3地区	子安町一～四丁目 寺町 万町 上野町 天神町 南新町 台町一丁目 緑町	子安	子安
第4地区	横山町 八日町 本町 元横山町一～三丁目 田町 新町 明神町一～四丁目 東町 旭町 三崎町 中町 南町	ゆうゆう	八日町
第5地区	中野町 暁町一～三丁目 中野山王一～三丁目 中野上町一～五丁目 清川町	中野	中野
第6地区	大和田町一～七丁目 富士見町 大谷町14～47（35-2～35-7を除く）	ゆうゆう （大和田）	ゆうゆう （大和田）
第7地区	高倉町 石川町 宇津木町 平町 小宮町 久保山町一・二丁目 大谷町 丸山町	左入	小宮
第8地区	尾崎町 左入町 滝山町一・二丁目 梅坪町 谷野町 みつい台一・二丁目 丹木町一～三丁目 加住町一・二丁目 宮下町 戸吹町 高月町		左入
第9地区	川口町 上川町 犬目町 檜原町	川口	川口
第10地区	下恩方町 上恩方町 西寺方町 小津町 美山町（民協地区は9地区）	元八王子	恩方
第11地区	大楽寺町 上壱分方町 諏訪町 四谷町 式分方町 川町	元八王子	元八王子
	叶谷町 泉町 横川町 元八王子町一～三丁目	もとはち南	もとはち南
第12地区	並木町 長房町 城山手一・二丁目	長房	長房
第13地区	散田町一～五丁目 山田町 めじろ台一～四丁目	めじろ	めじろ
第14地区	東浅川町 初沢町 高尾町 南浅川町 西浅川町 裏高尾町 廿里町 狭間町（民協地区は14・15地区にまたがる）	高尾	高尾
第15地区	櫛田町 館町 寺田町 大船町	寺田	寺田
第16地区	小比企町 片倉町 西片倉一～三丁目 宇津貫町 みなみ野一～六丁目 兵衛一・二丁目 七国一～六丁目	片倉	片倉
第17地区	北野町 打越町 北野台一～五丁目 長沼町 絹ヶ丘一～三丁目	長沼	長沼
第18地区	下柚木 下柚木二・三丁目 上柚木 上柚木二・三丁目 中山 越野 南陽台一～三丁目 堀之内 堀之内二・三丁目	堀之内	堀之内
第19地区	東中野 大塚 鹿島 松が谷	堀之内	由木東
第20地区	南大沢一～五丁目 鐘水二丁目 鐘水 松木 別所一・二丁目	南大沢	南大沢

日常生活圏域図

(※地図上の①～⑮は高齢者あんしん相談センターの位置を示しています。)

- | | |
|--------|---------|
| ① ゆうゆう | ⑧ 川口 |
| ② 高尾 | ⑨ 元八王子 |
| ③ 左入 | ⑩ 片倉 |
| ④ 中野 | ⑪ 堀之内 |
| ⑤ 南大沢 | ⑫ 長房 |
| ⑥ めじろ | ⑬ 子安 |
| ⑦ 長沼 | ⑭ もとはち南 |
| | ⑮ 寺田 |



1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

1. あなたのご家族や生活状況について	1-1
2. 運動・外出について	1-14
3. 歩行について	1-18
4. 口腔・栄養について	1-19
5. 記憶や判断について	1-23
6. 日常生活について	1-25
7. 社会参加について	1-32
8. 健康について	1-46
9. 圏域別高齢者像	1-51
【資料】調査票	1-68

日常生活圏域ニーズ調査の概要

1. 調査対象者

介護保険の要支援・要介護認定者を除く

(1) 平成25年11月1日現在の情報で、平成25年度に65歳以上の年齢に達する方のうち、平成26年3月末までに奇数年齢になる方。ただし、誕生月が10～3月であること。

(2) 上記 (1) のうち、平成25年4～10月に八王子市に転入された方

2. 調査方法

郵送配布、郵送回収

3. 調査期間

平成25年12月3日～12月17日

4. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率
日常生活圏域ニーズ調査	28,233	19,760	70.0%

調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
- (2) 集計した数値(%)は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値(%)をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
- (5) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- (6) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- (7) 日常生活圏域一覧表は、全体の「調査の概要」(4ページ)に掲載しています。

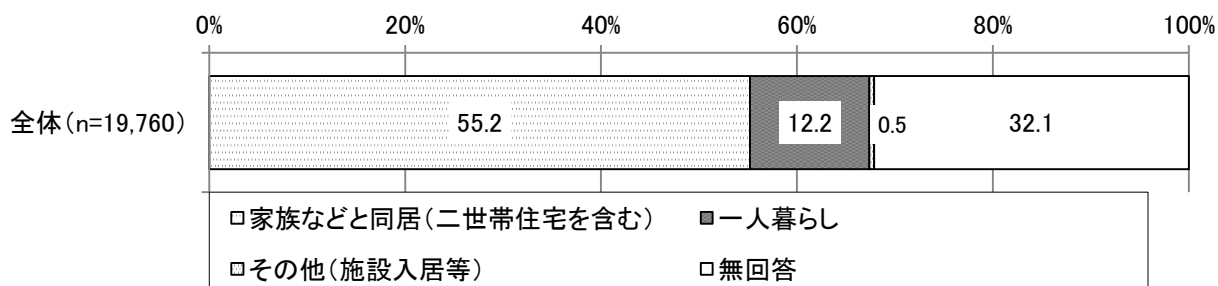
※ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

1. あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成を教えてください。（〇はひとつ）

1. 一人暮らし（12.2%）
2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）（55.2%）
3. その他（施設入所等）（0.5%）



家族構成は、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が最も多く55.2%、次いで「一人暮らし」が12.2%となっています。

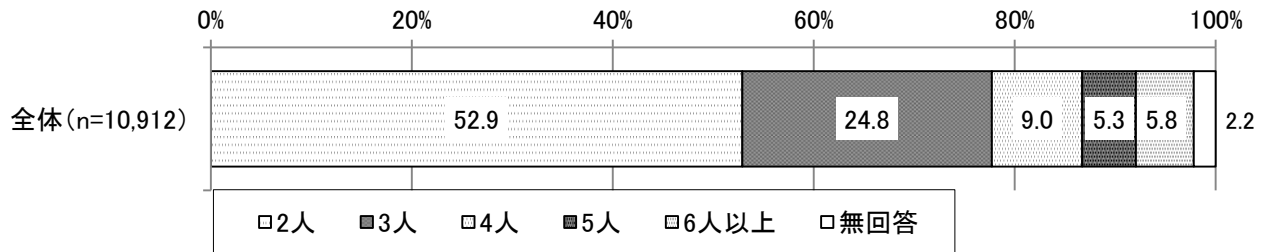
	全体	一人暮らし	家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	その他 (施設入居等)	無回答		全体	一人暮らし	家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	その他 (施設入居等)	無回答
全体	19,760 100.0	2,403 12.2	10,912 55.2	101 0.5	6,344 32.1	もとはち南	1,208 100.0	129 10.7	678 56.1	6 0.5	395 32.7
元本郷	515 100.0	79 15.3	282 54.8	2 0.4	152 29.5	長房	865 100.0	159 18.4	420 48.6	3 0.3	283 32.7
大横	517 100.0	69 13.3	287 55.5	2 0.4	159 30.8	めじろ	1,147 100.0	139 12.1	647 56.4	7 0.6	354 30.9
子安	923 100.0	139 15.1	486 52.7	1 0.1	297 32.2	高尾	951 100.0	125 13.1	526 55.3	5 0.5	295 31.0
八日町	735 100.0	117 15.9	381 51.8	2 0.3	235 32.0	寺田	1,092 100.0	181 16.6	565 51.7	— —	346 31.7
中野	1,043 100.0	133 12.8	550 52.7	6 0.6	354 33.9	片倉	1,183 100.0	89 7.5	724 61.2	6 0.5	364 30.8
ゆうゆう (大和田)	653 100.0	99 15.2	349 53.4	1 0.2	204 31.2	長沼	1,756 100.0	194 11.0	1,013 57.7	6 0.3	543 30.9
小宮	1,049 100.0	111 10.6	603 57.5	4 0.4	331 31.6	堀之内	844 100.0	89 10.5	495 58.6	1 0.1	259 30.7
左入	500 100.0	49 9.8	286 57.2	2 0.4	163 32.6	由木東	719 100.0	81 11.3	407 56.6	4 0.6	227 31.6
川口	1,172 100.0	105 9.0	644 54.9	19 1.6	404 34.5	南大沢	1,221 100.0	134 11.0	669 54.8	11 0.9	407 33.3
恩方	655 100.0	65 9.9	365 55.7	1 0.2	224 34.2	無回答	8 100.0	1 12.5	5 62.5	— —	2 25.0
元八王子	1,004 100.0	116 11.6	530 52.8	12 1.2	346 34.5						

圏域別では、長房で一人暮らしの割合が18.4%と最も高くなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問1で「2」と回答した方のみ】

問1-1 ご自分を含めて何人で暮らしていますか。（数字を記入）



問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」と回答した人に、家族構成を尋ねたところ、「2人」が最も多く52.9%、次いで「3人」が24.8%となっています。

	全体	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答		全体	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体	10,912	5,771	2,708	984	580	631	238	もとはち南	678	353	193	60	28	30	14
	100.0	52.9	24.8	9.0	5.3	5.8	2.2		100.0	52.1	28.5	8.8	4.1	4.4	2.1
元本郷	282	142	68	30	17	17	8	長房	420	273	70	30	20	17	10
	100.0	50.4	24.1	10.6	6.0	6.0	2.8		100.0	65.0	16.7	7.1	4.8	4.0	2.4
大横	287	121	81	26	20	29	10	めじろ	647	348	150	50	57	36	6
	100.0	42.2	28.2	9.1	7.0	10.1	3.5		100.0	53.8	23.2	7.7	8.8	5.6	0.9
子安	486	227	137	61	18	35	8	高尾	526	288	128	40	25	31	14
	100.0	46.7	28.2	12.6	3.7	7.2	1.6		100.0	54.8	24.3	7.6	4.8	5.9	2.7
八日町	381	189	94	44	23	22	9	寺田	565	317	133	49	19	36	11
	100.0	49.6	24.7	11.5	6.0	5.8	2.4		100.0	56.1	23.5	8.7	3.4	6.4	1.9
中野	550	281	128	60	33	32	16	片倉	724	361	181	60	53	55	14
	100.0	51.1	23.3	10.9	6.0	5.8	2.9		100.0	49.9	25.0	8.3	7.3	7.6	1.9
ゆうゆう (大和田)	349	173	88	32	13	31	12	長沼	1,013	581	248	77	34	46	27
	100.0	49.6	25.2	9.2	3.7	8.9	3.4		100.0	57.4	24.5	7.6	3.4	4.5	2.7
小宮	603	300	169	60	34	33	7	堀之内	495	270	110	38	27	37	13
	100.0	49.8	28.0	10.0	5.6	5.5	1.2		100.0	54.5	22.2	7.7	5.5	7.5	2.6
左入	286	147	65	26	21	20	7	由木東	407	235	110	22	21	11	8
	100.0	51.4	22.7	9.1	7.3	7.0	2.4		100.0	57.7	27.0	5.4	5.2	2.7	2.0
川口	644	317	161	80	34	43	9	南大沢	669	378	157	59	35	24	16
	100.0	49.2	25.0	12.4	5.3	6.7	1.4		100.0	56.5	23.5	8.8	5.2	3.6	2.4
恩方	365	188	92	35	20	23	7	無回答	5	4	-	-	-	-	1
	100.0	51.5	25.2	9.6	5.5	6.3	1.9		100.0	80.0	-	-	-	-	20.0
元八王子	530	278	145	45	28	23	11								
	100.0	52.5	27.4	8.5	5.3	4.3	2.1								

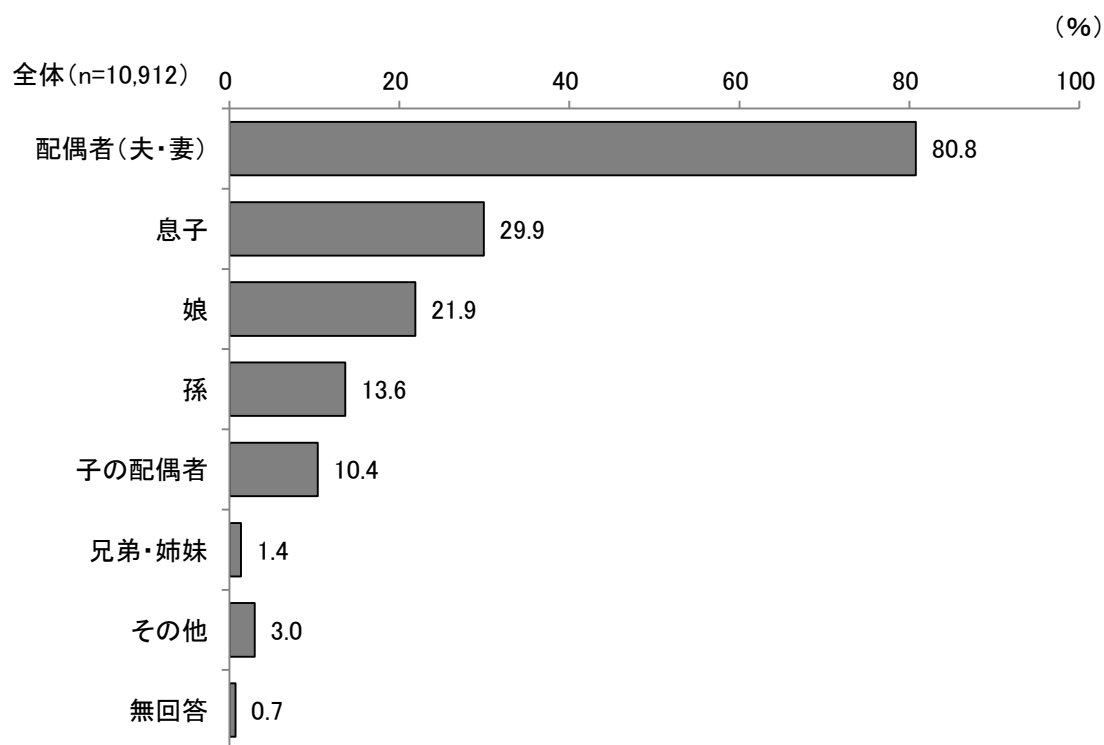
圏域別では、長房で「2人」の割合が65.0%と最も高くなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問1で「2」と回答した方のみ】

問1-2 同居されている方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 配偶者（夫・妻）（80.8%）	5. 孫（13.6%）
2. 息子（29.9%）	6. 兄弟・姉妹（1.4%）
3. 娘（21.9%）	7. その他（3.0%）
4. 子の配偶者（10.4%）	



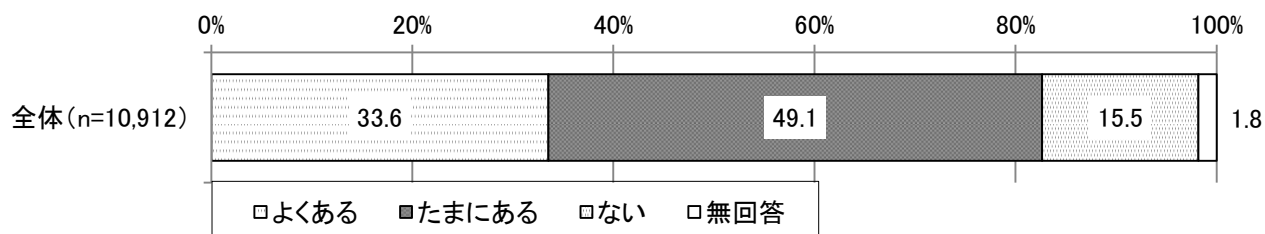
問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」と回答した人に、家族の間柄を尋ねたところ、「配偶者（夫・妻）」が最も多く80.8%、次いで「息子」が29.9%、「娘」が21.9%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問1で「2」と回答した方のみ】

問1-3 日中、一人になることがありますか。（○はひとつ）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. よくある（33.6%） | 3. ない（15.5%） |
| 2. たまにある（49.1%） | |



問1で「2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）」と回答した人に、日中、一人になることがあるかを尋ねたところ、「たまにある」が最も多く49.1%、次いで「よくある」が33.6%となっています。

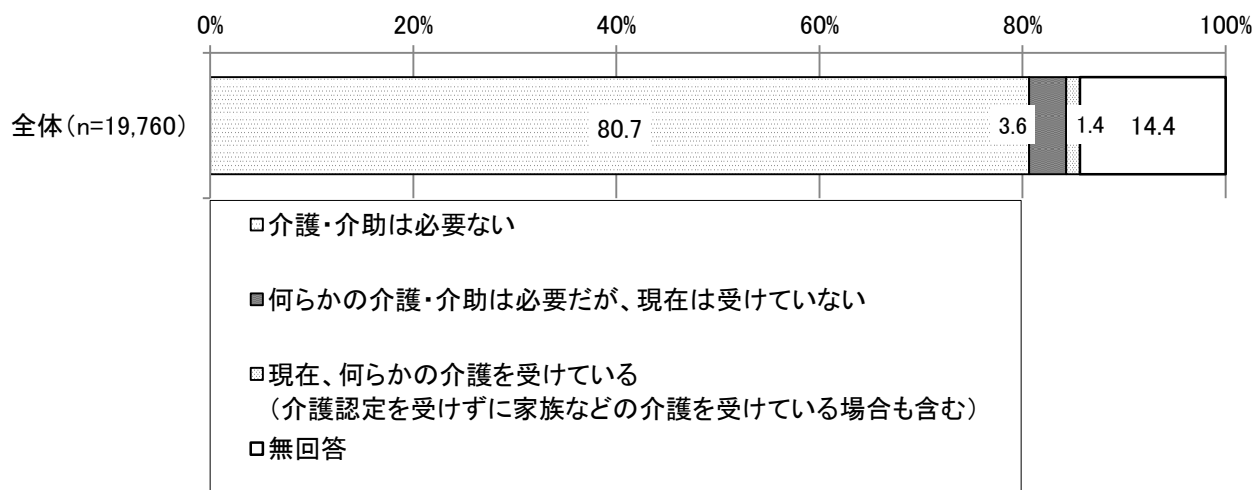
	全体	よくある	たまにある	ない	無回答		全体	よくある	たまにある	ない	無回答
全体	10,912	3,661	5,356	1,696	199	もとはち南	678	245	315	107	11
	100.0	33.6	49.1	15.5	1.8		100.0	36.1	46.5	15.8	1.6
元本郷	282	91	135	51	5	長房	420	137	206	64	13
	100.0	32.3	47.9	18.1	1.8		100.0	32.6	49.0	15.2	3.1
大横	287	98	138	47	4	めじろ	647	222	342	76	7
	100.0	34.1	48.1	16.4	1.4		100.0	34.3	52.9	11.7	1.1
子安	486	141	252	78	15	高尾	526	185	249	82	10
	100.0	29.0	51.9	16.0	3.1		100.0	35.2	47.3	15.6	1.9
八日町	381	135	174	65	7	寺田	565	191	277	86	11
	100.0	35.4	45.7	17.1	1.8		100.0	33.8	49.0	15.2	1.9
中野	550	187	271	82	10	片倉	724	241	366	104	13
	100.0	34.0	49.3	14.9	1.8		100.0	33.3	50.6	14.4	1.8
ゆうゆう (大和田)	349	119	159	66	5	長沼	1,013	365	494	134	20
	100.0	34.1	45.6	18.9	1.4		100.0	36.0	48.8	13.2	2.0
小宮	603	190	289	116	8	堀之内	495	153	273	63	6
	100.0	31.5	47.9	19.2	1.3		100.0	30.9	55.2	12.7	1.2
左入	286	90	135	50	11	由木東	407	136	203	63	5
	100.0	31.5	47.2	17.5	3.8		100.0	33.4	49.9	15.5	1.2
川口	644	206	323	108	7	南大沢	669	243	328	90	8
	100.0	32.0	50.2	16.8	1.1		100.0	36.3	49.0	13.5	1.2
恩方	365	109	172	75	9	無回答	5	-	3	2	-
	100.0	29.9	47.1	20.5	2.5		100.0	-	60.0	40.0	-
元八王子	530	177	252	87	14						
	100.0	33.4	47.5	16.4	2.6						

圏域別では、恩方で「ない」と回答した人の割合が20%以上となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○はひとつ）

1. 介護・介助は必要ない（80.7%）
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない（3.6%）
3. 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）（1.4%）



介護・介助の必要があるかを尋ねたところ、「介護・介助は必要ない」が最も多く80.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が3.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が1.4%となっています。

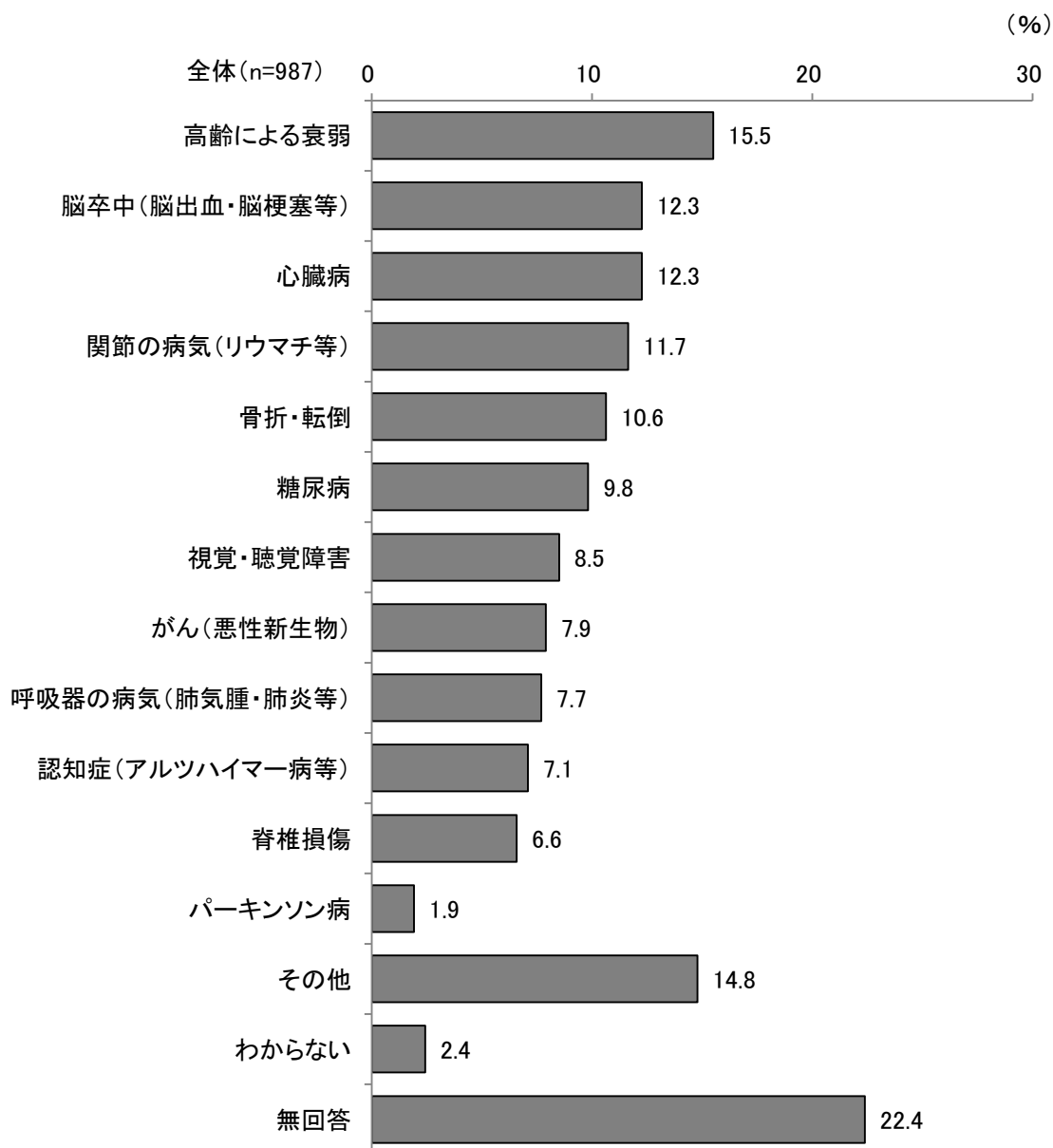
【問2で「2」または「3」と答えた方のみ】

問2-1 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）（12.3%） | 8. 糖尿病（9.8%） |
| 2. 心臓病（12.3%） | 9. 視覚・聴覚障害（8.5%） |
| 3. がん（悪性新生物）（7.9%） | 10. 骨折・転倒（10.6%） |
| 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）（7.7%） | 11. 脊椎損傷（6.6%） |
| 5. 関節の病気（リウマチ等）（11.7%） | 12. 高齢による衰弱（15.5%） |
| 6. 認知症（アルツハイマー病等）（7.1%） | 13. その他（14.8%） |
| 7. パーキンソン病（1.9%） | 14. わからない（2.4%） |

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問2-1 介護・介助が必要となった主な原因のグラフ】



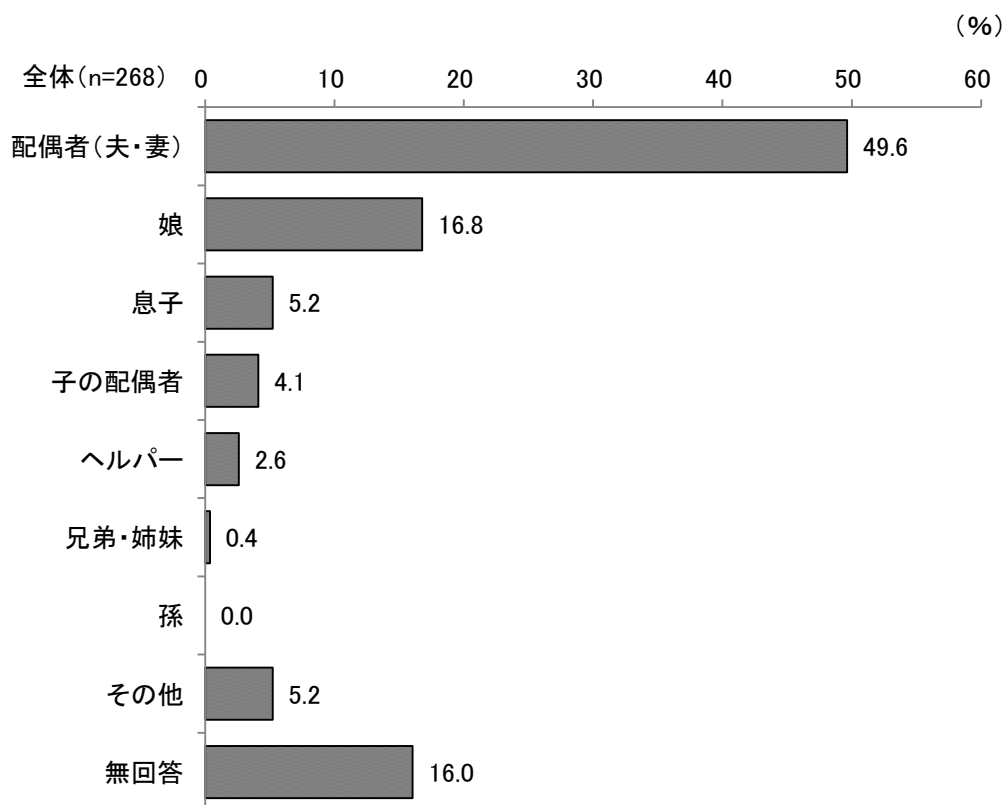
問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した人に、必要となった原因を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が最も多く15.5%、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」が12.3%となっています。「その他」は、「歩行困難」、「腎不全等の内部障害」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問2で「2」または「3」と答えた方のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（〇はひとつ）

1. 配偶者（夫・妻）（49.6%）	5. 孫（0.0%）
2. 息子（5.2%）	6. 兄弟・姉妹（0.4%）
3. 娘（16.8%）	7. ヘルパー（2.6%）
4. 子の配偶者（4.1%）	8. その他（5.2%）



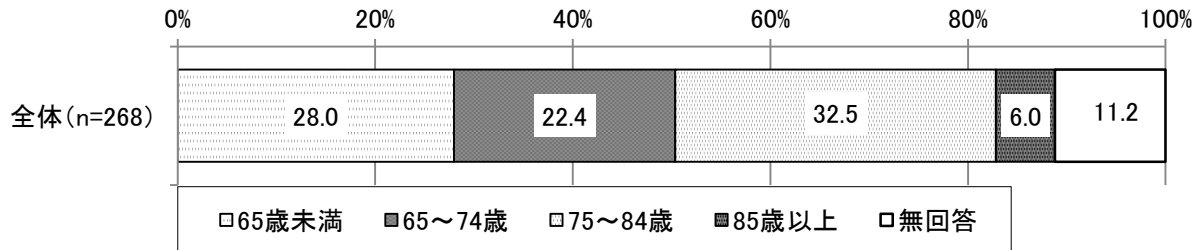
問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した人に、どなたから介護・介助を受けているか尋ねたところ、「配偶者（夫・妻）」が最も多く49.6%、次いで「娘」が16.8%となっています。その他は、「親類」、「知人」、「病院や施設の職員」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問2で「2」または「3」と答えた方のみ】

問2-3 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 65歳未満（28.0%） | 3. 75～84歳（32.5%） |
| 2. 65～74歳（22.4%） | 4. 85歳以上（6.0%） |

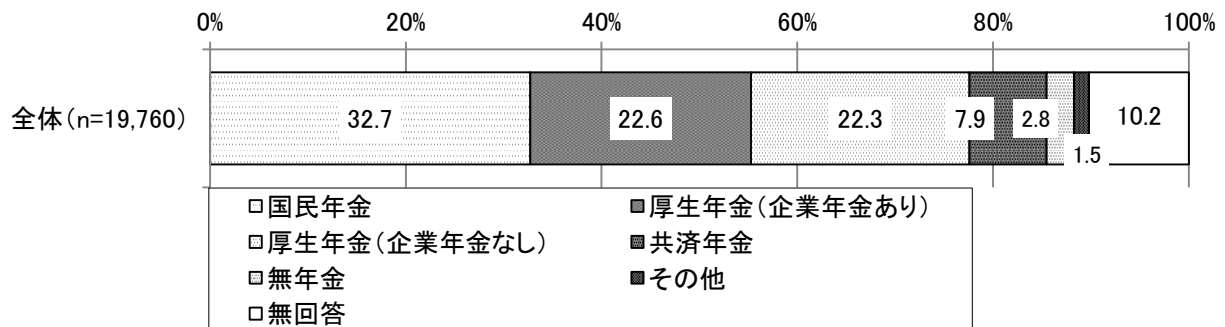


問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した人に、介護・介助をしている人の年齢を尋ねたところ、「75～84歳」が最も多く32.5%、次いで「65歳未満」が28.0%、「65～74歳」が22.4%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問3 年金の種類は次のどれですか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 国民年金（32.7%） | 4. 共済年金（7.9%） |
| 2. 厚生年金（企業年金あり）（22.6%） | 5. 無年金（2.8%） |
| 3. 厚生年金（企業年金なし）（22.3%） | 6. その他（1.5%） |



年金の種類は、「国民年金」が最も多く32.7%、次いで「厚生年金（企業年金あり）」が22.6%、「厚生年金（企業年金なし）」が22.3%となっています。

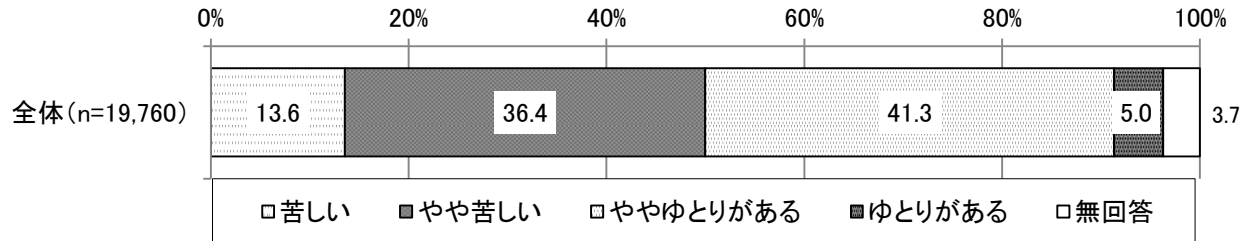
	全体	国民年金	厚生年金 (企業年金 あり)	厚生年金 (企業年金 なし)	共済年金	無年金	その他	無回答		全体	国民年金	厚生年金 (企業年金 あり)	厚生年金 (企業年金 なし)	共済年金	無年金	その他	無回答
全体	19,760 100.0	6,466 32.7	4,458 22.6	4,409 22.3	1,558 7.9	552 2.8	304 1.5	2,013 10.2	もとはち南	1,208 100.0	392 32.5	277 22.9	245 20.3	107 8.9	33 2.7	27 2.2	127 10.5
元本郷	515 100.0	175 34.0	108 21.0	112 21.7	32 6.2	26 5.0	14 2.7	48 9.3	長房	865 100.0	297 34.3	199 23.0	187 21.6	54 6.2	33 3.8	13 1.5	82 9.5
大横	517 100.0	185 35.8	99 19.1	110 21.3	42 8.1	15 2.9	7 1.4	59 11.4	めじろ	1,147 100.0	385 33.6	275 24.0	237 20.7	84 7.3	20 1.7	22 1.9	124 10.8
子安	923 100.0	338 36.6	177 19.2	201 21.8	84 9.1	26 2.8	8 0.9	89 9.6	高尾	951 100.0	289 30.4	228 24.0	209 22.0	86 9.0	27 2.8	13 1.4	99 10.4
八日町	735 100.0	247 33.6	139 18.9	200 27.2	46 6.3	29 3.9	11 1.5	63 8.6	寺田	1,092 100.0	321 29.4	262 24.0	251 23.0	81 7.4	30 2.7	22 2.0	125 11.4
中野	1,043 100.0	371 35.6	183 17.5	249 23.9	79 7.6	33 3.2	14 1.3	114 10.9	片倉	1,183 100.0	384 32.5	279 23.6	233 19.7	141 11.9	24 2.0	8 0.7	114 9.6
ゆうゆう (大和田)	653 100.0	215 32.9	145 22.2	141 21.6	45 6.9	31 4.7	8 1.2	68 10.4	長沼	1,756 100.0	534 30.4	448 25.5	363 20.7	176 10.0	27 1.5	33 1.9	175 10.0
小宮	1,049 100.0	333 31.7	266 25.4	222 21.2	67 6.4	34 3.2	21 2.0	106 10.1	堀之内	844 100.0	284 33.6	209 24.8	188 22.3	61 7.2	13 1.5	9 1.1	80 9.5
左入	500 100.0	191 38.2	112 22.4	105 21.0	35 7.0	13 2.6	3 0.6	41 8.2	由木東	719 100.0	220 30.6	182 25.3	162 22.5	55 7.6	16 2.2	8 1.1	76 10.6
川口	1,172 100.0	376 32.1	232 19.8	294 25.1	85 7.3	44 3.8	21 1.8	120 10.2	南大沢	1,221 100.0	385 31.5	298 24.4	288 23.6	80 6.6	40 3.3	18 1.5	112 9.2
恩方	655 100.0	221 33.7	133 20.3	152 23.2	44 6.7	15 2.3	6 0.9	84 12.8	無回答	8 100.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	-	-	-	1 12.5
元八王子	1,004 100.0	321 32.0	204 20.3	258 25.7	74 7.4	23 2.3	18 1.8	106 10.6									

圏域別では、元本郷で「無年金」の割合が5.0%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 苦しい (13.6%) | 3. ややゆとりがある (41.3%) |
| 2. やや苦しい (36.4%) | 4. ゆとりがある (5.0%) |



現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかを尋ねたところ、「ややゆとりがある」が最も多く41.3%、次いで「やや苦しい」が36.4%となっています。

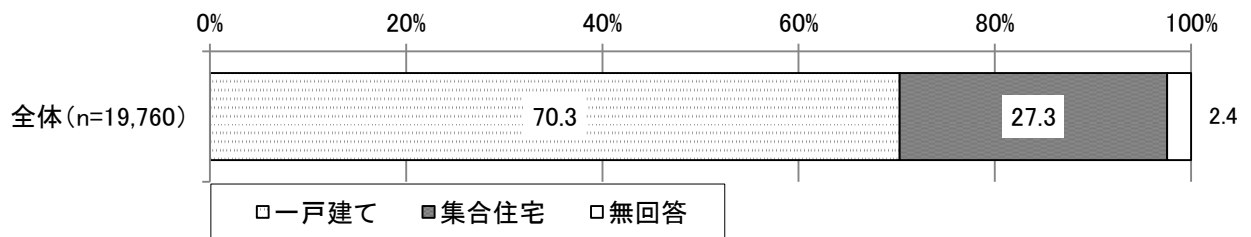
	全体	苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答		全体	苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
全体	19,760 100.0	2,679 13.6	7,200 36.4	8,167 41.3	982 5.0	732 3.7	もとほち南	1,208 100.0	155 12.8	436 36.1	505 41.8	54 4.5	58 4.8
元本郷	515 100.0	84 16.3	178 34.6	205 39.8	28 5.4	20 3.9	長房	865 100.0	144 16.6	356 41.2	295 34.1	28 3.2	42 4.9
大横	517 100.0	80 15.5	165 31.9	224 43.3	32 6.2	16 3.1	めじろ	1,147 100.0	85 7.4	367 32.0	582 50.7	70 6.1	43 3.7
子安	923 100.0	112 12.1	328 35.5	390 42.3	59 6.4	34 3.7	高尾	951 100.0	112 11.8	351 36.9	405 42.6	51 5.4	32 3.4
八日町	735 100.0	125 17.0	251 34.1	283 38.5	52 7.1	24 3.3	寺田	1,092 100.0	178 16.3	445 40.8	391 35.8	42 3.8	36 3.3
中野	1,043 100.0	183 17.5	381 36.5	409 39.2	30 2.9	40 3.8	片倉	1,183 100.0	125 10.6	393 33.2	554 46.8	64 5.4	47 4.0
ゆうゆう (大和田)	653 100.0	102 15.6	254 38.9	238 36.4	35 5.4	24 3.7	長沼	1,756 100.0	175 10.0	597 34.0	804 45.8	120 6.8	60 3.4
小宮	1,049 100.0	167 15.9	392 37.4	405 38.6	47 4.5	38 3.6	堀之内	844 100.0	103 12.2	301 35.7	370 43.8	49 5.8	21 2.5
左入	500 100.0	50 10.0	169 33.8	226 45.2	29 5.8	26 5.2	由木東	719 100.0	102 14.2	274 38.1	289 40.2	26 3.6	28 3.9
川口	1,172 100.0	195 16.6	448 38.2	444 37.9	41 3.5	44 3.8	南大沢	1,221 100.0	151 12.4	468 38.3	514 42.1	48 3.9	40 3.3
恩方	655 100.0	92 14.0	263 40.2	251 38.3	28 4.3	21 3.2	無回答	8 100.0	-	3 37.5	4 50.0	1 12.5	-
元八王子	1,004 100.0	159 15.8	380 37.8	379 37.7	48 4.8	38 3.8							

圏域別では、めじろで「ややゆとりがある」、「ゆとりがある」の合計が56.8%と最も高くなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

1. 一戸建て (70.3%) 2. 集合住宅 (施設等を含む) (27.3%)



住まいは「一戸建て」が70.3%、「集合住宅」が27.3%となっています。

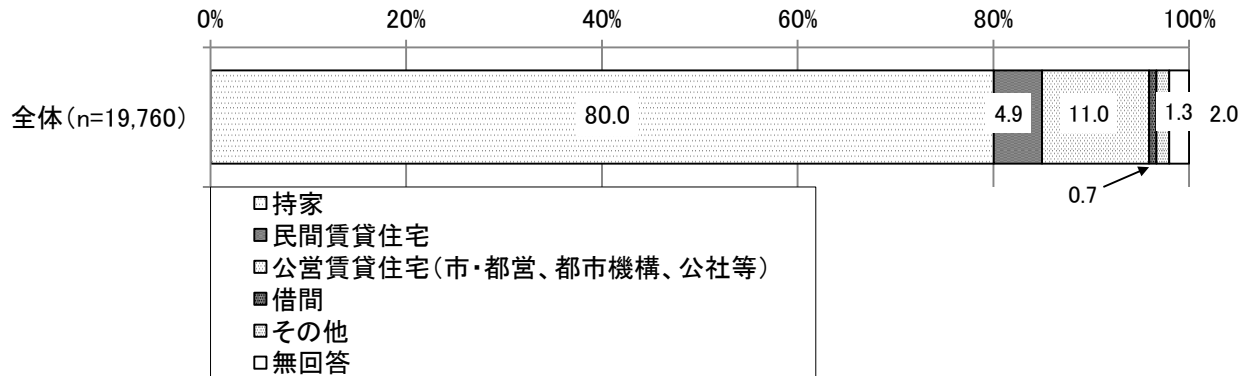
	全体	一戸建て	集合住宅	無回答		全体	一戸建て	集合住宅	無回答
全体	19,760	13,889	5,390	481	もとはち南	1,208	1,022	160	26
	100.0	70.3	27.3	2.4		100.0	84.6	13.2	2.2
元本郷	515	375	121	19	長房	865	431	402	32
	100.0	72.8	23.5	3.7		100.0	49.8	46.5	3.7
大横	517	387	116	14	めじろ	1,147	946	182	19
	100.0	74.9	22.4	2.7		100.0	82.5	15.9	1.7
子安	923	704	194	25	高尾	951	644	279	28
	100.0	76.3	21.0	2.7		100.0	67.7	29.3	2.9
八日町	735	407	305	23	寺田	1,092	446	616	30
	100.0	55.4	41.5	3.1		100.0	40.8	56.4	2.7
中野	1,043	788	227	28	片倉	1,183	981	171	31
	100.0	75.6	21.8	2.7		100.0	82.9	14.5	2.6
ゆうゆう (大和田)	653	386	252	15	長沼	1,756	1,457	262	37
	100.0	59.1	38.6	2.3		100.0	83.0	14.9	2.1
小宮	1,049	806	219	24	堀之内	844	505	329	10
	100.0	76.8	20.9	2.3		100.0	59.8	39.0	1.2
左入	500	470	17	13	由木東	719	282	420	17
	100.0	94.0	3.4	2.6		100.0	39.2	58.4	2.4
川口	1,172	1,094	45	33	南大沢	1,221	250	949	22
	100.0	93.3	3.8	2.8		100.0	20.5	77.7	1.8
恩方	655	626	16	13	無回答	8	4	4	-
	100.0	95.6	2.4	2.0		100.0	50.0	50.0	-
元八王子	1,004	878	104	22					
	100.0	87.5	10.4	2.2					

圏域別では、恩方、左入、川口の3圏域で「一戸建て」が9割を超えており、南大沢では「集合住宅」が7割を超えています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問6 お住まいは次のどれにあたりますか。（○はひとつ）

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 持家（80.0%） | 4. 借間（0.7%） |
| 2. 民間賃貸住宅（4.9%） | 5. その他（1.3%） |
| 3. 公営賃貸住宅（市・都営、都市機構、公社等）（11.0%） | |



住まいが持家か賃貸かなどを尋ねたところ、「持家」が80.0%となっています。

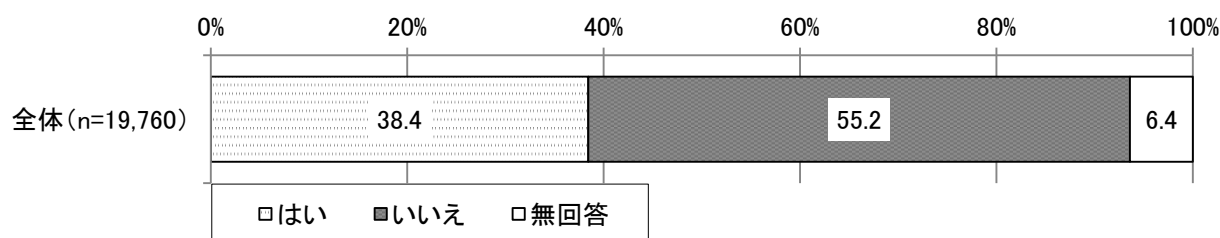
	全体	持家	民間賃貸住宅	公営賃貸住宅 (市・都営、都市機構、公社等)	借間	その他	無回答		全体	持家	民間賃貸住宅	公営賃貸住宅 (市・都営、都市機構、公社等)	借間	その他	無回答
全体	19,760	15,816	973	2,165	144	262	400	もとはち南	1,208	993	55	112	11	12	25
	100.0	80.0	4.9	11.0	0.7	1.3	2.0		100.0	82.2	4.6	9.3	0.9	1.0	2.1
元本郷	515	420	47	25	9	4	10	長房	865	449	24	371	1	4	16
	100.0	81.6	9.1	4.9	1.7	0.8	1.9		100.0	51.9	2.8	42.9	0.1	0.5	1.8
大横	517	458	30	8	4	4	13	めじろ	1,147	1,056	46	7	5	13	20
	100.0	88.6	5.8	1.5	0.8	0.8	2.5		100.0	92.1	4.0	0.6	0.4	1.1	1.7
子安	923	795	72	20	6	10	20	高尾	951	818	77	3	15	16	22
	100.0	86.1	7.8	2.2	0.7	1.1	2.2		100.0	86.0	8.1	0.3	1.6	1.7	2.3
八日町	735	621	53	16	6	14	25	寺田	1,092	695	57	304	5	9	22
	100.0	84.5	7.2	2.2	0.8	1.9	3.4		100.0	63.6	5.2	27.8	0.5	0.8	2.0
中野	1,043	794	43	160	10	16	20	片倉	1,183	1,059	53	20	9	14	28
	100.0	76.1	4.1	15.3	1.0	1.5	1.9		100.0	89.5	4.5	1.7	0.8	1.2	2.4
ゆうゆう (大和田)	653	434	46	150	4	12	7	長沼	1,756	1,539	81	82	6	15	33
	100.0	66.5	7.0	23.0	0.6	1.8	1.1		100.0	87.6	4.6	4.7	0.3	0.9	1.9
小宮	1,049	833	43	138	8	6	21	堀之内	844	663	36	122	4	12	7
	100.0	79.4	4.1	13.2	0.8	0.6	2.0		100.0	78.6	4.3	14.5	0.5	1.4	0.8
左入	500	456	19	-	6	9	10	由木東	719	518	11	167	2	9	12
	100.0	91.2	3.8	-	1.2	1.8	2.0		100.0	72.0	1.5	23.2	0.3	1.3	1.7
川口	1,172	1,045	50	8	15	23	31	南大沢	1,221	716	41	410	3	32	19
	100.0	89.2	4.3	0.7	1.3	2.0	2.6		100.0	58.6	3.4	33.6	0.2	2.6	1.6
恩方	655	604	21	-	3	12	15	無回答	8	5	1	1	-	1	-
	100.0	92.2	3.2	-	0.5	1.8	2.3		100.0	62.5	12.5	12.5	-	12.5	-
元八王子	1,004	845	67	41	12	15	24								
	100.0	84.2	6.7	4.1	1.2	1.5	2.4								

圏域別では、恩方、めじろ、左入で「持家」が9割を超えています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問7 お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。

1. はい (38.4%) 2. いいえ (55.2%)

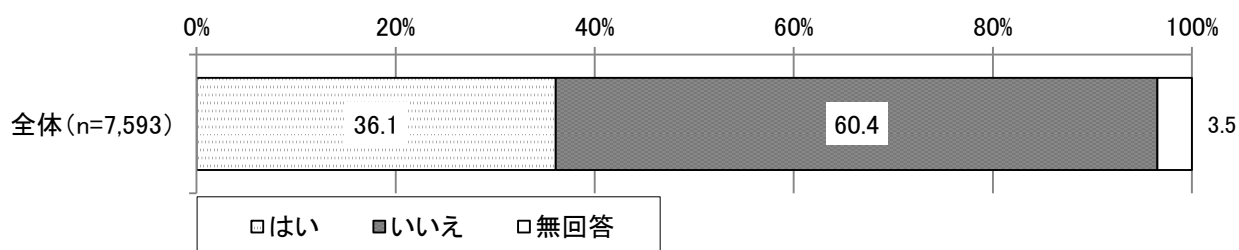


住まいが2階以上にあるか尋ねたところ、「いいえ」が55.2%となっています。

【問7で「1」と答えた方のみ】

問7-1 お住まいにエレベーターは設置されていますか。

1. はい (36.1%) 2. いいえ (60.4%)



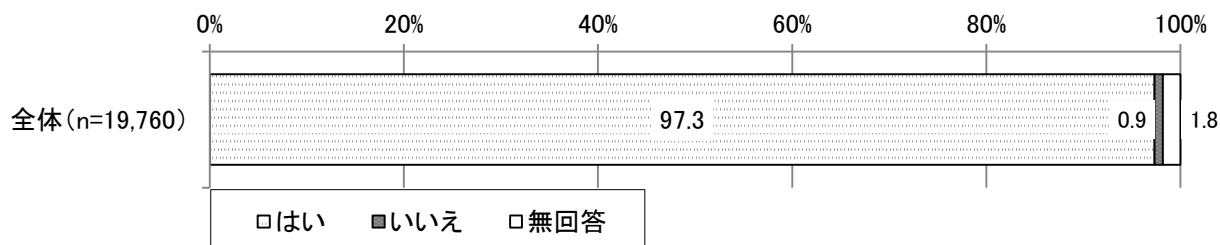
問7で「1. はい（住まいが2階以上にある）」と答えた人にエレベーターの設置について尋ねたところ、「いいえ」が60.4%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

2. 運動・外出について

問1 5メートル以上歩くことができますか。

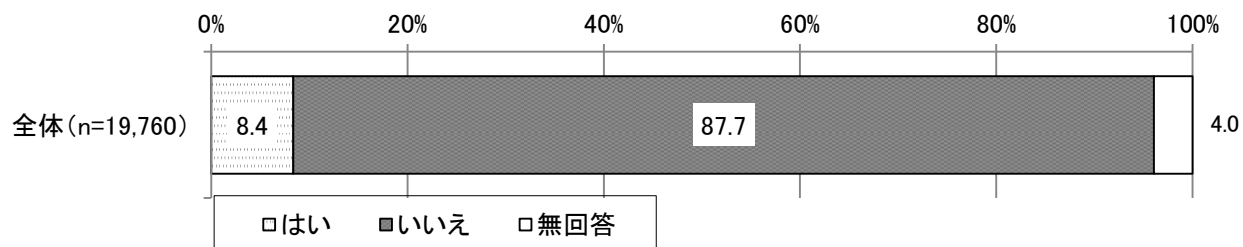
1. はい (97.3%) 2. いいえ (0.9%)



5メートル以上歩くことができるかどうかを尋ねたところ、「はい」が97.3%となっています。

問2 外出を控えていますか。

1. はい (8.4%) 2. いいえ (87.7%)



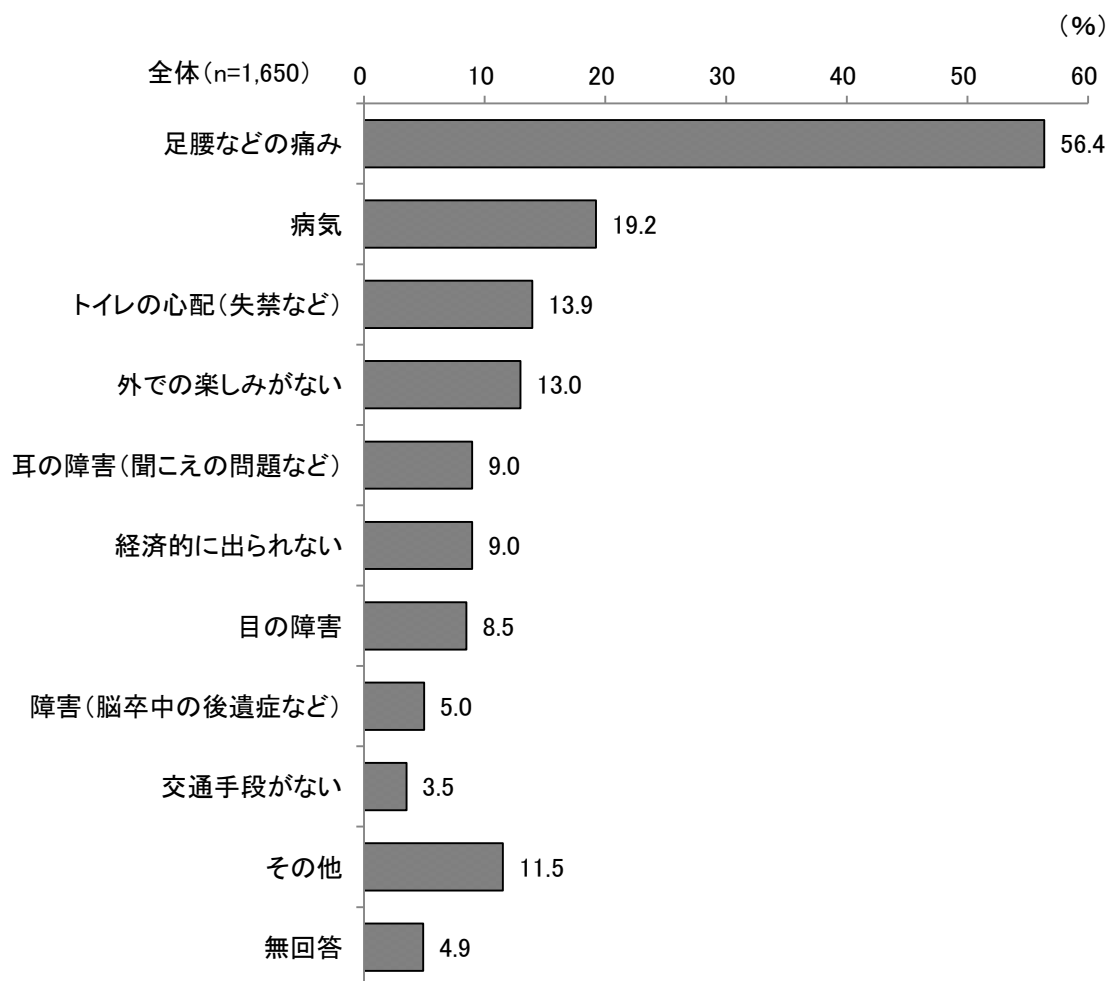
外出を控えているかどうかを尋ねたところ、「いいえ」が87.7%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問2で「1」と答えた方のみ】

問2-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 病気（19.2%） | 6. 目の障害（8.5%） |
| 2. 障害（脳卒中の後遺症など）（5.0%） | 7. 外での楽しみがない（13.0%） |
| 3. 足腰などの痛み（56.4%） | 8. 経済的に出られない（9.0%） |
| 4. トイレの心配（失禁など）（13.9%） | 9. 交通手段がない（3.5%） |
| 5. 耳の障害（聞こえの問題など）（9.0%） | 10. その他（11.5%） |



問2で「1. はい（外出を控えている）」と答えた人に理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が最も多く56.4%、次いで「病気」が19.2%、「トイレの心配（失禁など）」が13.9%、「外での楽しみがない」が13.0%となっています。「その他」は、「家族の介護のため」、「転倒が心配」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

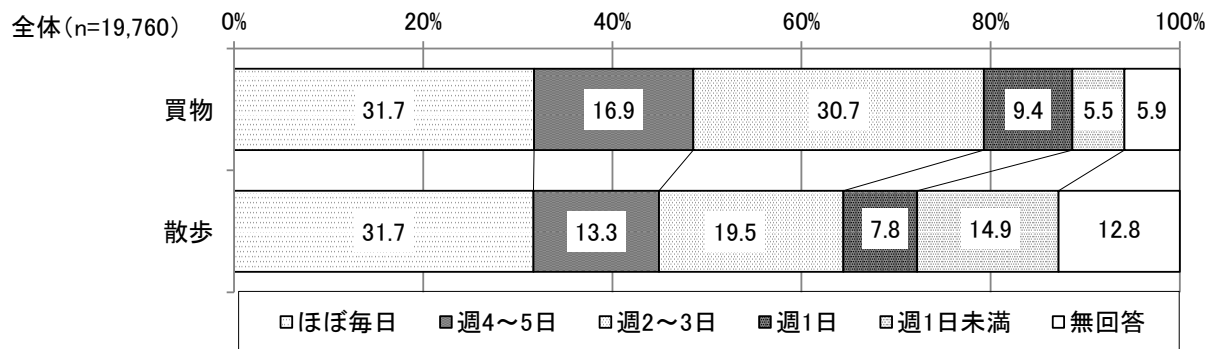
問3 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。（A・Bそれぞれ〇はひとつ）

A 買物

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日（31.7%） | 4. 週1日（9.4%） |
| 2. 週4～5日（16.9%） | 5. 週1日未満（5.5%） |
| 3. 週2～3日（30.7%） | |

B 散歩

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. ほぼ毎日（31.7%） | 4. 週1日（7.8%） |
| 2. 週4～5日（13.3%） | 5. 週1日未満（14.9%） |
| 3. 週2～3日（19.5%） | |



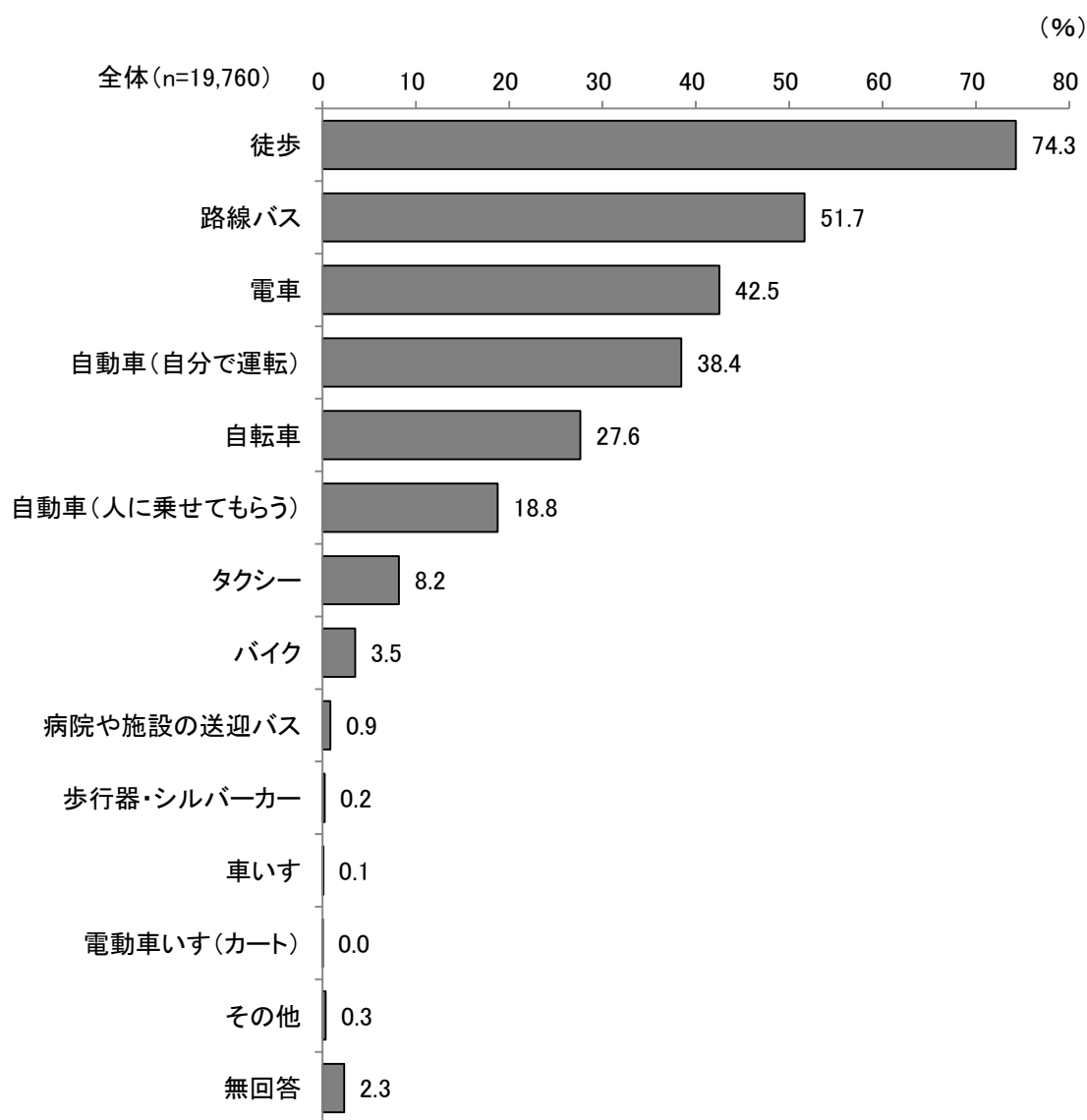
買物で外出する頻度は、「ほぼ毎日」が31.7%で最も多く、次いで「週2～3日」が30.7%となっています。

散歩で外出する頻度は、「ほぼ毎日」が31.7%で最も多く、次いで「週2～3日」が19.5%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問4 外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 徒歩（74.3%） | 8. 病院や施設の送迎バス（0.9%） |
| 2. 自転車（27.6%） | 9. 車いす（0.1%） |
| 3. バイク（3.5%） | 10. 電動車いす（カート）（0.0%） |
| 4. 自動車（自分で運転）（38.4%） | 11. 歩行器やシルバーカー（0.2%） |
| 5. 自動車（人に乗せてもらう）（18.8%） | 12. タクシー（8.2%） |
| 6. 電車（42.5%） | 13. その他（0.3%） |
| 7. 路線バス（51.7%） | |



外出する際の移動手段は、「徒歩」が最も多く74.3%、次いで「路線バス」が51.7%となっています。「その他」は、「外出しない」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

3. 歩行について

問1 背中が丸くなってきましたか。

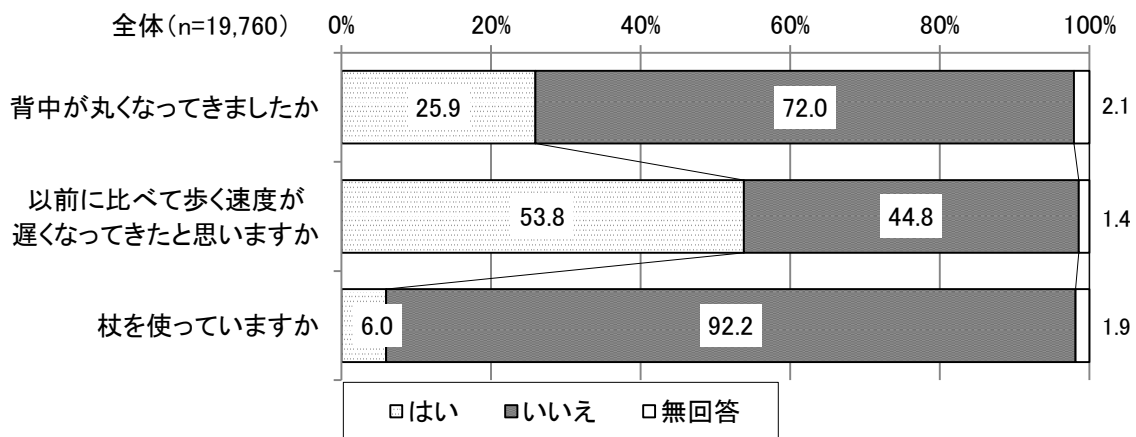
1. はい (25.9%) 2. いいえ (72.0%)

問2 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

1. はい (53.8%) 2. いいえ (44.8%)

問3 杖を使っていますか。

1. はい (6.0%) 2. いいえ (92.2%)



背中が丸くなってきたかどうかを尋ねたところ、「いいえ」が72.0%、「はい」が25.9%となっています。

以前に比べて歩く速度が遅くなってきたかどうかを尋ねたところ、「はい」が53.8%、「いいえ」が44.8%となっています。

杖を使っているかどうかを尋ねたところ、「いいえ」が92.2%、「はい」が6.0%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

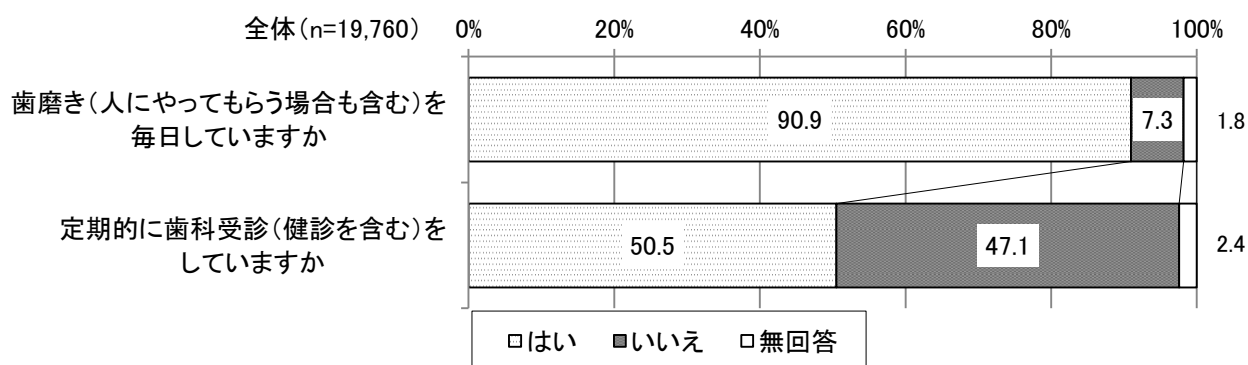
4. 口腔・栄養について

問1 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

1. はい（90.9%） 2. いいえ（7.3%）

問2 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

1. はい（50.5%） 2. いいえ（47.1%）



歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかどうか尋ねたところ、「はい」が90.9%となっています。

定期的に歯科受診（健診を含む）をしているかどうか尋ねたところ、「はい」が50.5%、「いいえ」が47.1%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問3 入れ歯（部分入れ歯を含む）を使用していますか。

1. はい（55.4%）	2. いいえ（41.8%）
--------------	---------------

【問3で「1」と答えた方のみ】

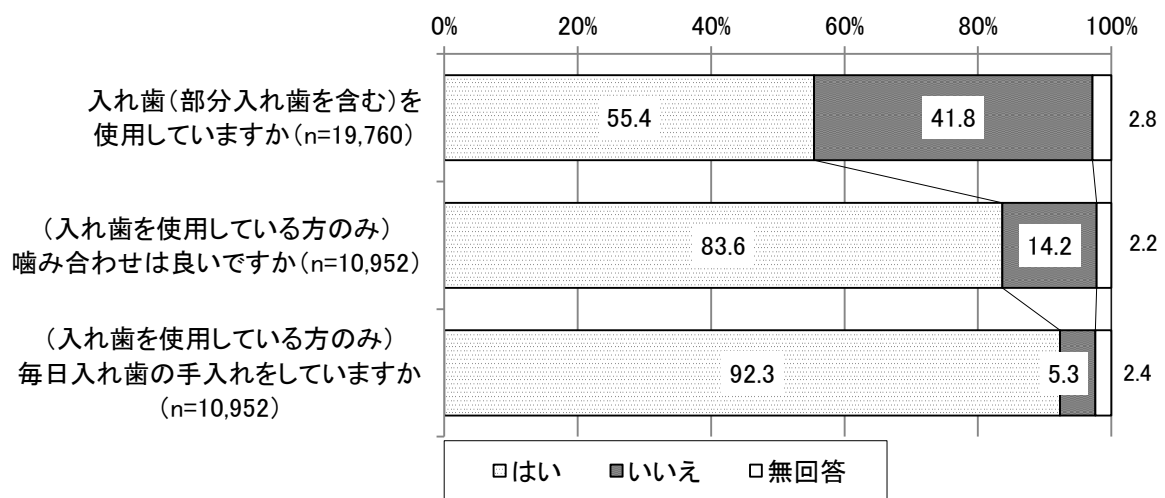
問3-1 噛み合わせは良いですか。

1. はい（83.6%）	2. いいえ（14.2%）
--------------	---------------

【問3で「1」と答えた方のみ】

問3-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

1. はい（92.3%）	2. いいえ（5.3%）
--------------	--------------



入れ歯（部分入れ歯を含む）を使用している人は55.4%、していない人は41.8%となっています。

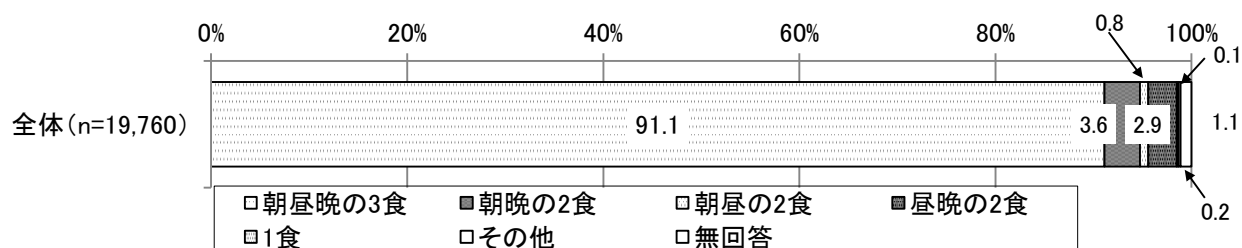
問3で「1. 入れ歯（部分入れ歯を含む）を使用している」と答えた人のうち、「噛み合わせは良い」と答えた人が83.6%となっています。

問3で「1. 入れ歯を（部分入れ歯を含む）使用している」と答えた人のうち、「毎日入れ歯の手入れをしている」と答えた人が92.3%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問4 1日の食事の回数は何回ですか。（○はひとつ）

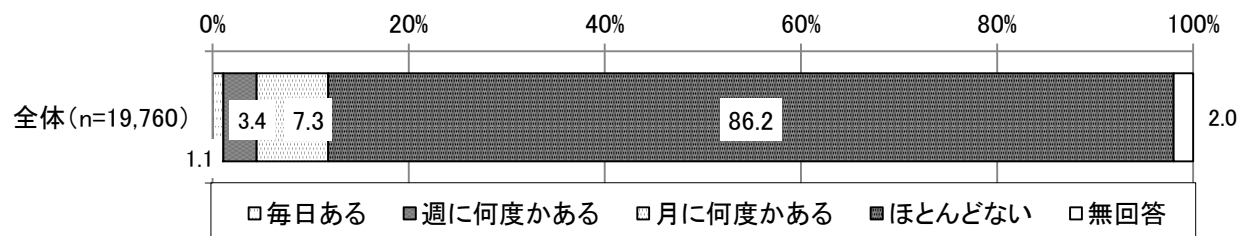
- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 朝昼晩の3食（91.1%） | 4. 昼晩の2食（2.9%） |
| 2. 朝晩の2食（3.6%） | 5. 1食（0.1%） |
| 3. 朝昼の2食（0.8%） | 6. その他（0.2%） |



1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」と答えた人が91.1%となっています。

問5 食事を抜くことがありますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 毎日ある（1.1%） | 3. 月に何度かある（7.3%） |
| 2. 週に何度かある（3.4%） | 4. ほとんどない（86.2%） |

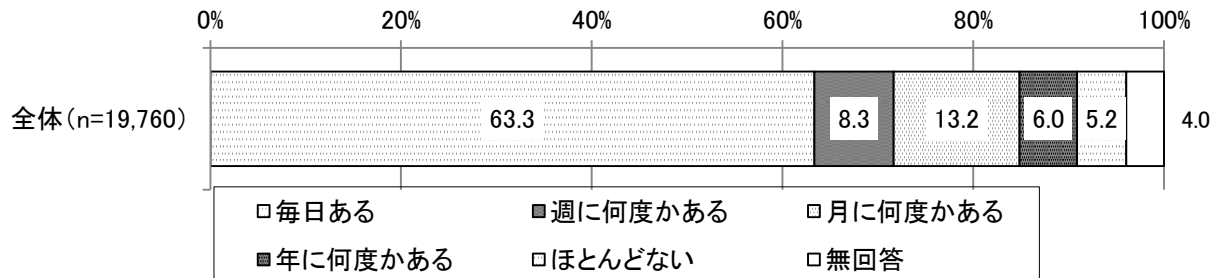


食事を抜くことがあるかどうかを尋ねたところ、「ほとんどない」が86.2%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問6 自分一人でなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 毎日ある (63.3%) | 4. 年に何度かある (6.0%) |
| 2. 週に何度かある (8.3%) | 5. ほとんどない (5.2%) |
| 3. 月に何度かある (13.2%) | |

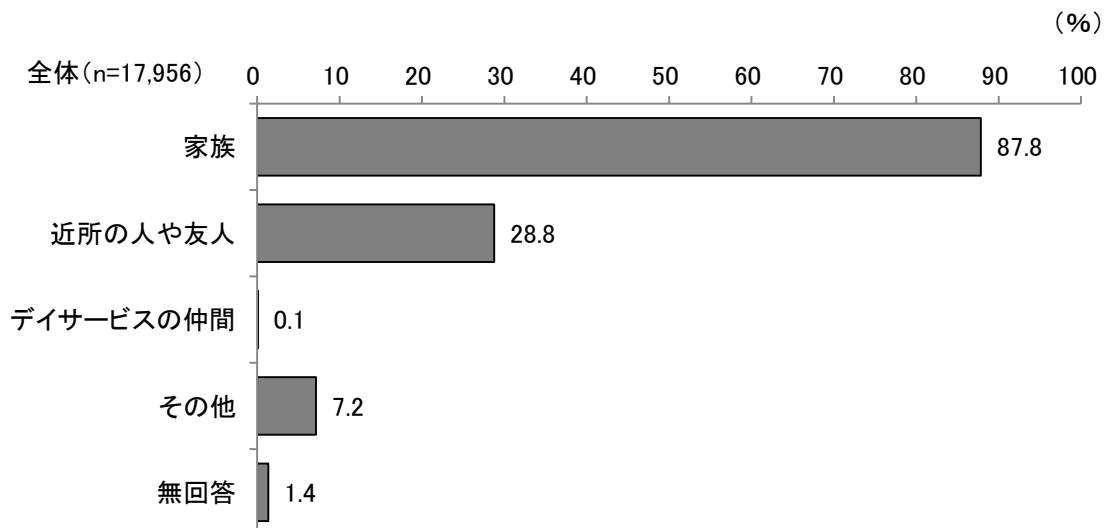


どなたかと食事をとにもする機会があるかどうかを尋ねたところ、「毎日ある」が63.3%となっています。

【問6で「1」から「4」と答えた方のみ】

問6-1 食事をとにもする人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 家族 (87.8%) | 3. デイサービスの仲間 (0.1%) |
| 2. 近所の人や友人 (28.8%) | 4. その他 (7.2%) |



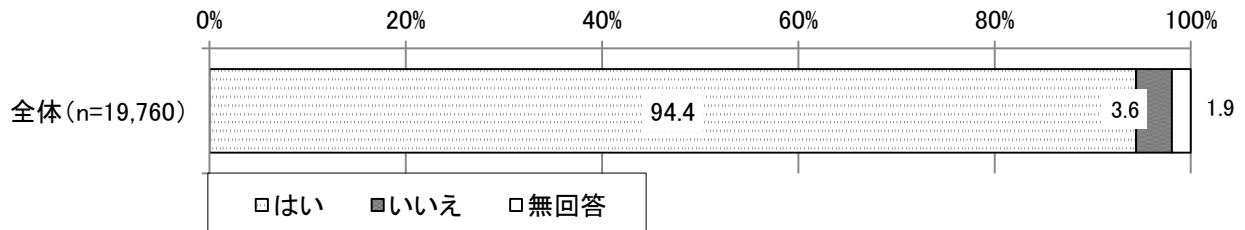
問6で「どなたかと食事をとにもする機会がある」と答えた人に、相手との関係を尋ねたところ、「家族」と答えた人が87.8%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

5. 記憶や判断について

問1 5分前のことが思い出せますか。

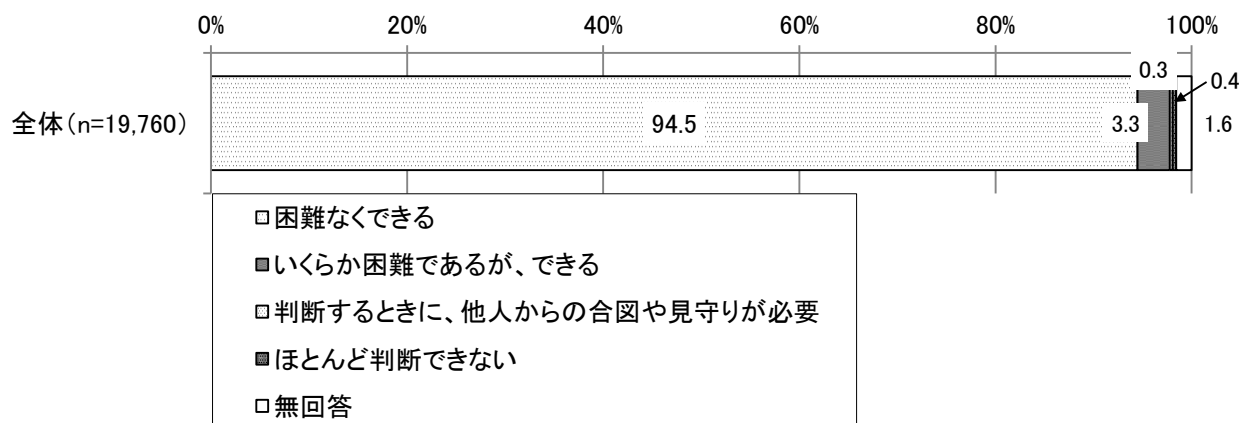
1. はい (94.4%) 2. いいえ (3.6%)



「はい」と答えた人が94.4%となっています。

問2 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。
(○はひとつ)

1. 困難なくできる (94.5%)
2. いくらか困難であるが、できる (3.3%)
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 (0.3%)
4. ほとんど判断できない (0.4%)

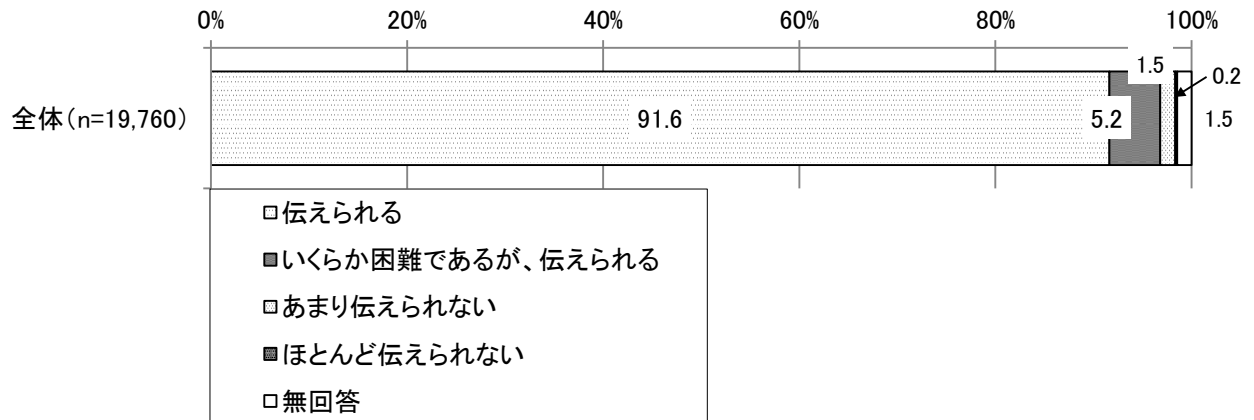


「困難なくできる」と答えた人が94.5%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問3 人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○はひとつ）

1. 伝えられる（91.6%）
2. いくらか困難であるが、伝えられる（5.2%）
3. あまり伝えられない（1.5%）
4. ほとんど伝えられない（0.2%）



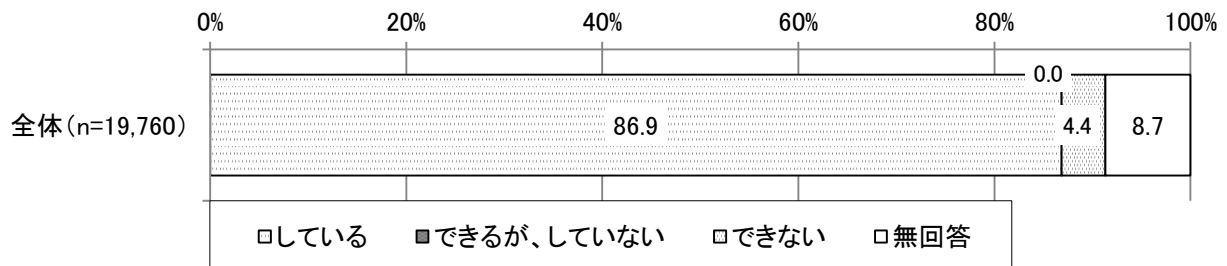
人に自分の考えをうまく「伝えられる」と答えた人が91.6%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

6. 日常生活について

問1 日用品の買物をしていますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. している (86.9%) | 3. できない (4.4%) |
| 2. できるが、していない (0.0%) | |

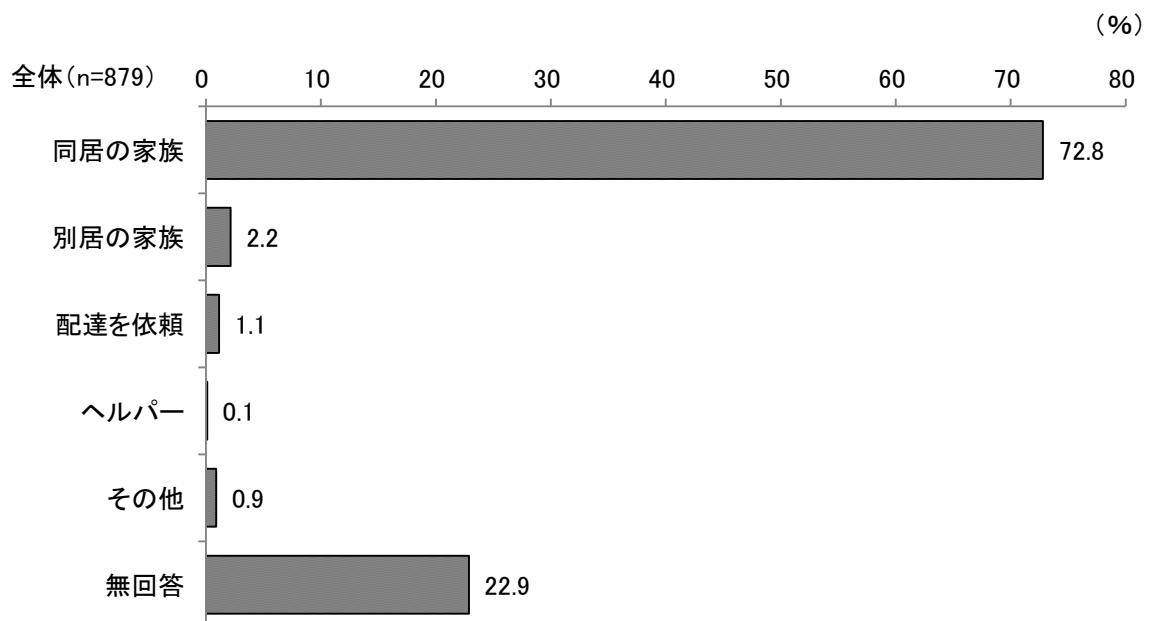


日用品の買物を「している」と答えた人が86.9%となっています。

【問1で「2」または「3」と答えた方のみ】

問1-1 日用品の買物をする人は主にどなたですか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 同居の家族 (72.8%) | 4. 配達を依頼 (1.1%) |
| 2. 別居の家族 (2.2%) | 5. その他 (0.9%) |
| 3. ヘルパー (0.1%) | |

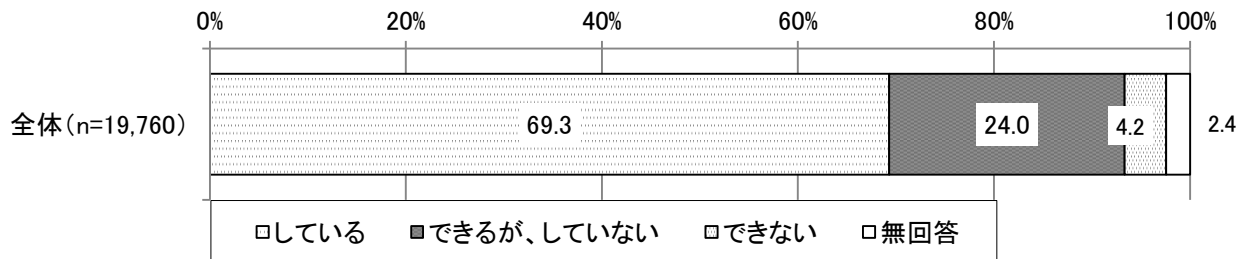


問1で日用品の買物を「2. できるが、していない」、「3. できない」と答えた人に、買物をする人は主にどなたかを尋ねたところ、「同居の家族」が72.8%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問2 自分で食事の用意をしていますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. している（69.3%） | 3. できない（4.2%） |
| 2. できるが、していない（24.0%） | |

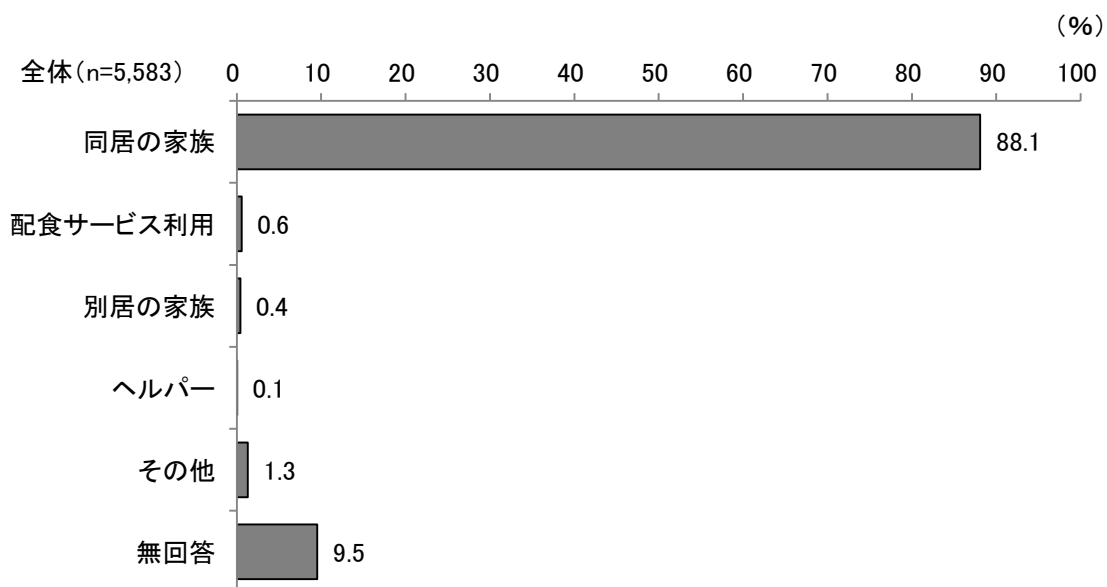


自分で食事の用意を「している」と答えた人が69.3%となっています。

【問2で「2」または「3」と答えた方のみ】

問2-1 食事の用意をする人は主にどなたですか。（○はひとつ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 同居の家族（88.1%） | 4. 配食サービス利用（0.6%） |
| 2. 別居の家族（0.4%） | 5. その他（1.3%） |
| 3. ヘルパー（0.1%） | |

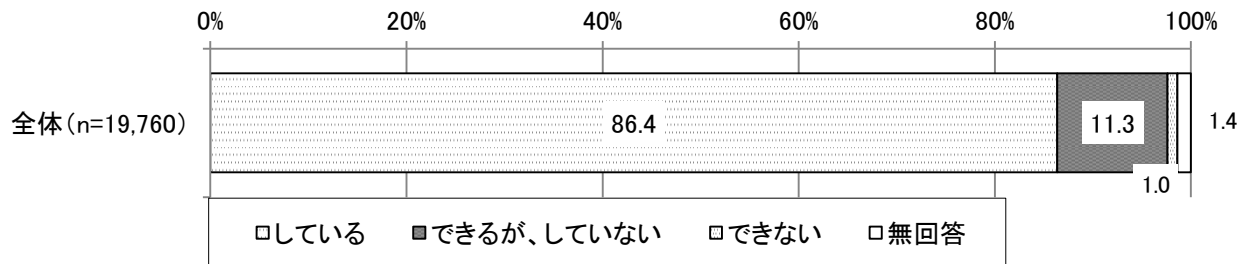


問2で、自分で食事の用意を「2. できるが、していない」、「3. できない」と答えた人に、食事の用意をする人は主にどなたかを尋ねたところ、「同居の家族」が88.1%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問3 請求書等のお金の支払いをしていますか。(〇はひとつ)

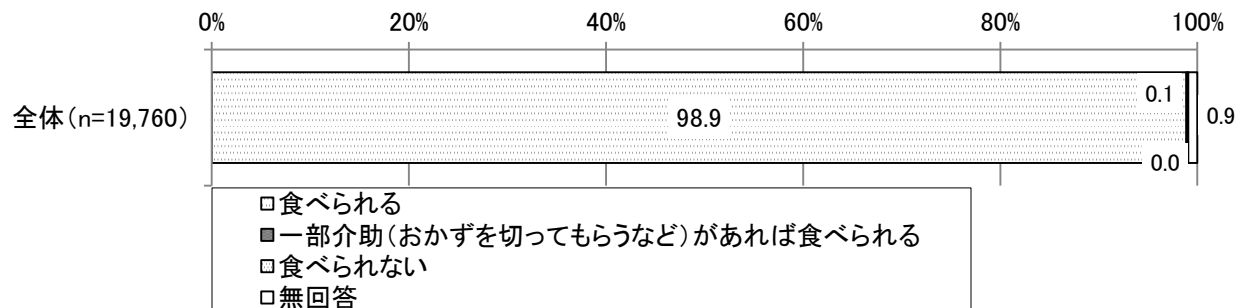
- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. している (86.4%) | 3. できない (1.0%) |
| 2. できるが、していない (11.3%) | |



請求書等のお金の支払いを「している」が86.4%となっています。

問4 食事は自分で食べられますか。(〇はひとつ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 食べられる (98.9%) |
| 2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があれば食べられる (0.1%) |
| 3. 食べられない (0.0%) |

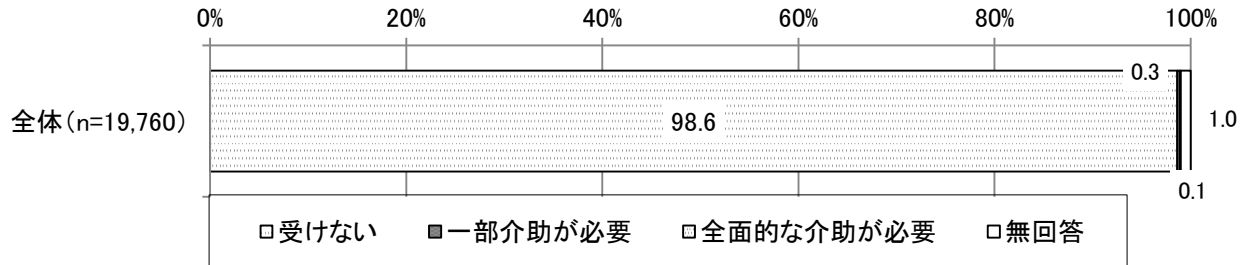


自分で「食べられる」が98.9%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問5 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。（○はひとつ）

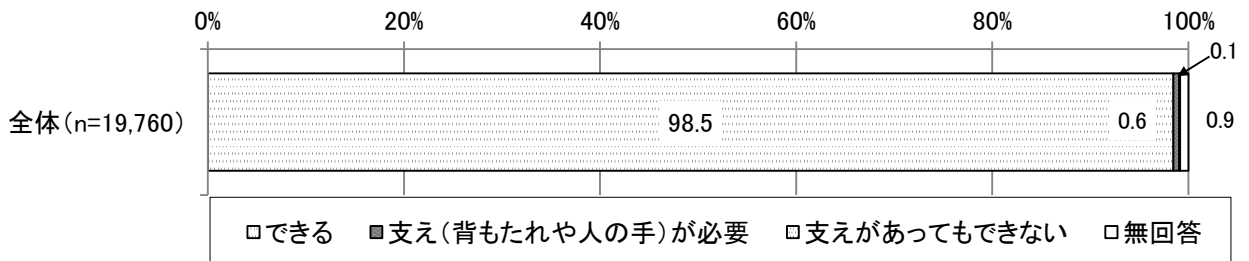
- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 受けない（98.6%） | 3. 全面的な介助が必要（0.1%） |
| 2. 一部介助が必要（0.3%） | |



介助を「受けない」が98.6%となっています。

問6 自分ひとりで座っていることができますか。（○はひとつ）

- | |
|--------------------------|
| 1. できる（98.5%） |
| 2. 支え（背もたれや人の手）が必要（0.6%） |
| 3. 支えがあってもできない（0.1%） |



自分ひとりで座っていることが「できる」が98.5%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問7 自分で洗面や歯磨き（入れ歯の手入れ）ができますか。（○はひとつ）

- 1. できる（98.9%）
- 2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる（0.1%）
- 3. できない（0.1%）

問8 自分でトイレ（衣服の上げ下ろし、用足しなど）ができますか。（○はひとつ）

- 1. できる（99.0%）
- 2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる（0.2%）
- 3. できない（0.0%）

問9 自分で入浴ができますか。（○はひとつ）

- 1. できる（98.6%）
- 2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる（0.4%）
- 3. できない（0.1%）

問10 50メートル以上続けて歩くことができますか。（○はひとつ）

- 1. できる（97.2%）
- 2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる（0.8%）
- 3. できない（1.0%）

問11 階段を昇り降りできますか。（○はひとつ）

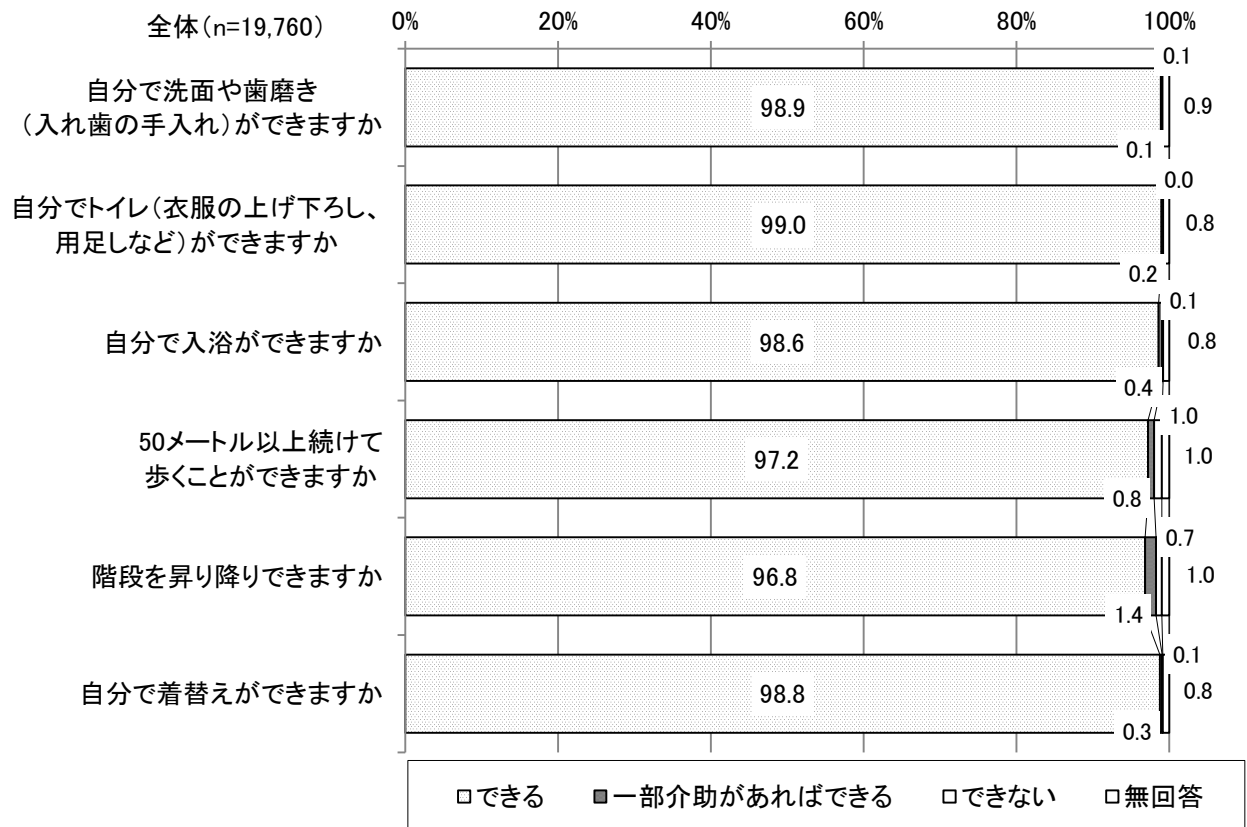
- 1. できる（96.8%）
- 2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる（1.4%）
- 3. できない（0.7%）

問12 自分で着替えができますか。（○はひとつ）

- 1. できる（98.8%）
- 2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる（0.3%）
- 3. できない（0.1%）

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問7から問12のグラフ】



それぞれの生活動作は、いずれも「できる」が96%以上となっています。

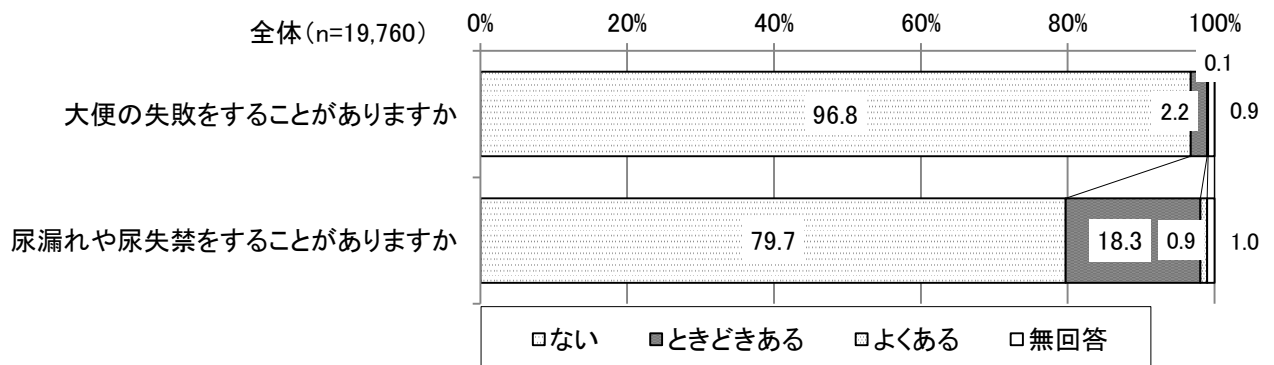
1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問13 大便の失敗をすることがありますか。（○はひとつ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. ない（96.8%） | 3. よくある（0.1%） |
| 2. ときどきある（2.2%） | |

問14 尿漏れや尿失禁をすることがありますか。（○はひとつ）

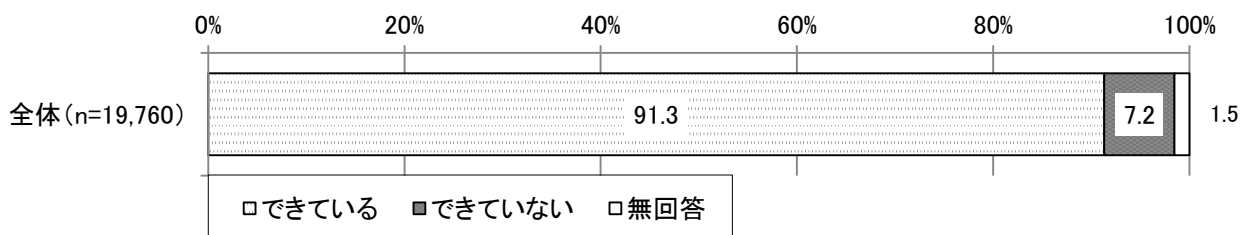
- | | |
|------------------|---------------|
| 1. ない（79.7%） | 3. よくある（0.9%） |
| 2. ときどきある（18.3%） | |



「ない」と答えた人が、大便の失敗については96.8%、尿漏れや尿失禁については79.7%となっています。

問15 炊事、洗濯、掃除、ごみ出しなど、一通りの家事ができていますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. できている（91.3%） | 2. できていない（7.2%） |
|-----------------|-----------------|



「できている」が91.3%となっています。

7. 社会参加について

問1 年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか。

1. はい（93.1%）	2. いいえ（4.9%）
--------------	--------------

問2 新聞を読んでいますか。

1. はい（87.2%）	2. いいえ（11.1%）
--------------	---------------

問3 本や雑誌を読んでいますか。

1. はい（82.3%）	2. いいえ（15.8%）
--------------	---------------

問4 健康についての記事や番組に関心がありますか。

1. はい（92.3%）	2. いいえ（6.0%）
--------------	--------------

問5 家族や友人が病気になったとき、病人を見舞うことができますか。

1. はい（95.0%）	2. いいえ（3.4%）
--------------	--------------

問6 若い人に自分から話しかけることがありますか。

1. はい（81.9%）	2. いいえ（16.3%）
--------------	---------------

問7 趣味はありますか。

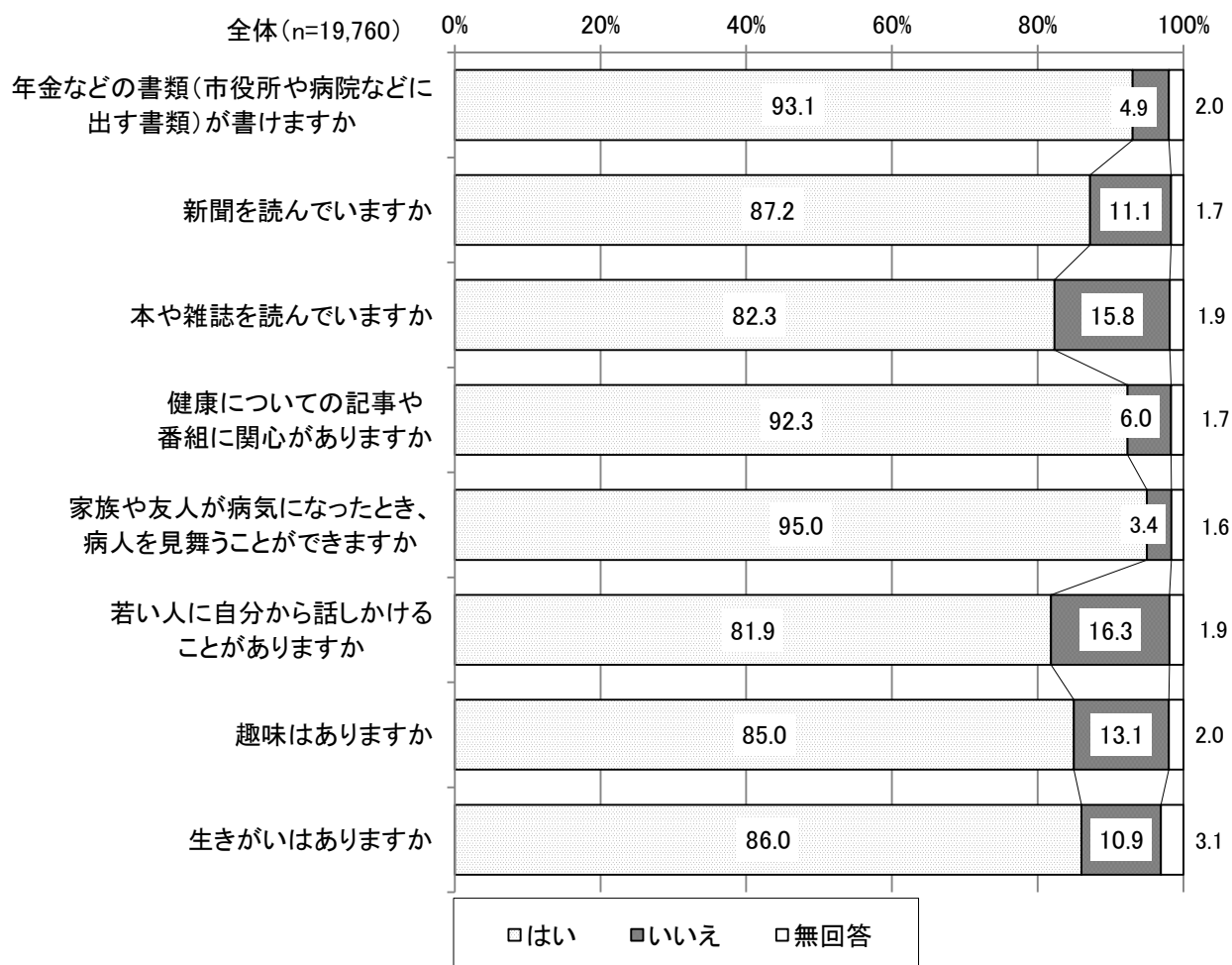
1. はい（85.0%）	2. いいえ（13.1%）
--------------	---------------

問8 生きがいがありますか。

1. はい（86.0%）	2. いいえ（10.9%）
--------------	---------------

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問1から問8のグラフ】



それぞれの質問の回答は、いずれも「はい」が8割以上となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問9 次のグループや会に、どのくらいの頻度で参加していますか。
(それぞれ○はひとつ)

(1) ボランティアのグループ

1. 週4回以上 (1.5%)	4. 月1～3回 (6.4%)
2. 週2～3回 (3.1%)	5. 年に数回 (6.2%)
3. 週1回 (3.1%)	6. 参加していない (66.9%)

(2) スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上 (4.1%)	4. 月1～3回 (6.1%)
2. 週2～3回 (8.9%)	5. 年に数回 (3.8%)
3. 週1回 (7.6%)	6. 参加していない (58.8%)

(3) 趣味関係のグループ

1. 週4回以上 (2.6%)	4. 月1～3回 (16.9%)
2. 週2～3回 (7.7%)	5. 年に数回 (7.5%)
3. 週1回 (9.3%)	6. 参加していない (48.9%)

(4) 老人クラブ

1. 週4回以上 (0.5%)	4. 月1～3回 (3.7%)
2. 週2～3回 (1.5%)	5. 年に数回 (3.7%)
3. 週1回 (1.2%)	6. 参加していない (80.6%)

(5) 町会・自治会

1. 週4回以上 (0.4%)	4. 月1～3回 (7.2%)
2. 週2～3回 (0.7%)	5. 年に数回 (25.6%)
3. 週1回 (1.0%)	6. 参加していない (56.7%)

(6) 学習・教養サークル

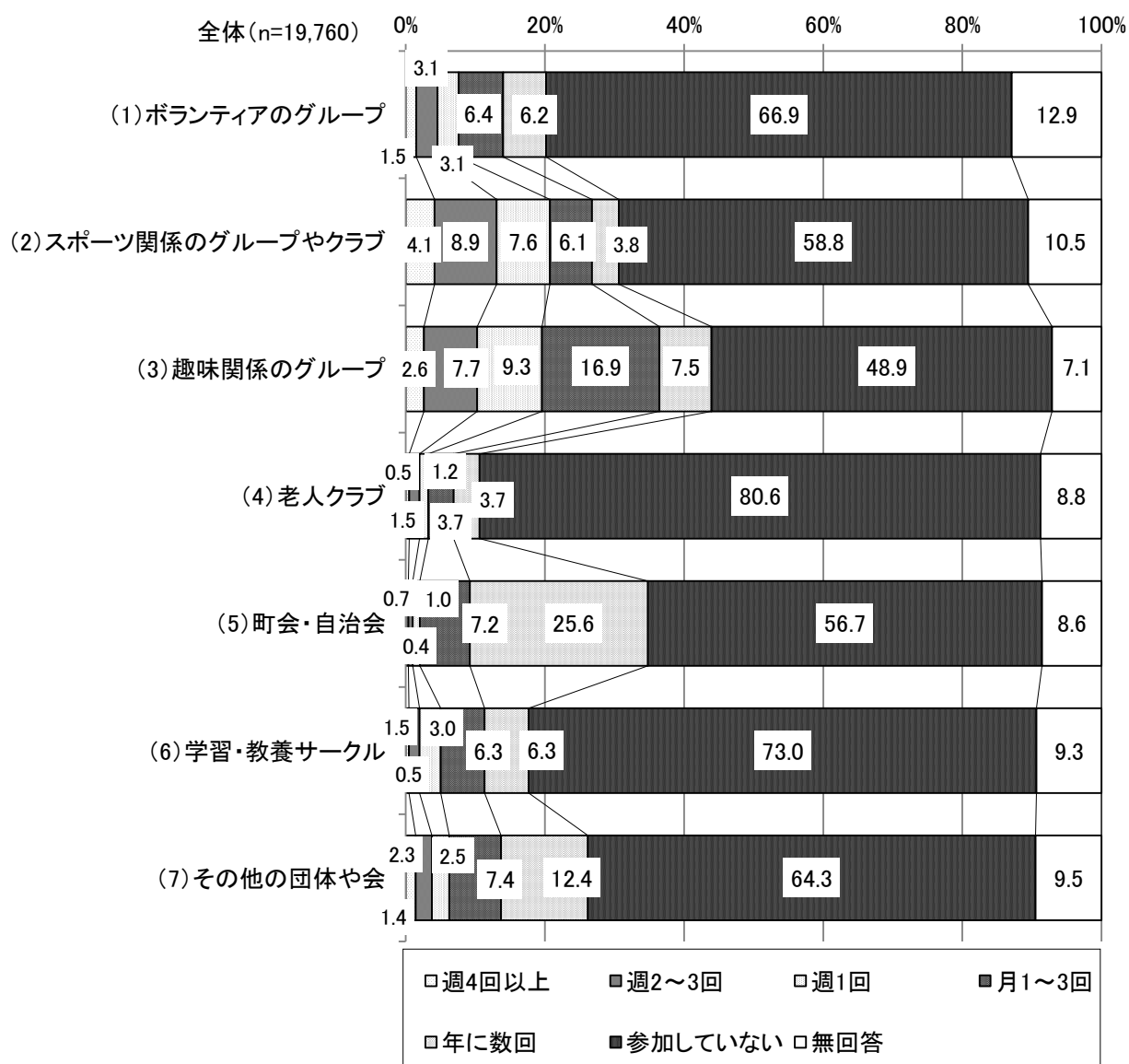
1. 週4回以上 (0.5%)	4. 月1～3回 (6.3%)
2. 週2～3回 (1.5%)	5. 年に数回 (6.3%)
3. 週1回 (3.0%)	6. 参加していない (73.0%)

(7) その他の団体や会

1. 週4回以上 (1.4%)	4. 月1～3回 (7.4%)
2. 週2～3回 (2.3%)	5. 年に数回 (12.4%)
3. 週1回 (2.5%)	6. 参加していない (64.3%)

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問9 グループや会の参加状況のグラフ】



それぞれの質問の回答は、「趣味関係のグループ」を除き「参加していない」が過半数となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問10 次の活動を、どのくらいの頻度でおこなっていますか。

(それぞれ○はひとつ)

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上 (1.0%)	4. 月1～3回 (2.1%)
2. 週2～3回 (0.8%)	5. 年に数回 (2.1%)
3. 週1回 (0.9%)	6. 参加していない (84.0%)

(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上 (1.2%)	4. 月1～3回 (1.4%)
2. 週2～3回 (0.6%)	5. 年に数回 (1.6%)
3. 週1回 (0.8%)	6. 参加していない (85.3%)

(3) 子どもを育てている親を支援する活動

1. 週4回以上 (1.1%)	4. 月1～3回 (1.8%)
2. 週2～3回 (0.9%)	5. 年に数回 (2.5%)
3. 週1回 (0.8%)	6. 参加していない (83.6%)

(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動

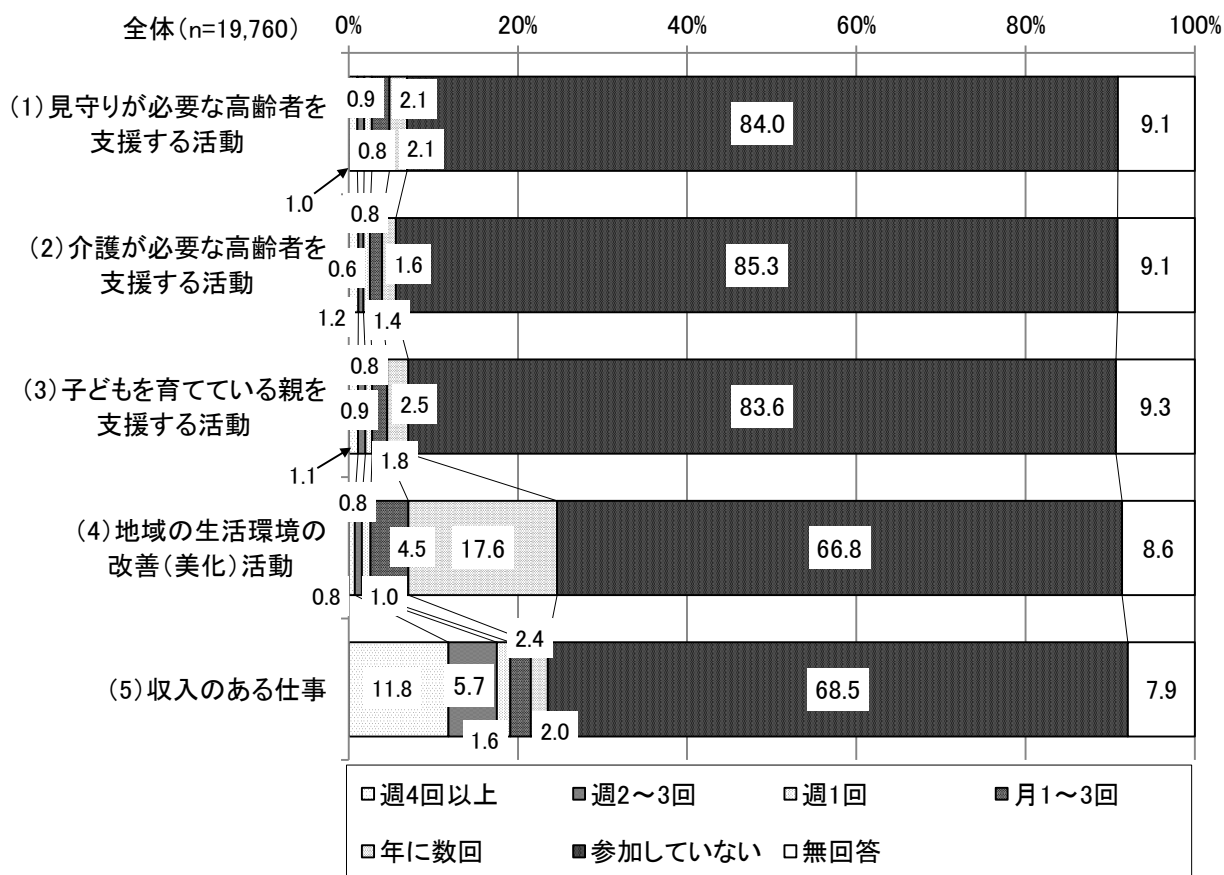
1. 週4回以上 (0.8%)	4. 月1～3回 (4.5%)
2. 週2～3回 (0.8%)	5. 年に数回 (17.6%)
3. 週1回 (1.0%)	6. 参加していない (66.8%)

(5) 収入のある仕事

1. 週4回以上 (11.8%)	4. 月1～3回 (2.4%)
2. 週2～3回 (5.7%)	5. 年に数回 (2.0%)
3. 週1回 (1.6%)	6. 参加していない (68.5%)

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問10 社会活動への参加のグラフ】



いずれの活動も、「参加していない」が6割以上となっています。

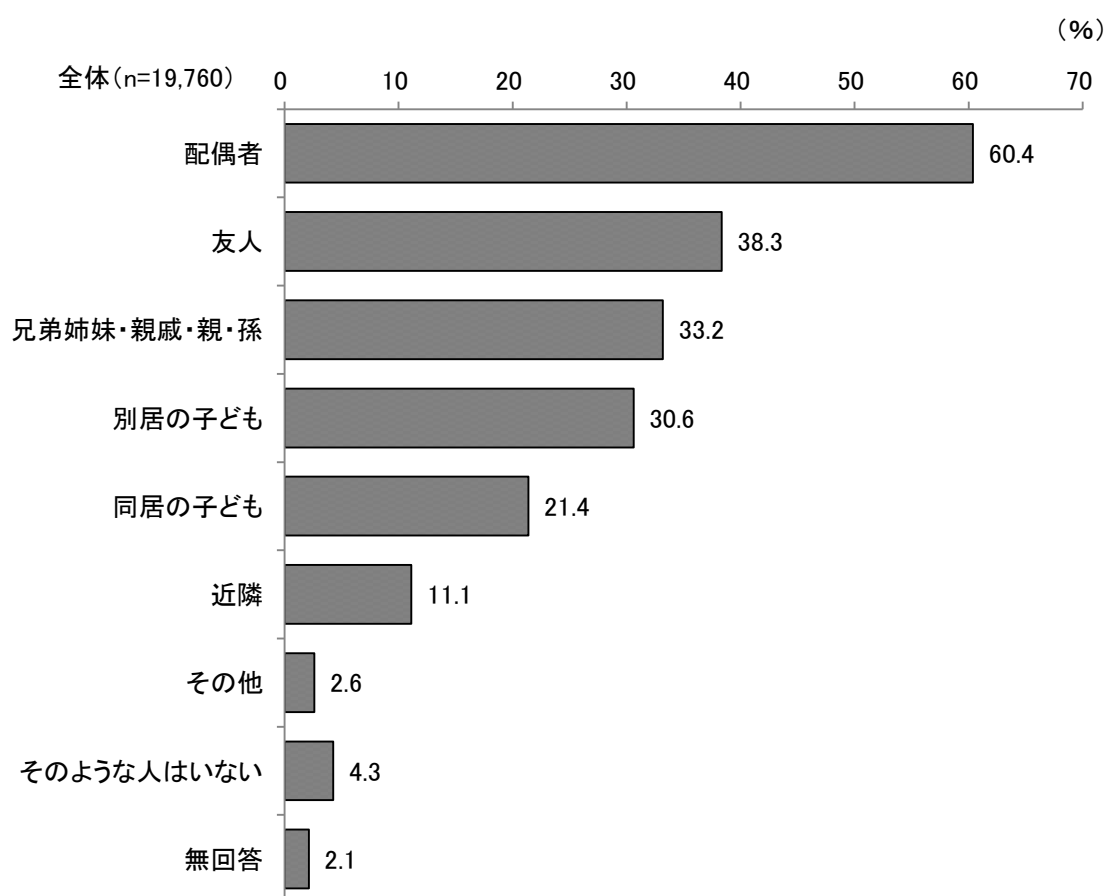
1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問11 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(あてはまるものすべてに○)

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。

1. 配偶者（60.4%）	5. 近隣（11.1%）
2. 同居の子ども（21.4%）	6. 友人（38.3%）
3. 別居の子ども（30.6%）	7. その他（2.6%）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫（33.2%）	8. そのような人はいない（4.3%）

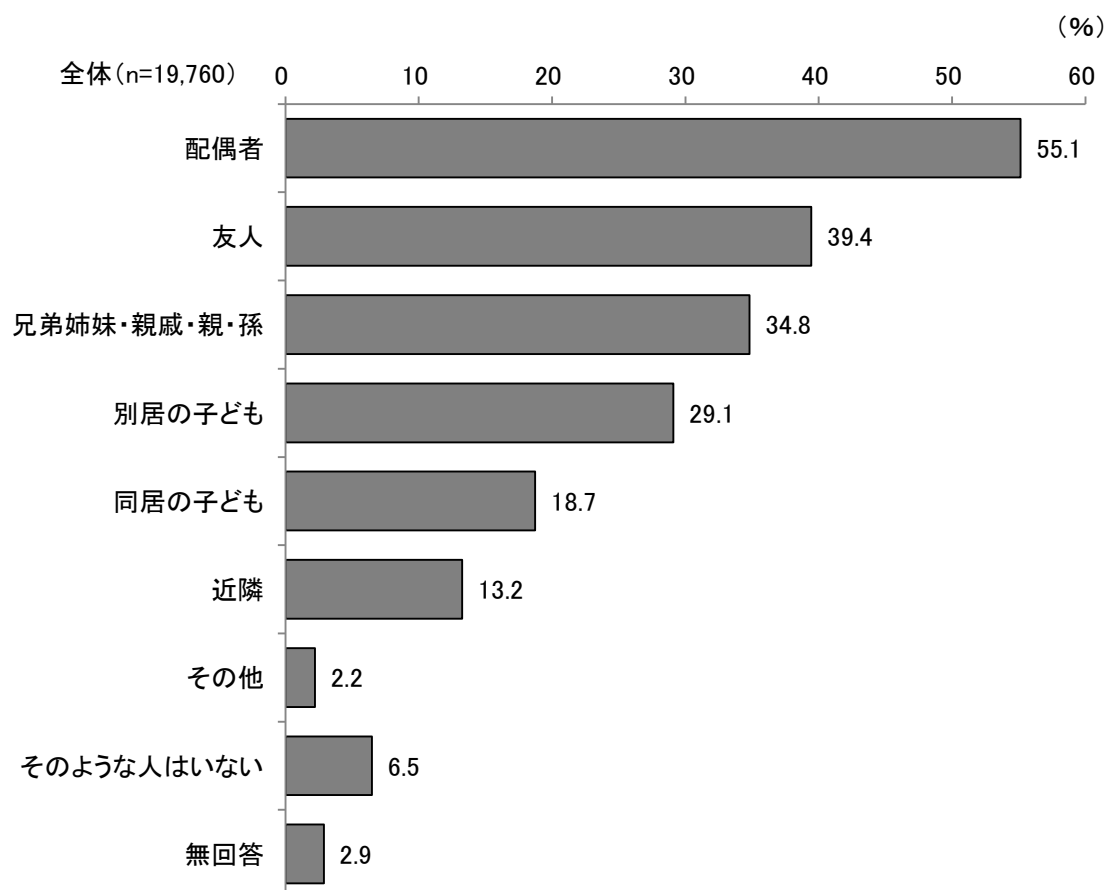


心配事や愚痴を聞いてくれる人がいるかどうかを尋ねたところ、「配偶者」が最も多く60.4%、次いで「友人」が38.3%となっています。「その他」は、「愚痴をいわない」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。

1. 配偶者（55.1%）	5. 近隣（13.2%）
2. 同居の子ども（18.7%）	6. 友人（39.4%）
3. 別居の子ども（29.1%）	7. その他（2.2%）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫（34.8%）	8. そのような人はいない（6.5%）

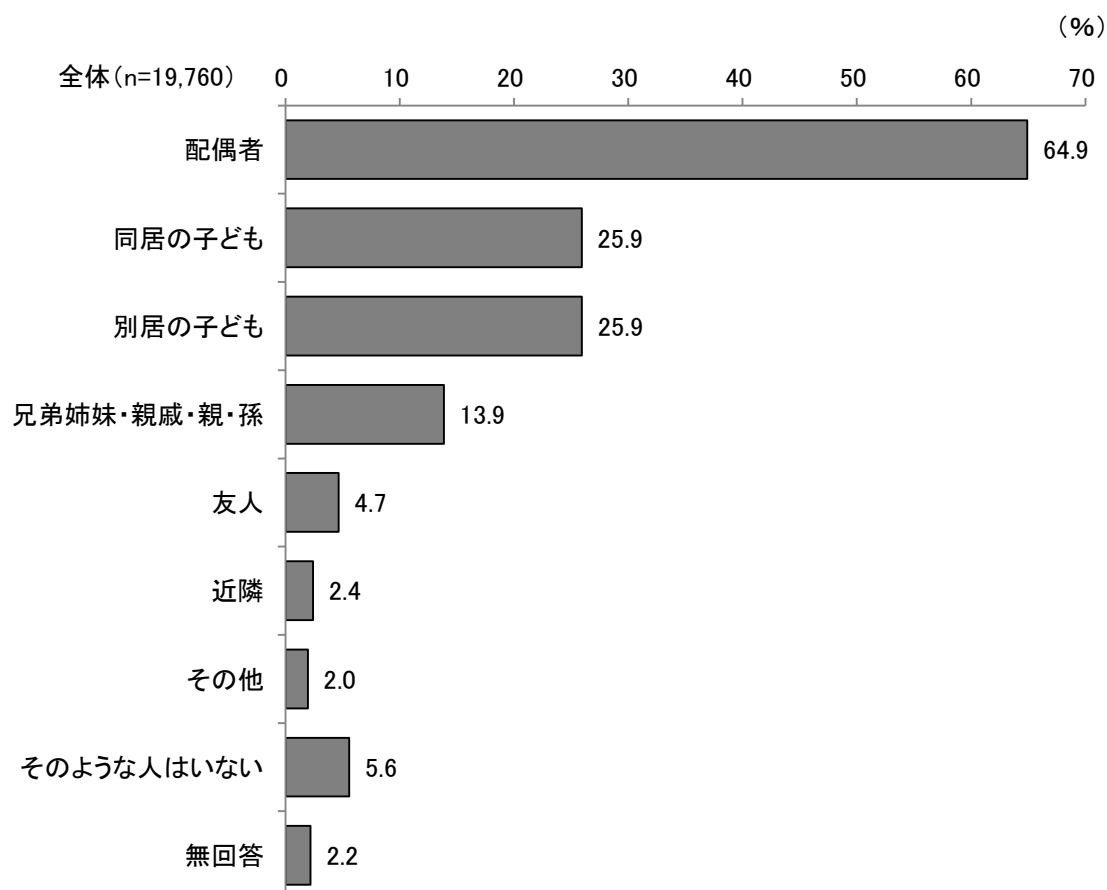


反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が最も多く55.1%、次いで「友人」が39.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.8%となっています。「その他」は、「仕事のつきあいがある人」、「ボランティア」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 配偶者 (64.9%) | 5. 近隣 (2.4%) |
| 2. 同居の子ども (25.9%) | 6. 友人 (4.7%) |
| 3. 別居の子ども (25.9%) | 7. その他 (2.0%) |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 (13.9%) | 8. そのような人はいない (5.6%) |

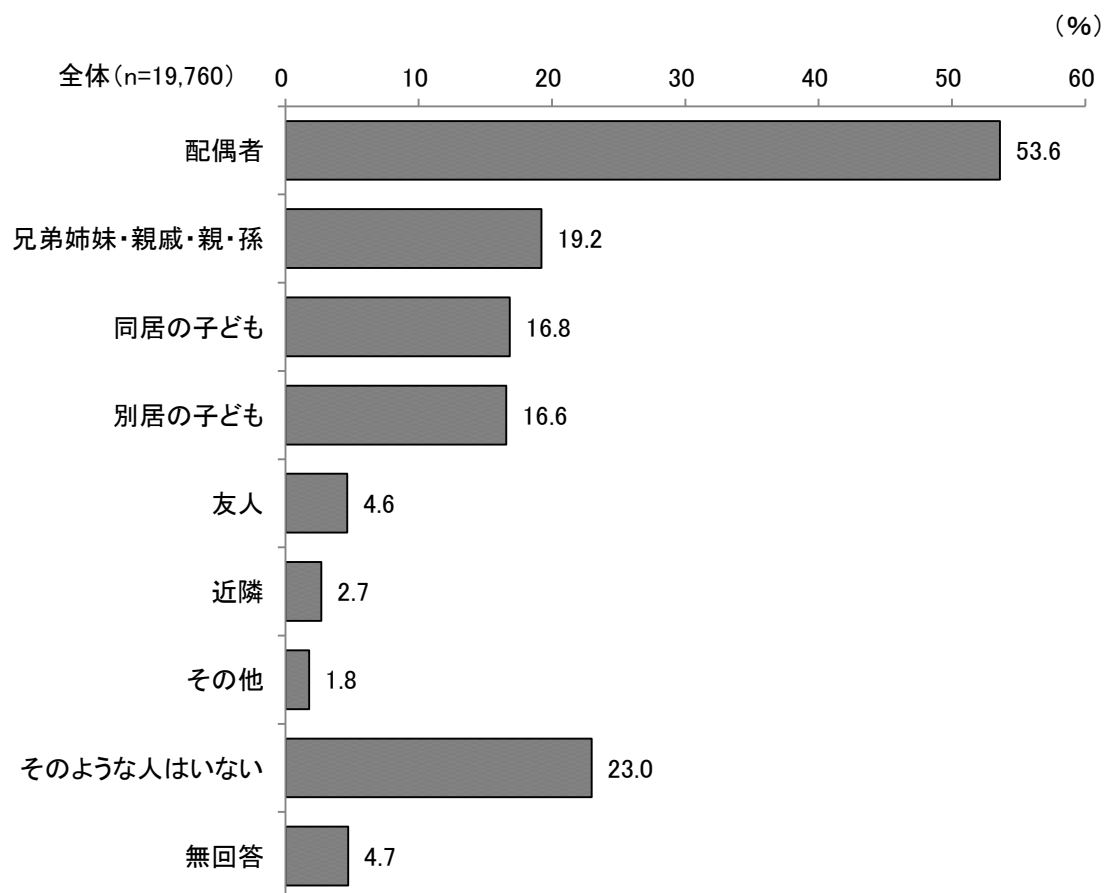


病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいるかどうかを尋ねたところ、「配偶者」が最も多く64.9%、次いで「同居の子ども」と「別居の子ども」が同ポイントで25.9%となっています。「その他」は、「ケア付き住宅の職員」、「そのときにならないとわからない」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

(4) 反対に、看病や世話をししてあげる人はいますか。

1. 配偶者 (53.6%)	5. 近隣 (2.7%)
2. 同居の子ども (16.8%)	6. 友人 (4.6%)
3. 別居の子ども (16.6%)	7. その他 (1.8%)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 (19.2%)	8. そのような人はいない (23.0%)

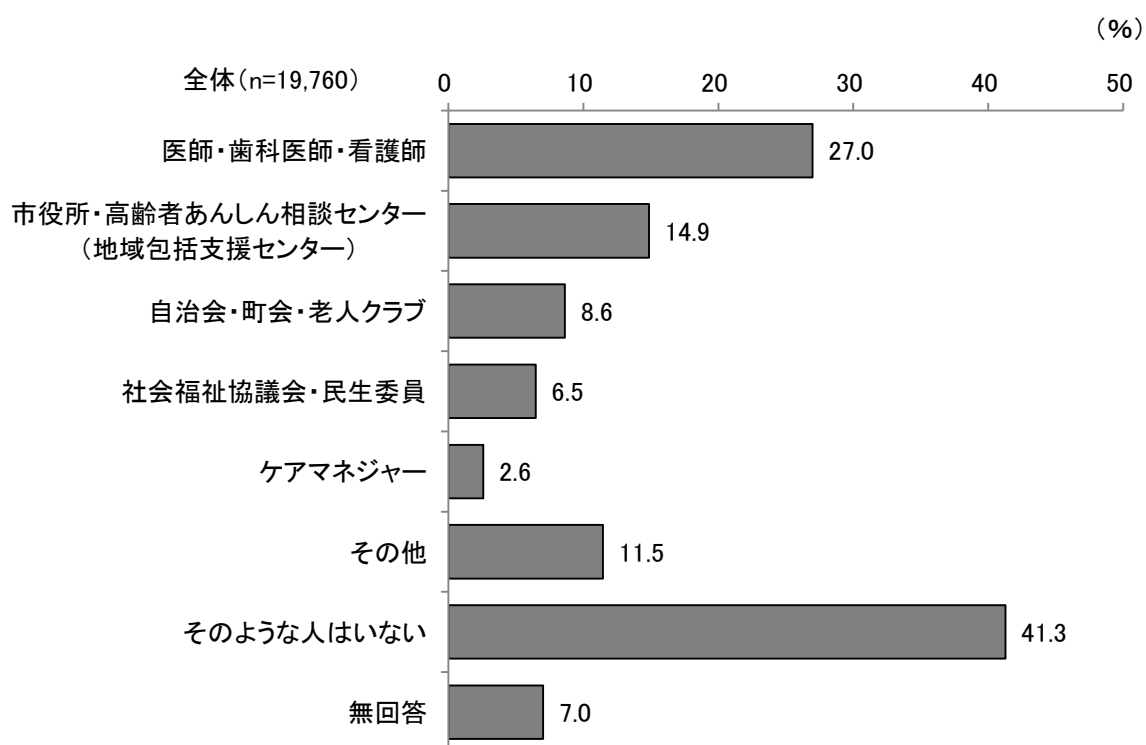


反対に、看病や世話をししてあげる人は、「配偶者」が最も多く53.6%、次いで「そのような人はいない」が23.0%となっています。「その他」は、「父母（義父母）」、「してあげたくてもできない」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問12 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会・町会・老人クラブ (8.6%)
2. 社会福祉協議会・民生委員 (6.5%)
3. ケアマネジャー (2.6%)
4. 医師・歯科医師・看護師 (27.0%)
5. 市役所・高齢者あんしん相談センター (地域包括支援センター) (14.9%)
6. その他 (11.5%)
7. そのような人はいない (41.3%)



家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたかを尋ねたところ、「そのような人はいない」が最も多く41.3%、次いで「医師・歯科医師・看護師」が27.0%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問12 何かあったときに相談する相手のクロス集計表】

	全体	自治会・ 町会・ 老人クラブ	社会福祉 協議会・ 民生委員	ケアマネ ジャー	医師・ 歯科医師・ 看護師	市役所・ 高齢者 あんしん 相談 センター	その他	そのような 人はいない	無回答
全体	19,760 100.0	1,706 8.6	1,277 6.5	510 2.6	5,333 27.0	2,935 14.9	2,263 11.5	8,155 41.3	1,386 7.0
元本郷	515 100.0	42 8.2	39 7.6	9 1.7	138 26.8	82 15.9	65 12.6	201 39.0	39 7.6
大横	517 100.0	47 9.1	45 8.7	10 1.9	145 28.0	69 13.3	60 11.6	197 38.1	43 8.3
子安	923 100.0	98 10.6	73 7.9	30 3.3	256 27.7	134 14.5	113 12.2	349 37.8	68 7.4
八日町	735 100.0	73 9.9	51 6.9	19 2.6	201 27.3	98 13.3	77 10.5	315 42.9	46 6.3
中野	1,043 100.0	95 9.1	77 7.4	31 3.0	271 26.0	147 14.1	127 12.2	407 39.0	84 8.1
ゆうゆう (大和田)	653 100.0	49 7.5	40 6.1	20 3.1	162 24.8	73 11.2	69 10.6	290 44.4	52 8.0
小宮	1,049 100.0	76 7.2	66 6.3	20 1.9	276 26.3	147 14.0	130 12.4	458 43.7	68 6.5
左入	500 100.0	57 11.4	40 8.0	10 2.0	144 28.8	81 16.2	59 11.8	189 37.8	39 7.8
川口	1,172 100.0	114 9.7	55 4.7	22 1.9	276 23.5	166 14.2	154 13.1	478 40.8	98 8.4
恩方	655 100.0	56 8.5	39 6.0	19 2.9	158 24.1	93 14.2	78 11.9	267 40.8	57 8.7
元八王子	1,004 100.0	74 7.4	53 5.3	29 2.9	250 24.9	164 16.3	114 11.4	434 43.2	75 7.5
	全体	自治会・ 町会・ 老人クラブ	社会福祉 協議会・ 民生委員	ケアマネ ジャー	医師・ 歯科医師・ 看護師	市役所・ 高齢者 あんしん 相談 センター	その他	そのような 人はいない	無回答
もとはち南	1,208 100.0	93 7.7	70 5.8	37 3.1	306 25.3	189 15.6	134 11.1	515 42.6	96 7.9
長房	865 100.0	116 13.4	98 11.3	26 3.0	213 24.6	180 20.8	89 10.3	309 35.7	56 6.5
めじろ	1,147 100.0	86 7.5	64 5.6	26 2.3	344 30.0	168 14.6	120 10.5	475 41.4	78 6.8
高尾	951 100.0	99 10.4	61 6.4	21 2.2	263 27.7	163 17.1	102 10.7	370 38.9	75 7.9
寺田	1,092 100.0	100 9.2	60 5.5	28 2.6	277 25.4	174 15.9	126 11.5	460 42.1	81 7.4
片倉	1,183 100.0	98 8.3	57 4.8	32 2.7	304 25.7	173 14.6	123 10.4	539 45.6	64 5.4
長沼	1,756 100.0	154 8.8	106 6.0	42 2.4	541 30.8	231 13.2	178 10.1	731 41.6	103 5.9
堀之内	844 100.0	50 5.9	63 7.5	22 2.6	241 28.6	129 15.3	97 11.5	364 43.1	44 5.2
由木東	719 100.0	52 7.2	42 5.8	22 3.1	215 29.9	101 14.0	74 10.3	297 41.3	53 7.4
南大沢	1,221 100.0	77 6.3	78 6.4	35 2.9	351 28.7	173 14.2	170 13.9	507 41.5	67 5.5
無回答	8 100.0	- -	- -	- -	1 12.5	- -	4 50.0	3 37.5	- -

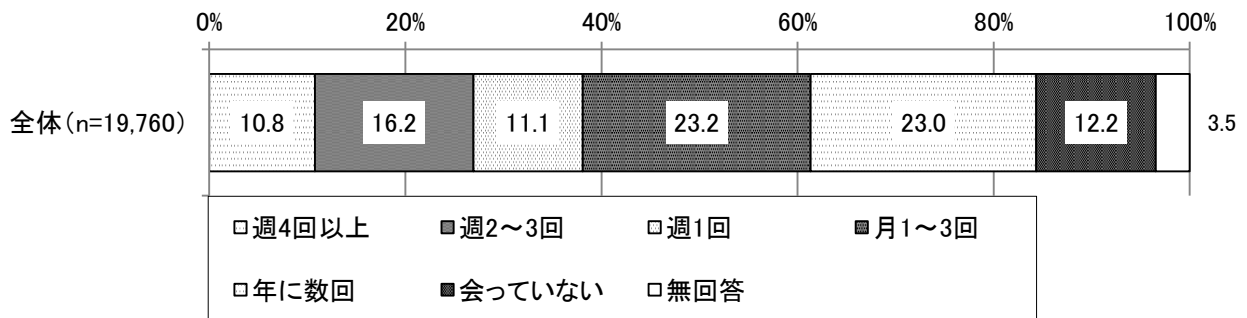
圏域別では、長房で「市役所・高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）」が20%以上となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問13 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(〇はひとつ)

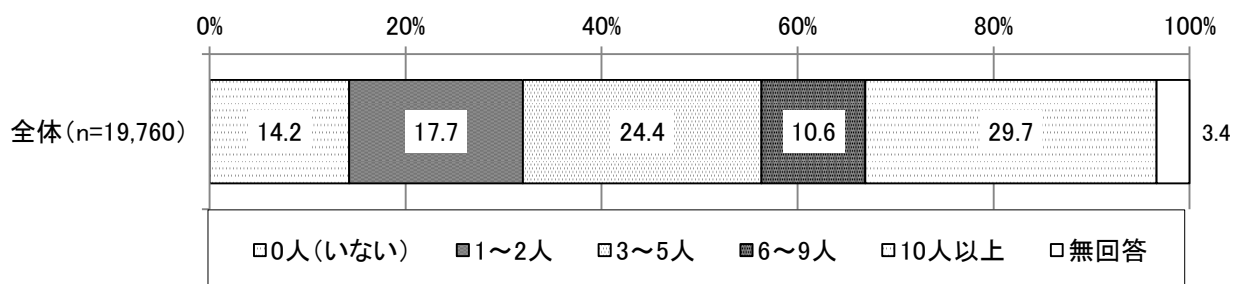
1. 週4回以上 (10.8%)	4. 月1~3回 (23.2%)
2. 週2~3回 (16.2%)	5. 年に数回 (23.0%)
3. 週1回 (11.1%)	6. 会っていない (12.2%)



友人・知人と会う頻度は、「月1~3回」が最も多く23.2%、次いで「年に数回」が23.0%となっています。

(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇はひとつ)

1. 0人 (いない) (14.2%)	4. 6~9人 (10.6%)
2. 1~2人 (17.7%)	5. 10人以上 (29.7%)
3. 3~5人 (24.4%)	

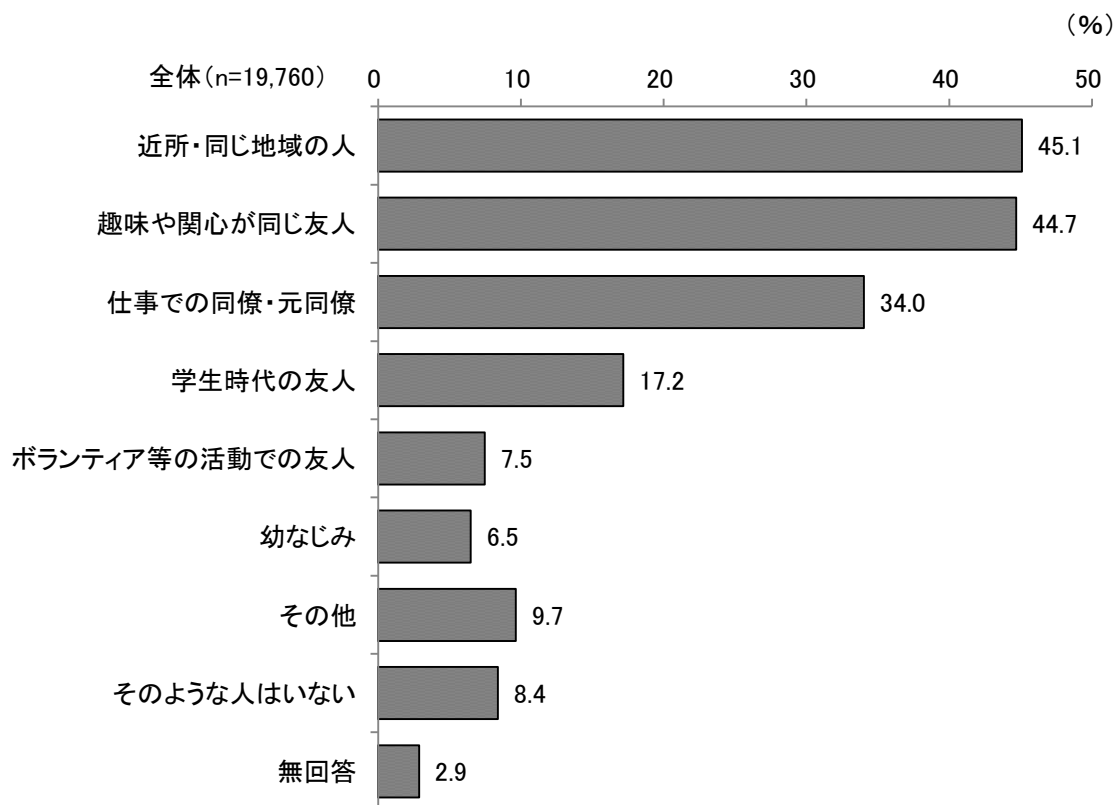


1ヶ月間、何人の友人・知人と会ったかを尋ねたところ、「10人以上」が最も多く29.7%、次いで「3~5人」が24.4%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

(3) よく会う友人・知人とはどのような関係ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 近所・同じ地域の人 (45.1%)	5. 趣味や関心が同じ友人 (44.7%)
2. 幼なじみ (6.5%)	6. ボランティア活動等での友人 (7.5%)
3. 学生時代の友人 (17.2%)	7. その他 (9.7%)
4. 仕事での同僚・元同僚 (34.0%)	8. そのような人はいない (8.4%)



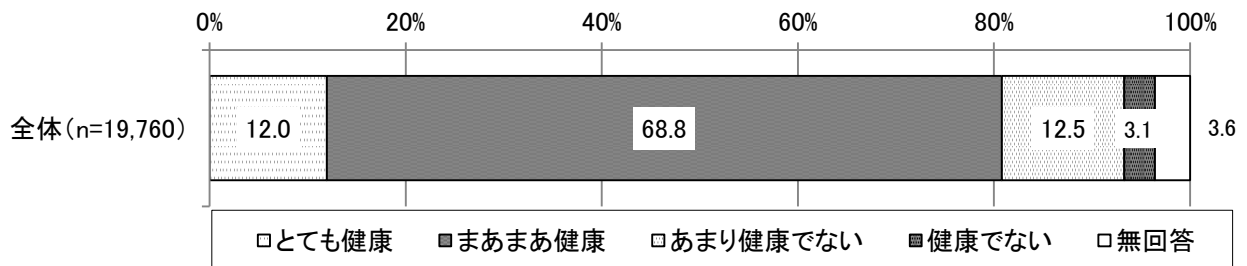
よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が最も多く45.1%、次いで「趣味や関心が同じ友人」が44.7%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

8. 健康について

問1 普段、ご自分で健康だと思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. とても健康（12.0%） | 3. あまり健康でない（12.5%） |
| 2. まあまあ健康（68.8%） | 4. 健康でない（3.1%） |



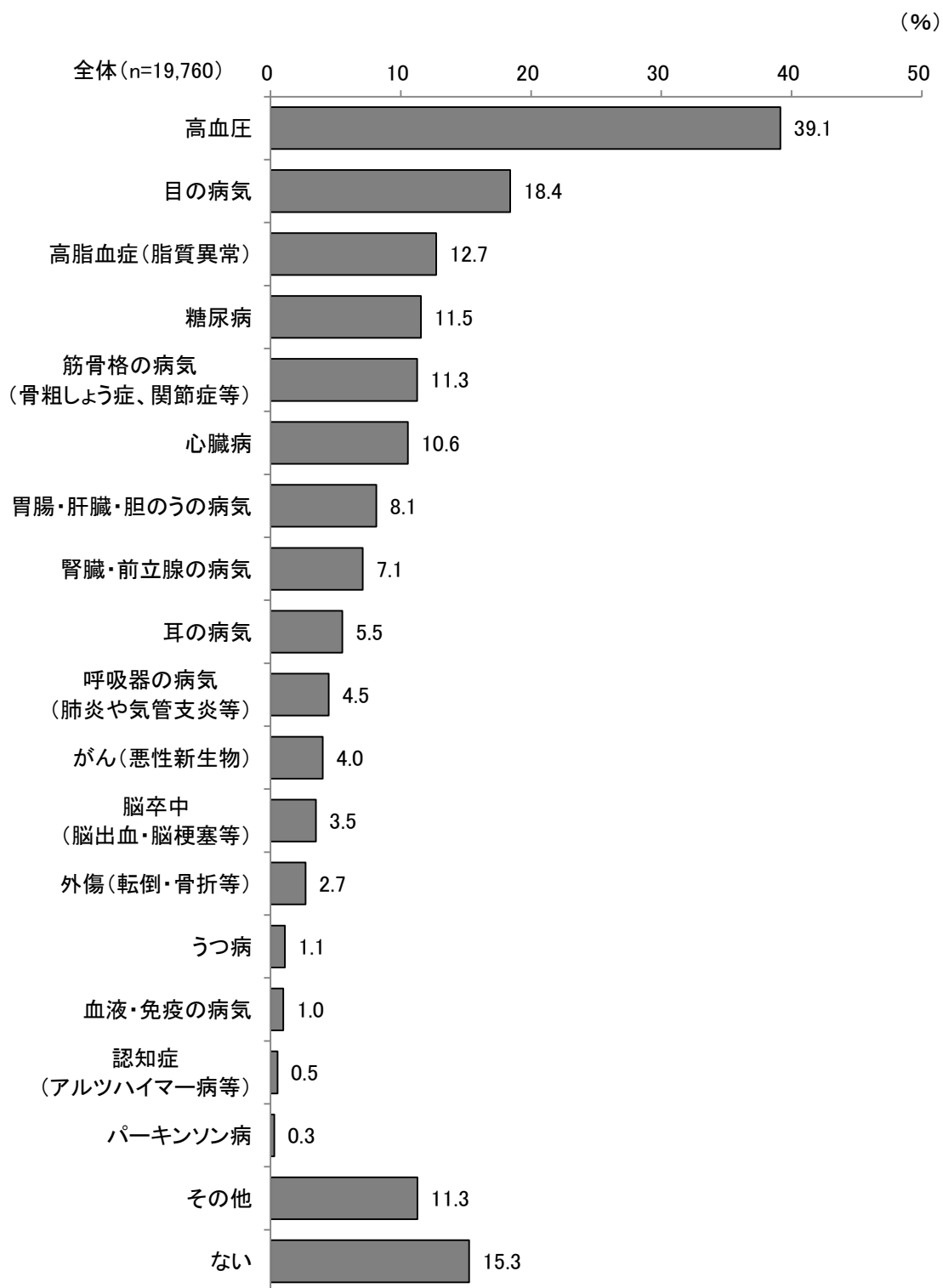
自分で健康だと思っているかどうかを尋ねたところ、「まあまあ健康」が68.8%、「とても健康」が12.0%と、健康だと思っている人が80.8%となっています。

問2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 高血圧（39.1%） |
| 2. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）（3.5%） |
| 3. 心臓病（10.6%） |
| 4. 糖尿病（11.5%） |
| 5. 高脂血症（脂質異常）（12.7%） |
| 6. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）（4.5%） |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気（8.1%） |
| 8. 腎臓・前立腺の病気（7.1%） |
| 9. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）（11.3%） |
| 10. 外傷（転倒・骨折等）（2.7%） |
| 11. がん（悪性新生物）（4.0%） |
| 12. 血液・免疫の病気（1.0%） |
| 13. うつ病（1.1%） |
| 14. 認知症（アルツハイマー病等）（0.5%） |
| 15. パーキンソン病（0.3%） |
| 16. 目の病気（18.4%） |
| 17. 耳の病気（5.5%） |
| 18. その他（11.3%） |
| 19. ない（15.3%） |

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問2 治療中、または後遺症のある病気のグラフ】

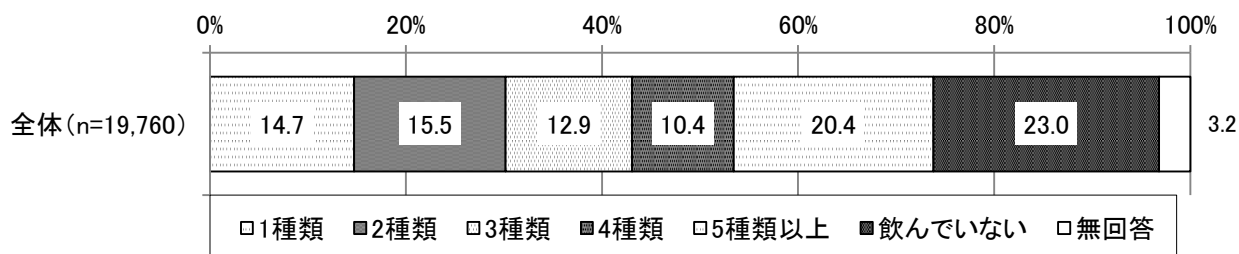


現在治療中、または後遺症のある病気は「高血圧」が最も多く39.1%、次いで「目の病気」が18.4%となっています。「その他」は、「アレルギー性鼻炎」、「リウマチ」、「腰痛」などとなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。（〇はひとつ）

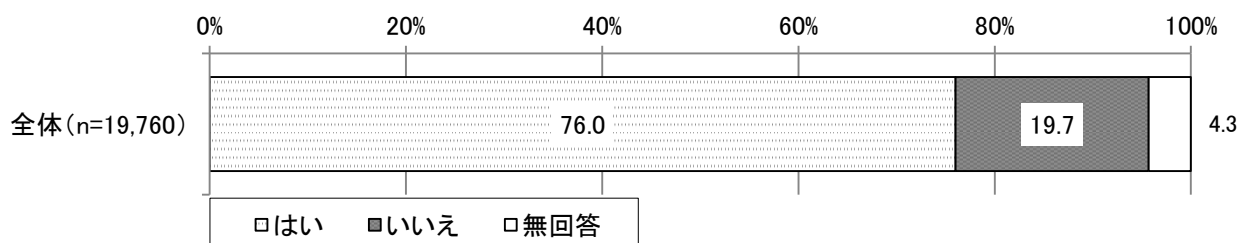
- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 1種類（14.7%） | 4. 4種類（10.4%） |
| 2. 2種類（15.5%） | 5. 5種類以上（20.4%） |
| 3. 3種類（12.9%） | 6. 飲んでいない（23.0%） |



医師の処方した薬を何種類飲んでいるかを尋ねたところ、「飲んでいない」が最も多く23.0%、次いで「5種類以上」が20.4%となっています。

問4 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. はい（76.0%） | 2. いいえ（19.7%） |
|--------------|---------------|



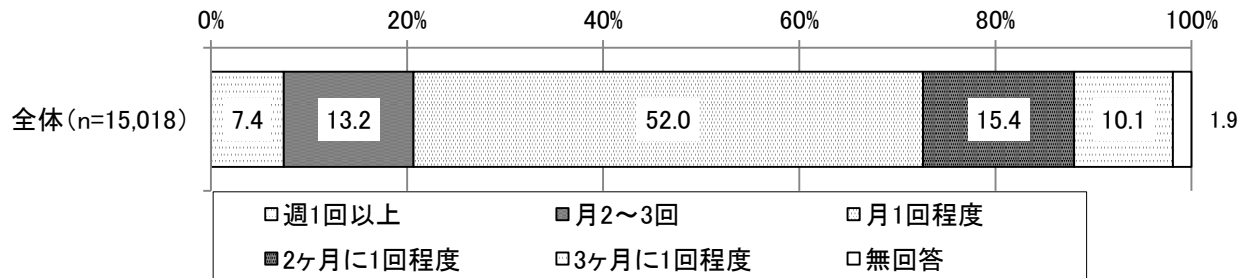
通院している人が76.0%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

【問4で「1」と答えた方のみ】

問4-1 その頻度はどのくらいですか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 週1回以上（7.4%） | 4. 2ヶ月に1回程度（15.4%） |
| 2. 月2～3回程度（13.2%） | 5. 3ヶ月に1回程度（10.1%） |
| 3. 月1回程度（52.0%） | |

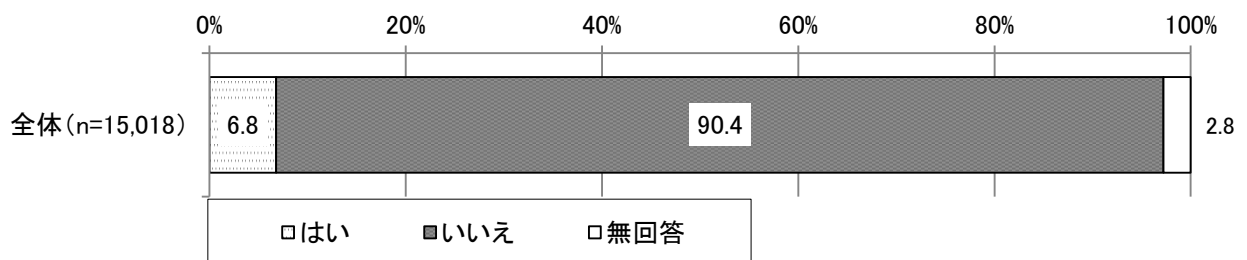


問4で「1. はい（通院している）」と答えた人に頻度を尋ねたところ、「月1回程度」が最も多く52.0%、次いで「2ヶ月に1回程度」が15.4%、「月2～3回程度」が13.2%となっています。

【問4で「1」と答えた方のみ】

問4-2 通院に介助が必要ですか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. はい（6.8%） | 2. いいえ（90.4%） |
|-------------|---------------|

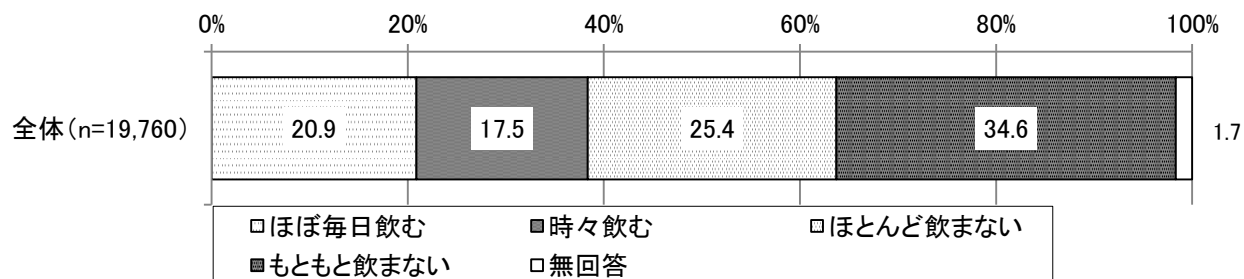


問4で「1. はい（通院している）」と答えた人に介助が必要かを尋ねたところ、必要ない人が90.4%となっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

問5 お酒は飲みますか。（○はひとつ）

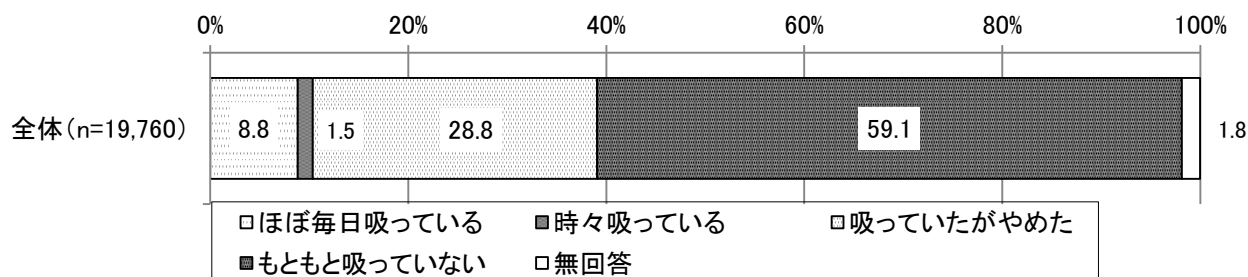
- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ほぼ毎日飲む（20.9%） | 3. ほとんど飲まない（25.4%） |
| 2. 時々飲む（17.5%） | 4. もともと飲まない（34.6%） |



お酒を飲むかを尋ねたところ、「もともと飲まない」が34.6%、次いで「ほとんど飲まない」が25.4%となっています。

問6 タバコは吸っていますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている（8.8%） | 3. 吸っていたがやめた（28.8%） |
| 2. 時々吸っている（1.5%） | 4. もともと吸っていない（59.1%） |



タバコを吸っているかを尋ねたところ、「もともと吸っていない」が59.1%、次いで「吸っていたがやめた」が28.8%となっています。

9. 圏域別高齢者像

圏域単位のサービス整備に向けては、まず圏域別の高齢者の状態像の傾向について把握することが有用になります。圏域別に集計を行うことで、各項目に関して、各圏域が八王子市全体と比較してどの程度差があるのか、また、各項目のバランスから各圏域にどのような特徴があるのかを知ることができます。本パートでは、各圏域についての「これまでに知られている印象」と、「調査の結果から示された数値」が一致しているのか、ずれているのかを知ること、地域に対する共通の認識を持つための一助になることを目指しています。

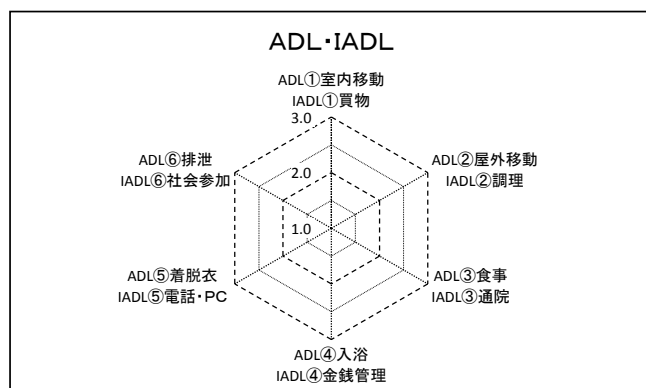
なお、日常生活圏域については、全体の「調査の概要」（4ページ）をご参照ください。

1. ADL（日常生活動作）とIADL（手段的日常生活動作）

圏域別の高齢者の平均像を知るために、設問の回答内容から、「日常生活動作」（ADL：Activities of Daily Living）と「手段的日常生活動作」（IADL：Instrumental Activities of Daily Living）を評価しました。ADLとIADLは共に、自立的な生活が可能かを評価する指標として使われます。

ADLは、日常生活を営む上で普通におこなっている行為や行動のことで、移動や食事、入浴や着脱衣や排泄など日常生活を送るための基本的な動作を指します。IADLは、ADLよりさらに広義かつ複雑で高次の行為や行動のことで、自立した生活を営むためのより複雑で多くの労作が求められる活動を指します。ADLやIADLは、単に「できる」かどうかだけではなく、日常的に「している」かどうかについても含めて評価します。

今回の調査では、ADLとして①室内移動、②屋外移動、③食事、④入浴、⑤着脱衣、⑥排泄を、IADLとして①買物、②調理、③通院、④金銭管理、⑤電話・PC、⑥社会参加を指標として分析しています。それぞれ自立（3点）、一部介助（2点）、全介助（1点）の3段階に点数化しています。圏域別に、個人の点数を合計し人数で割ることによって、各圏域の高齢者の平均点を算出しました。



圏域別の高齢者の平均像を比較するため、平均点を左記のレーダーチャートに図示しました。レーダーチャートでは、最外部が3点（自立）、中心部が1点（全介助）となっており、**圏域別の値が、外側に近いほど、圏域内の高齢者の平均的な自立度が高く、逆に中心に近いほど、圏域内の高齢者が平均的に多くの介助を必要としていることを示しています。**

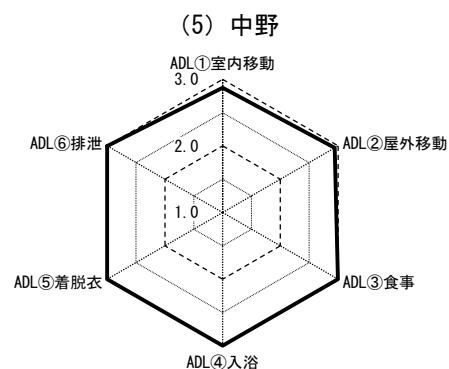
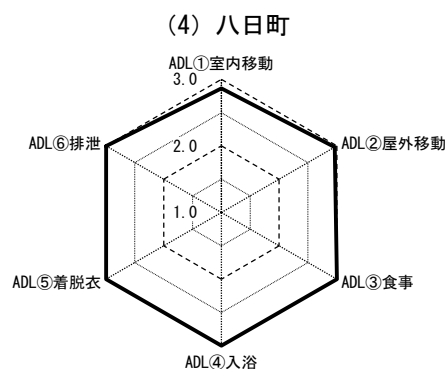
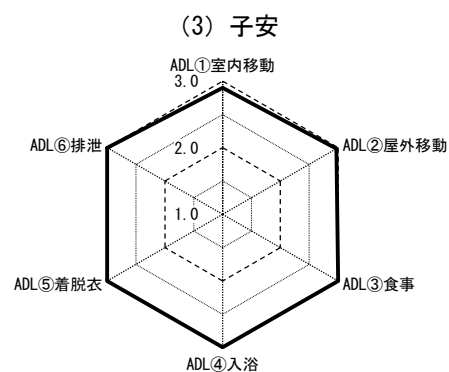
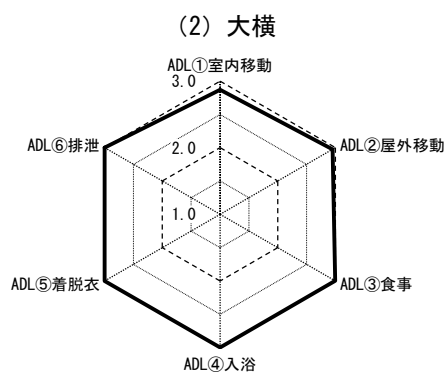
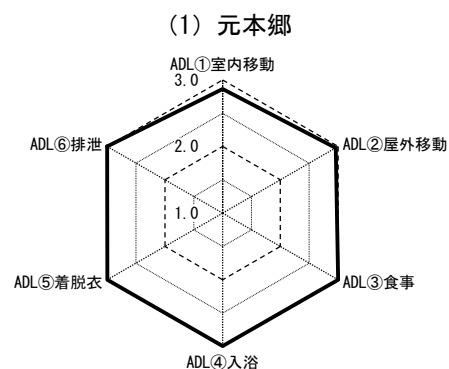
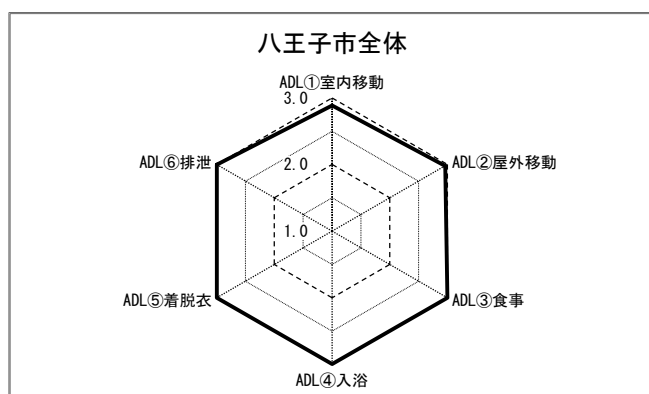
ADLとIADLに関しては、八王子市の高齢者では、自立（3点）の方が大半を占めており、比較的高い値を示しています。そのため、それぞれの項目で「IADL②調理」を除き、全圏域で満点の3点に近く、ほぼこれらの指標について、圏域による差異は見られませんでした。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

①ADL（日常生活動作）

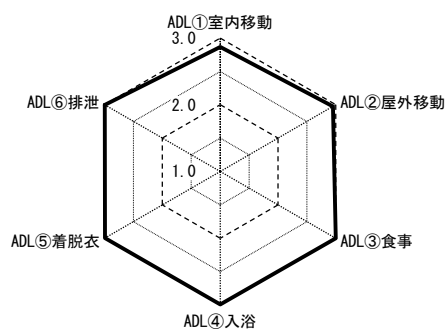
圏域別の高齢者のADLを知るために、下記の表のように8個の設問に対する回答とその組み合わせによって、ADLを6項目で評価します。

ADL	設問	配点	選択肢
①室内移動	立ち上がり	2問とも「はい」は3点、1問が「はい」は2点、2問とも「いいえ」は1点	1. はい 2. いいえ
	5m以上の歩行		
②屋外移動	50m以上の歩行	2問とも「はい」は3点、1問が「はい」は2点、2問とも「いいえ」は1点	1. はい 2. いいえ
	階段昇降		
③食事	食事は自分で食べられるか	3点 2点 1点	1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
④入浴	自分で入浴できるか	3点 2点 1点	1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
⑤着脱衣	自分で着替えができるか	3点 2点 1点	1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない
⑥排泄	自分でトイレができるか	3点 2点 1点	1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

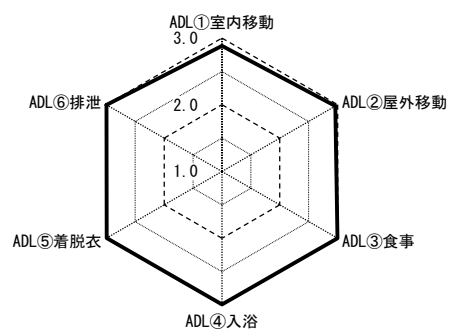


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

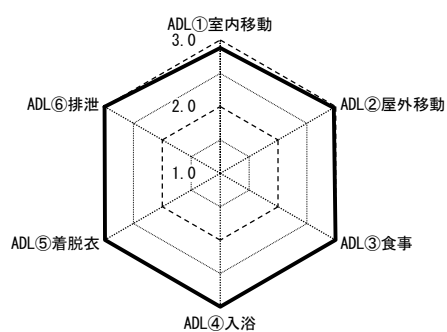
(6) ゆうゆう（大和田）



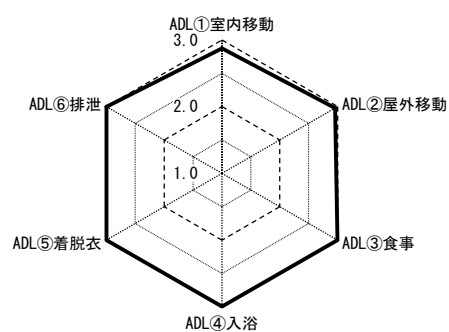
(7) 小宮



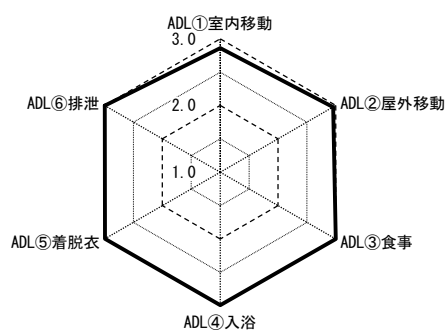
(8) 左入



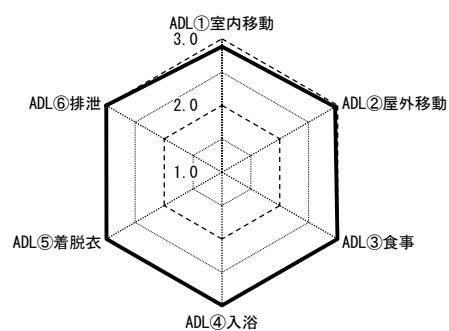
(9) 川口



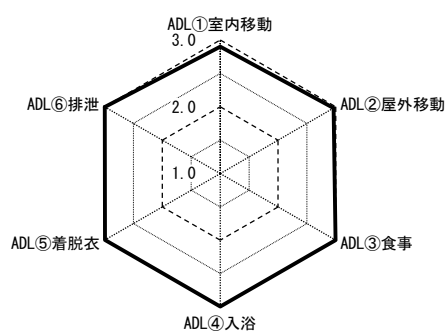
(10) 恩方



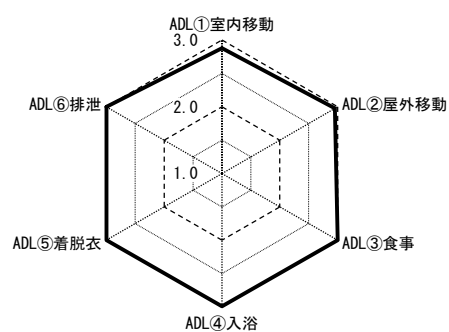
(11) 元八王子



(12) もとはち南

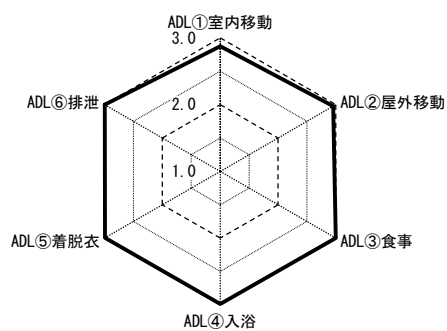


(13) 長房

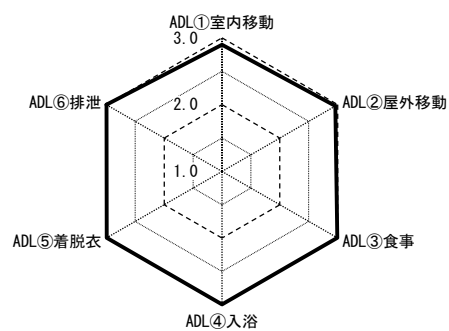


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

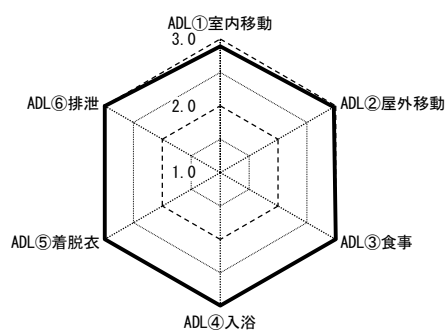
(14) めじろ



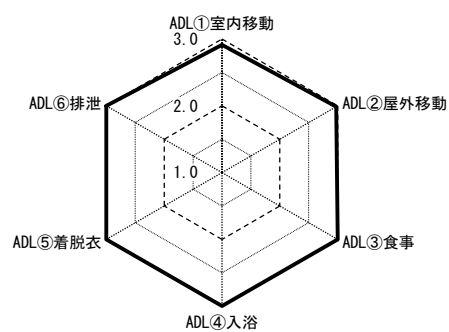
(15) 高尾



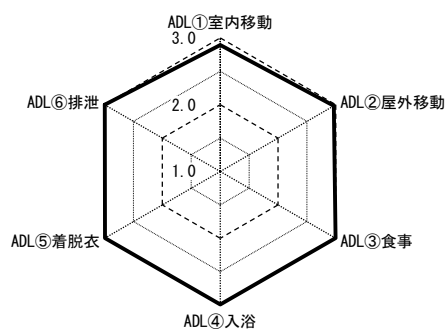
(16) 寺田



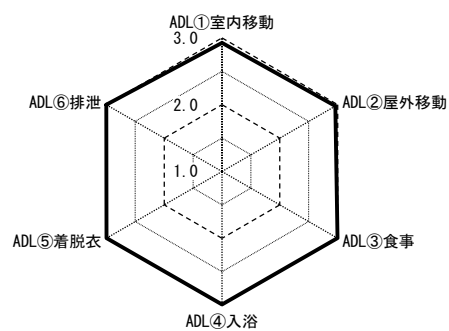
(17) 片倉



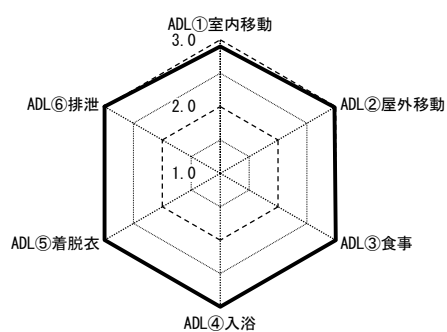
(18) 長沼



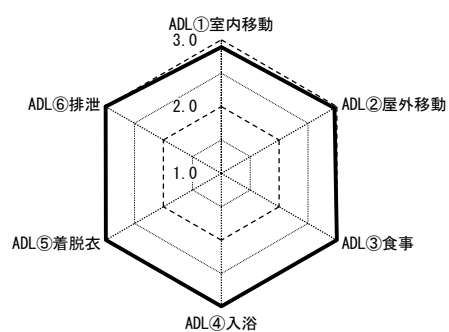
(19) 堀之内



(20) 由木東



(21) 南大沢

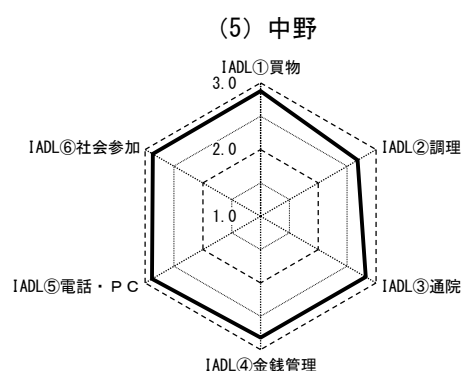
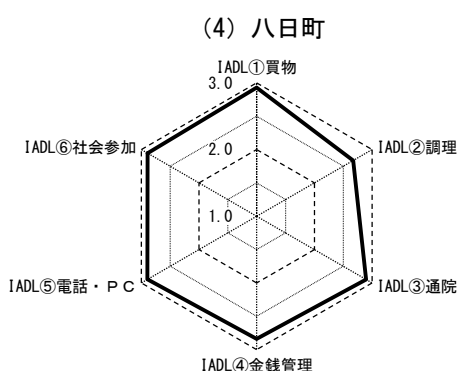
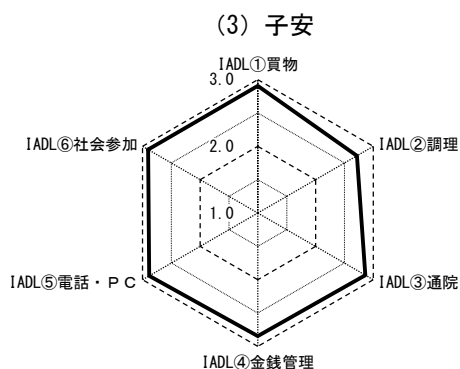
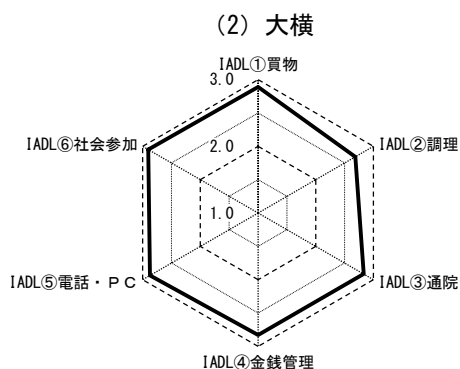
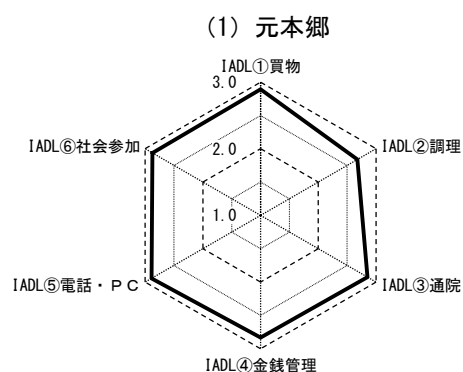
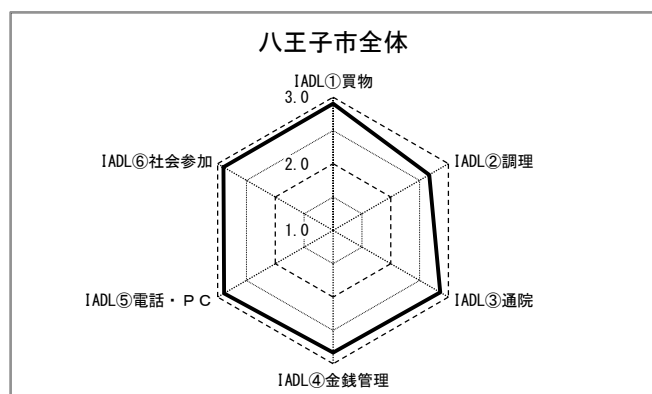


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

② I A D L

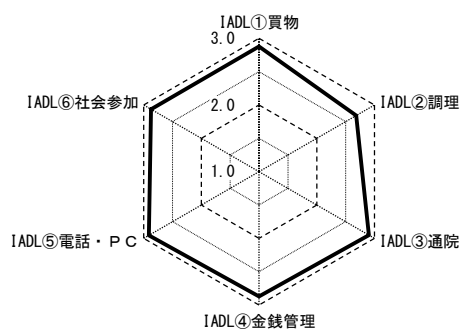
圏域別の高齢者の I A D Lを知るために、下記の表のように10個の設問に対する回答とその組み合わせによって、I A D Lを6項目で評価します。

I A D L	設問	配点	選択肢
①買物	日用品の買い物	3点 2点 1点	1. できるし、している 2. できるがしていない 3. できない
②調理	食事の用意	3点 2点 1点	1. できるし、している 2. できるがしていない 3. できない
③通院	通院に介助が必要か	3点 1点	2. いいえ 1. はい
④金銭管理	請求書の支払い 預貯金のおし入れ	2問とも「できるし、している」は3点、2問とも「できない」は1点、それ以外は2点	1. できるし、している 2. できるがしていない 3. できない
⑤電話・P C	電話	3点 1点	1. はい 2. いいえ
⑥社会参加	新聞購読 本や雑誌の購読 相談にのる 相談する	4問中、3～4問が「はい」は3点、1～2問が「はい」は2点、4問とも「いいえ」は1点	1. はい 2. いいえ

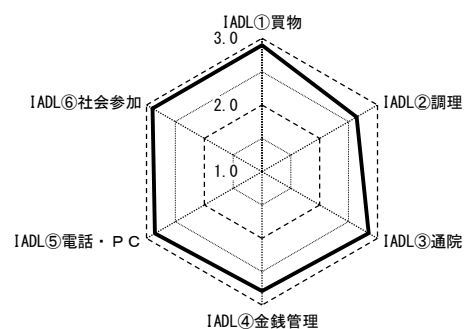


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

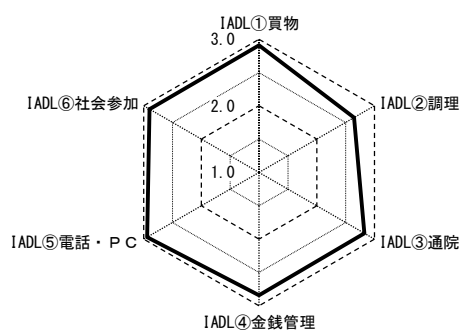
(6) ゆうゆう（大和田）



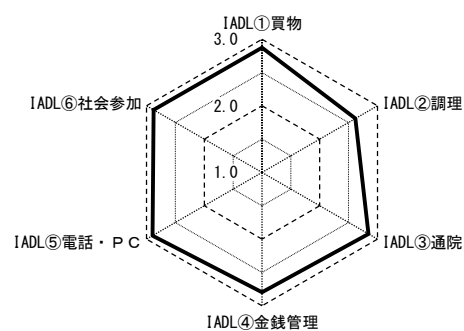
(7) 小宮



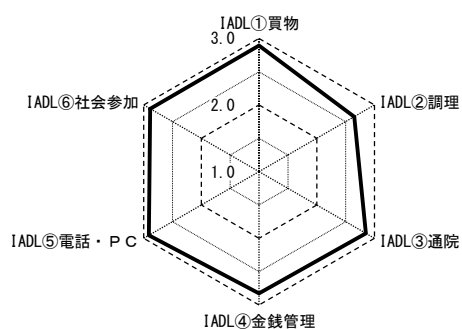
(8) 左入



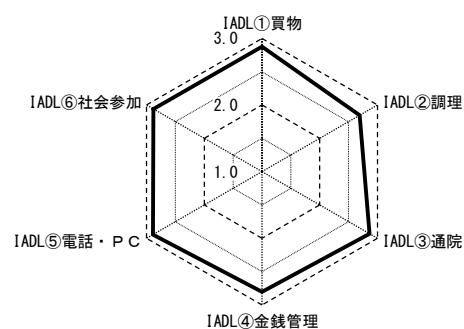
(9) 川口



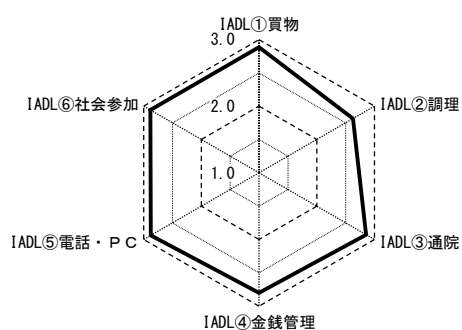
(10) 恩方



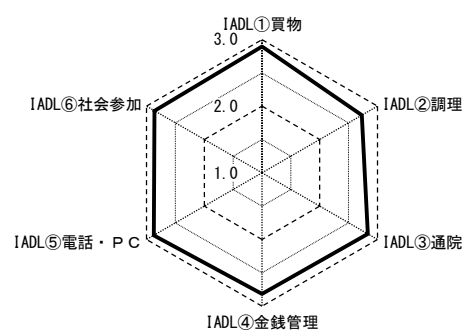
(11) 元八王子



(12) もとはち南

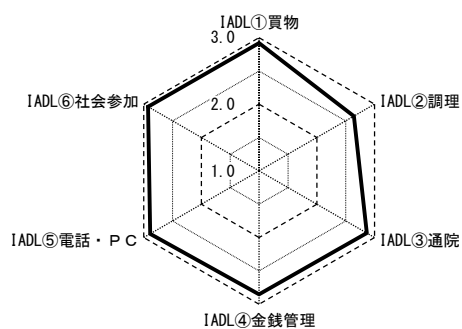


(13) 長房

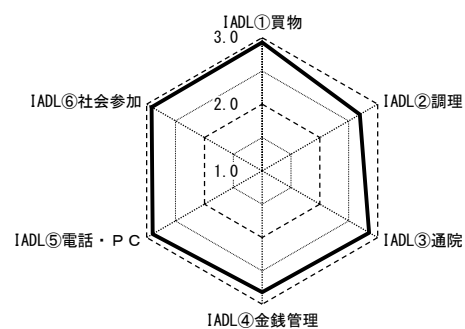


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

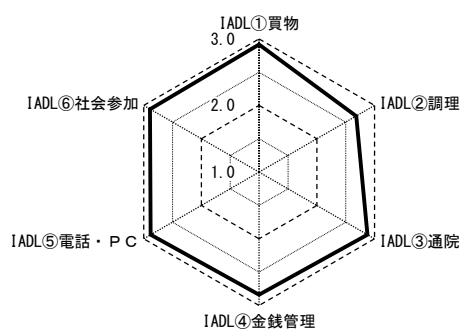
(14) めじろ



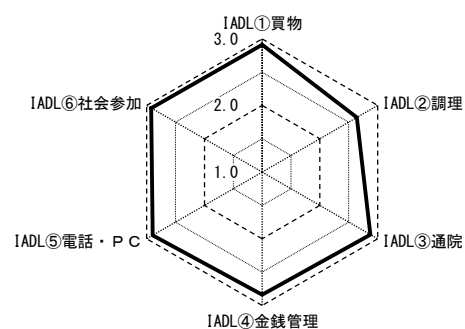
(15) 高尾



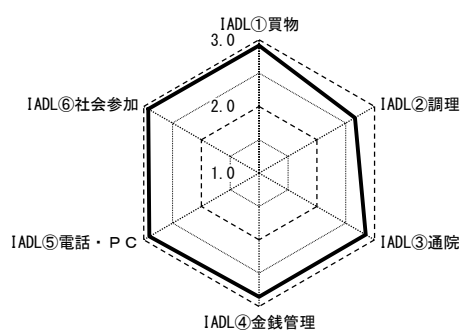
(16) 寺田



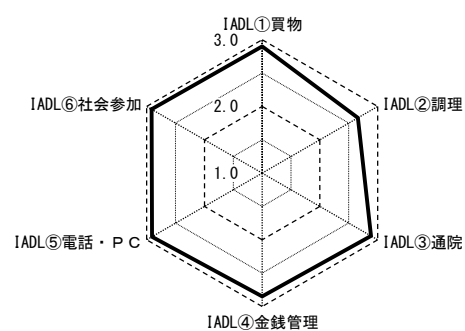
(17) 片倉



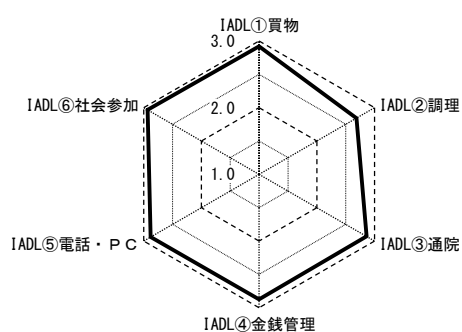
(18) 長沼



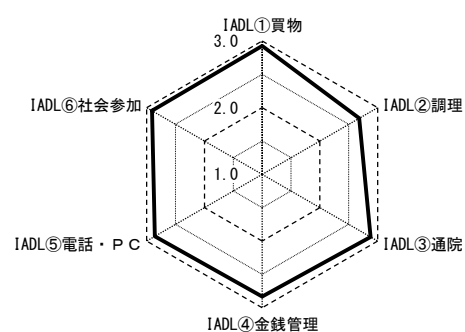
(19) 堀之内



(20) 由木東



(21) 南大沢



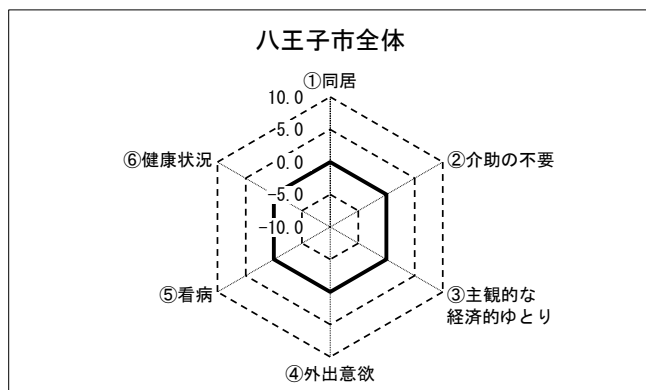
1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

2. 圏域別の暮らしぶりについて

基本的な日常生活の自立の指標であるADLとIADLが、共に圏域別の差異がほとんどなかったため、さらに、調査結果の設問の中から圏域別高齢者像の比較に有用だと思われる項目を選び出し、生活の状況、知的関心、社会参加の3つの区分に分類しました。

生活の状況については、①同居、②介助の不要、③主観的な経済的ゆとり、④外出意欲、⑤看病、⑥健康状況、という6項目を指標として分析しています。知的関心については、①書類の記入、②新聞、③本や雑誌、④健康への関心、⑤見舞い、⑥若年者との会話、⑦趣味、⑧生きがいという8項目を指標として分析しています。社会参加については、①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④老人クラブ、⑤町会・自治会、⑥学習・教養、⑦その他、⑧収入のある仕事という8項目を指標として分析しています。

それぞれの項目について、八王子市全体の値から、各圏域の値がどの程度隔たりがあるかを集計し、圏域別にまとめました。項目ごとの、（各圏域内の高齢者の割合）－（八王子市内全体の高齢者の割合）が±何ポイントなのかをレーダーチャートに図示しています。



左記のレーダーチャートは、例として生活の状況について、基準となる八王子市全体の状況を図示したものです。各項目共に、八王子市全体の割合と等しいことを表す0.0の目盛線を基準として、レーダーチャートの枠が外側に近いほうが八王子市全体の割合よりも値が高く、中心に近いほど八王子市全体の割合より値が低いことを表しています。それぞれの項目について、より

レーダーチャートの枠が大きい圏域が、八王子市全体と比較して状態が良いことが予想されます。

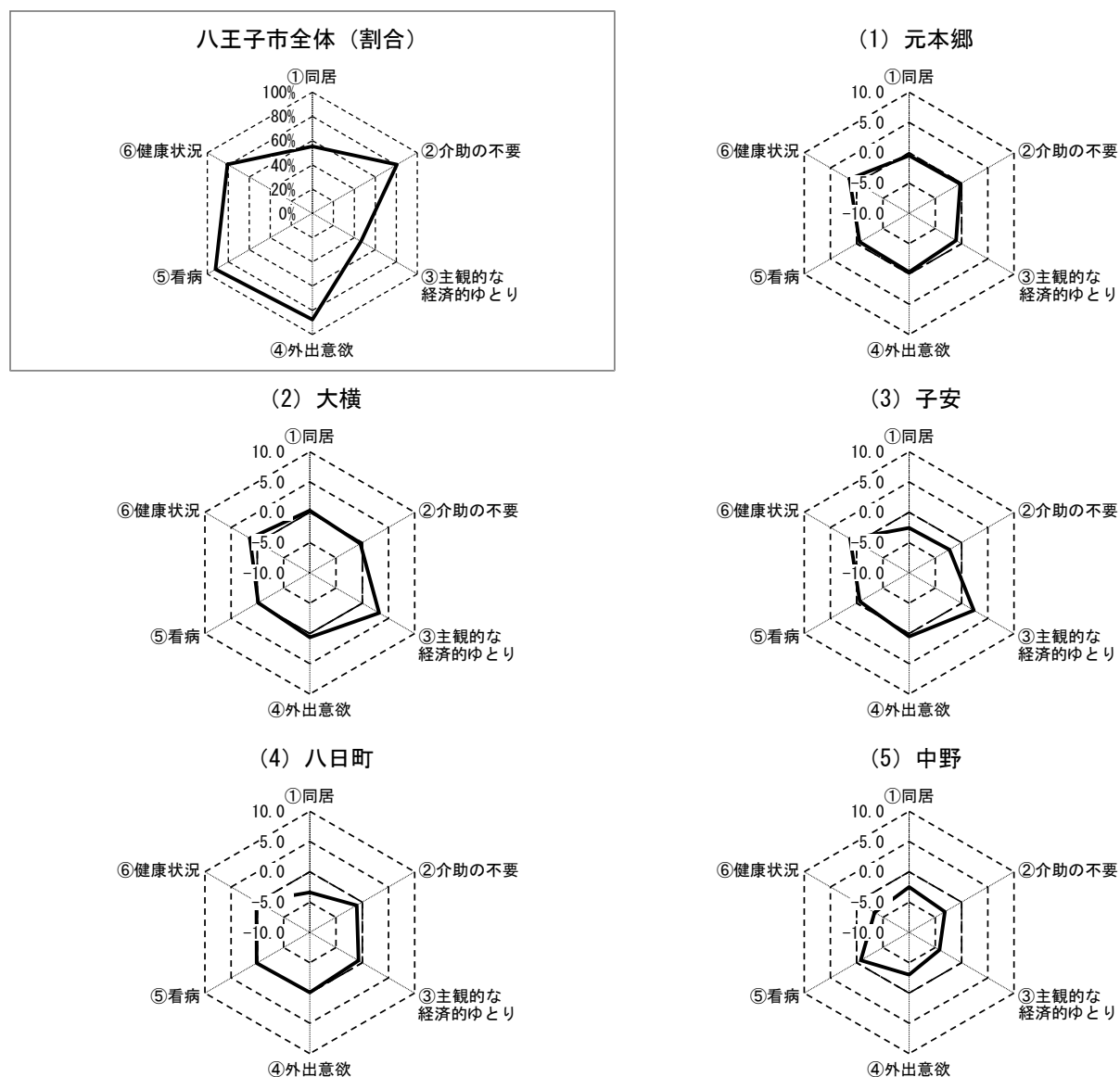
生活の状況と知的関心について15項目全てにおいて、「（17）片倉」、「（19）堀之内」で値が高く、全体的な傾向として八王子市全体と比較して状態が良いことが予想されます。

「（15）高尾」は本や雑誌を読む人が多いものの、八王子市の高齢者の平均像に近くなっています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

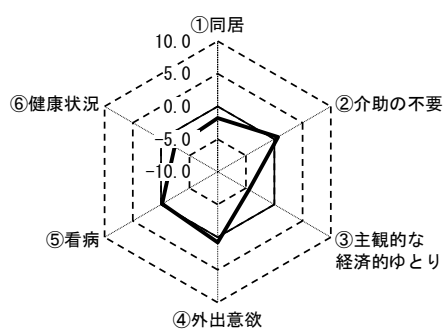
①生活の状況について

圏域別の高齢者の生活の状況について比較するために、調査結果のうち以下の6項目について、八王子市全体の値から、各圏域の値がどの程度隔たりがあるかを集計し、圏域別にまとめました。①同居は「家族など同居（二世帯住宅を含む）」と答えた人の割合、②介助の不要は「介護・介助は必要ない」と答えた人の割合、③主観的な経済的ゆとりは「ゆとりがある」、「ややゆとりがある」と答えた人の割合、④外出意欲は、「外出を控えていない」と答えた人の割合、⑤看病は「誰かしら看病してくれる人がいる」と答えた人の割合、⑥健康状況は、「とても健康」、「まあまあ健康」と答えた人の割合、となっています。

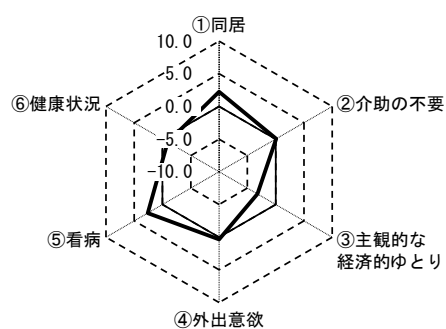


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

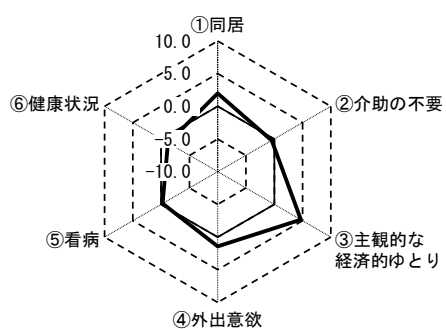
(6) ゆうゆう（大和田）



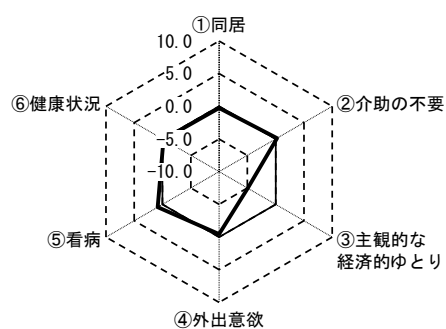
(7) 小宮



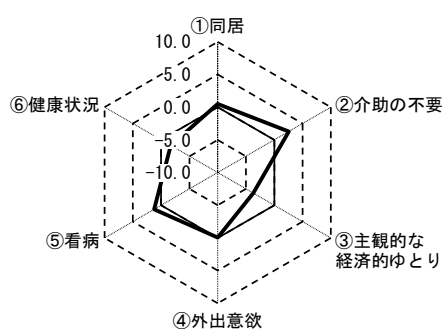
(8) 左入



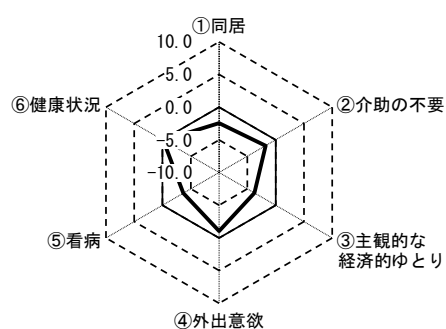
(9) 川口



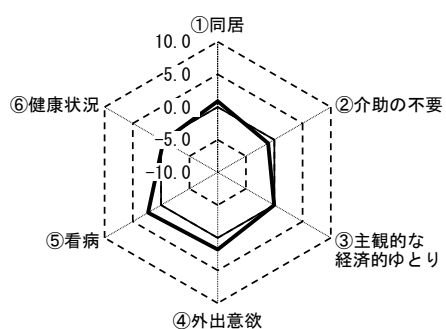
(10) 恩方



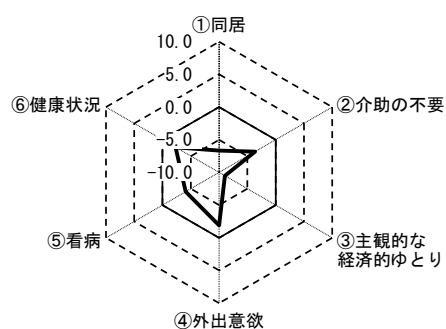
(11) 元八王子



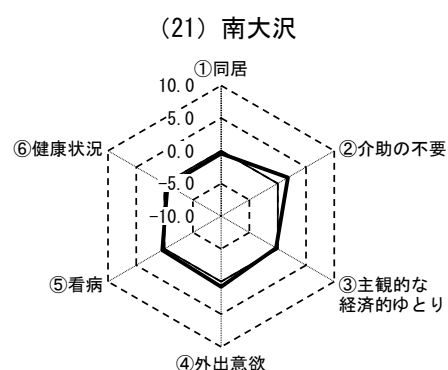
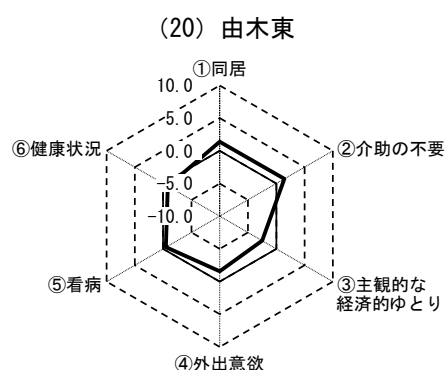
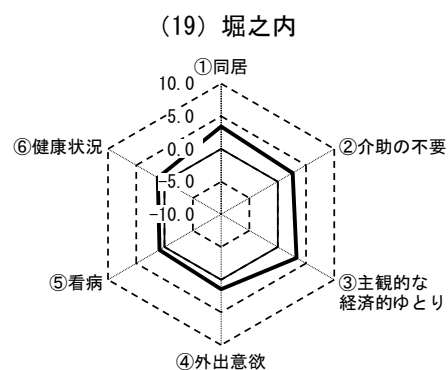
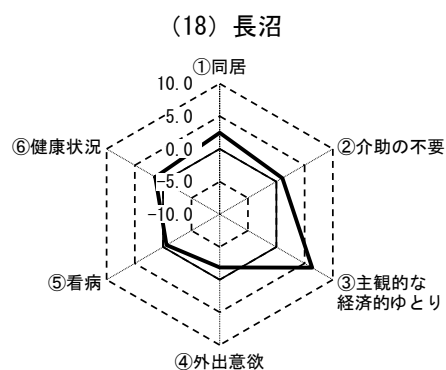
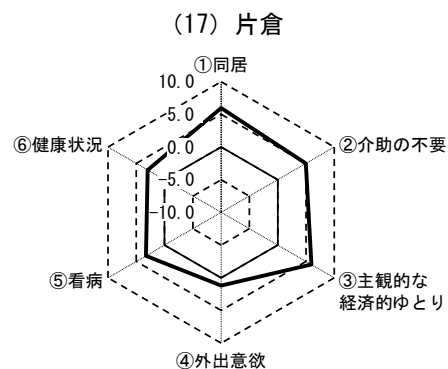
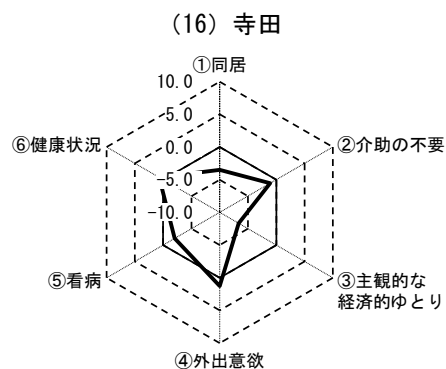
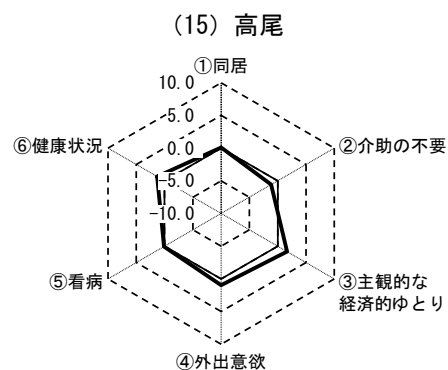
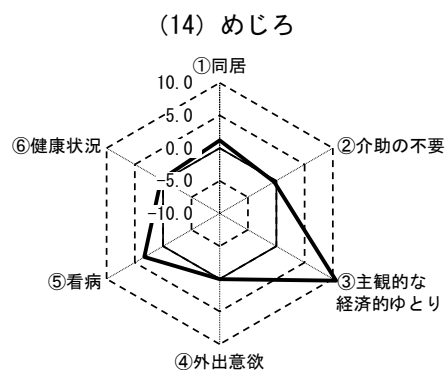
(12) もとはち南



(13) 長房



1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

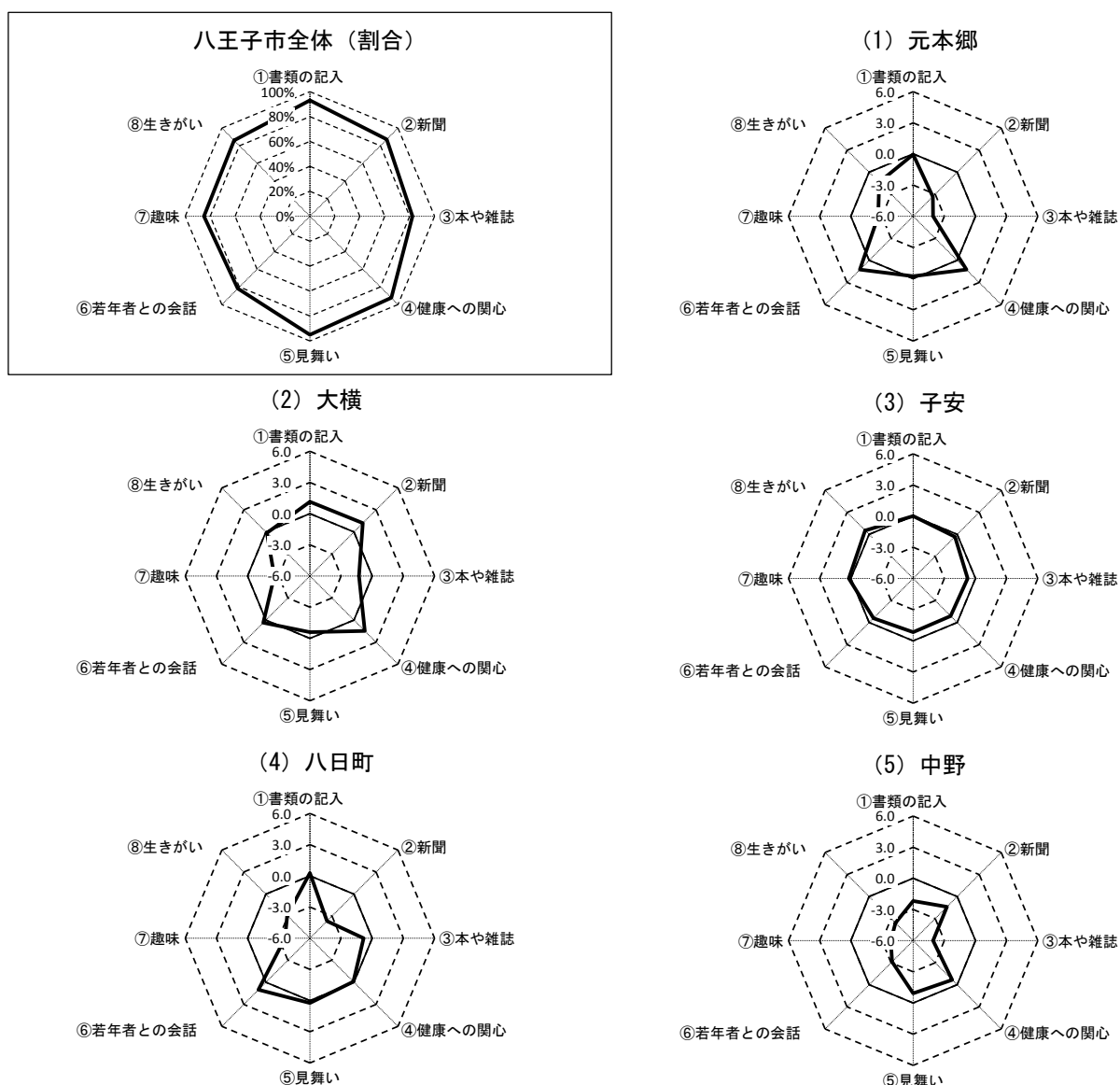


生活の状況について6項目全てにおいて「(17) 片倉」、「(19) 堀之内」が八王子市全体の割合より高い値を示しています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

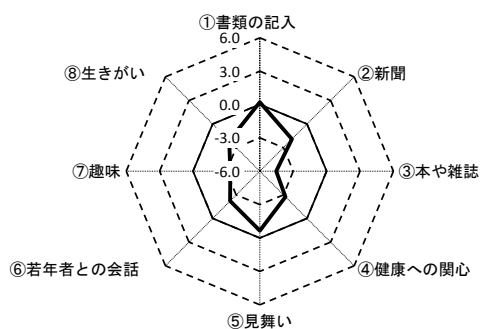
②知的関心について

圏域別の高齢者の知的関心について比較するために、調査結果のうち以下の8項目について、**八王子市全体の値から、各圏域の値がどの程度隔たりがあるかを集計し、圏域別にまとめました。**①書類の記入は「書類の記入ができる」と答えた人の割合、②新聞は「新聞を読んでいる」と答えた人の割合、③本や雑誌は「本や雑誌を読んでいる」と答えた人の割合、④健康への関心は「健康についての情報に関心がある」と答えた人の割合、⑤見舞いは「病人を見舞うことができる」と答えた人の割合、⑥若年者との会話は「若い人に自分から話しかけることがある」と答えた人の割合、⑦趣味は「趣味がある」と答えた人の割合、⑧生きがいは「生きがいがある」と答えた人の割合、となっています。

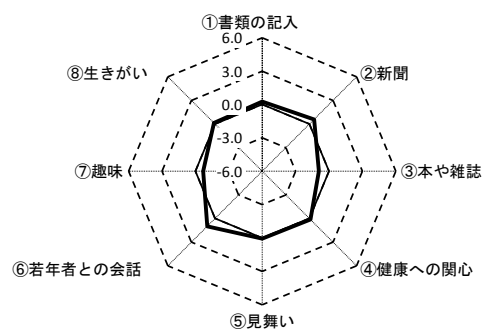


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

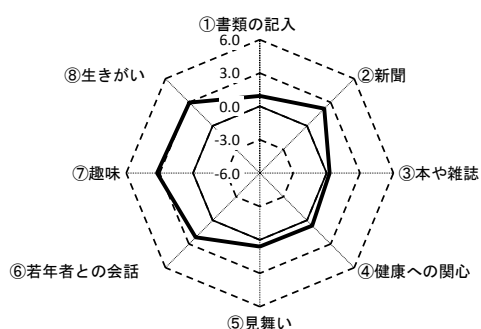
(6) ゆうゆう（大和田）



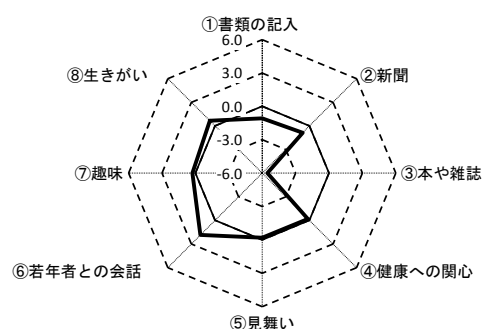
(7) 小宮



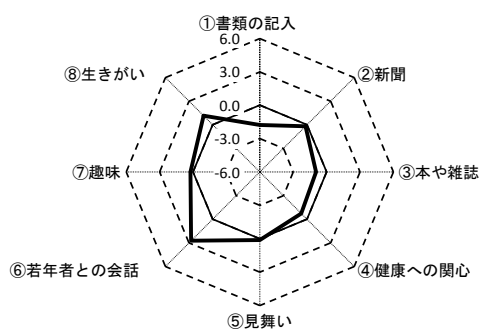
(8) 左入



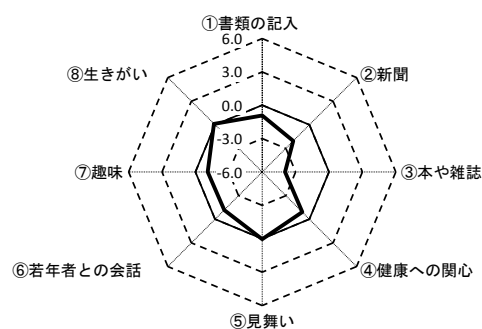
(9) 川口



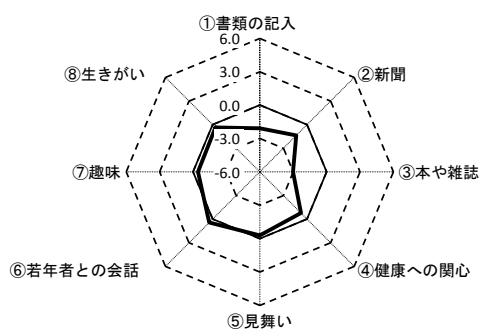
(10) 恩方



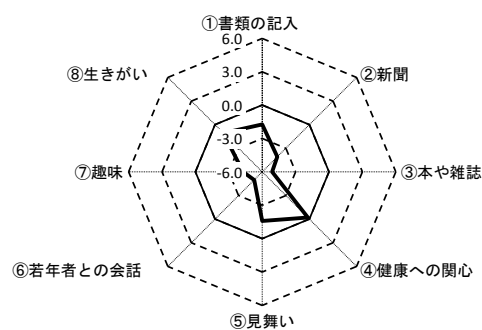
(11) 元八王子



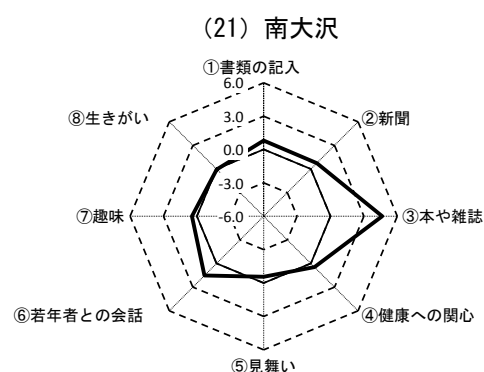
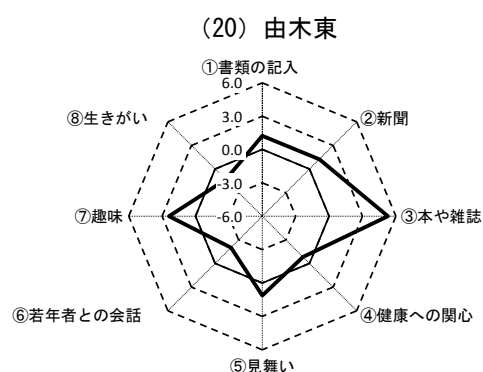
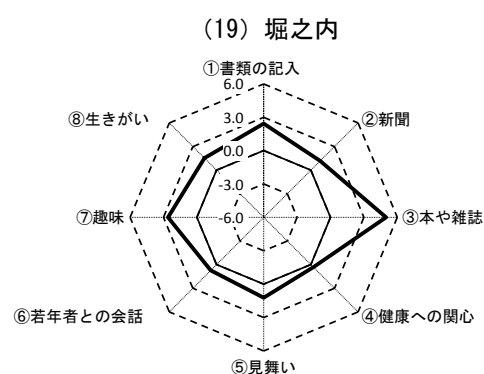
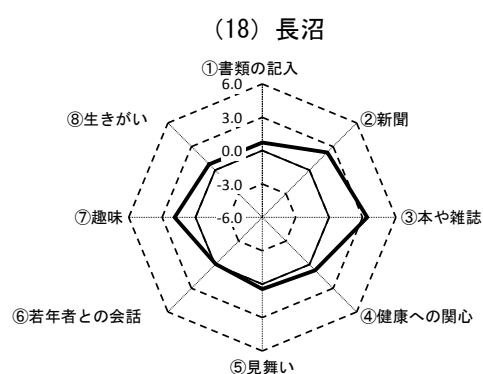
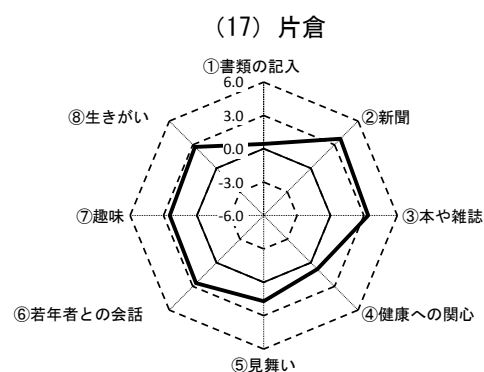
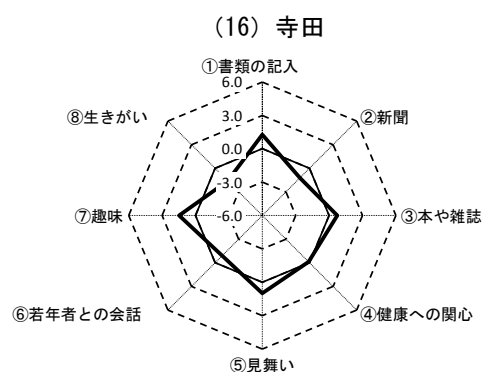
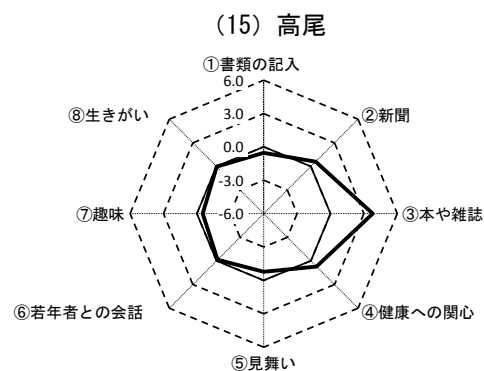
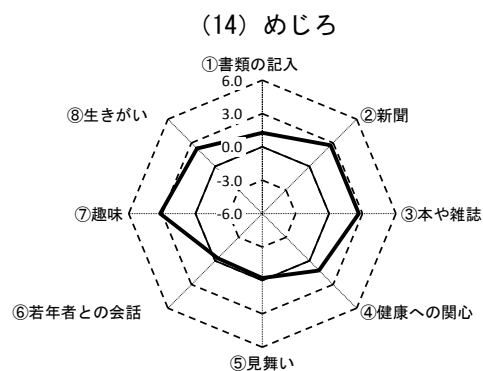
(12) もとはち南



(13) 長房



1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

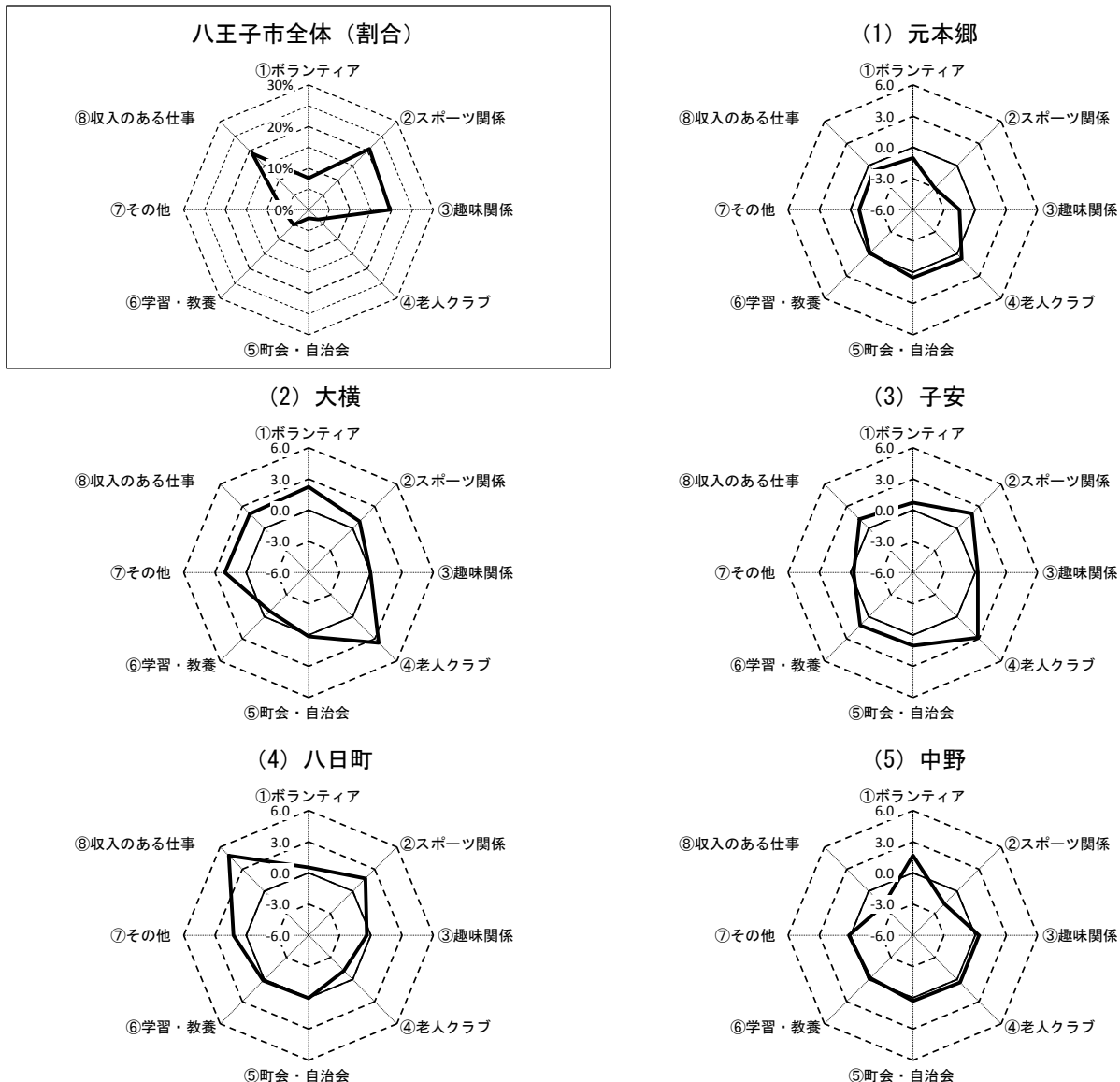


知的関心について8項目全てにおいて「(8) 左入」、「(17) 片倉」、「(19) 堀之内」が八王子市全体の割合より高い値を示しています。

1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

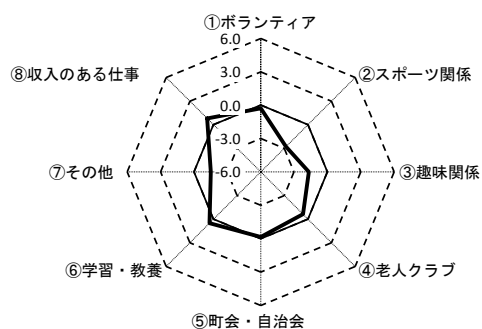
③社会参加について

圏域別の高齢者の社会参加について比較するために、調査結果のうち以下の8項目について、**八王子市全体の値から、各圏域の値がどの程度隔たりがあるかを集計し、圏域別にまとめました。**①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④老人クラブ、⑤町会・自治会、⑥学習・教養、⑦その他、⑧収入のある仕事、のそれぞれの項目は、その項目に関する、グループや会に参加しているか、活動をおこなっているかについて、日常的に参加・活動しているかという観点から、その頻度が「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」と答えた人の割合となっています。

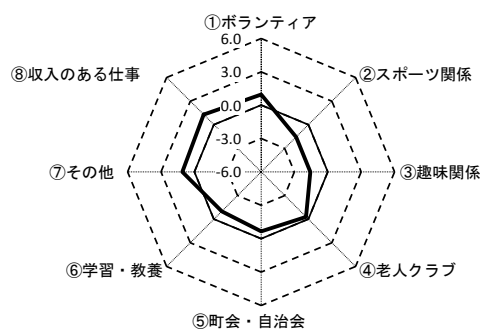


1. 日常生活圏域ニーズ調査結果

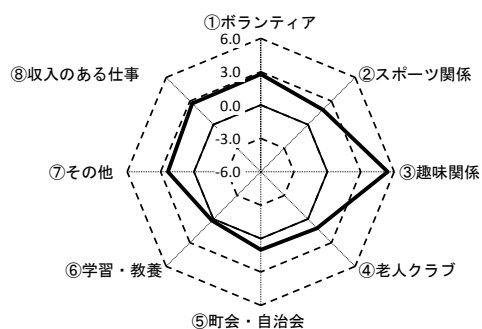
(6) ゆうゆう（大和田）



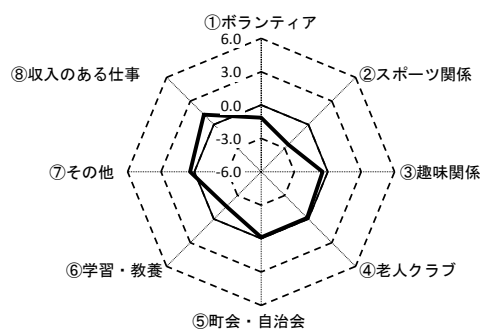
(7) 小宮



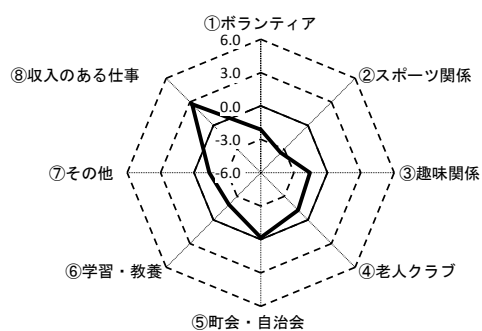
(8) 左入



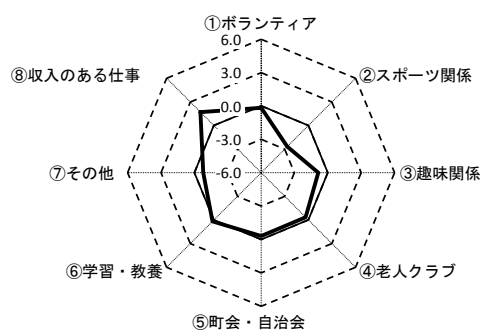
(9) 川口



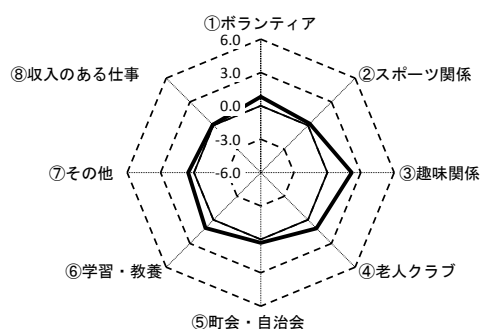
(10) 恩方



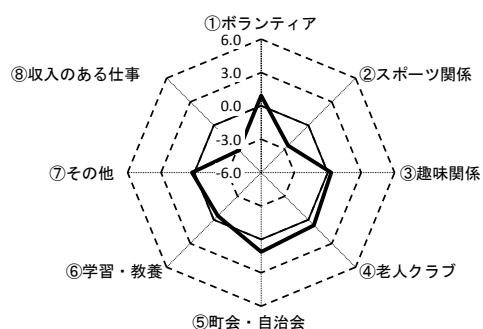
(11) 元八王子



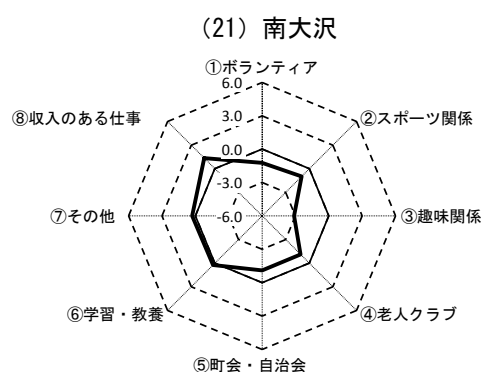
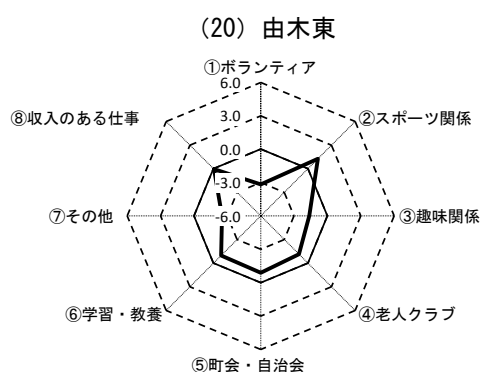
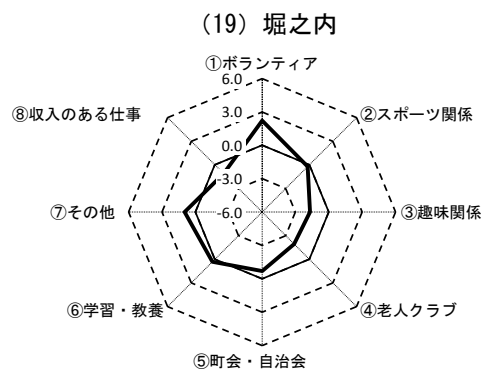
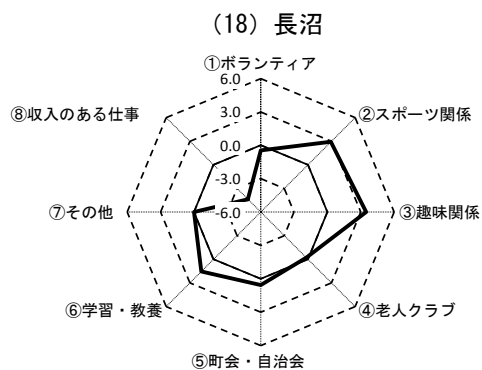
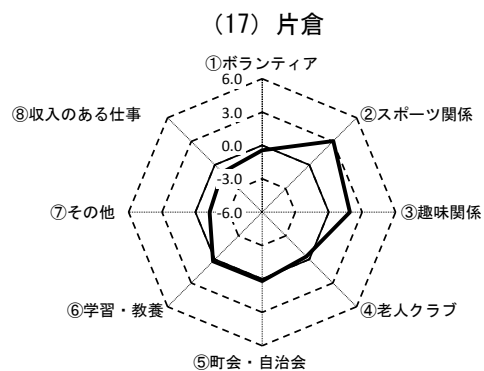
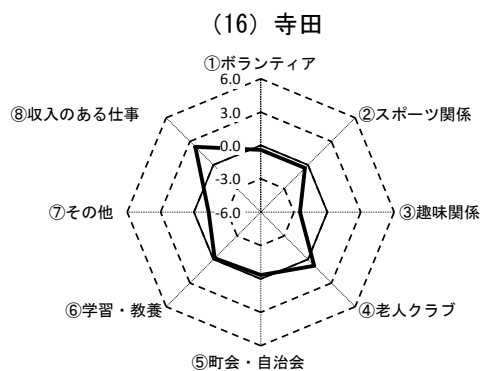
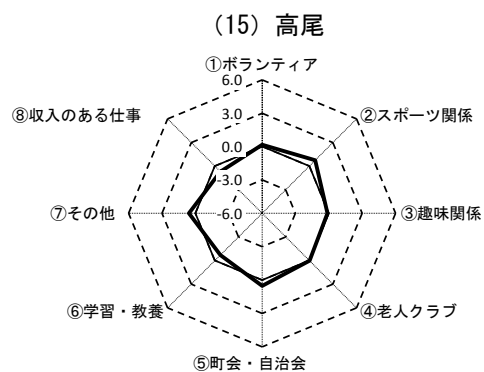
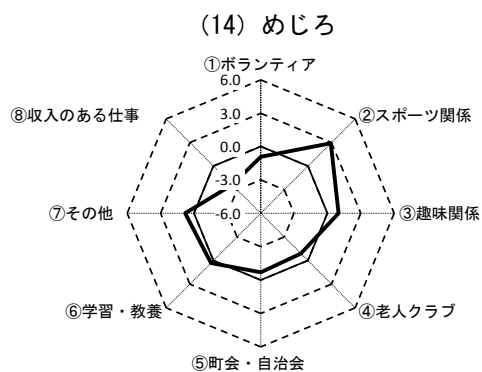
(12) もとはち南



(13) 長房



1. 日常生活圏域ニーズ調査結果



社会参加について8項目全てにおいて「(8) 左入」、「(12) もとはち南」が八王子市全体の割合より高い値を示しています。

高齢者の生活実態調査票

(宛名ラベル)

「高齢者の生活実態調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。
さて、今回「けんこう応援シート」と併せて、「高齢者の生活実態調査票」をお送りしています。これは、現在本市が取り組んでいる「高齢者計画・第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）」策定の基礎資料とするために実施するものです。

調査では、皆さんのお体や生活の様子などをおうかがいし、より皆さんの生活実態に
応じたサービス提供につなげていくことをめざします。つきましては、大変忙しい中恐縮
ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

なお、調査結果は、八王子市個人情報保護条例に基づいて適正に取扱い、上記計画の策定
以外の目的で使用することはありません。

記入に際してのお願い

○この調査票は、宛名のご本人がご記入ください。

ご本人で記入が難しい場合は、ご家族がご本人の意見を聞いて代わりに、または一緒に
回答されてもかまいません。

○全ての質問にご回答ください。

○ご回答は、当ではまる選択肢の番号を○で囲んで（数字記入欄は数字を記入して）ください。

○各質問は、現在のご様子をおたずねするものです。あまり難しく考えずにご回答ください。

○ご記入後は、記入漏れがないことをお確かめのうえ、「けんこう応援シート」と一緒に、

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成25年12月17日（火）までに
ポストに投函してください。

調査票の内容に関する
お問い合わせ先

☎0120-927-168（通話無料）

平日（土日・祝祭日・年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時30分

※問い合わせ対応は、アシスト株式会社に委託して実施しています。

八王子市 福祉部 高齢者いきいき課（元気応援担当）

電話（042）620-7243 FAX（042）624-7720

当ではまる選択肢の番号を○で囲み、数字記入欄は数字を記入してください。

I あなたのご家族や生活状況についておたずねします

問1 家族構成を教えてください。（○は1つ）

1. 一人暮らし →問2へ
2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）
3. その他（施設入所等） →問2へ

問1-1（家族などと同居されている方のみ）

ご自分を含めて何人で暮らしていますか。

人

問1-2（家族などと同居されている方のみ）

同居されている方はどなたですか。（○はいくつでも）

1. 配偶者（夫・妻） 3. 娘 5. 孫 7. その他
2. 息子 4. 子の配偶者 6. 兄弟・姉妹

問1-3（家族などと同居されている方のみ）

日中、一人になることがありますか。（○は1つ）

1. よくある 2. たまにある 3. ない

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）

1. 介護・介助は必要ない → 問3へ

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在を受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問2-1（介護・介助が必要な方のみ）

介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。（○はいくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 8. 糖尿病
2. 心臓病 9. 視覚・聴覚障害
3. がん（悪性新生物） 10. 骨折・転倒
4. 呼吸器の病気（肺炎・肺がん等） 11. 背椎損傷
5. 関節の病気（リウマチ等） 12. 高齢による衰弱
6. 認知症（アルツハイマー病等） 13. その他（ ）
7. パーキンソン病 14. わからない

Ⅱ 運動・外出についておたずねします

問 1 5メートル以上歩くことができますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2 外出を控えていますか。

1. はい	2. いいえ ⇒ 問3へ
-------	--------------

問 2-1 (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか。
(○はいくつでも)

1. 病気	6. 目の障害
2. 障害 (脳卒中の後遺症など)	7. 外での楽しみがない
3. 足腰などの痛み	8. 経済的に出られない
4. トイレの心配 (失禁など)	9. 交通手段がない
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	10. その他 ()

問 3 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(A・Bそれぞれ○は1つ)

A 買 物				
1. ほぼ毎日	2. 週 4～5日	3. 週 2～3日	4. 週 1日	5. 週 1日未満
B 散 歩				
1. ほぼ毎日	2. 週 4～5日	3. 週 2～3日	4. 週 1日	5. 週 1日未満

問 4 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩	8. 病院や施設の送迎バス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす (カート)
4. 自動車 (自分で運転)	11. 歩行器やシルバーカー
5. 自動車 (人に乗せてもらう)	12. タクシー
6. 電車	13. その他 ()
7. 路線バス	

Ⅲ 歩行についておたずねします

問 1 背中が丸くなってきましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 3 杖を使っていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2-2 (介護・介助を受けている方のみ)

主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○は1つ)

1. 配偶者 (夫・妻)	4. 子の配偶者	7. ヘルパー
2. 息子	5. 孫	8. その他 ()
3. 娘	6. 兄弟・姉妹	

問 2-3 (介護・介助を受けている方のみ)

主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。(○は1つ)

1. 65歳未満	2. 65～74歳	3. 75～84歳	4. 85歳以上
----------	-----------	-----------	----------

問 3 年金の種類は次のどれですか。(○は1つ)

1. 国民年金	3. 厚生年金 (企業年金なし)	5. 無年金
2. 厚生年金 (企業年金あり)	4. 共済年金	6. その他

問 4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 苦しい	3. ややゆとりがある
2. やや苦しい	4. ゆとりがある

問 5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

1. 一戸建て	2. 集合住宅 (施設等を含む)
---------	------------------

問 6 お住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 持家	4. 借間
2. 民間賃貸住宅	5. その他
3. 公営賃貸住宅 (市・都営、都市機構、公社等)	

問 7 お住まい (主に生活する部屋) は2階以上にありますか。

1. はい	2. いいえ ⇒ Ⅱ へ
問 7-1 (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか。	
1. はい	2. いいえ

IV 口腔・栄養についておたずねします

問 1 歯磨き（人にやってもう場合も含む）を毎日していますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 3 入れ歯（部分入れ歯を含む）を使用していますか。

1. はい	2. いいえ ⇒ 問 4へ
-------	---------------

問 3-1（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 3-2（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 4 1日の食事の回数は何回ですか。（○は1つ）

1. 朝昼晩の3食	3. 朝昼の2食	5. 1食
2. 朝晩の2食	4. 昼晩の2食	6. その他

問 5 食事を抜くことがありますか。（○は1つ）

1. 毎日ある	3. 月に何度かある
2. 週に何度かある	4. ほとんどない

問 6 自分一人ではなく、どなたかと食事をともにする機会はありますか。

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない ⇒ Vへ

問 6-1（どなたかと食事をともにする機会がある方のみ）
食事をともにする人はどなたですか。（○はいくつでも）

1. 家族	3. デイサービスの仲間
2. 近所の人や友人	4. その他

V 記憶や判断についておたずねします

問 1 5分前のことが思い出せますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。（○は1つ）

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
4. ほとんど判断できない

問 3 人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○は1つ）

1. 伝えられる	3. あまり伝えられない
2. いくらか困難であるが、伝えられる	4. ほとんど伝えられない

VI 日常生活についておたずねします

問 1 日用品の買物をしていますか。（○は1つ）

1. している ⇒ 問 2へ
2. できるが、していない
3. できない

問 1-1（日用品の買物をしていない、できない方のみ）
日用品の買物をする人は主にどなたですか。（○は1つ）

1. 同居の家族	3. ヘルパー	5. その他
2. 別居の家族	4. 配達を依頼	

問 2 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）

1. している ⇒ 問 3へ
2. できるが、していない
3. できない

問 2-1（自分で食事の用意をしていない、できない方のみ）
食事の用意をする人は主にどなたですか。（○は1つ）

1. 同居の家族	3. ヘルパー	5. その他
2. 別居の家族	4. 配食サービス利用	

問 3 請求書等のお金の支払いをしていますか。（○は1つ）

1. している	2. できるが、していない	3. できない
---------	---------------	---------

VII 社会参加についておたずねします

問 1 年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 2 新聞を読んでいますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 3 本や雑誌を読んでいますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 4 健康についての記事や番組に関心がありますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 5 家族や友人が病気になるたとき、病人を見舞うことができますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 6 若い人に自分から話しかけることができますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 7 趣味はありますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 8 生きがいはありますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 9 次のグループや会に、どのくらいの頻度で参加していますか。（それぞれ○は1つ）

（1）ボランティアのグループ

1. 週4回以上	3. 週1回	5. 年に数回
2. 週2～3回	4. 月1～3回	6. 参加していない

（2）スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上	3. 週1回	5. 年に数回
2. 週2～3回	4. 月1～3回	6. 参加していない

（3）趣味関係のグループ

1. 週4回以上	3. 週1回	5. 年に数回
2. 週2～3回	4. 月1～3回	6. 参加していない

問 4 食事は自分で食べられますか。（○は1つ）

1. 食べられる
2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があれば食べられる
3. 食べられない

問 5 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。（○は1つ）

1. 受けない	2. 一部介助が必要	3. 全面的な介助が必要
---------	------------	--------------

問 6 自分ひとりで座っていることができますか。（○は1つ）

1. できる	2. 支え（背もたれや人の手）が必要	3. 支えがあってもできない
--------	--------------------	----------------

問 7 自分で洗面や歯磨き（入れ歯の手入れ）ができますか。（○は1つ）

1. できる	2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる	3. できない
--------	----------------------------	---------

問 8 自分でトイレ（衣服の上げ下ろし、用足しなど）ができますか。（○は1つ）

1. できる	2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる	3. できない
--------	----------------------------	---------

問 9 自分で入浴ができますか。（○は1つ）

1. できる	2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる	3. できない
--------	----------------------------	---------

問 10 50メートル以上続けて歩くことができますか。（○は1つ）

1. できる	2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	3. できない
--------	---------------------------	---------

問 11 階段を昇り降りできますか。（○は1つ）

1. できる	2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	3. できない
--------	---------------------------	---------

問 12 自分で着替えができますか。（○は1つ）

1. できる	2. 一部介助（他人に手伝ってもらう）があればできる	3. できない
--------	----------------------------	---------

問 13 大便の失敗をすることがありますか。（○は1つ）

1. ない	2. ときどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

問 14 尿漏れや尿失禁をすることがありますか。（○は1つ）

1. ない	2. ときどきある	3. よくある
-------	-----------	---------

問 15 炊事、洗濯、掃除、ごみ出しなど、一通りの家事ができていますか。

1. できている	2. できていない
----------	-----------

問 11

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいます。(○はいくつでも)

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいいますか。

1. 配偶者

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

7. その他

2. 同居の子ども

5. 近隣

()

3. 別居の子ども

6. 友人

8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいいますか。

1. 配偶者

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

7. その他

2. 同居の子ども

5. 近隣

()

3. 別居の子ども

6. 友人

8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいいますか。

1. 配偶者

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

7. その他

2. 同居の子ども

5. 近隣

()

3. 別居の子ども

6. 友人

8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいいますか。

1. 配偶者

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

7. その他

2. 同居の子ども

5. 近隣

()

3. 別居の子ども

6. 友人

8. そのような人はいない

問 12

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手はどなたですか。(○はいくつでも)

1. 自治会・町会・老人クラブ

5. 市役所・高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)

3. ケアマネジャー

6. その他

4. 医師・歯科医師・看護師

7. そのような人はいない

問 13

友人関係についておうかがいます。

(1) 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. 会っていない

(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。(○は1つ)

1. 0人(いない)

3. 3～5人

5. 10人以上

2. 1～2人

4. 6～9人

(3) よく会う友人・知人とはどのような関係ですか。(○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人

5. 趣味や関心が同じ友人

2. 幼なじみ

6. ボランティア活動等での友人

3. 学生時代の友人

7. その他

4. 仕事での同僚・元同僚

8. そのような人はいない

(4) 老人クラブ

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. 参加していない

(5) 町会・自治会

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. 参加していない

(6) 学習・教養サークル

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. 参加していない

(7) その他の団体や会

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. 参加していない

問 10

次の活動を、どのくらいの頻度でおこなっていますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. していない

(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. していない

(3) 子どもを育てている親を支援する活動

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. していない

(4) 地域の生活環境の改善(美化)活動

1. 週4回以上

3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. していない

(5) 収入のある仕事

1. 週4回以上

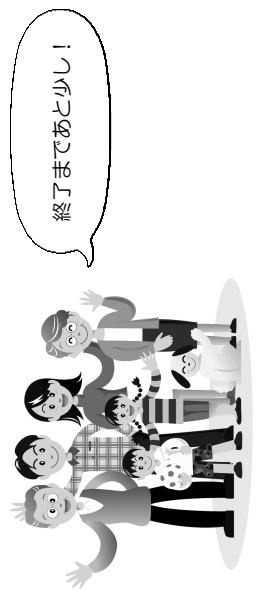
3. 週1回

5. 年に数回

2. 週2～3回

4. 月1～3回

6. していない



VIII 健康についておたずねします

問 1 普段、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つ)

1. とても健康

2. まあまあ健康

3. あまり健康でない

4. 健康でない

問 2 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

1. 高血圧

2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)

3. 心臓病

4. 糖尿病

5. 高脂血症 (脂質異常)

6. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)

7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

8. 腎臓・前立腺の病気

9. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)

10. 外傷 (転倒・骨折等)

11. がん (悪性新生物)

12. 血液・免疫の病気

13. うつ病

14. 認知症 (アルツハイマー病等)

15. パーキンソン病

16. 目の病気

17. 耳の病気

18. その他 ()

19. ない

問 3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(○は1つ)

1. 1種類

2. 2種類

3. 3種類

4. 4種類

5. 5種類以上

6. 飲んでいない

問 4 現在、病院・医院 (診療所、クリニック) に通院していますか。

1. はい

2. いいえ ⇒ 問 5へ

問 4-1 (通院している方のみ) その頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

1. 週1回以上

2. 月2〜3回程度

3. 月1回程度

4. 2ヶ月に1回程度

5. 3ヶ月に1回程度

問 4-2 (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。

1. はい

2. いいえ

問 5 お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む

2. 時々飲む

3. ほとんど飲まない

4. ちともと飲まない

問 6 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている

2. 時々吸っている

3. 吸っていたがやめた

4. ちともと吸っていない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入漏れがないことを確かめのうえ、「けんこう応援シート」と一緒に同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

2. 高齢者意識調査結果

1. あなたご自身について	2-1
2. あなたのお住まいについて	2-8
3. あなたの健康状態などについて	2-14
4. お仕事について	2-19
5. 運動について	2-22
6. 高齢者あんしん相談センターについて	2-24
7. 高齢者の「サロン」について	2-27
8. 見守り訪問や地域支援について	2-28
9. 老人クラブについて	2-31
10. 防災について	2-33
11. 「終活」などについて	2-36
12. 「看取（みと）り」について	2-39
13. 成年後見制度などについて	2-41
14. 認知症について	2-43
15. 介護予防や介護保険制度などについて	2-45
16. その他、ご意見など	2-49
【資料】調査票	2-58

高齢者意識調査の概要

1. 調査対象者

平成26年4月1日時点において、要支援・要介護認定を受けていない市内在住の65歳以上の高齢者1,400名を、住民基本台帳から無作為抽出

2. 調査方法

郵送配布、郵送回収

3. 調査期間

平成26年5月30日（金）～6月18日（水）

4. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率
高齢者意識調査	1,400	995	71.1%

調査結果の見方

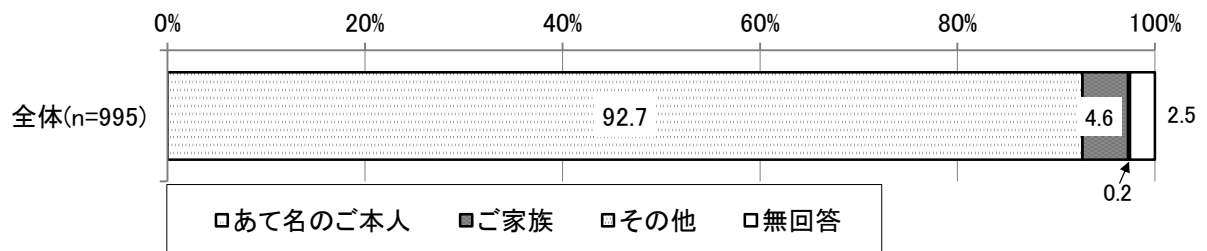
- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
 - (2) 集計した数値（％）は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100％にならないことがあります。
 - (3) 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100％を超えます。
 - (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
 - (5) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
 - (6) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- ※ 平成22年度に実施した調査と共通する内容の設問については、参考値として比較図を掲載しています。

2. 高齢者意識調査結果

1. あなたご自身について

問1 この調査票はどなたが記入されていますか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. あて名のご本人（92.7%） | 3. その他（0.2%） |
| 2. ご家族（4.6%） | |

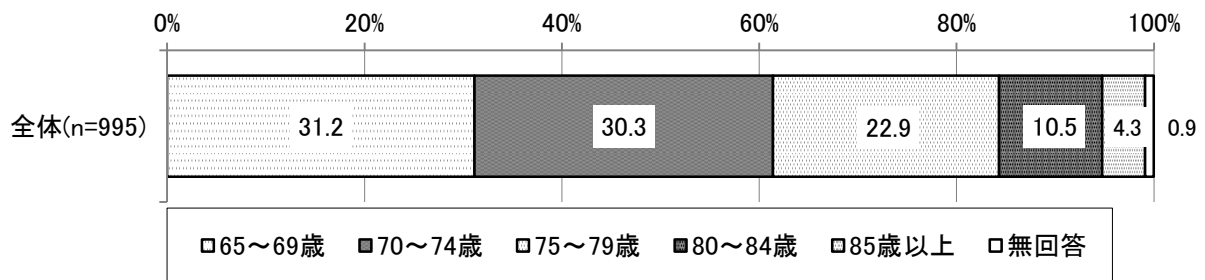


調査票の記入者は、「あて名のご本人」が最も多く92.7%、次いで「ご家族」が4.6%となっています。「その他」は、「施設職員」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問2 あなたの年齢と性別についてお答えください。

①年齢（数字を記入）

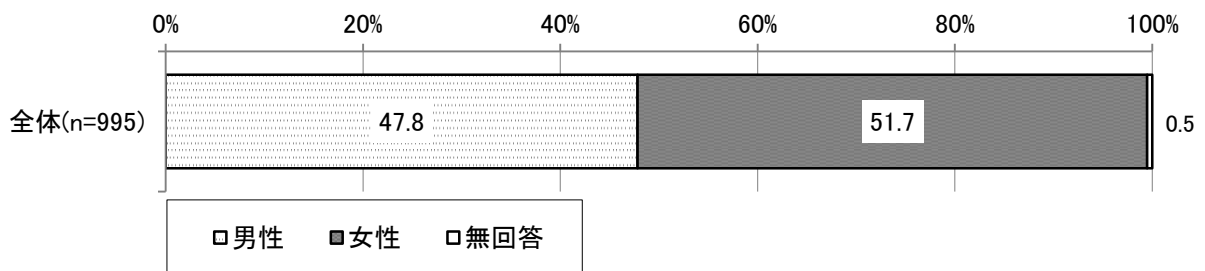


回答者が記入した年齢を集計したところ、「65～69歳」が最も多く31.2%、次いで「70～74歳」が30.3%、「75～79歳」が22.9%となっています。

②性別（○はひとつ）

1. 男性（47.8%）

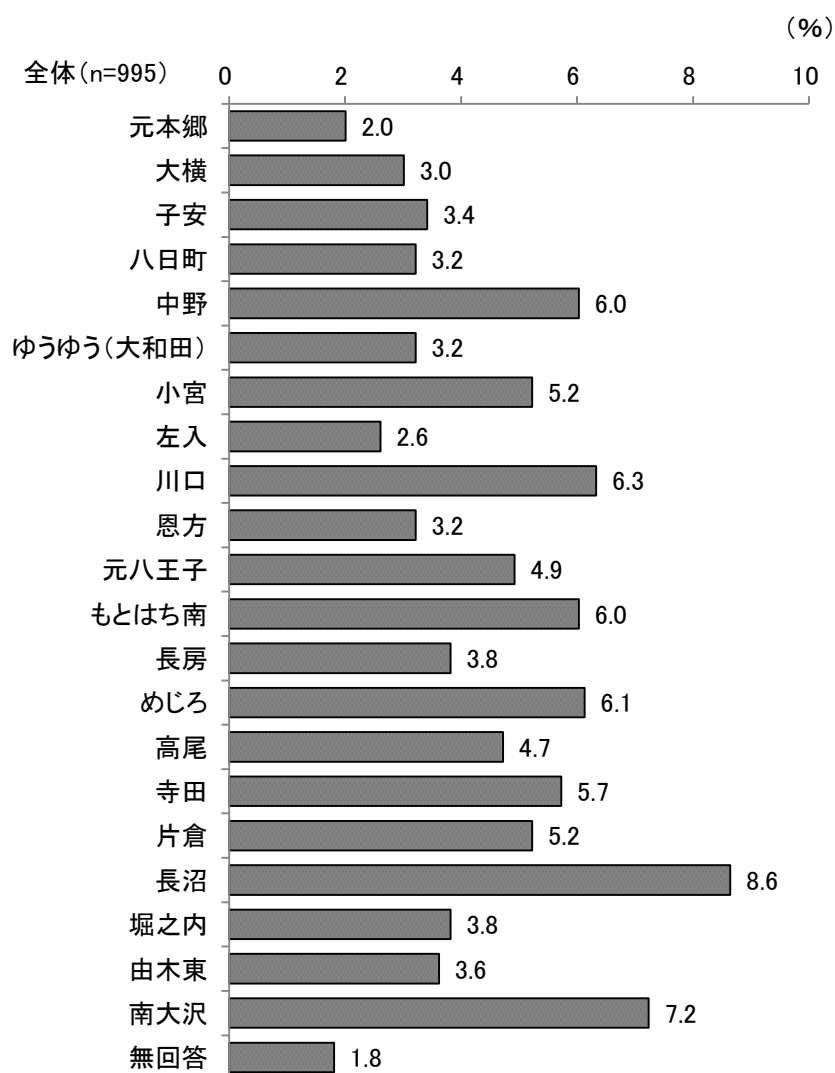
2. 女性（51.7%）



回答者の性別は「男性」が47.8%、「女性」が51.7%、となっています。

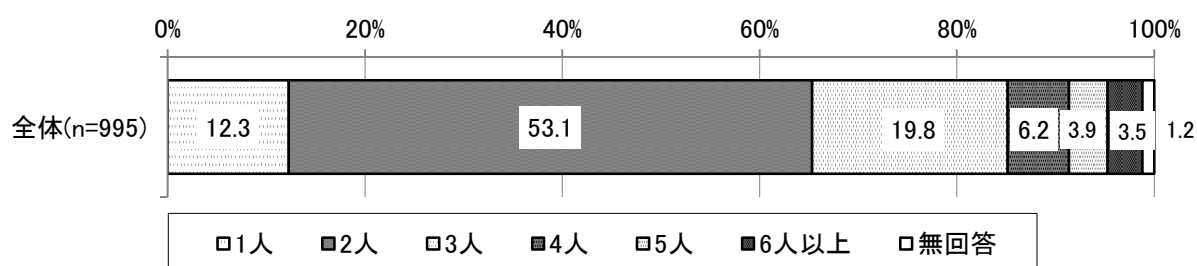
2. 高齢者意識調査結果

問3 あなたのお住まいの町名を記入してください。



回答者が記入した町名を圏域別（全体の「調査の概要」4ページ参照）に集計すると、「長沼」が最も多く8.6%、次いで「南大沢」が7.2%となっています。

問4 同居のご家族は何人ですか。あなた自身も含めてください。（数字を記入）

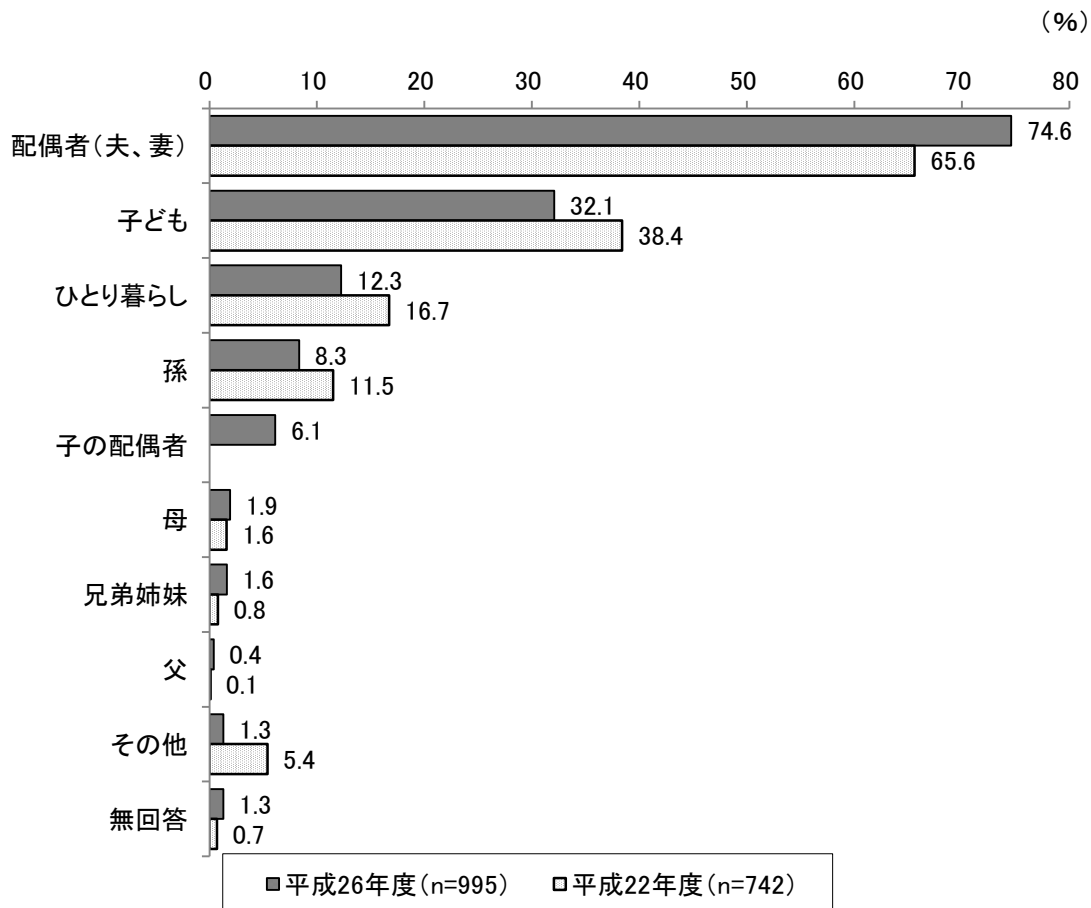


回答者が記入した同居のご家族の人数を集計したところ、「2人」が最も多く53.1%、次いで「3人」が19.8%、「1人」が12.3%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問5 あなたは現在どなたと一緒に住まいですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし（12.3%） | 6. 孫（8.3%） |
| 2. 配偶者（夫、妻）（74.6%） | 7. 兄弟姉妹（1.6%） |
| 3. 子ども（32.1%） | 8. 子の配偶者（6.1%） |
| 4. 父（0.4%） | 9. その他（1.3%） |
| 5. 母（1.9%） | |



※前回調査には「子の配偶者」という選択肢はありません。また、前回あった「祖父」、「祖母」は、「その他」に含んで表示しています。

一緒に住んでいる人は、「配偶者（夫、妻）」が最も多く74.6%、次いで「子ども」が32.1%となっています。「その他」は、「義母」、「義姉」、「友人」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問5 一緒に住んでいる人のクロス集計表】

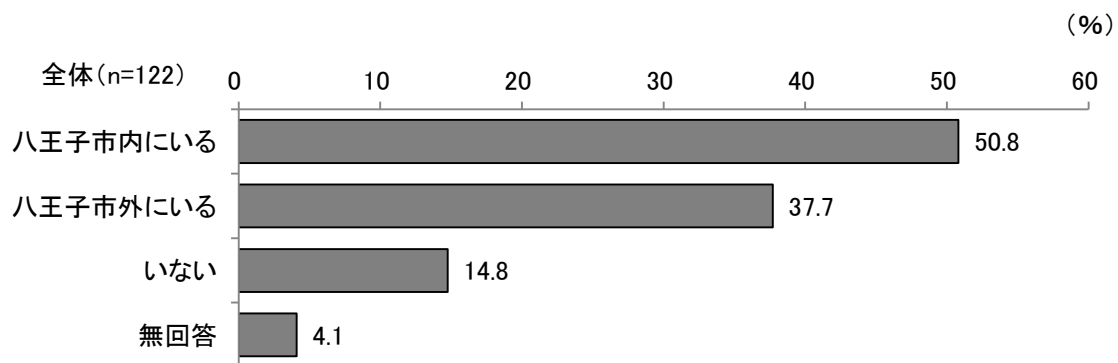
		全体	ひとり暮らし	配偶者 (夫、妻)	子ども	父	母	孫	兄弟姉妹	子の配偶者	その他	無回答
全体		995 100.0	122 12.3	742 74.6	319 32.1	4 0.4	19 1.9	83 8.3	16 1.6	61 6.1	13 1.3	13 1.3
年齢別	65～69歳	310 100.0	36 11.6	241 77.7	103 33.2	1 0.3	12 3.9	11 3.5	11 3.5	7 2.3	4 1.3	2 0.6
	70～74歳	301 100.0	34 11.3	245 81.4	93 30.9	— —	6 2.0	19 6.3	3 1.0	11 3.7	3 1.0	3 1.0
	75～79歳	228 100.0	23 10.1	167 73.2	73 32.0	2 0.9	1 0.4	26 11.4	1 0.4	18 7.9	3 1.3	3 1.3
	80～84歳	104 100.0	21 20.2	64 61.5	37 35.6	— —	— —	19 18.3	1 1.0	17 16.3	1 1.0	— —
	85歳以上	43 100.0	8 18.6	21 48.8	12 27.9	1 2.3	— —	7 16.3	— —	7 16.3	2 4.7	— —
	無回答	9 100.0	— —	4 44.4	1 11.1	— —	— —	1 11.1	— —	1 11.1	— —	5 55.6

年齢別では、80～84歳で「ひとり暮らし」の割合が20%以上となっています。また、85歳以上で「配偶者（夫、妻）」の割合が半数以下となっています。

【問5で「1」と答えた方のみ】

問5-1 緊急時などにかけつけてくれる方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

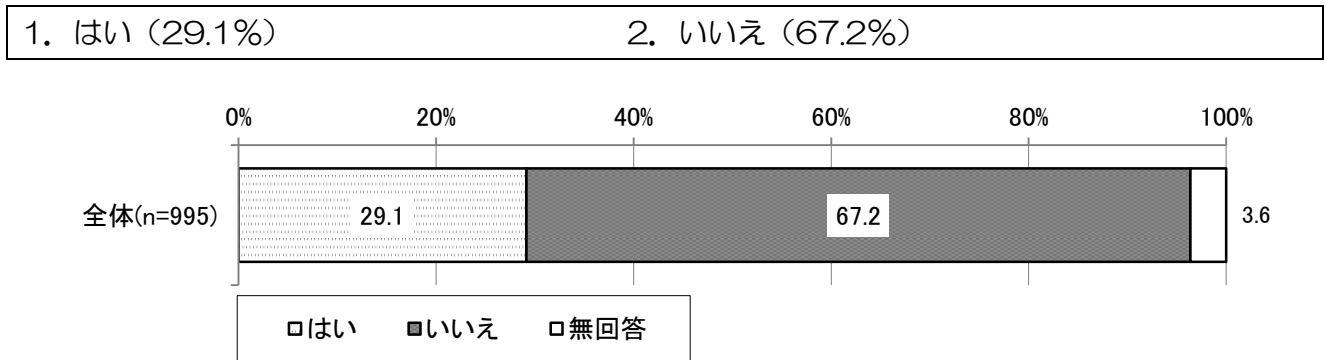
- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 八王子市内にいる（50.8%） | 3. いない（14.8%） |
| 2. 八王子市外にいる（37.7%） | |



問5で「1. ひとり暮らし」と答えた人に、緊急時などにかけつけてくれる人の有無を尋ねたところ、「八王子市内にいる」が50.8%、「八王子市外にいる」が37.7%、「いない」が14.8%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問6 あなたは普段、日中ひとりで過ごすことが多いですか。（土日・祝日などで家族が家にいる場合を除く）（○はひとつ）

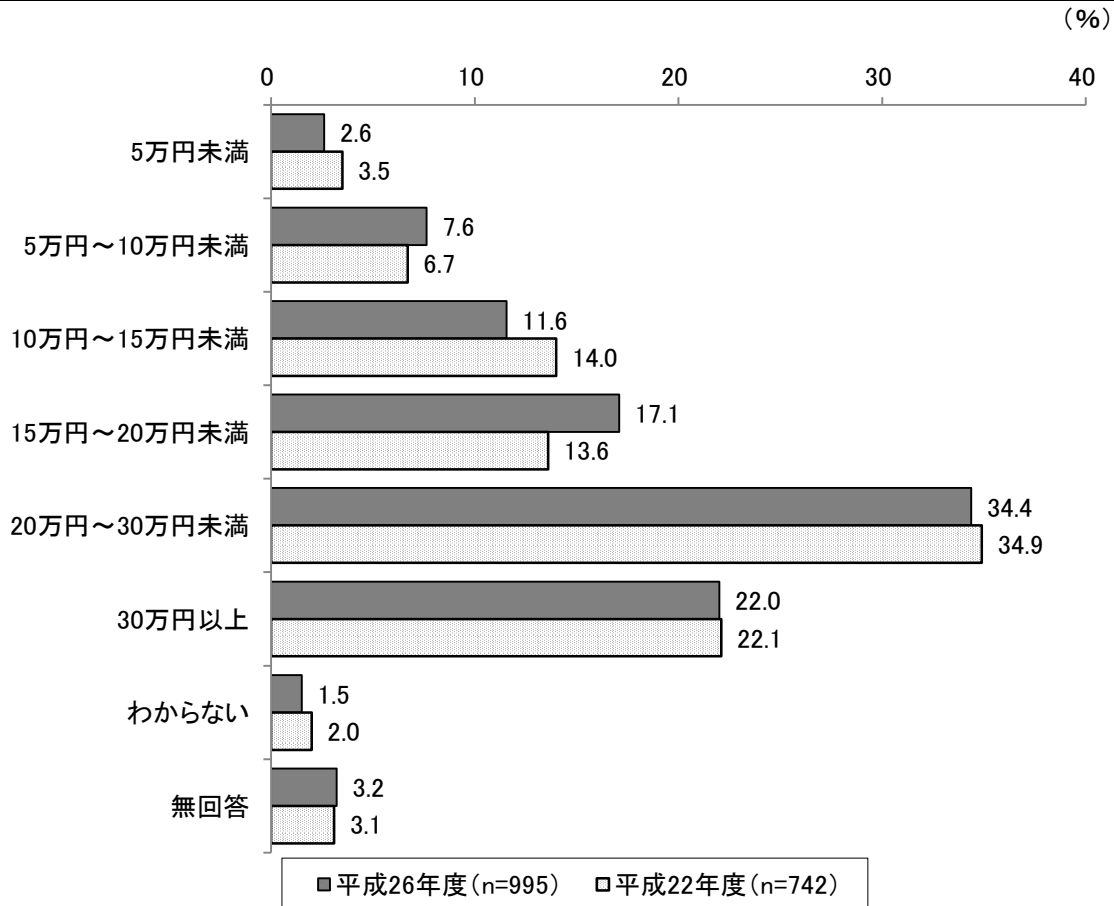


日中ひとりで過ごすことが多い（土日・祝日などで家族が家にいる場合を除く）という人は29.1%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問7 あなたの一か月当たりの収入額（年金、仕事、仕送りなどすべて含む。配偶者がいる方はあなたと配偶者の収入額）は、合計でいくらぐらいですか。（〇はひとつ）

1. 5万円未満（2.6%）	5. 20万円～30万円未満（34.4%）
2. 5万円～10万円未満（7.6%）	6. 30万円以上（22.0%）
3. 10万円～15万円未満（11.6%）	7. わからない（1.5%）
4. 15万円～20万円未満（17.1%）	



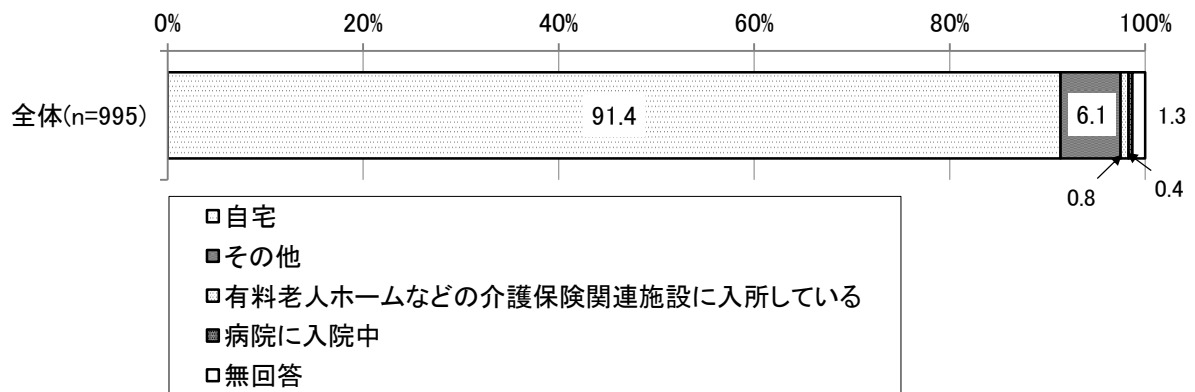
一か月当たりの収入額（年金、仕事、仕送りなどすべて含む。配偶者がいる方はあなたと配偶者の収入額）は、「20万円～30万円未満」が最も多く34.4%、次いで「30万円以上」が22.0%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

2. あなたのお住まいについて

問8 あなたは、現在どこで生活していますか。（○はひとつ）

1. 自宅（91.4%）
2. 病院に入院中（0.4%）
3. 有料老人ホームなどの介護保険関連施設に入所している（0.8%）
4. その他（6.1%）



生活している場所は、「自宅」が91.4%となっています。「その他」は、「子どもの家」、「弟の家」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問8 どこで生活しているかのクロス集計表】

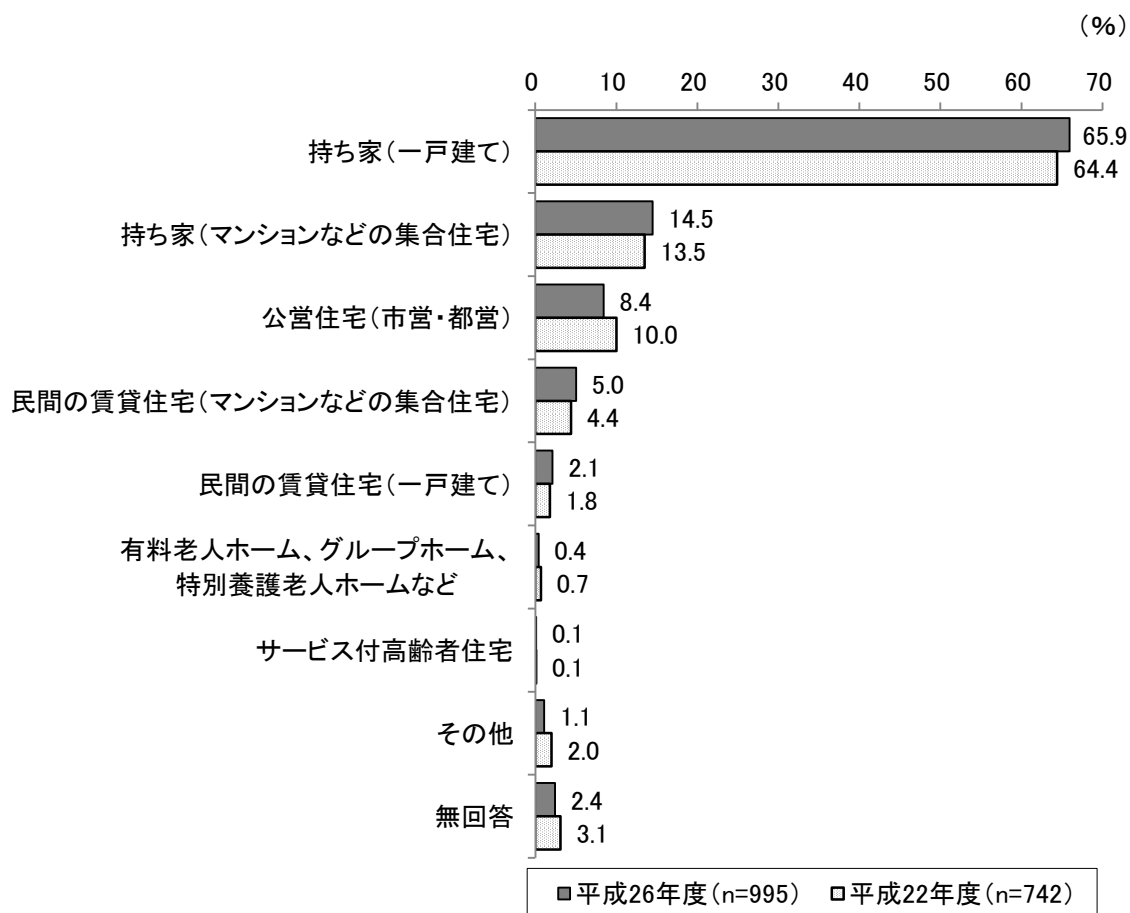
		全体	自宅	病院に 入院中	有料老人 ホームなどの 介護保険 関連施設に 入所している	その他	無回答
全体		995 100.0	909 91.4	4 0.4	8 0.8	61 6.1	13 1.3
年齢別	65～69歳	310 100.0	289 93.2	4 1.3	－ －	16 5.2	1 0.3
	70～74歳	301 100.0	278 92.4	－ －	1 0.3	20 6.6	2 0.7
	75～79歳	228 100.0	205 89.9	－ －	2 0.9	17 7.5	4 1.8
	80～84歳	104 100.0	96 92.3	－ －	2 1.9	5 4.8	1 1.0
	85歳以上	43 100.0	37 86.0	－ －	3 7.0	3 7.0	－ －
	無回答	9 100.0	4 44.4	－ －	－ －	－ －	5 55.6
性別	男性	476 100.0	434 91.2	2 0.4	1 0.2	34 7.1	5 1.1
	女性	514 100.0	475 92.4	2 0.4	7 1.4	27 5.3	3 0.6
	無回答	5 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	5 100.0

年齢別、性別とも、特に大きな差異はありません。

2. 高齢者意識調査結果

問9 あなたのお住まいはどのような種類の住宅ですか。現在、病院に入院中の方、施設などに入所している方は、戻る予定のお住まいについてお答えください。(〇はひとつ)

1. 持ち家（一戸建て）（65.9%）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）（14.5%）
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て）（2.1%）
4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）（5.0%）
5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど（0.4%）
6. サービス付高齢者住宅（0.1%）
7. 公営住宅（市営・都営）（8.4%）
8. その他（1.1%）



※前回調査の「住宅型有料老人ホーム」は「有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど」、「高齢者優良賃貸住宅・高齢者専用賃貸住宅」は「サービス付高齢者住宅」として比較しています。

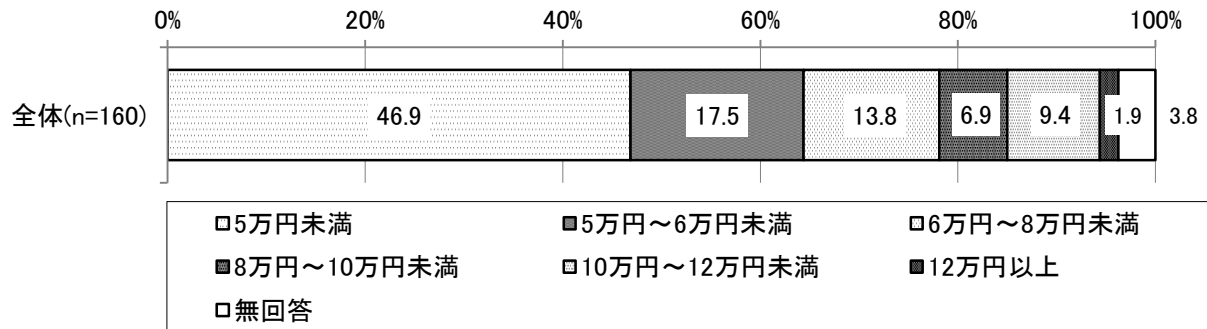
住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が最も多く65.9%、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が14.5%となっています。「その他」は、「公団・公社住宅」、「友人宅」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問9で「3」から「7」と答えた方のみ】

問9-1 現在の家賃（管理費などを含め）は月額でいくらぐらいですか。（〇はひとつ）

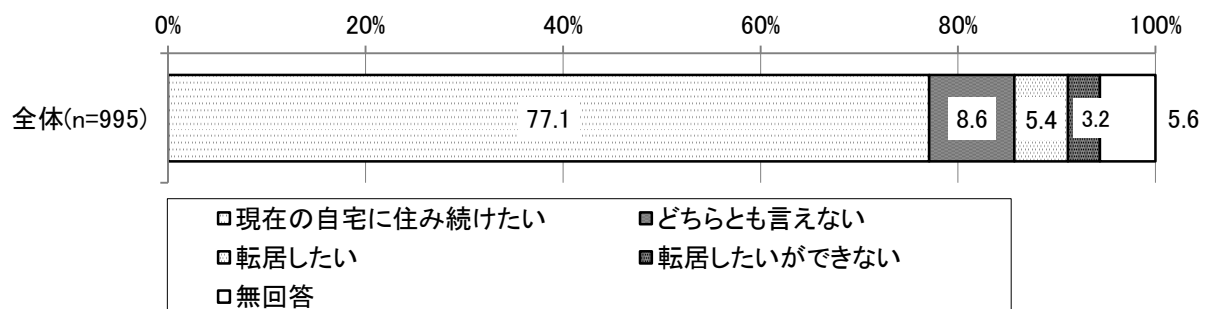
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 5万円未満（46.9%） | 4. 8万円～10万円未満（6.9%） |
| 2. 5万円～6万円未満（17.5%） | 5. 10万円～12万円未満（9.4%） |
| 3. 6万円～8万円未満（13.8%） | 6. 12万円以上（1.9%） |



問9で、「持ち家」、「その他」以外に住んでいると回答した人に、家賃の月額（管理費などを含め）を尋ねたところ、「5万円未満」が最も多く46.9%、次いで「5万円～6万円未満」が17.5%となっています。

問10 あなたは、現在のご自宅から転居したいと考えていますか。現在、病院に入院中の方、施設などに入所している方は、戻る予定のご自宅についてお答えください。（〇はひとつ）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 現在の自宅に住み続けたい（77.1%） | 3. 転居したいができない（3.2%） |
| 2. 転居したい（5.4%） | 4. どちらとも言えない（8.6%） |



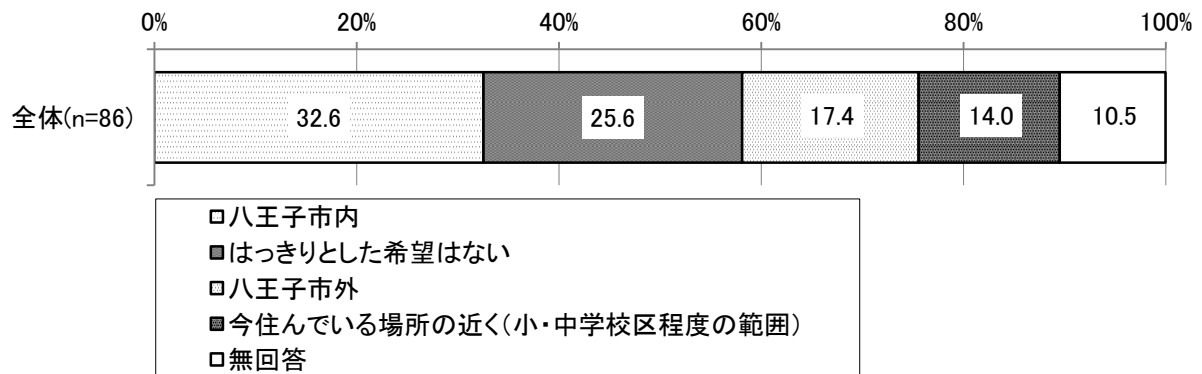
今後の居留意向を尋ねたところ、「現在の自宅に住み続けたい」が77.1%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問10で「2」または「3」と答えた方のみ】

問10-1 転居先として希望するところはどこですか。（○はひとつ）

1. 今住んでいる場所の近く（小・中学校区程度の範囲）（14.0%）
2. 八王子市内（32.6%）
3. 八王子市外（17.4%）
4. はっきりとした希望はない（25.6%）



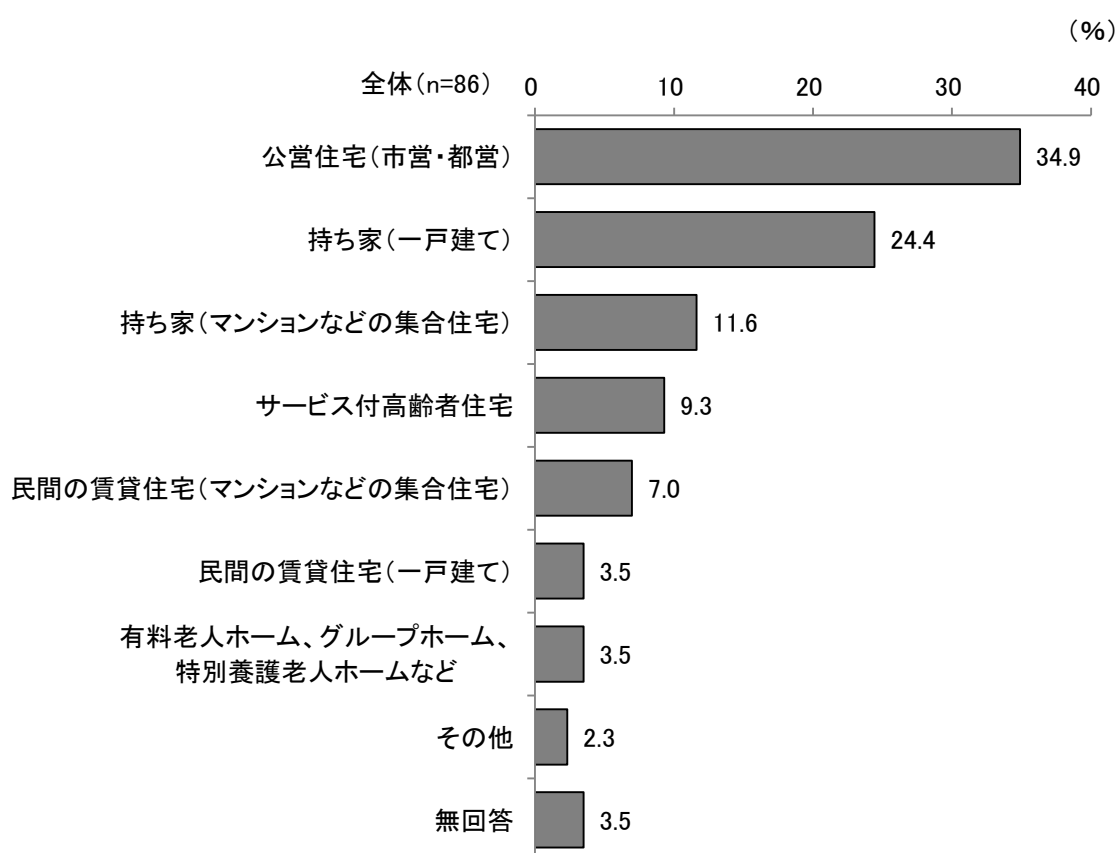
問10で「2. 転居したい」、「3. 転居したいができない」と回答した人に転居先の希望を尋ねたところ、「八王子市内」が最も多く32.6%、次いで「はっきりとした希望はない」が25.6%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問10で「2」または「3」と答えた方のみ】

問10-2 転居先は、どのような種類の住宅を希望しますか。（○はひとつ）

1. 持ち家（一戸建て）（24.4%）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）（11.6%）
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て）（3.5%）
4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）（7.0%）
5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど（3.5%）
6. サービス付高齢者住宅（9.3%）
7. 公営住宅（市営・都営）（34.9%）
8. その他（2.3%）

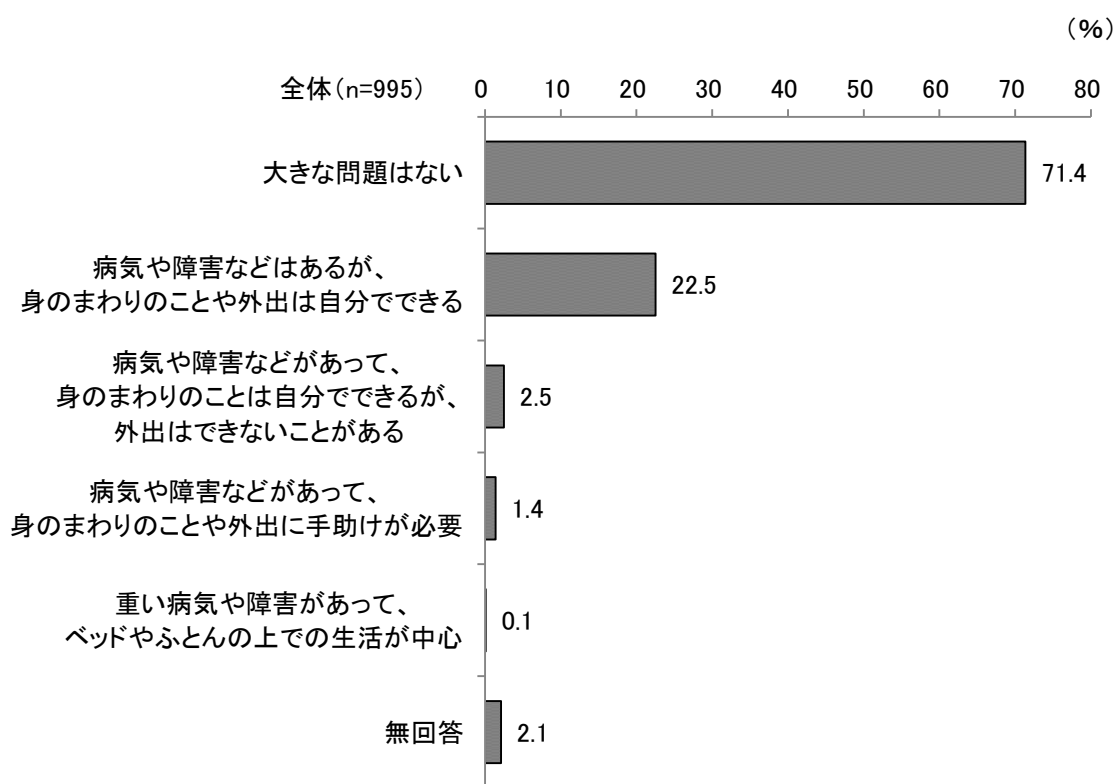


問10で「2. 転居したい」、「3. 転居したいができない」と回答した人に希望する転居先の住居の種類を尋ねたところ、「公営住宅（市営・都営）」が最も多く34.9%、次いで「持ち家（一戸建て）」が24.4%となっています。「その他」は、「持ち家はお金がかかる、大変なこと」などとなっています。

3. あなたの健康状態などについて

問11 あなたの健康状態についてお答えください。（○はひとつ）

1. 大きな問題はない（71.4%）
2. 病気や障害などはあるが、身のまわりのことや外出は自分でできる（22.5%）
3. 病気や障害などがあるが、身のまわりのことは自分でできるが、
外出はできないことがある（2.5%）
4. 病気や障害などがあるが、身のまわりのことや外出に手助けが必要（1.4%）
5. 重い病気や障害があるが、ベッドやふとんの上での生活が中心（0.1%）

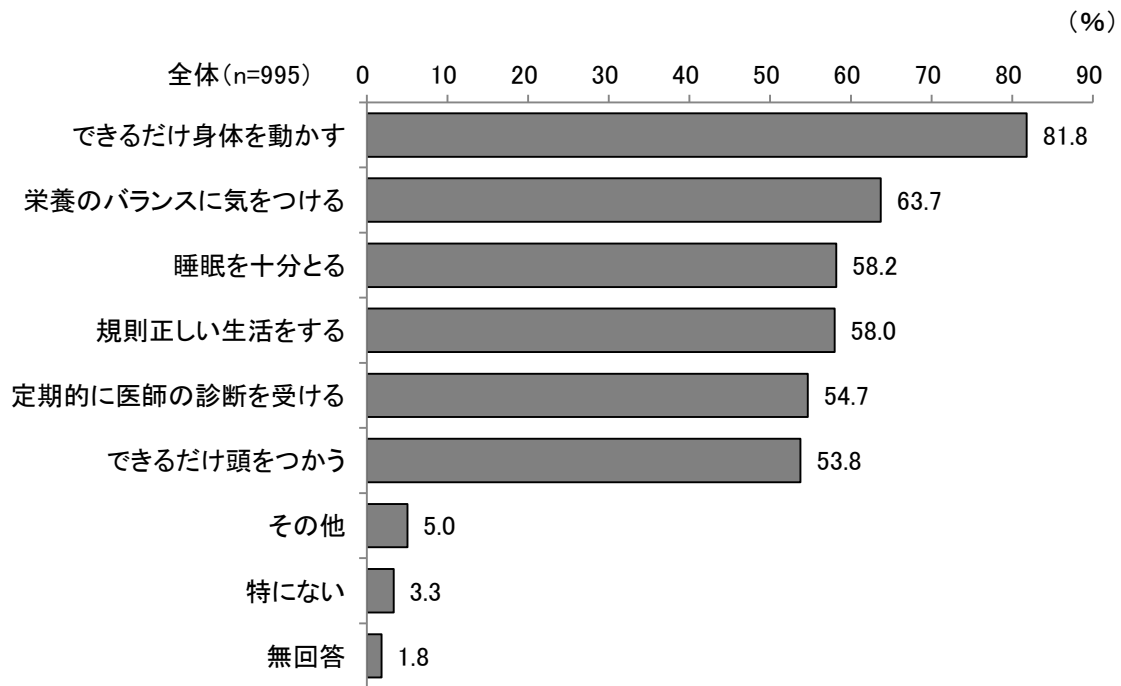


健康状態について尋ねたところ、「大きな問題はない」が最も多く71.4%、「病気や障害などはあるが、身のまわりのことや外出は自分でできる」が22.5%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問12 あなたには、健康のために日ごろから心がけていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. できるだけ身体を動かす (81.8%) | 5. 睡眠を十分とる (58.2%) |
| 2. できるだけ頭をつかう (53.8%) | 6. 定期的に医師の診断を受ける (54.7%) |
| 3. 栄養のバランスに気をつける (63.7%) | 7. その他 (5.0%) |
| 4. 規則正しい生活をする (58.0%) | 8. 特にない (3.3%) |

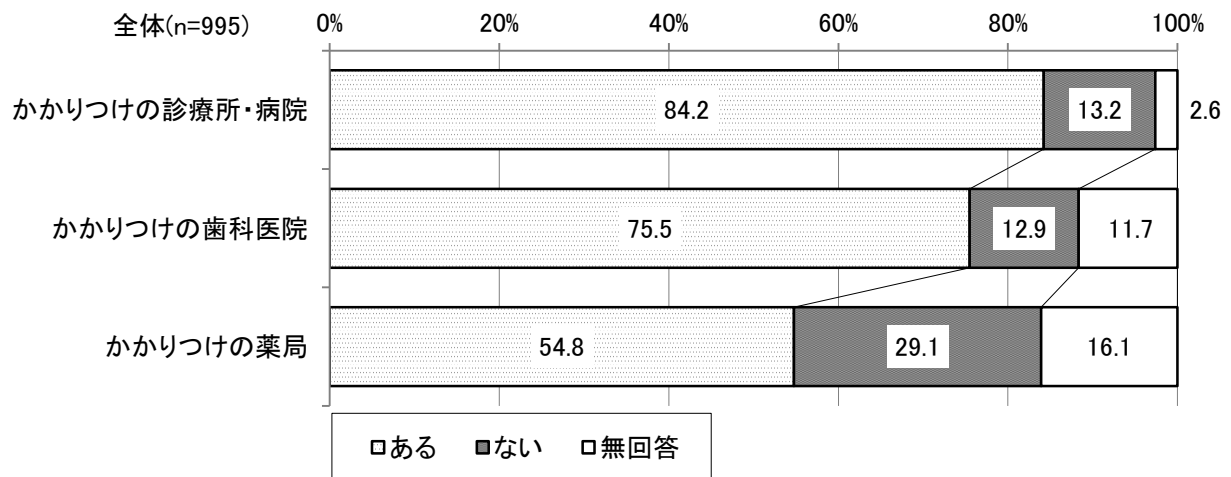


健康のために日ごろから心がけていることについて尋ねたところ、「できるだけ身体を動かす」が最も多く81.8%、次いで「栄養のバランスに気をつける」が63.7%となっています。「その他」は、「趣味」、「スポーツ」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

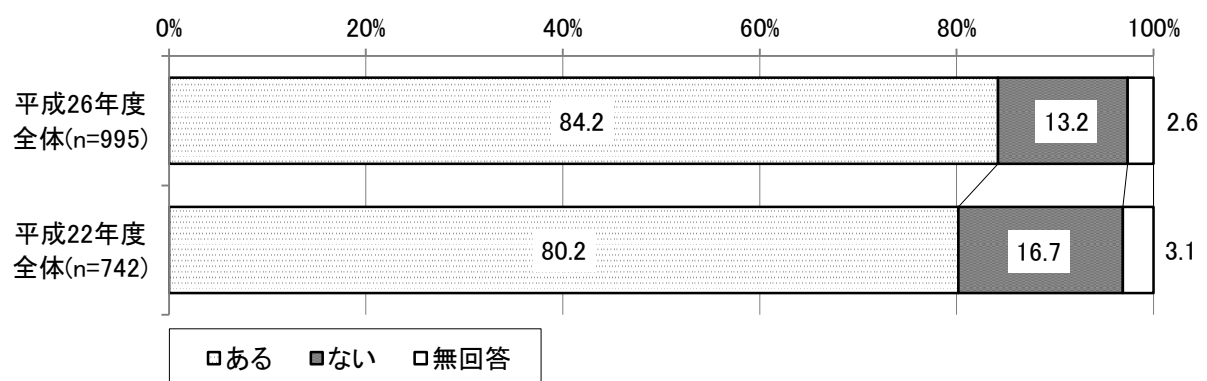
問13 あなたには、かかりつけの診療所・病院、歯科医院、薬局がありますか。
(それぞれひとつに○)

①かかりつけの診療所・病院	1. ある (84.2%)	2. ない (13.2%)
②かかりつけの歯科医院	1. ある (75.5%)	2. ない (12.9%)
③かかりつけの薬局	1. ある (54.8%)	2. ない (29.1%)



かかりつけの診療所・病院、歯科医院、薬局があるかを尋ねたところ、「かかりつけの診療所・病院」が「ある」が84.2%、「ない」が13.2%、「かかりつけの歯科医院」が「ある」が75.5%、「ない」が12.9%、「かかりつけの薬局」が「ある」が54.8%、「ない」が29.1%となっています。

【問13 かかりつけの診療所・病院の前回調査との比較のグラフ】



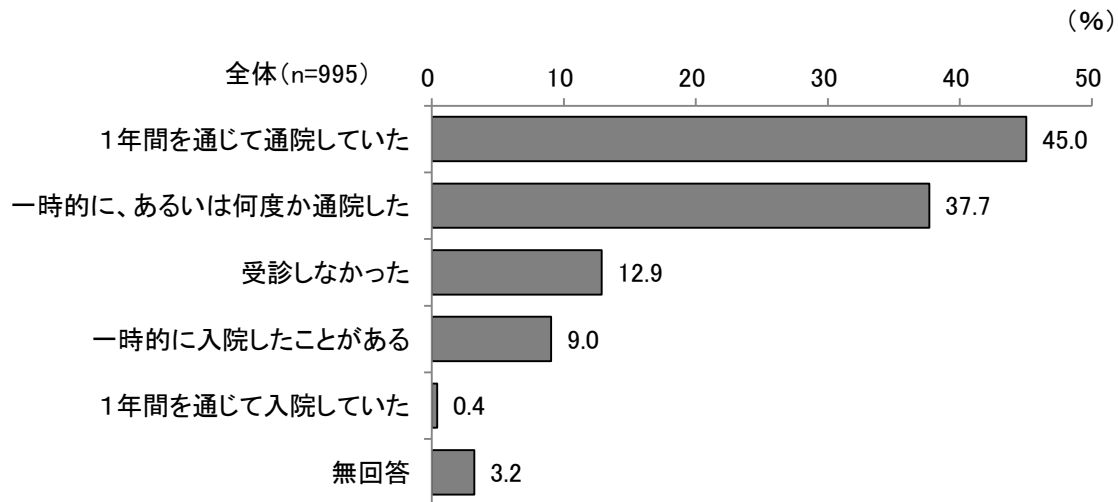
※前回調査では、「かかりつけ医」という設問でした。

かかりつけの診療所・病院の有無について、前回調査と比較すると、「ある」人の割合が4ポイント上昇しています。

2. 高齢者意識調査結果

問14 あなたは、昨年1年間に、病気や障害のために医療機関を受診しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 受診しなかった (12.9%)
2. 一時的に、あるいは何度か通院した (37.7%)
3. 1年間を通じて通院していた (45.0%)
4. 一時的に入院したことがある (9.0%)
5. 1年間を通じて入院していた (0.4%)



昨年1年間に医療機関を受診したかを尋ねたところ、「1年間を通じて通院していた」が最も多く45.0%、次いで「一時的に、あるいは何度か通院した」が37.7%となっています。

		全体	受診 しなかった	一時的に、 あるいは 何度か 通院した	1年間を 通じて通院 していた	一時的に 入院したこと がある	1年間を 通じて入院 していた	無回答
全体		995 100.0	128 12.9	375 37.7	448 45.0	90 9.0	4 0.4	32 3.2
年 齢 別	65～69歳	310 100.0	47 15.2	127 41.0	125 40.3	24 7.7	2 0.6	7 2.3
	70～74歳	301 100.0	38 12.6	125 41.5	129 42.9	28 9.3	1 0.3	8 2.7
	75～79歳	228 100.0	26 11.4	73 32.0	117 51.3	27 11.8	－ －	9 3.9
	80～84歳	104 100.0	8 7.7	33 31.7	58 55.8	7 6.7	1 1.0	3 2.9
	85歳以上	43 100.0	8 18.6	14 32.6	15 34.9	3 7.0	－ －	4 9.3
	無回答	9 100.0	1 11.1	3 33.3	4 44.4	1 11.1	－ －	1 11.1

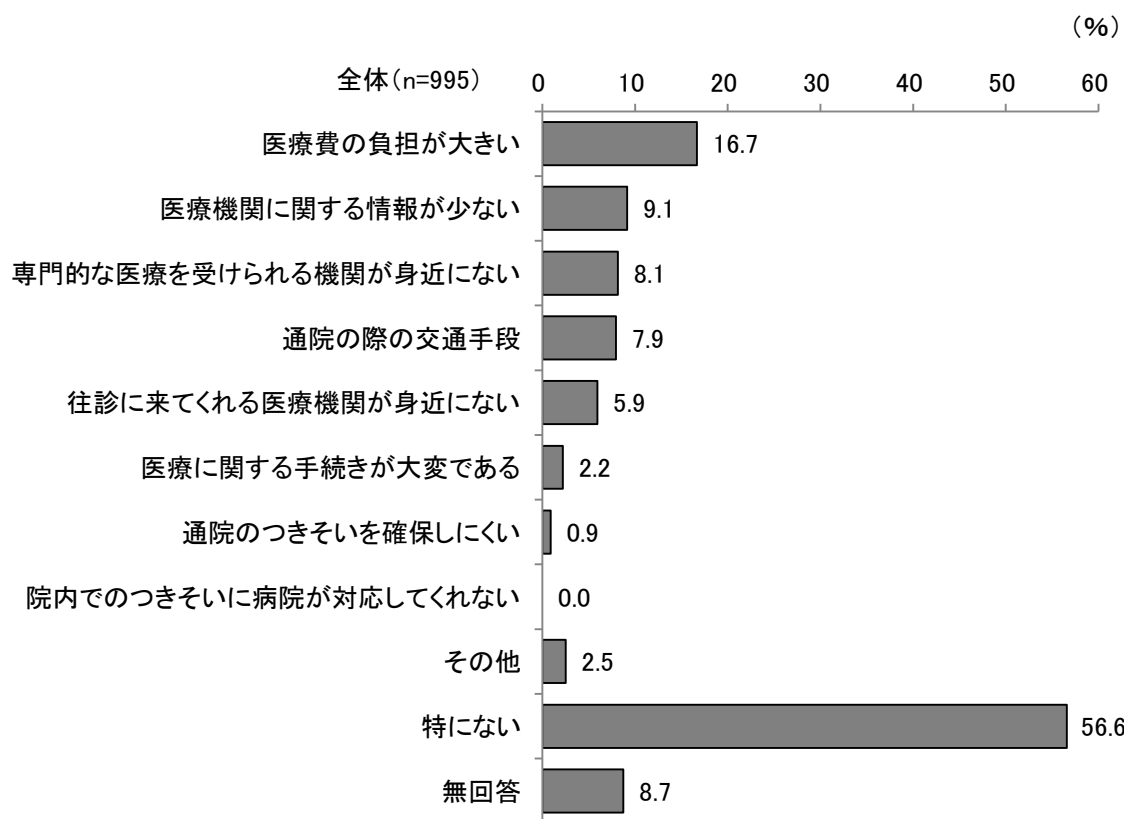
年齢別では、75～79歳、80～84歳で「1年間を通じて通院していた」割合が半数以上となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問15 あなたは、通院や医療に関して困っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のつきそいを確保しにくい (0.9%)
2. 通院の際の交通手段 (7.9%)
3. 医療機関に関する情報が少ない (9.1%)
4. 専門的な医療を受けられる機関が身近にない (8.1%)
5. 往診に来てくれる医療機関が身近にない (5.9%)
6. 医療に関する手続きが大変である (2.2%)
7. 医療費の負担が大きい (16.7%)
8. 院内でのつきそいに病院が対応してくれない (0.0%)
9. その他 (2.5%)
10. 特にない (56.6%)



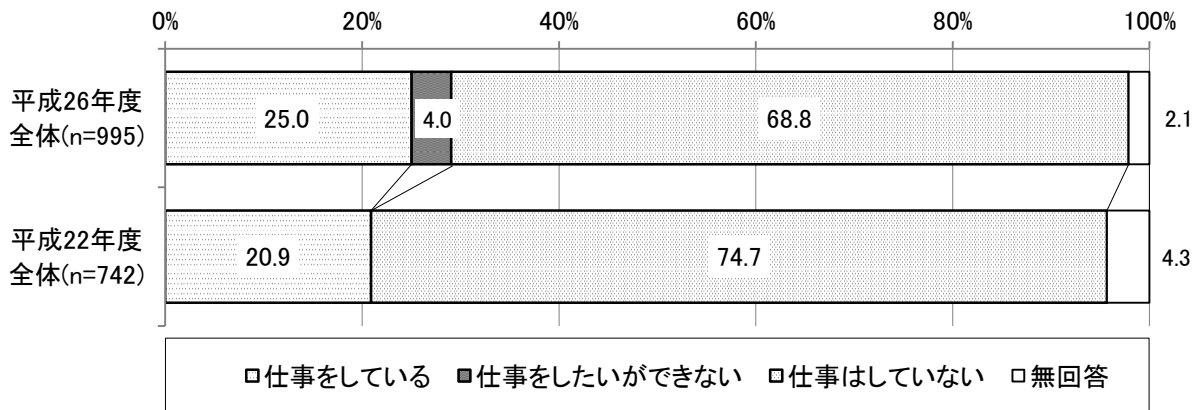
通院や医療に関して困っていることについて尋ねたところ、「特にない」が最も多く56.6%、次いで「医療費の負担が大きい」が16.7%となっています。「その他」は、「待ち時間が長いこと」、「複数の医療機関にかからねばならないこと」、「交通手段が不便なこと」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

4. お仕事について

問16 あなたは収入を伴う仕事（パート・アルバイトを含む）をしていますか。
（○はひとつ）

1. 仕事をしている（25.0%） 3. 仕事はしていない（68.8%）
2. 仕事をしたいができない（4.0%）



※前回調査には、「仕事をしたいができない」という選択肢はありません。

収入を伴う仕事をしているかを尋ねたところ、「仕事はしていない」が68.8%、「仕事をしている」が25.0%となっています。

		全体	仕事をしている	仕事をしたいができない	仕事はしていない	無回答
全体		995 100.0	249 25.0	40 4.0	685 68.8	21 2.1
年齢別	65～69歳	310 100.0	119 38.4	21 6.8	168 54.2	2 0.6
	70～74歳	301 100.0	81 26.9	5 1.7	211 70.1	4 1.3
	75～79歳	228 100.0	36 15.8	7 3.1	178 78.1	7 3.1
	80～84歳	104 100.0	9 8.7	4 3.8	86 82.7	5 4.8
	85歳以上	43 100.0	2 4.7	2 4.7	37 86.0	2 4.7
	無回答	9 100.0	2 22.2	1 11.1	5 55.6	1 11.1

年齢別では、65～69歳で「仕事をしている」割合が高くなっています。

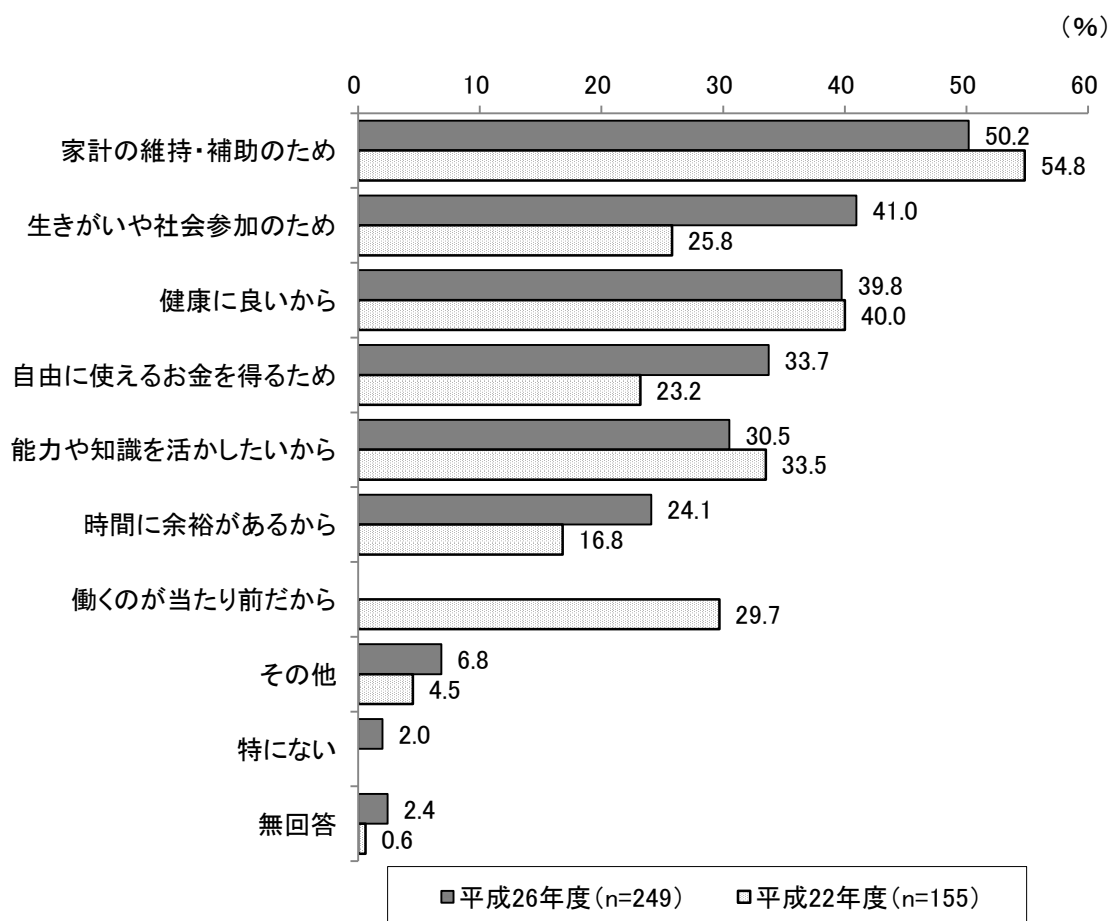
2. 高齢者意識調査結果

【問16で「1」と答えた方のみ】

問16-1 「仕事をしている」理由はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 生きがいや社会参加のため (41.0%) | 5. 自由に使えるお金を得るため (33.7%) |
| 2. 時間に余裕があるから (24.1%) | 6. 家計の維持・補助のため (50.2%) |
| 3. 健康に良いから (39.8%) | 7. その他 (6.8%) |
| 4. 能力や知識を活かしたいから (30.5%) | 8. 特にない (2.0%) |



※前回調査では「特にない」という選択肢、今回調査では「働くのが当たり前だから」という選択肢はありません。

問16で「1. 仕事をしている」と回答した人に理由を尋ねたところ、「家計の維持・補助のため」が最も多く50.2%、次いで「生きがいや社会参加のため」が41.0%、「健康に良いから」が39.8%となっています。「その他」は、「自営のため」などとなっています。

前回調査と比較すると、「生きがいや社会参加のため」が15.2ポイント、「時間に余裕があるから」が7.3ポイント上昇しています。

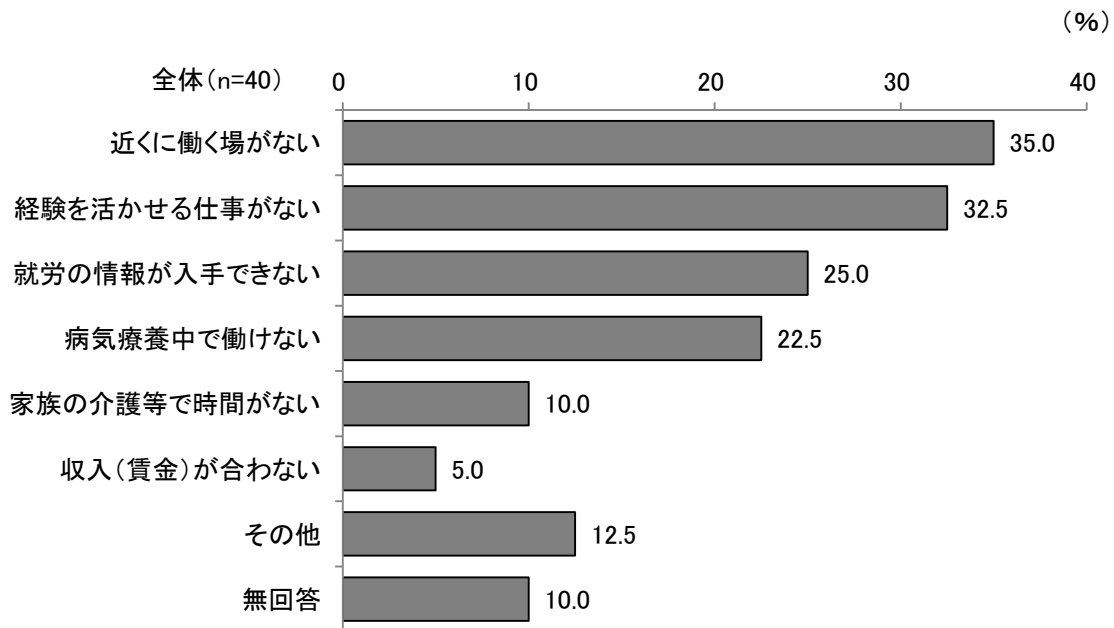
2. 高齢者意識調査結果

【問16で「2」と答えた方のみ】

問16-2 「仕事をしたいができない」理由はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 経験を活かせる仕事がない (32.5%) | 5. 家族の介護等で時間がない (10.0%) |
| 2. 近くに働く場がない (35.0%) | 6. 病気療養中で働けない (22.5%) |
| 3. 収入(賃金)が合わない (5.0%) | 7. その他 (12.5%) |
| 4. 就労の情報が入手できない (25.0%) | |



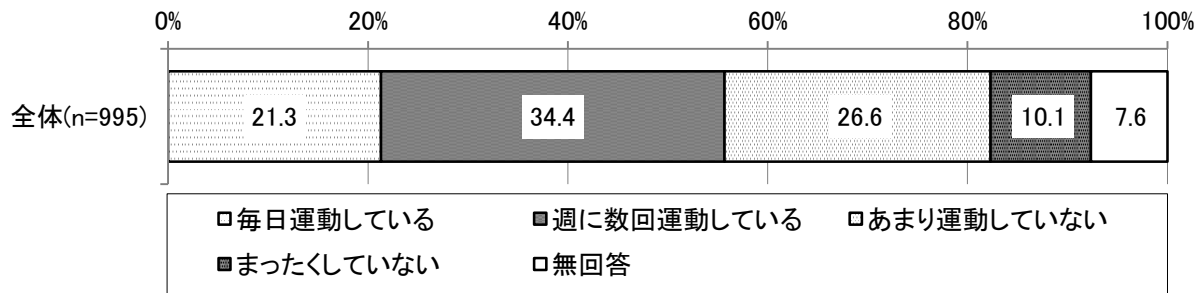
問16で「2. 仕事をしたいができない」と回答した人に理由を尋ねたところ、「近くに働く場がない」が最も多く35.0%、次いで「経験を活かせる仕事がない」が32.5%となっています。「その他」は、「年齢制限」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

5. 運動について

問17 あなたは、定期的に運動をしていますか。（○はひとつ）

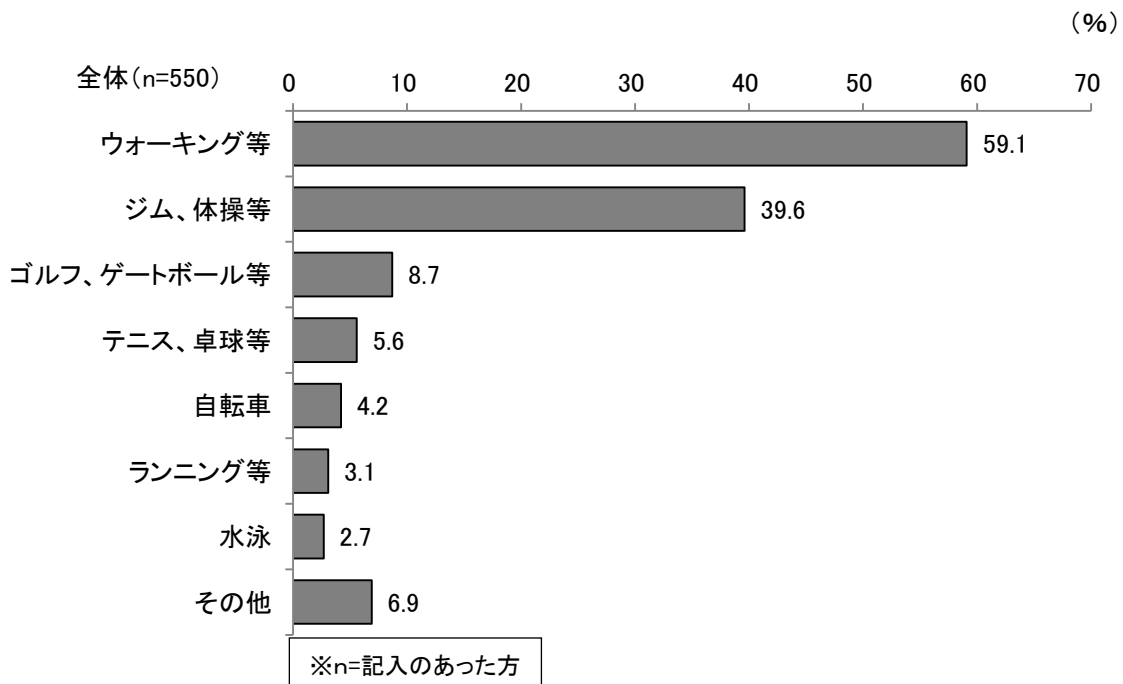
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 毎日運動している（21.3%） | 3. あまり運動していない（26.6%） |
| 2. 週に数回運動している（34.4%） | 4. まったくしていない（10.1%） |



定期的に運動しているかを尋ねたところ、「週に数回運動している」が最も多く34.4%、次いで「あまり運動していない」が26.6%となっています。

【問17で「1」または「2」と答えた方のみ】

問17-1 どのような運動をしていますか。回答欄に具体的にお書きください。



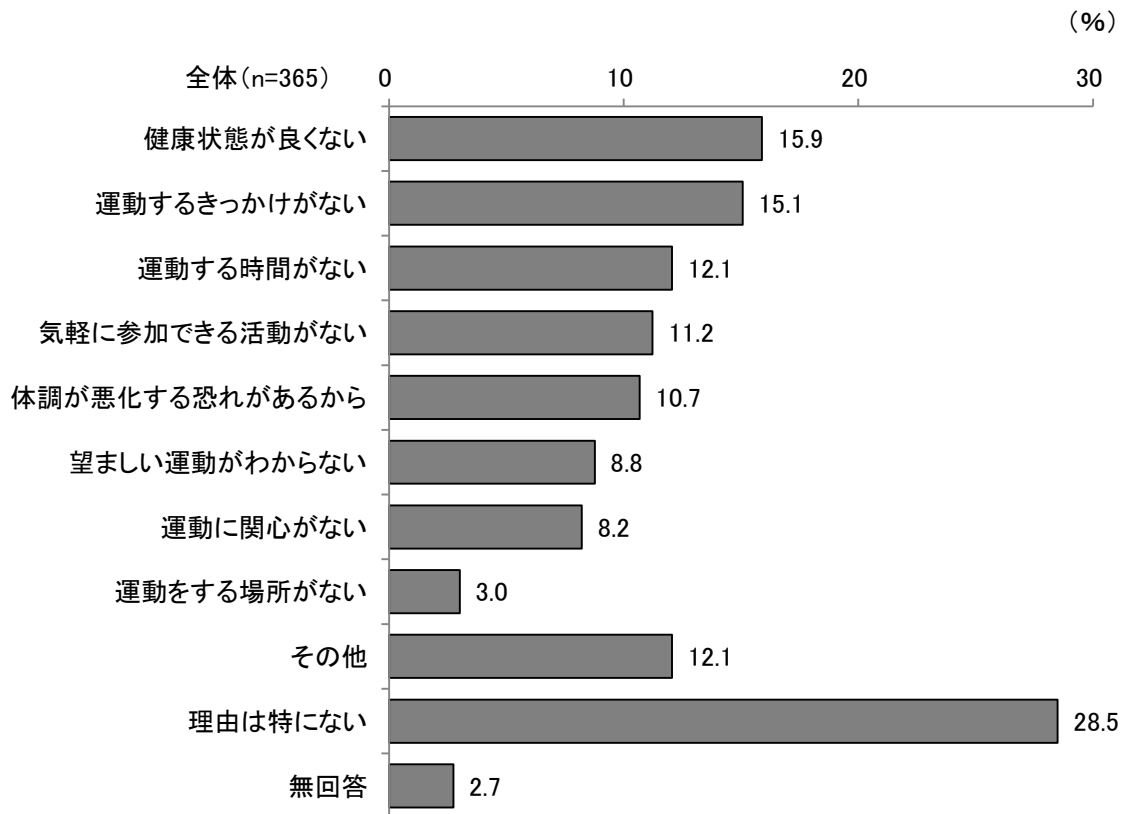
記述内容を整理すると、「ウォーキング等」が59.1%で最も多く、次いで「ジム、体操等」が39.6%となっています。「その他」は、「太極拳」、「ダンス」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問17で「3」または「4」と答えた方のみ】

問17-2 運動していないのは、どのような理由ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 健康状態が良くない（15.9%） | 6. 運動に関心がない（8.2%） |
| 2. 体調が悪化する恐れがあるから（10.7%） | 7. 運動するきっかけがない（15.1%） |
| 3. 望ましい運動がわからない（8.8%） | 8. 気軽に参加できる活動がない（11.2%） |
| 4. 運動をする場所がない（3.0%） | 9. その他（12.1%） |
| 5. 運動する時間がない（12.1%） | 10. 理由は特にな（28.5%） |



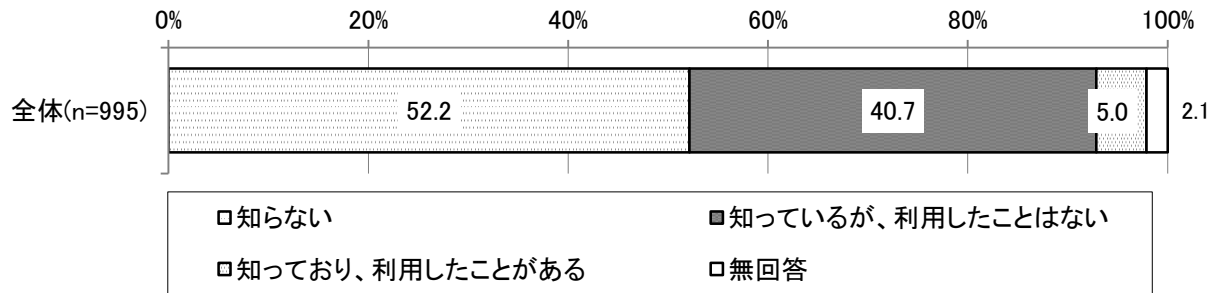
問17で「3. あまり運動していない」、「4. まったくしていない」と回答した人に理由を尋ねたところ、「理由は特にな」が最も多く28.5%、次いで「健康状態が良くない」が15.9%、「運動するきっかけがない」が15.1%となっています。「その他」は、「家事や用務等があるから」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

6. 高齢者あんしん相談センターについて

問18 あなたは、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っており、利用したことがある（5.0%）
2. 知っているが、利用したことはない（40.7%）
3. 知らない（52.2%）



高齢者あんしん相談センターを知っているかを尋ねたところ、「知らない」が52.2%、「知っているが、利用したことはない」が40.7%となっています。

		全体	知っており、 利用したことが ある	知っているが、 利用したことは ない	知らない	無回答
全体		995 100.0	50 5.0	405 40.7	519 52.2	21 2.1
性別	男性	476 100.0	24 5.0	155 32.6	288 60.5	9 1.9
	女性	514 100.0	26 5.1	248 48.2	228 44.4	12 2.3
	無回答	5 100.0	— —	2 40.0	3 60.0	— —

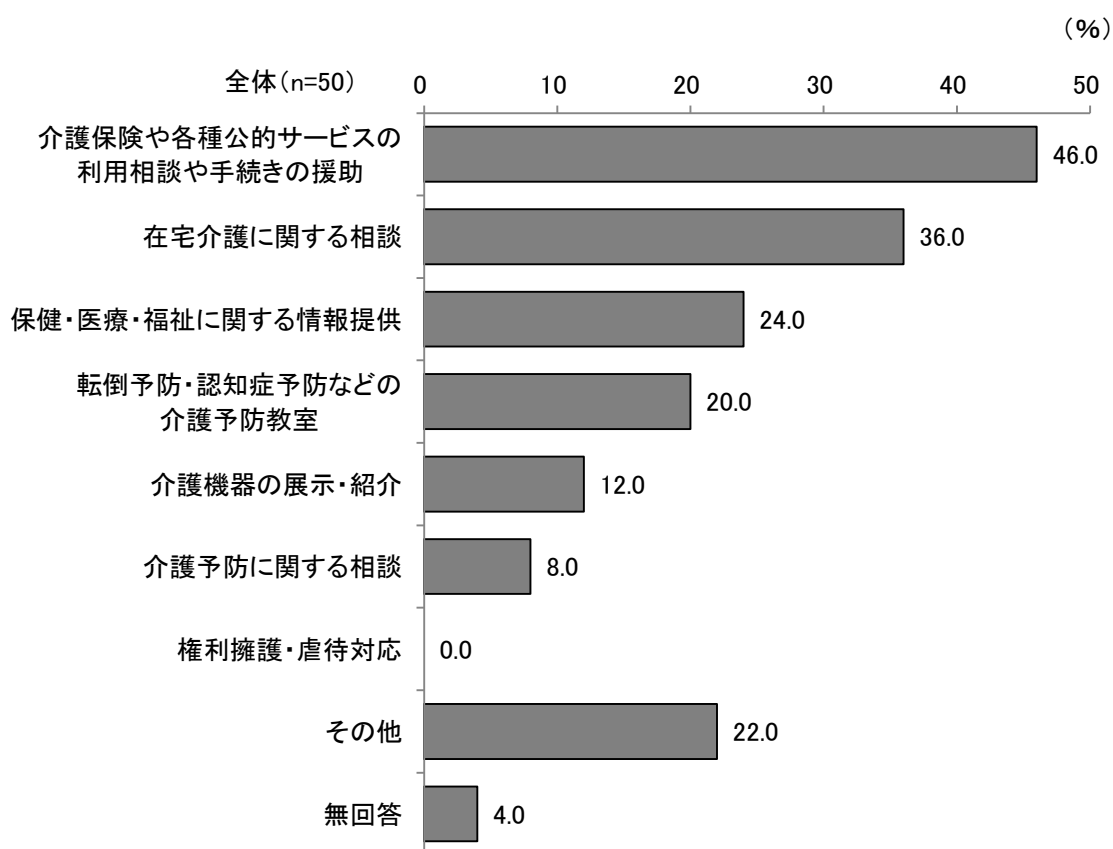
性別では、男性は「知らない」という回答が多くなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問18で「1」と答えた方のみ】

問18-1 利用したのはどんなサービスですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在宅介護に関する相談（36.0%）
2. 保健・医療・福祉に関する情報提供（24.0%）
3. 介護保険や各種公的サービスの利用相談や手続きの援助（46.0%）
4. 介護予防に関する相談（8.0%）
5. 介護機器の展示・紹介（12.0%）
6. 転倒予防・認知症予防などの介護予防教室（20.0%）
7. 権利擁護・虐待対応（0.0%）
8. その他（22.0%）



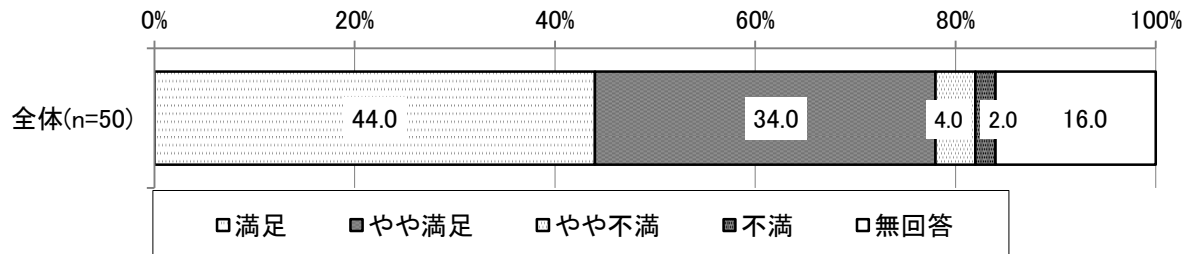
問18で高齢者あんしん相談センターについて「1. 知っており、利用したことがある」と回答した人に利用したサービスを尋ねたところ、「介護保険や各種公的サービスの利用相談や手続きの援助」が最も多く46.0%、次いで「在宅介護に関する相談」が36.0%となっています。「その他」は、「ボランティアで行った」、「親族についての相談」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問18で「1」と答えた方のみ】

問18-2 対応やサービスについて、どのように感じましたか。（○はひとつ）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 満足（44.0%） | 3. やや不満（4.0%） |
| 2. やや満足（34.0%） | 4. 不満（2.0%） |

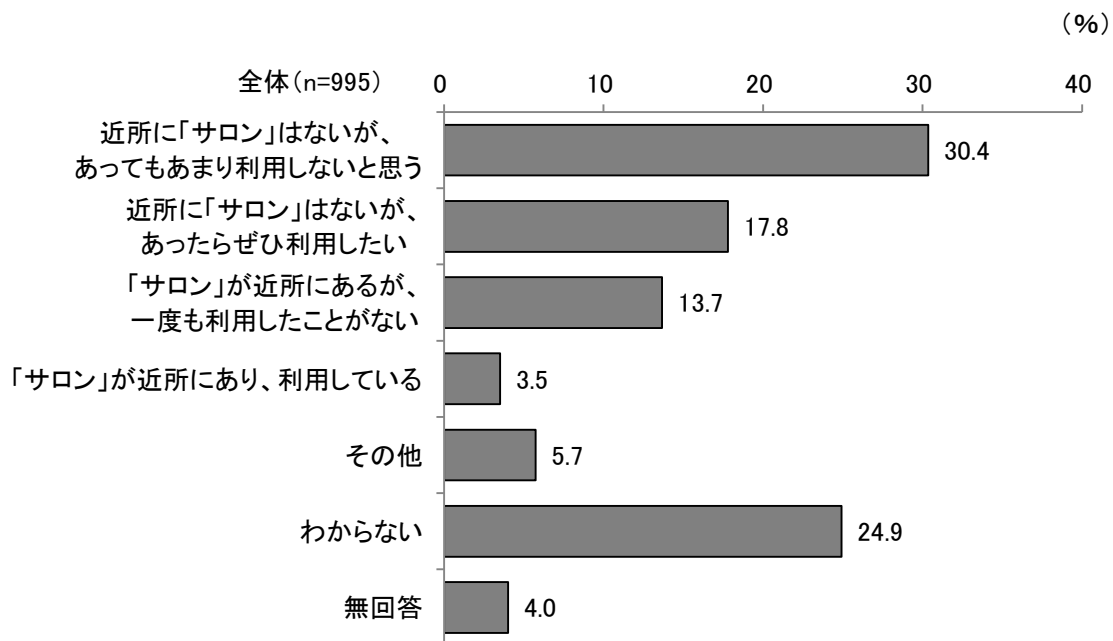


問18で高齢者あんしん相談センターについて「1. 知っており、利用したことがある」と回答した人に、対応やサービスについて、どのように感じたかを尋ねたところ、「満足」が最も多く44.0%、次いで「やや満足」が34.0%となっています。

7. 高齢者の「サロン」について

問19 あなたのお住まいの近所に、気軽にふらっと立ち寄れる高齢者向けの「サロン」があったら、利用してみたいですか。（○はひとつ）

1. 「サロン」が近所にあり、利用している（3.5%）
2. 「サロン」が近所にあるが、一度も利用したことがない（13.7%）
3. 近所に「サロン」はないが、あったらぜひ利用したい（17.8%）
4. 近所に「サロン」はないが、あってもあまり利用しないと思う（30.4%）
5. その他（5.7%）
6. わからない（24.9%）

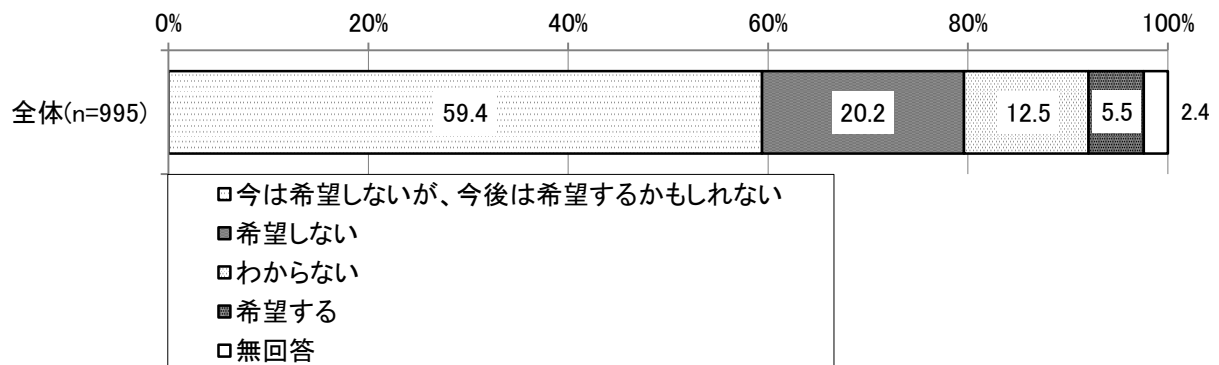


近所にサロンがあったら利用してみたいかを尋ねたところ、「近所に「サロン」はないが、あってもあまり利用しないと思う」が最も多く30.4%、次いで「わからない」が24.9%となっています。「その他」は、「活動内容がわからないので判断できない」、「今はその気がない」などとなっています。

8. 見守り訪問や地域支援について

問20 あなたは見守り訪問があれば希望しますか。（○はひとつ）

1. 希望する（5.5%）
2. 今は希望しないが、今後は希望するかもしれない（59.4%）
3. 希望しない（20.2%）
4. わからない（12.5%）

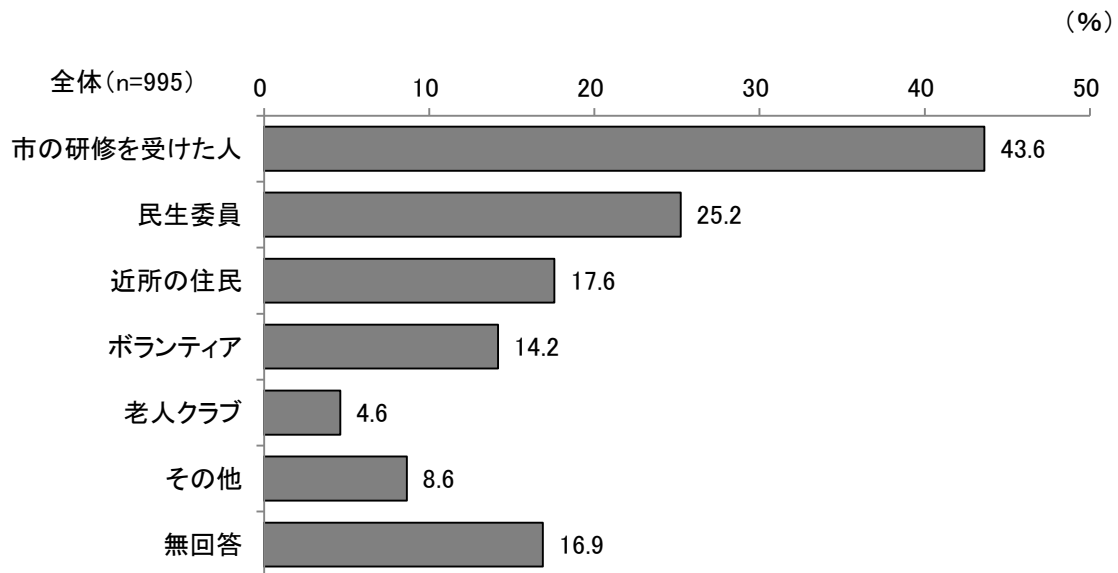


見守り訪問があれば希望するかを尋ねたところ、「今は希望しないが、今後は希望するかもしれない」が最も多く59.4%、次いで「希望しない」が20.2%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問21 もし、あなたが「ゆるやかな見守り訪問」を受けるとしたら、どなたの訪問を希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 民生委員（25.2%） | 4. 市の研修を受けた人（43.6%） |
| 2. ボランティア（14.2%） | 5. 老人クラブ（4.6%） |
| 3. 近所の住民（17.6%） | 6. その他（8.6%） |

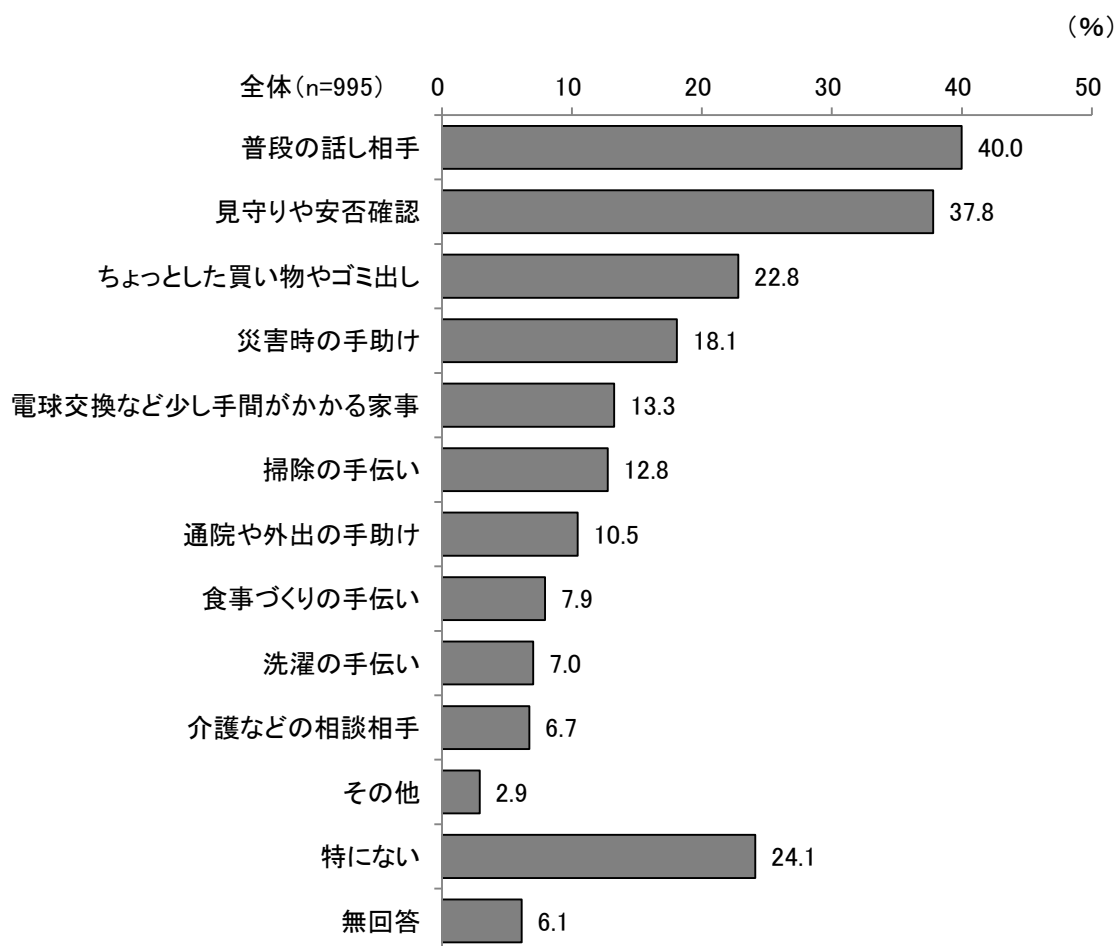


「ゆるやかな見守り訪問」を受けるとしたらどなたの訪問を希望するかを尋ねたところ、「市の研修を受けた人」が最も多く43.6%、次いで「民生委員」が25.2%となっています。「その他」は、「今はわからない」、「希望しない」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問22 高齢者など地域の住民が安心して暮らしていけるように、あなた自身が他の人にできる手助けにはどのようなことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 見守りや安否確認（37.8%）
2. 普段の話し相手（40.0%）
3. 介護などの相談相手（6.7%）
4. ちょっとした買い物やゴミ出し（22.8%）
5. 食事づくりの手伝い（7.9%）
6. 掃除の手伝い（12.8%）
7. 洗濯の手伝い（7.0%）
8. 電球交換など少し手間がかかる家事（13.3%）
9. 通院や外出の手助け（10.5%）
10. 災害時の手助け（18.1%）
11. その他（2.9%）
12. 特にない（24.1%）



自分自身が他の人にできる手助けについて尋ねたところ、「普段の話し相手」が最も多く40.0%、次いで「見守りや安否確認」が37.8%となっています。「その他」は、「町会の活動」、「ボランティア」などとなっています。

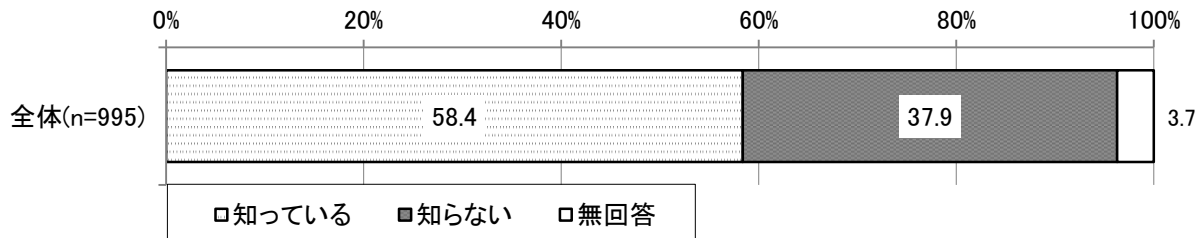
2. 高齢者意識調査結果

9. 老人クラブについて

問23 八王子市内に「老人クラブ」があることを知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っている（58.4%）

2. 知らない（37.9%）



「老人クラブ」があることを知っているかを尋ねたところ、「知っている」が58.4%、「知らない」が37.9%となっています。

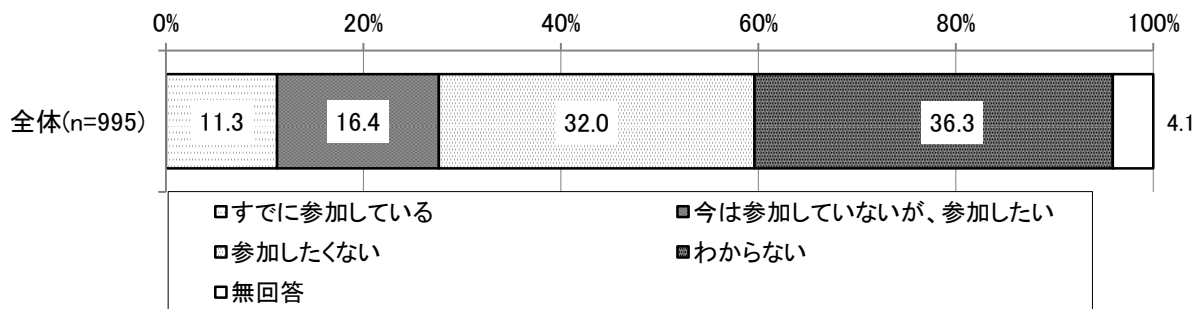
問24 あなたのお住まいの地域に「老人クラブ」があったら参加したいですか。（○はひとつ）

1. すでに参加している（11.3%）

3. 参加したくない（32.0%）

2. 今は参加していないが、参加したい（16.4%）

4. わからない（36.3%）



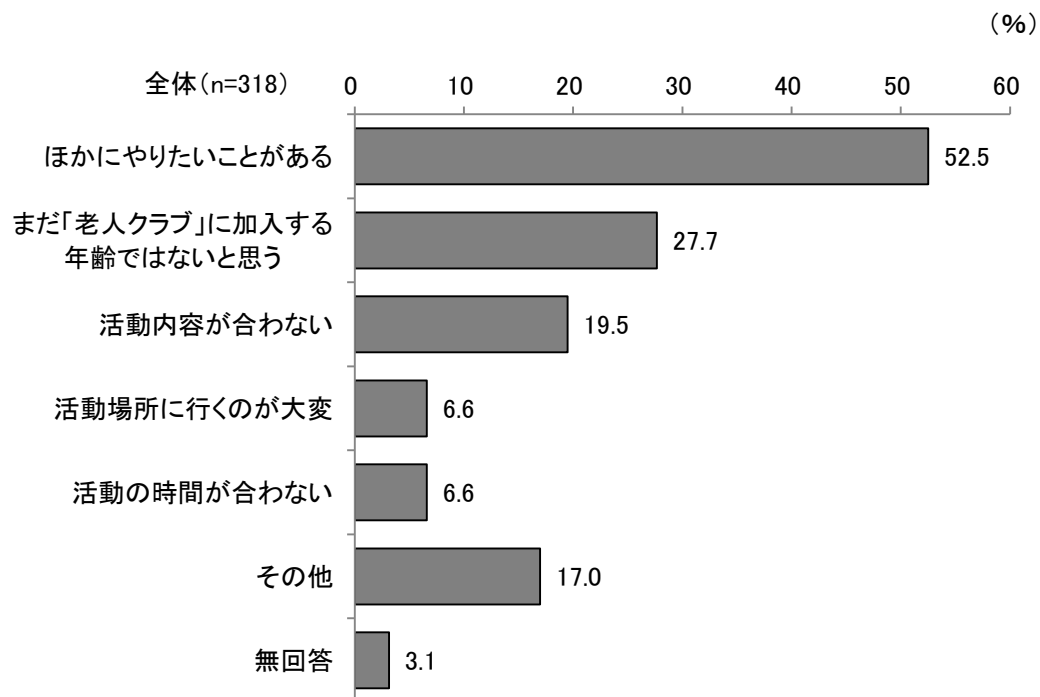
住んでいる地域に「老人クラブ」があったら参加したいかを尋ねたところ、「わからない」が最も多く36.3%、次いで「参加したくない」が32.0%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問24で「3」と答えた方のみ】

問24-1 参加したくない理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ほかにやりたいことがある（52.5%）
2. 活動場所に行くのが大変（6.6%）
3. 活動内容が合わない（19.5%）
4. 活動の時間が合わない（6.6%）
5. まだ「老人クラブ」に加入する年齢ではないと思う（27.7%）
6. その他（17.0%）

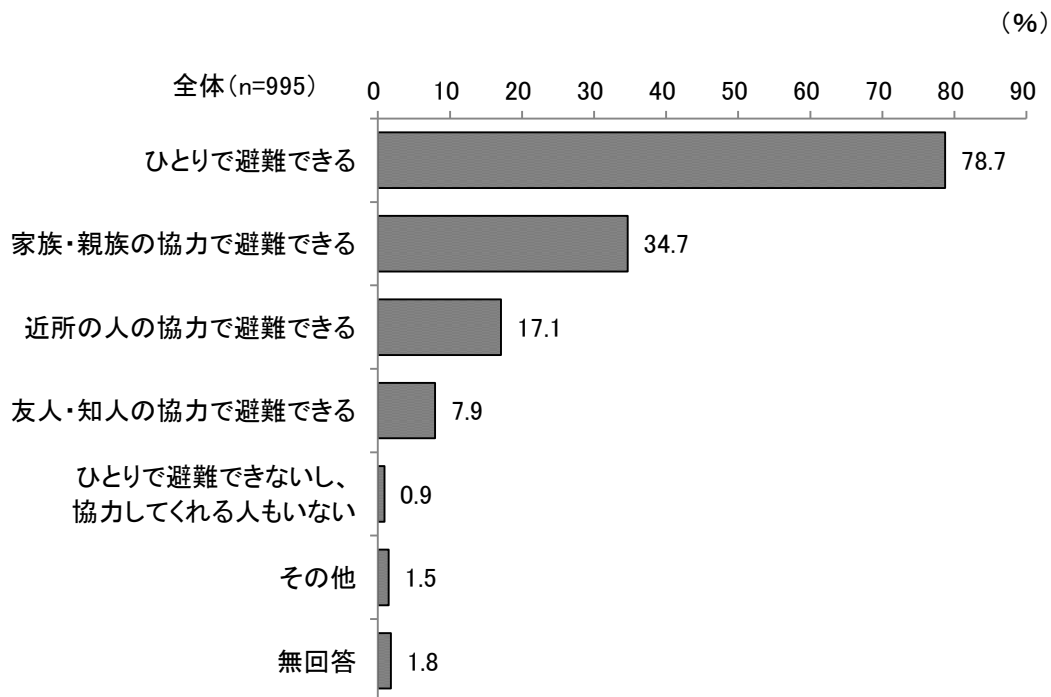


問24で「3. 参加したくない」と回答した人に、理由について尋ねたところ、「ほかにやりたいことがある」が最も多く52.5%、次いで「まだ「老人クラブ」に加入する年齢ではないと思う」が27.7%となっています。「その他」は、「高齢者以外と交流を持ちたい」、「人間関係が煩わしい」などとなっています。

10. 防災について

問25 あなたは災害時にひとりで避難できますか。できない場合は避難に協力してくれる人がいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ひとりで避難できる（78.7%）
2. 家族・親族の協力で避難できる（34.7%）
3. 近所の人との協力で避難できる（17.1%）
4. 友人・知人の協力で避難できる（7.9%）
5. ひとりで避難できないし、協力してくれる人もいない（0.9%）
6. その他（1.5%）

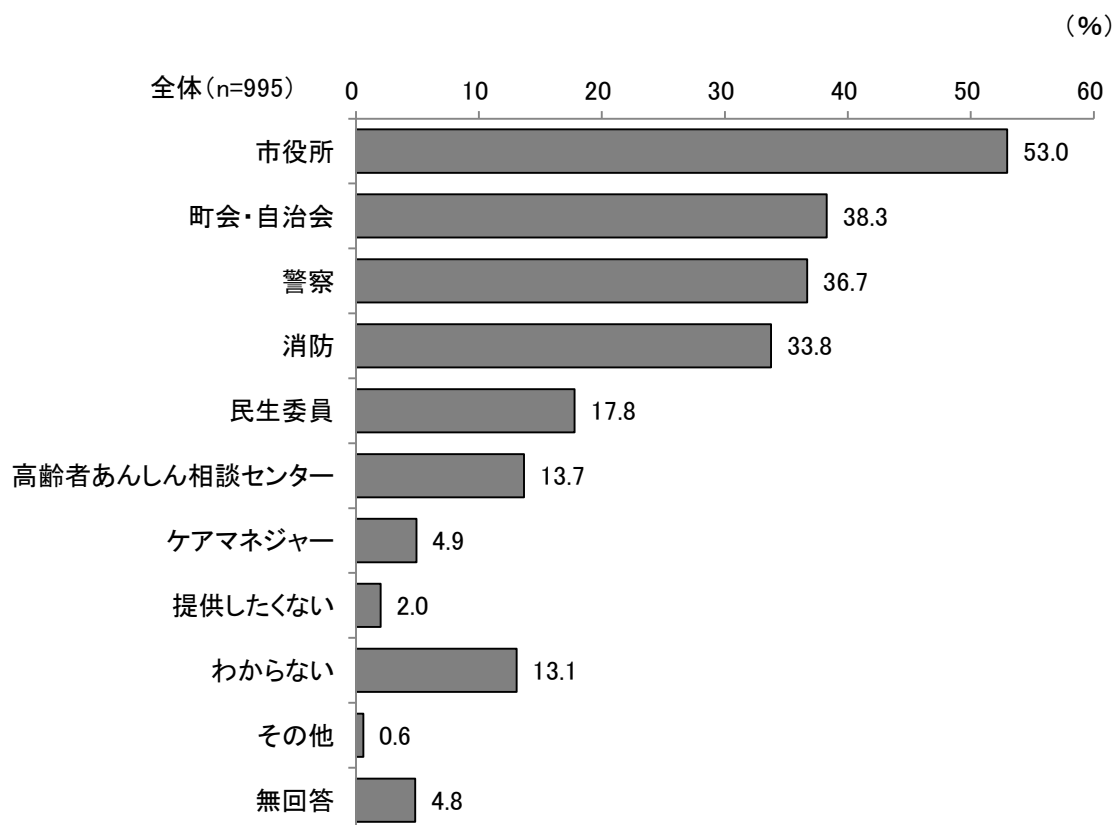


災害時にひとりで避難できるか、できない場合は避難に協力してくれる人がいるかを尋ねたところ、「ひとりで避難できる」が最も多く78.7%、次いで「家族・親族の協力で避難できる」が34.7%となっています。「その他」は、「自分はできるが家族が避難できない」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問26 あなたは災害発生時における支援体制づくりのため、どこであれば自身の情報を提供してもよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 市役所（53.0%） | 6. 高齢者あんしん相談センター（13.7%） |
| 2. 警察（36.7%） | 7. ケアマネジャー（4.9%） |
| 3. 消防（33.8%） | 8. 提供したくない（2.0%） |
| 4. 民生委員（17.8%） | 9. わからない（13.1%） |
| 5. 町会・自治会（38.3%） | 10. その他（0.6%） |



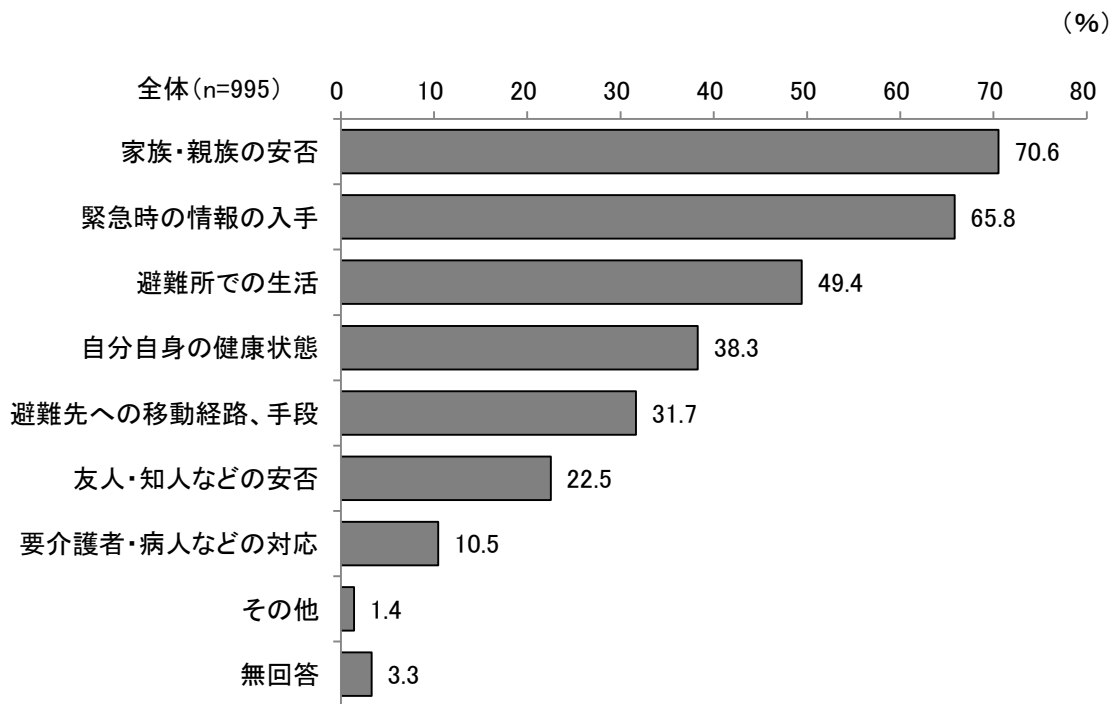
災害発生時における支援体制づくりのため、どこであれば自身の情報を提供してもよいと思うかを尋ねたところ、「市役所」が最も多く53.0%、次いで「町会・自治会」が38.3%で、「警察」が36.7%、「消防」が33.8%となっています。「その他」は、「できることなら何でも」、「息子」、「施設内」、「支援を必要としない」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問27 あなたは災害が発生した際、どのようなことが心配ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 緊急時の情報の入手 (65.8%) | 5. 避難所での生活 (49.4%) |
| 2. 避難先への移動経路、手段 (31.7%) | 6. 要介護者・病人などの対応 (10.5%) |
| 3. 家族・親族の安否 (70.6%) | 7. 自分自身の健康状態 (38.3%) |
| 4. 友人・知人などの安否 (22.5%) | 8. その他 (1.4%) |



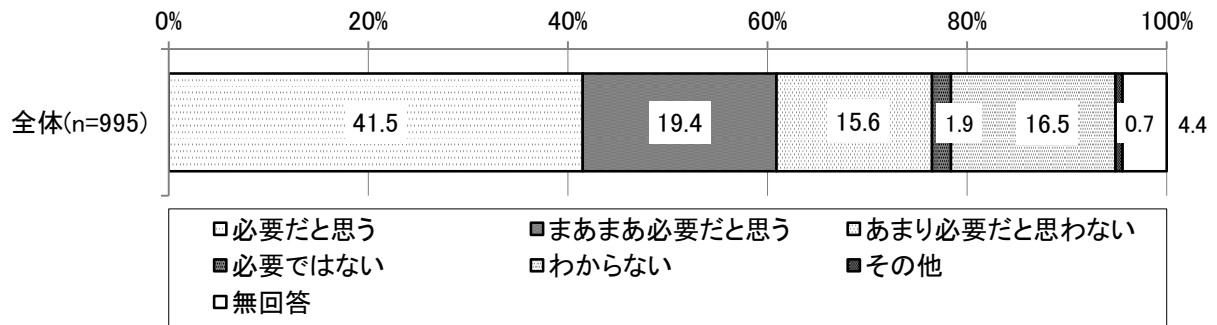
災害が発生した際の心配事について尋ねたところ、「家族・親族の安否」が最も多く70.6%、次いで「緊急時の情報の入手」が65.8%となっています。「その他」は、「特に感じていない」、「どうすればいいのかわからない」、「ペット、犬」、「命、水、食料、避難場所」、「心配したらきりがなし」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

11. 「終活」などについて

問28 あなたは「終活」の必要性について、どのように思いますか。（〇はひとつ）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 必要だと思う（41.5%） | 4. 必要ではない（1.9%） |
| 2. まあまあ必要だと思う（19.4%） | 5. わからない（16.5%） |
| 3. あまり必要だと思わない（15.6%） | 6. その他（0.7%） |

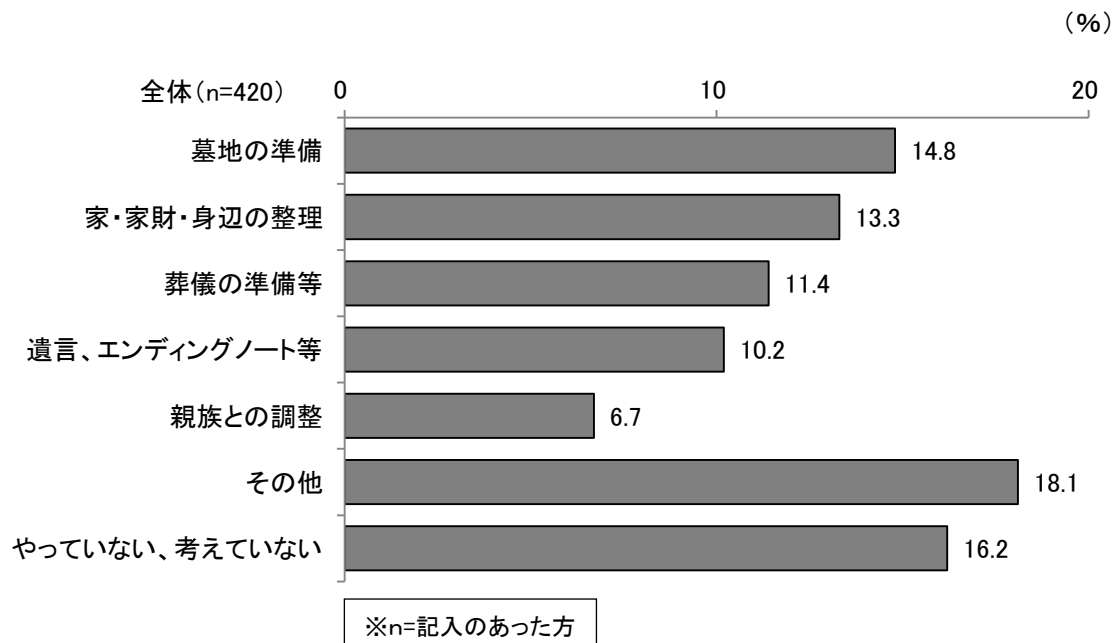


「終活」の必要性について、どのように思うかを尋ねたところ、「必要だと思う」が最も多く41.5%、次いで「まあまあ必要だと思う」が19.4%となっています。「その他」は、「考え中」、「家族に考え方は常日頃話してある」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問28で「1」または「2」と答えた方のみ】

問28-1 「終活」として準備していることがありましたら、回答欄に具体的にお書きください。

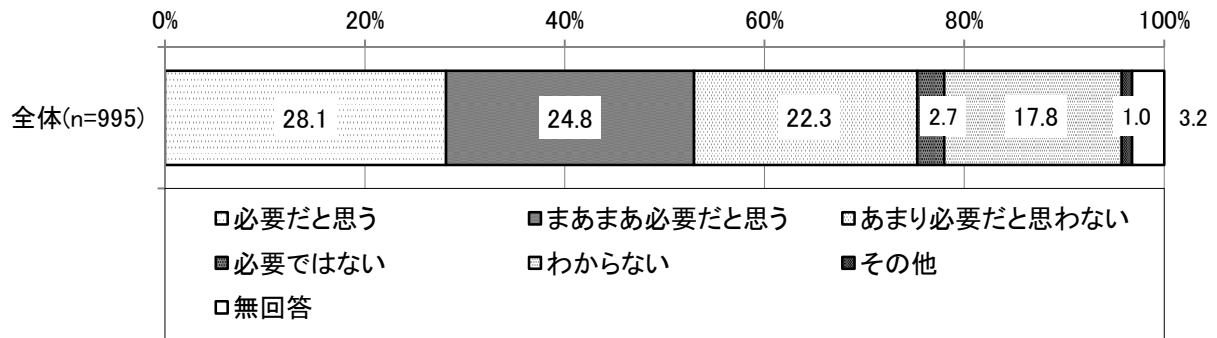


問28で「1. 必要だと思う」、「2. まあまあ必要だと思う」と回答した人が記入した「終活として準備していること」の記述内容を整理したところ、「墓地の準備」が14.8%で最も多く、次いで「家・家財・身の整理」が13.3%、「葬儀の準備等」が11.4%、「遺言、エンディングノート等」が10.2%となっています。「やっていない、考えていない」は16.2%となっています。「その他」は、「献体」、「延命拒否」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問29 あなたは「エンディングノート」についてどのように思いますか。（〇はひとつ）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 必要だと思う（28.1%） | 4. 必要ではない（2.7%） |
| 2. まあまあ必要だと思う（24.8%） | 5. わからない（17.8%） |
| 3. あまり必要だと思わない（22.3%） | 6. その他（1.0%） |

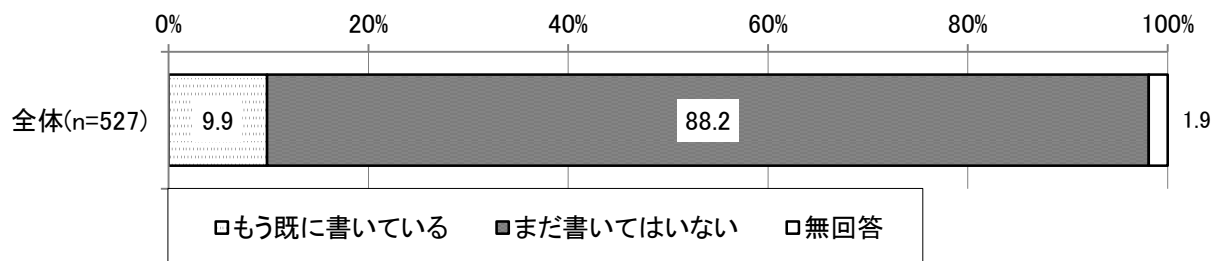


「エンディングノート」についてどのように思うかを尋ねたところ、「必要だと思う」が最も多く28.1%、次いで「まあまあ必要だと思う」が24.8%となっています。「その他」は、「自分の考えを家族が理解している」、「そのときどきの心の変化もあるので迷っている」、「個人の自由」、「考えていない」などとなっています。

【問29で「1」または「2」と答えた方のみ】

問29-1 エンディングノートを既にご書いていますか。（〇はひとつ）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. もう既にご書いています（9.9%） | 2. まだ書いてはいない（88.2%） |
|----------------------|---------------------|



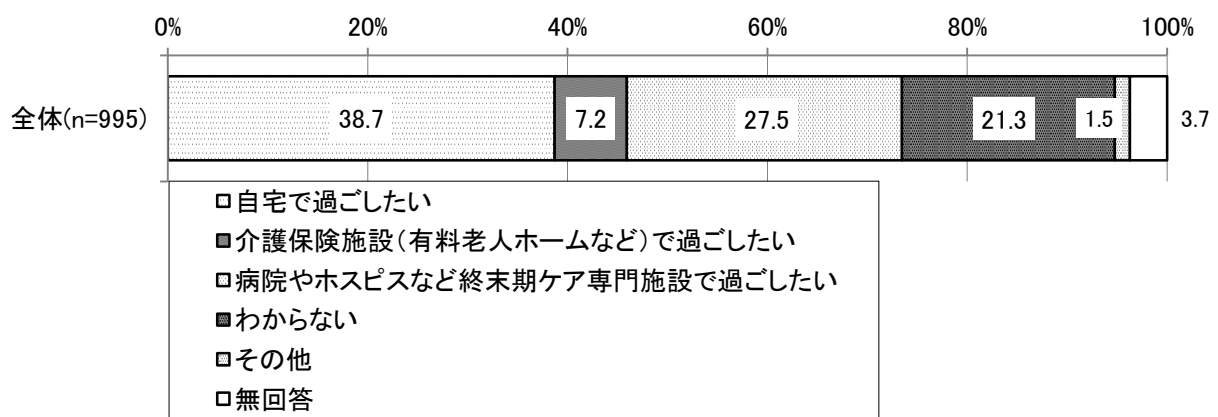
問29で「1. 必要だと思う」、「2. まあまあ必要だと思う」と答えた方に、エンディングノートを既にご書いていますかを尋ねたところ、「まだ書いてはいない」が88.2%、「もう既にご書いています」が9.9%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

12. 「看取（みと）り」について

問30 あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期をどこで過ごしたいと思いますか。（○はひとつ）

1. 自宅で過ごしたい（38.7%）
2. 介護保険施設（有料老人ホームなど）で過ごしたい（7.2%）
3. 病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい（27.5%）
4. わからない（21.3%）
5. その他（1.5%）



治る見込みのない病気になった場合、最期をどこで過ごしたいかについて尋ねたところ、「自宅で過ごしたい」が最も多く38.7%、次いで「病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい」が27.5%となっています。「その他」は、「そのときにならないとわからない」などとなっています。

		全体	自宅で 過ごしたい	介護保険施設 (有料老人ホーム など)で 過ごしたい	病院やホスピス など終末期ケア 専門施設で 過ごしたい	わからない	その他	無回答
全体		995 100.0	385 38.7	72 7.2	274 27.5	212 21.3	15 1.5	37 3.7
性別	男性	476 100.0	208 43.7	41 8.6	102 21.4	102 21.4	6 1.3	17 3.6
		514 100.0	174 33.9	31 6.0	171 33.3	109 21.2	9 1.8	20 3.9
	女性	5 100.0	3 60.0	－ －	1 20.0	1 20.0	－ －	－ －
		無回答						

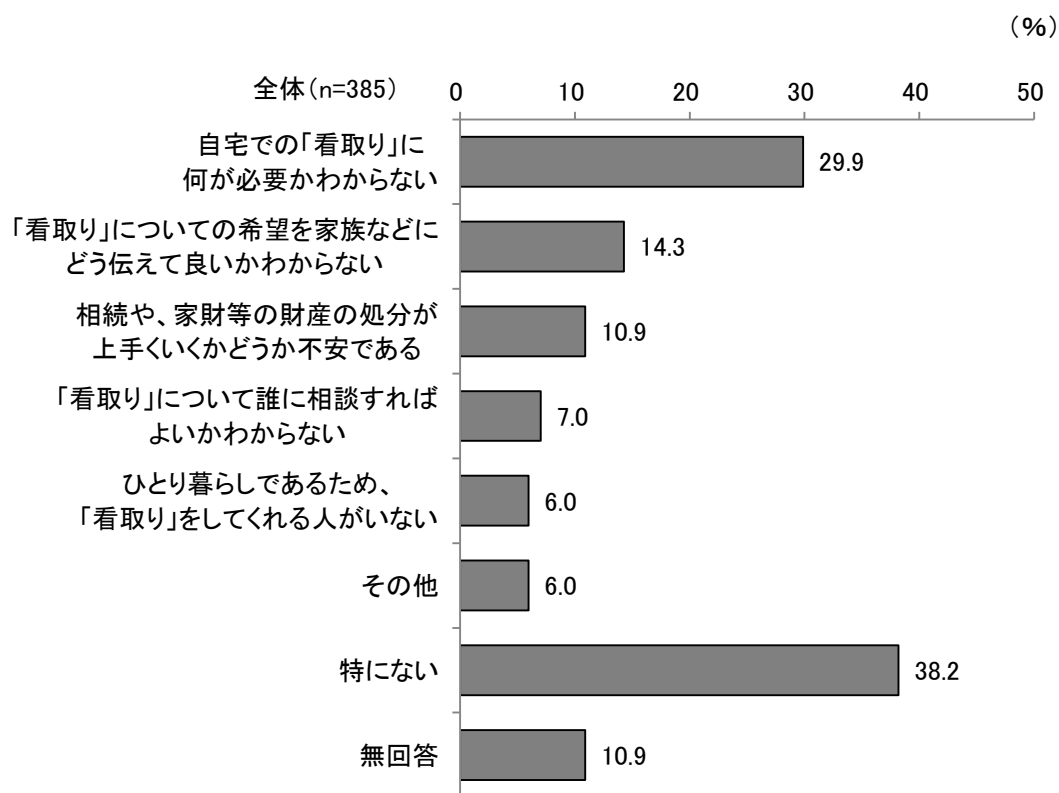
性別では、男性の方が女性より「自宅で過ごしたい」が9.8ポイント高く、「病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい」は女性の方が男性より11.9ポイント高くなっています。

2. 高齢者意識調査結果

【問30で「1」と答えた方のみ】

問30-1 自宅などで「看取り」を迎えられる場合、課題や不安な点はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしであるため、「看取り」をしてくれる人がいない (6.0%)
2. 相続や、家財等の財産の処分が上手くいくかどうか不安である (10.9%)
3. 「看取り」についての希望を家族などにどう伝えて良いかわからない (14.3%)
4. 「看取り」について誰に相談すればよいかわからない (7.0%)
5. 自宅での「看取り」に何が必要かわからない (29.9%)
6. その他 (6.0%)
7. 特にない (38.2%)



問30で「1. 自宅で過ごしたい」と回答した人に、自宅などで「看取り」を迎えられる場合の課題や不安な点を尋ねたところ、「特にない」が最も多く38.2%、次いで「自宅での「看取り」に何が必要かわからない」が29.9%となっています。「その他」は、「今は考えていない」などとなっています。

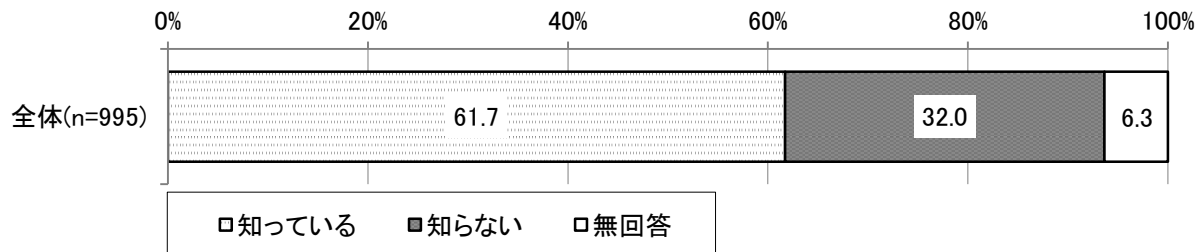
2. 高齢者意識調査結果

13. 成年後見制度などについて

問31 あなたは成年後見制度を知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っている（61.7%）

2. 知らない（32.0%）

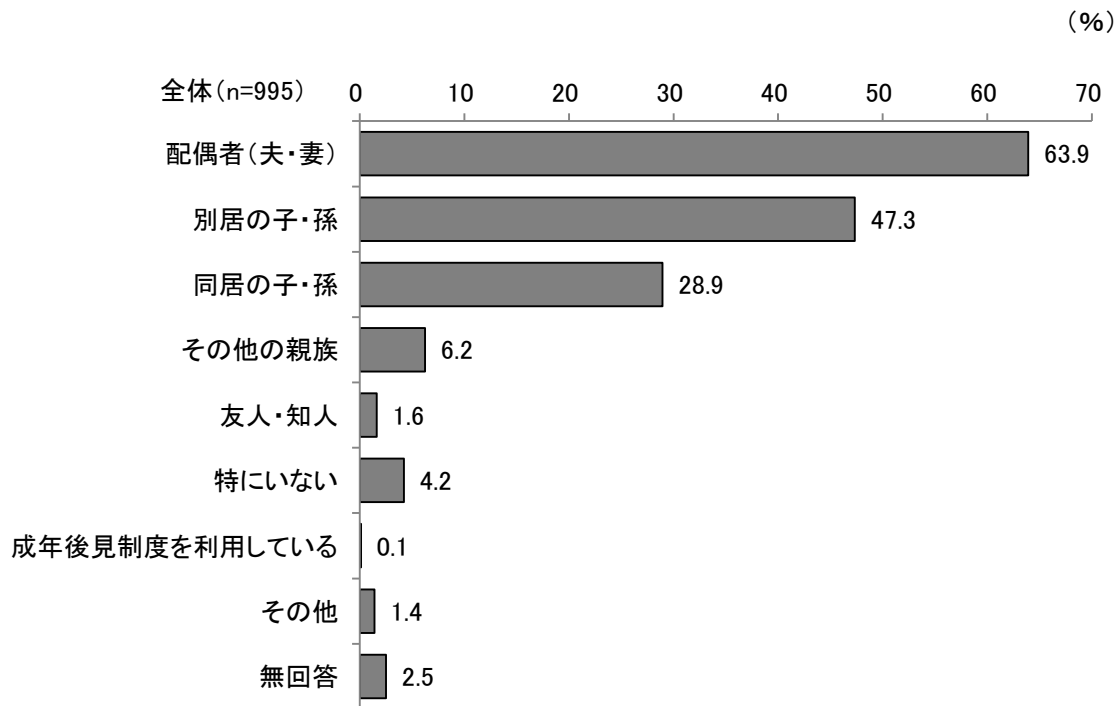


成年後見制度について知っているかを尋ねたところ、「知っている」が61.7%、「知らない」が32.0%となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問32 あなたは、将来認知力に不安を抱えるようになったとき、金銭の管理などを任せられる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 配偶者（夫・妻）（63.9%） | 5. 友人・知人（1.6%） |
| 2. 同居の子・孫（28.9%） | 6. 特にいない（4.2%） |
| 3. 別居の子・孫（47.3%） | 7. 成年後見制度を利用している（0.1%） |
| 4. その他の親族（6.2%） | 8. その他（1.4%） |



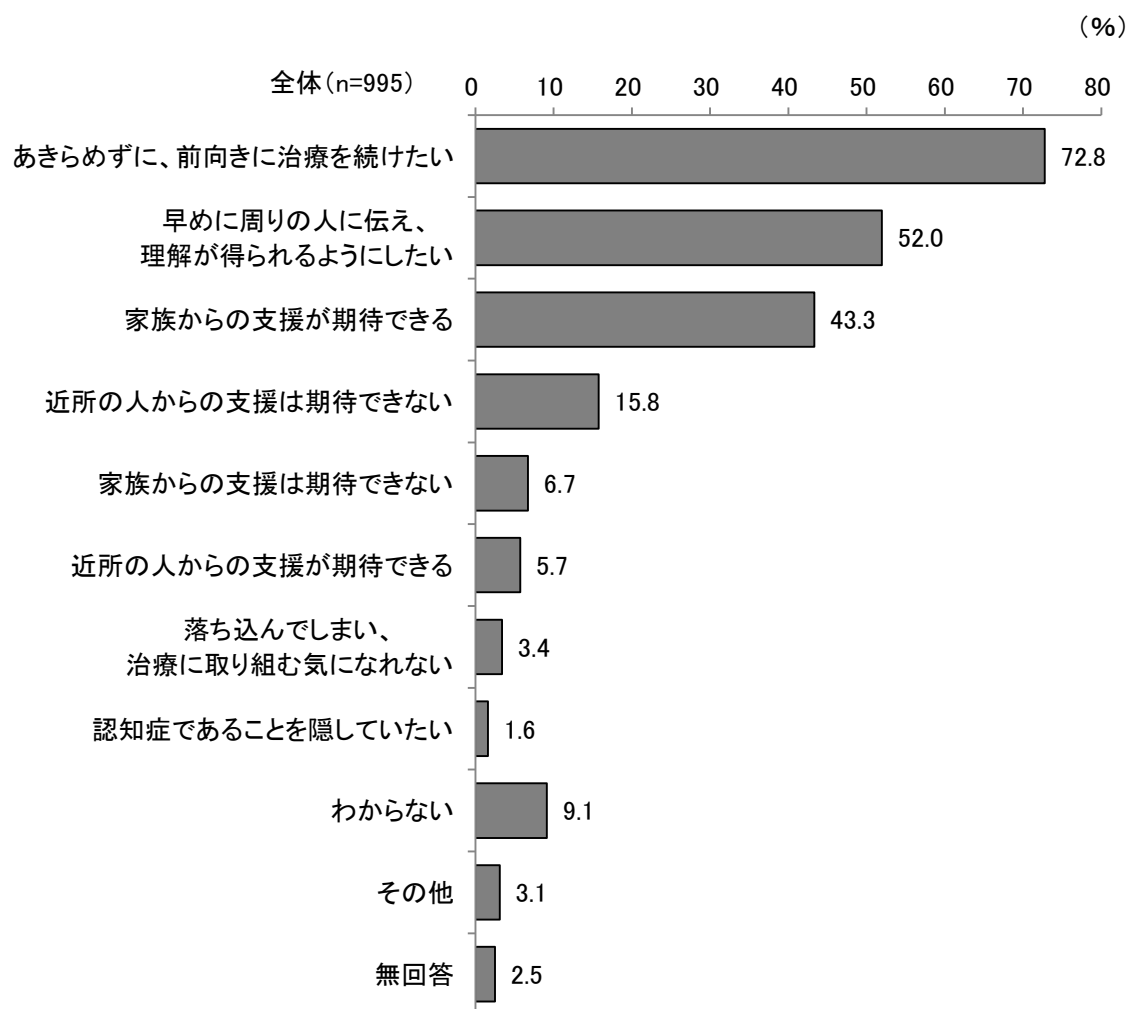
将来認知力に不安を抱えるようになったとき、金銭の管理などを任せられる人がいるかを尋ねたところ、「配偶者（夫・妻）」が最も多く63.9%、次いで「別居の子・孫」が47.3%となっています。「その他」は、「施設職員」などとなっています。

14. 認知症について

問33 もし、あなたが認知症を発症したら、どのように感じますか。また、既に認知症であるとの診断を受けている方は、どのように感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. あきらめずに、前向きに治療を続けたい (72.8%)
2. 落ち込んでしまい、治療に取り組む気になれない (3.4%)
3. 早めに周りの人に伝え、理解が得られるようにしたい (52.0%)
4. 認知症であることを隠していたい (1.6%)
5. 近所の人からの支援が期待できる (5.7%)
6. 近所の人からの支援は期待できない (15.8%)
7. 家族からの支援が期待できる (43.3%)
8. 家族からの支援は期待できない (6.7%)
9. わからない (9.1%)
10. その他 (3.1%)



2. 高齢者意識調査結果

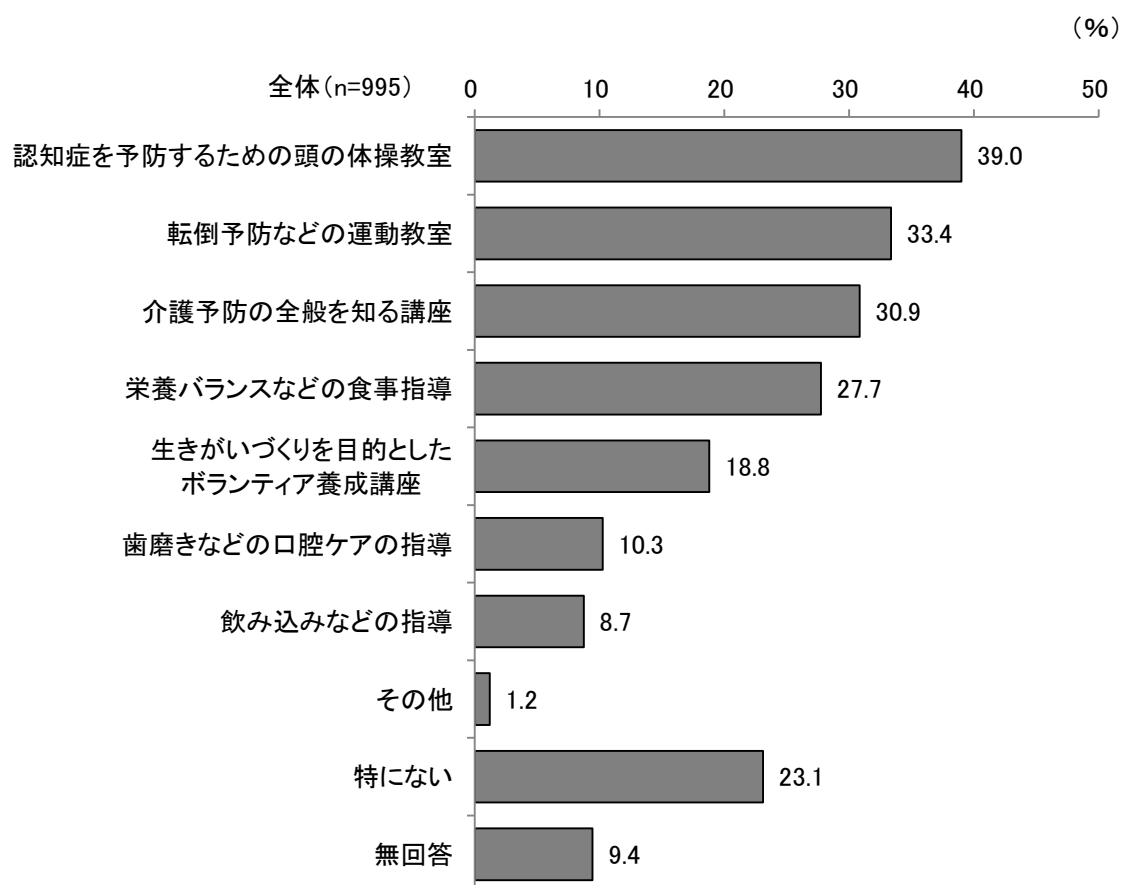
認知症を発症したらどのように感じるか、既に認知症であるとの診断を受けている場合どのように感じているかを尋ねたところ、「あきらめずに、前向きに治療を続けたい」が最も多く72.8%、次いで「早めに周りの人に伝え、理解が得られるようにしたい」が52.0%となっています。「その他」は、「施設を利用したい」、「友人に頼りたい」などとなっています。

15. 介護予防や介護保険制度などについて

問34 あなたは介護予防について、どのような事業を希望しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 転倒予防などの運動教室 (33.4%)
2. 栄養バランスなどの食事指導 (27.7%)
3. 歯磨きなどの口腔ケアの指導 (10.3%)
4. 飲み込みなどの指導 (8.7%)
5. 認知症を予防するための頭の体操教室 (39.0%)
6. 生きがいづくりを目的としたボランティア養成講座 (18.8%)
7. 介護予防の全般を知る講座 (30.9%)
8. その他 (1.2%)
9. 特にない (23.1%)



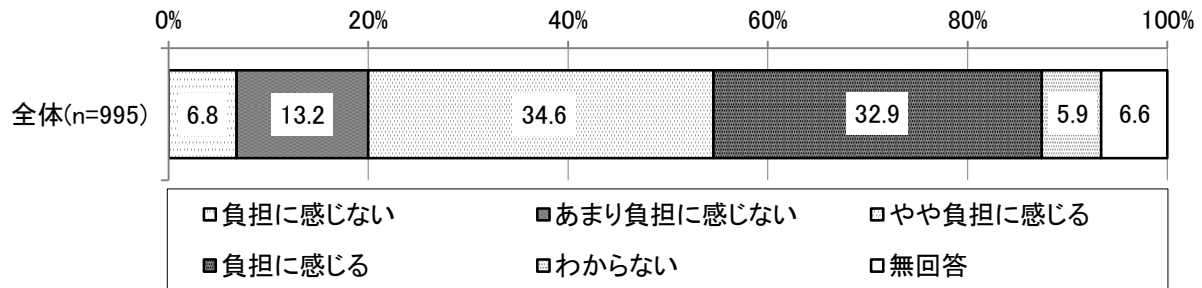
介護予防についてどのような事業を希望するかについて尋ねたところ、「認知症を予防するための頭の体操教室」が最も多く39.0%、次いで「転倒予防などの運動教室」が33.4%となっています。「その他」は、「わからない」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問35 現在の介護保険料の支払いについて、あなたはどのように感じますか。

(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 負担に感じない (6.8%) | 4. 負担を感じる (32.9%) |
| 2. あまり負担に感じない (13.2%) | 5. わからない (5.9%) |
| 3. やや負担を感じる (34.6%) | |



現在の介護保険料についてどのように感じているかを尋ねたところ、「やや負担を感じる」が最も多く34.6%、次いで「負担を感じる」が32.9%となっています。

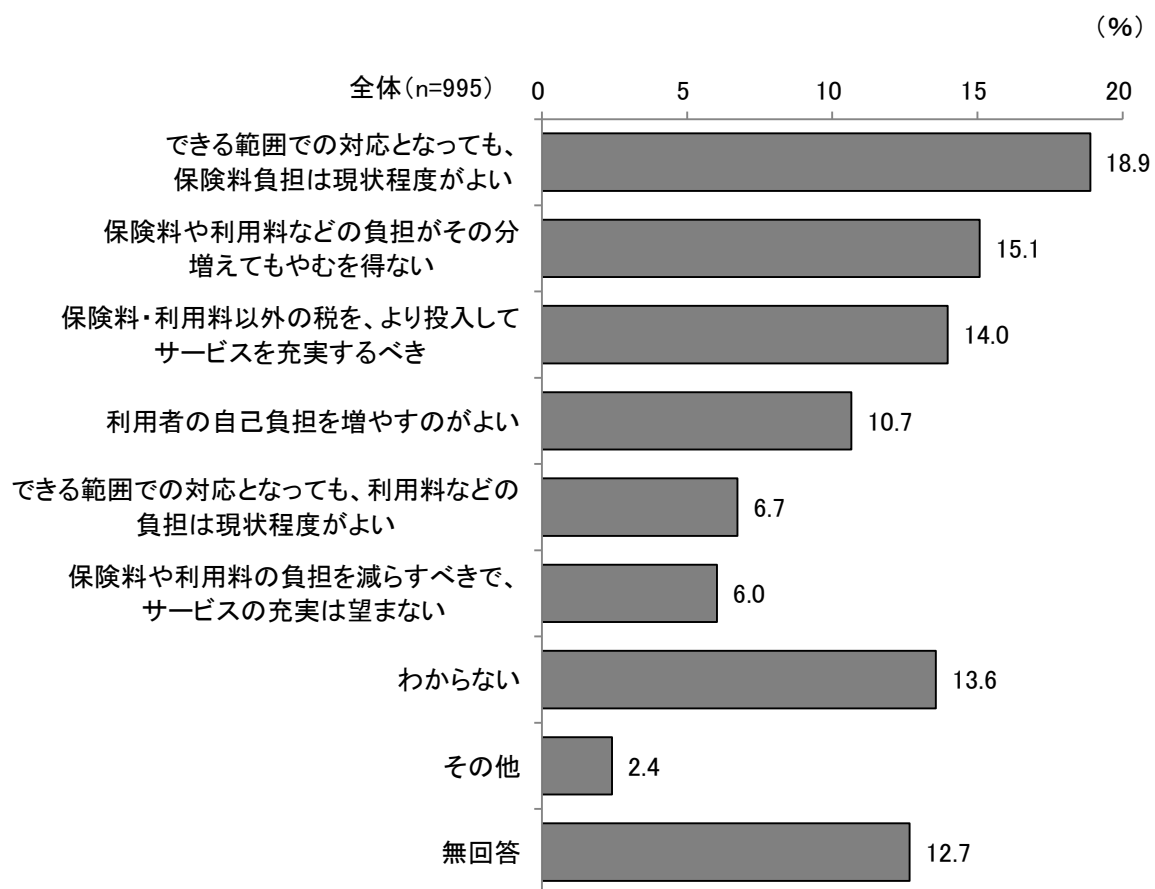
		全体	負担に 感じない	あまり負担 に感じない	やや負担に 感じる	負担に 感じる	わからない	無回答
全体		995	68	131	344	327	59	66
		100.0	6.8	13.2	34.6	32.9	5.9	6.6
年齢別	65～69歳	310	14	33	114	111	22	16
		100.0	4.5	10.6	36.8	35.8	7.1	5.2
	70～74歳	301	18	51	107	99	12	14
		100.0	6.0	16.9	35.5	32.9	4.0	4.7
	75～79歳	228	20	22	82	73	13	18
		100.0	8.8	9.6	36.0	32.0	5.7	7.9
	80～84歳	104	11	16	29	29	8	11
		100.0	10.6	15.4	27.9	27.9	7.7	10.6
	85歳以上	43	3	8	12	12	3	5
		100.0	7.0	18.6	27.9	27.9	7.0	11.6
	無回答	9	2	1	—	3	1	2
		100.0	22.2	11.1	—	33.3	11.1	22.2

年齢別では、65～69歳で「負担を感じる」と「やや負担を感じる」の合計が7割以上となっています。

2. 高齢者意識調査結果

問36 高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。（○はひとつ）

1. 保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない（15.1%）
2. 利用者の自己負担を増やすのがよい（10.7%）
3. できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい（18.9%）
4. できる範囲での対応となっても、利用料などの負担は現状程度がよい（6.7%）
5. 保険料や利用料の負担を減らすべきで、サービスの充実は望まない（6.0%）
6. 保険料・利用料以外の税を、より投入してサービスを充実するべき（14.0%）
7. わからない（13.6%）
8. その他（2.4%）

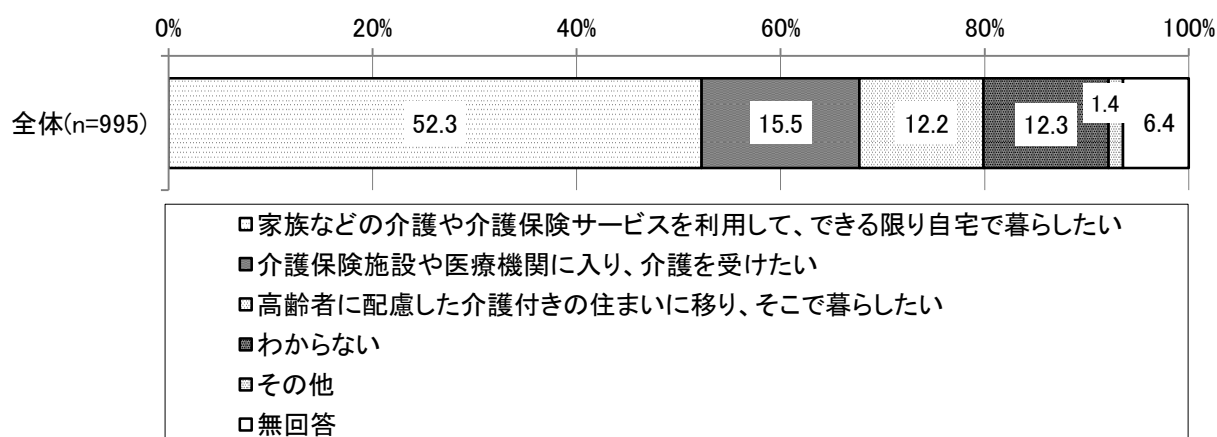


介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについて尋ねたところ、「できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい」が最も多く18.9%、次いで「保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」が15.1%、「保険料・利用料以外の税を、より投入してサービスを充実するべき」が14.0%、「わからない」が13.6%となっています。「その他」は、「無駄を省いてほしい」などとなっています。

2. 高齢者意識調査結果

問37 今後の介護について、どのような希望をお持ちですか。現在介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。（〇はひとつ）

1. 家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい（52.3%）
2. 介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい（15.5%）
3. 高齢者に配慮した介護付きの住まいに移り、そこで暮らしたい（12.2%）
4. わからない（12.3%）
5. その他（1.4%）



今後の介護についての希望を尋ねたところ、「家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい」が最も多く52.3%、次いで「介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい」が15.5%となっています。「その他」は、「自宅で暮らしたいが、家族への負担が心配」などとなっています。

16. その他、ご意見など

問38 あなたが、健康維持などで特に気を付けていること、あれば良いとお考えのサービス、その他ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

330名が意見を寄せました。内容を整理すると、以下のような結果となっています。一人の方が複数の内容の意見を書いている場合があるので、件数の合計は330以上となっています。健康維持について具体的な内容があるものについては、その記述内容によって8分類しました。主な意見を掲載します。なお、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っています。

記述内容	件数
1. 欲しいサービス等	34
2. 運動について	24
3. 市政・まちづくりについて	20
4. 介護保険制度について	19
5. 介護・福祉サービスについて	19
6. 医療について	16
7. ボランティアについて	15
8. サロン・交流の場について	12
9. 情報提供／相談対応	12
10. 交通／移動	11
11. 将来への不安	11
12. 介護を受けている人について	8
13. 健康 運動	113
14. 健康 食事	62
15. 健康 交流	37
16. 健康 メンタル	31
17. 健康 趣味	30
18. 健康 頭を使う	25
19. 健康 医療	17
20. 健康 その他	65
21. その他	56

主な意見

【1. 欲しいサービス等】

- ・足腰の衰え防止に散歩と畑仕事（市の農園）。農園の借用料を70歳以上の高齢者は割引してほしい。

2. 高齢者意識調査結果

- ・70歳を超えても、まだ社会の役に立てると自分では思うが、それを活かすチャンスが自分で開拓しないと無いので残念。コーディネイトしたり、売り込んだりするの面倒（学校ボランティアは責任や、現代っ子や、モンスターペアレント等考えると、荷が重く敬遠する）。
- ・高齢になるにつれ、病気や日常生活の突発的なでき事等、自分で考えられなくなったとき、ボタン一つで支援センター等に繋がるような所があると安心です。
- ・①観劇などの高齢者割引が充実するとありがたい。②このアンケートで、高齢者に対する施策と市役所が意欲的に取り組もうとしてることが分かった。
- ・高齢になっても、健康で自立する健康寿命ができるだけ長くなるように、日頃よいと言われていることを行うように心がけたい。市へはそれができる援助と見守りの充実をお願いしたい。
- ・買い物サービス。買い物に行けなくなったとき、週に一度でも（決まって）「何かありませんか？」とまわってきてくださればありがたい。歳と共に重くなってきた（牛乳、醤油、大根等）。お米は配達してくださるところを見付けた。老人とともに学生が住み、保育園などがあり、いつでもそういう人々と接することができる住居があればいいと思う。
- ・①老人クラブの情報が欲しい。別所地域はマンションが多く、地域コミュニティが不足していて、話し相手がいない。気軽に参加できる集まりがほしい。②簡単な作業ができる作業場があるとよい。簡単なものをつくったり、修理をしたりする、作業をすると楽しくなりそう。
- ・町内の老人会で毎月集まりがあり、食事会とかお茶会がありましたが、市役所からこのようなお金の使い方ではいけないとのことで、中止になってしまいました。公園もなく会館も小さいため、皆さんと会うこともなくなりさみしいです。

【2. 運動について】

- ・市の体操教室等を増やしていただきたい。また、それは継続的にやっていただかないと意味がないと思うのですが。続けてやっていることが健康を保ったり、怪我を防いだりすると思います。
- ・座骨神経痛で整形外科に通っていますが、思うように改善しません。筋肉の衰えをできるだけ防ごうとウォーキングを心掛けていますが、痛みが出るのであまりできません。水中ウォークがよいと聞いて「広報」に載った教室に二度ほど応募しましたが、抽選で外れました。センターでの教室は希望者が多く、対応しきれないなら、民間施設の協力を得て高齢者割引などの紹介はできないでしょうか。
- ・運動、筋力維持。体幹を鍛えることを心掛けています。今はフィットネスクラブや、地域サークルに入ってやっている（有料）が、もっと手軽に、地域の公園に子どもの遊具だけでなく、高齢者の体力維持に役立てられる器具も備える。月に一度くらい、保健所などから使い方の指導に来てもらえるようなシステムが作られたら、もっと身近なところで近所誘い合わせて、また、散歩ついでに多くの人が利用していかれると思う。女性、男性とも家に引きこもっておられる方も多い。クラブなどに所属するのは、尻込みされる方も、近所の公園で、一人ででもできる、2、3人でもできるとなれば外出されるきっかけになるのではないかと思います。
- ・楽しみながらできる、軽いスポーツはないか。ただ単に歩くだけでは長続きしないので。
- ・地域に安全な散歩コースをつくり、途中に椅子等を設置し、自由に歩行者が休憩できるようにする。
- ・近いところに30分程度の運動を指導してくれる施設が欲しい。年をとっても筋肉を維持できるようなところ。また、認知症予防の頭の体操教室を希望します。

2. 高齢者意識調査結果

【3. 市政・まちづくりについて】

- ・多摩地区は丘陵地帯なので歩くのが大変です。特に南大沢4丁目の輪舞橋が横断できないのが不満です。エスカレーターまたは横断できるようにしていただきたい。足の弱い年寄りが多く利用する交差点です。よろしくお願いします。
- ・じつは来年早々、日野市の便利なところに転居予定です。環境のよい、この北野台を大変気に入っていましたが、やはり不便なのと、将来売り家が次々と出てくるのではとの不安で一大決心をしました。八王子市として、この素晴らしい住宅地を若返らせ、昔のような活気ある地域にする知恵を絞っていただきたい。老人対策に力を入れるのはもちろん結構ですが、若い人たちが住みたくなるまちにすることの方が大切。若い人が住むようになれば、年長者も助けてもらえることになりますし…。今この地域、老が老を助ける状態です。
- ・ウォーキング、地域のコミュニティーを多くして、老人が孤独にならないように、明るく生きがいを持てる地域を目指すと、素晴らしいと思います。
- ・これからの八王子にぜひお願いしたいのは、老人だけではなくすべての住民にとって、道路、交通等、優しさのあふれるまちにしていきたいと切に思います。足腰の丈夫な人々だけでなく、車椅子の通行、杖をついている人の通行に優しいまちづくりをしてください。

【4. 介護保険制度について】

- ・現在、持病もなく過ごしているが、一人で暮らすようになったとき介護サービスを受けるだけで事故無く暮らせるか不安です。できるだけ施設に入らない生活を希望しています。その為に個々でサービスを受けるだけの担い手がいるかどうか。一人暮らしが無理でも少しの補助で生活が維持できる程度なら「サービス付高齢者住宅」でも良いかと考えます。高齢者も行政も歩み寄った政策を希望します。介護が必要になったとき、子どもが同居しているだけで、介護度が下がると聞きました。現役の子どもに介護は無理です。
- ・最近介護する人が足りないと言って、外国人の育成をしていますが、その前にせつかく現行で働いている日本人が、資格を取り、介護の仕事についてもあまりの低賃金のために、家族を養っていけず、介護の仕事から離れていく人たちも多いと聞きます。外国人を育てる前に日本の若者が喜んで働けるような体制を整えてほしいと思います。どうか、介護の現場をよく見てやって下さい。
- ・年金で生活しております。今後の介護保険料の引き上げは絶対にやらないでほしいと思います。
- ・私の母がお世話になっている特養ホームでは、介護士さんの定着率があまり良くないようです。原因はいろいろあるのですが、介護士の絶対数が、法律的にはクリアしていても、足りないため、1人当たりの労力がきついと言うことと、それに見合う給料が得られないというのが、その要因だと思います。ただ働いていられる介護士さんは皆さま一生懸命にやっておられるので文句は言えませんが、家族のものから見るとどうしても不満な点が見えてくるのです。建物だけできても、そこに働く人がいなければ、何のための介護施設か、と思われしますので、行政面でも財政的な援助なり、監視を十分行ってもらいたいと思います。今後、高齢化がますます進む現状を思うと将来が不安でなりません。

【5. 介護・福祉サービスについて】

- ・在宅看護に対するサポートをしっかり作ってもらいたい。誰しも自宅で介護してもらいたいと望んでいると思います。第2の選択として、ホームに入ることにしても沢山の資料を自治会を通じて知

2. 高齢者意識調査結果

ることができればと思います。

- ・家族や近所の人、友人と良く話をして良く笑う。現在やっているボランティアをできるだけ長く続ける。要介護になったときに特に必要と思われるのは入浴の介助と思っています。デイケアの中には入浴サービスがないところもあるので、その点が気になります。
- ・介護といえば、フィジカル面からのアプローチをはかたりするのが主流のようですが、メンタルサポートという切り口をもっとすすめていって、予防医学や施策に役立てていったら、どうでしょうか？
- ・現在特に気にすることは「認知症」のことです。もし認知症になった場合、家族に大きな負担をかけないように、市のサービスを充実させていただきたいです。気軽に相談できて、よいアドバイスのできるケアマネジャーの育成を充実させてほしいです。家族が会社を退職することなく、介護できる方法など、親身になって相談に乗ってくれることを希望します。

【6. 医療について】

- ・在宅にて、内科、歯科等定期的に往診治療していただけたらと思います。
- ・脳ドッグ等保険適用ができると良いと思う。一番の心配は認知症等になり、家族や周りに迷惑をかけることがないようにしたいが、いっとう転がるのか見当が付かないのが不安がある。
- ・できる限り自宅で老後を過ごしたいと思いますが、元気な現在でも、往診してくださる先生は見当たりませんので、不自由になったらと思うと心配です。介護と医療を組み合わせた体制があればと願っています。
- ・2年半前に肺がんの手術を受けて以来、現在まで定期的に受診し、再発、転移などの有無を確認している。また今年度は市の健診のほか、胃と大腸の内視鏡検査も受けようと考えている。現在、患者の医療機関に対する意見（要望、不満、その他）を述べる窓口、機関がないように思う。受診の際に医師には時間的に話せないし、話しにくい。こうした窓口で患者から得た意見を市などが医療機関へと伝えることができたなら、そしてその意見等を医療機関が真摯に受け止めれば、より効率的な医療が期待できると考える。

【7. ボランティアについて】

- ・定年後、ボランティア的な仕事を継続している。地域でもボランティアに属する仕事をしている。自分の趣味に取り組みたい。いつまでも先がない。介護制度を充実させたい。
- ・歩くこと、洋裁が好きなので（ちょっとしたマフラーとか袋作り）、手芸が好きです。プロではありません。昔洋裁学校には行きました。ちょっとしたものを教えて下さる洋裁のボランティアさんが来て下さると良いなと思っています。
- ・元気な高齢者が困っている高齢者を手助けする（ボランティア制度、シルバー人材など）。仕組みを拡大し、より多くの高齢者が気軽に参加できる環境づくりを期待。
- ・現在割合健康な方なので、日頃充分気をつけるようにしている。近所の高齢の方で買い物や掃除など、声をかけていただければ、ぜひ手伝いたい。

【8. サロン・交流の場について】

- ・南大沢の福祉センターにて、囲碁教室を利用させてもらい感謝しています。その場での会話等を通じ活力をもらっています。受付の方も親切でこのような場所を今後も継続してほしいと思います。
- ・①高齢者が容易に利用できる運動施設。②公共のデイサービスのもの（参加自由型）。③高齢

2. 高齢者意識調査結果

者の利用できる農地（借地利用）。④ものづくり、作物づくりができる公共施設、耕地等。

- ・自分の歩いていける範囲で、いつでも人と集まっておしゃべりをしたりできる場があると、とても嬉しい。
- ・団地内の商店街がシャッターを下ろして、とても寂れています。気軽に利用できるサロンなどをつくってほしいです。公立の介護保険施設を増やしてほしいです。
- ・現在要介護4の母の面倒をみていますが、どうしてもストレスが溜まり、精神的な面で、健康に支障が出てしまいます。なるべく、家の中でよくよしないで大勢の人たちと話ができますよう、工夫しています。できたら、このような人たちが気軽に集まって話ができます場所があったらなあと思います。
- ・一人住まいの場合、できるだけ引きこもりをしないよう心がけて、足や腰を鍛えたいと思います。お金を持ってない人でも、気軽に出入りできる場所や、お話しや、グチを聞いてくださる場所等…希望です。

【9. 情報提供／相談対応】

- ・できるだけ健康で過ごせるよう運動、食事に気を付け生活している。まだ現役で仕事をしているので、老後のことは必ずしも現時点では身近でないが、今後の必要性も考え、しっかりとした情報がほしい。
- ・現在、心臓疾患にて通院治療中で無理のできない体ですが、妻の援助にて居宅生活は維持しています。もし、妻の援助を得られない状況になったときにどんな生活を送れるのかが一番心配なことです。すぐに対応していただけるサービスと利用方法等を教えていただきたいと思っております。
- ・墓地の案内か「エンディングノート」の案内（パンフ）があったらいいと思います。市営の老人ホーム、看護福祉の案内もほしい。
- ・八王子市周辺の介護保険施設、医療機関の内容についての紹介など、情報提供が望まれます。

【10. 交通／移動】

- ・病院などへの行き帰りに身体がなかなか大変で、特に雨の日など、困ってしまい、交通手段として、タクシーを利用せずにはいられないので80歳以上の高齢者の方々に年間10枚のタクシー券を配布して下さい。
- ・谷野町から中野町方面に行くバスがないのでそれが困っています。工学院大学側に買い物に行きたいのですが、歩いては、帰りの荷の重さを考えるといけません。市役所に行くのも大変です。早くに、谷野町から市役所、そして西八王子駅経由のバスが通ることを切に願っています。
- ・はちバスの利用手法を、可能な限り増やすとありがたいです。現在は運動をし、自分の足で移動をしておりますが、先々のことを思って。
- ・八王子市は人口構成、小中学校から老年人口などの分布マップ（地図）をつくるべき。特にテレビで取り上げられた西東京バス停付近、宝生寺への川へかかる「流れ橋」は住民の不便のことをまったく考えていない。郵便ポストが少なく、バス路線の循環が悪い。特にJR、京王高尾駅の南北道路（地下アーケード）はスロープを緩やかにして、老人の通行可能にしてもらいたい。

【11. 将来への不安】

- ・現在、私の母を介護しており、私自身が病に倒れたことを想定すると不安でいっぱいです。お金

2. 高齢者意識調査結果

があれば施設に入れることも考えたい。

- ・今は夫と2人暮らし、まあまあ元気で（病院通いをしながら）暮らしてますが、近い将来、一人暮らしになるのは当然のこと。そのときどうなるのか。夫が1人になると暮らしの全てに困ることが生じ、1人で生きていけるか考えたら、妻はどうしても夫を見送って逝かねばならない。しかし、その後、妻の一人暮らしも安泰とはいかないでしょう。1人になったら友人同士、グループホーム的なものに建物を改造し、ヘルパーさんに助けられて生活していこうかと話をしています。今まで平静に生きてこられたけれど、最後はどうなるのか不安でもあり、皆さまはどうされるのか、見ていきたいと思います。このアンケートを書いている、ますます不安になりました。皆同じの老後とはいかないでしょうが、興味がわいてきました。と同時にしっかり自分のことを考えて最後を迎えなくては、という考えを持たされました。認知症になったら、この計画は全て無しになります。困ったことです。
- ・私は3歳年下の障害を持つ弟と二人暮らしです。私に何かあったときに弟がどうなるか、大変心配です。
- ・70歳を越え、今後の健康、生活に不安を感じていました。今回のアンケート調査でより具体的に検討し、今後の参考にしたいと思います。ありがとうございました。

【12. 介護を受けている人について】

- ・父の介護で地方に1ヶ月交替の日々が続いています。自宅で暮らし続けたい父の希望があり、老老介護の日々です。健康維持がなければ続かない自覚はありますが、精神的に気持ちの健康を保つ方が優先です。体の健康を保つ努力はかなりの強い努力が必要だと感じています。
- ・主人が9年前から認知症で要介護3で、現在はデイサービス週4日と月3泊4日と2泊3日の2回ショートとかで頑張っています。
- ・年間を通して起床後、乾布摩擦をしている。現在、介護保険サービスを利用して、認知症の妻を在宅介護で見ている。この歳で食事全般をするのはきついが、老後を楽しく過ごすよう、何かと努力している。

【13. 健康 運動】

- ・81歳ですが、①毎日5kmのジョギングを続けている（35年間）。②10年前からスポーツジムで筋肉トレーニングを行っている。③毎日体重血圧の測定を続けている。
- ・地域活動で忙しくしていて、野外運動が少ないが、足腰強化の運動に20～30分程度屋内でしているが、目標として毎日、または隔日に1日1時間の徒歩をしたいと思う。できればグループで実行していきたい。特別サービスは必要としない。対人関係を多く持ち、趣味、運動、地域活動を向上に努めて「生きがい」を楽しみたい。
- ・体重の増加（肥満）のため、ウォーキングを続け、減少させたい。老人クラブに加入し、サークル活動や行事に参加している。卓球、フラ、民謡等で体を動かして楽しんでいる。競技カルタ（百人一首）も楽しんでいるので、頭を使っているかなと思う。フラも新曲も覚えていくのでよいと思う。
- ・両足に各500gのアンクルウェイトをつけて歩き、買い物等に行きます。新聞の中に週1回入っている頭の体操である、クイズ、数独、パズル等を楽しんでいます。
- ・運動。自転車40分以上。スクワット他。八王子の山歩きクラブに入会月1回。友だちと2月に1回くらい山歩き。

2. 高齢者意識調査結果

- ・①毎日体を動かす（軽い散歩等）習慣をつけるようにしたい。②頭の体操も合わせてやる。頭の体操をする小道具は安価でどこにでも売っております。
- ・朝5時起床40分位かけ、布団の中で伸び、肩回し（五十肩予防）、腹筋で発声練習100回。6：30分、ラジオ体操、食後1時間ウォーキングを平成7年から続けています。健康は良く食べて良く動くことと決め、頑張っています。

【14. 健康 食事】

- ・健康維持のためには毎日の食事内容が大事だと思います。例えば、脳梗塞予防には、動物性脂肪は取り外して調理し、葉酸、カルシウムを多く含む食品を摂取するようにメニューを考えております。
- ・食事はなるべく外食にせず、家庭で手作りのものを腹八分目、もしくは七分目とするように気を付けている。体操は必要と思う。少くく片膝など痛くても体を動かす方が良いように思う。
- ・気を付けていること。食事、タンパク質をしっかり摂取すること。野菜を沢山食べること。出来合品はなるべく買わない、食べないようにしている。運動、できる限り少しでもウォーキングをすること。現在、住んでいる所の八王子松が谷近くに、特別養護老人ホームや安いサービス付き高齢者住宅や公的介護施設ができると安心ですが、お願いしたいです。
- ・食事に気を付けています（サプリメントも利用しています）。ほとんど一日中、体を動かしています。家事に時間を多く費やしています。
- ・昔からの食事、梅干し、らっきょう漬、ぬか漬など。体を動かすこと、食事をしながらも意識しながら動かす。自然に触れる、ウォーキング、花、家庭菜園づくり。
- ・老化防止の体を維持するための食事。栄養のバランス、炭水化物、タンパク質、脂質など消化不良を起こさない食事、腹六分で栄養不足にならない食事をするよう気を付けています。介護されなくてもよい健康づくり、食事指導が大切だと思います。

【15. 健康 交流】

- ・一緒に生活している妻も健康体です。私も現在、重い体調の変化はありません。2人一緒に旅行に出掛けて興味がわく地域や、建物を訪れて、楽しい体験を季節を通して味わっています。同じ趣味の仲間と近郊を散策して、わいわいがやがやと楽しく動いています。地元の人たちとの繋がりも大切に日々明るく送っています。食事も手作りで身体によい食物を頂いています。この様に生んで下さった両親に心からこの健康体を感謝する今日この頃です。
- ・ボランティア活動などを進んで行う。人との会話を多く持つこと。子どもと遊ぶこと。街角サロンのようなもの→気軽に立ち寄れて地域の情報を得ることができて軽い運動もできるサロン。
- ・規則正しい食事。毎日必ず外出し、早歩きすること。グランドゴルフは10年続けています。民謡サークルで（大和田センター）今年で14年目です。年に数回。カラオケ大会に出場し歌ってます。多くの仲間に接し、会話することが脳の神経に必要だと信じて、日々頑張っています。
- ・毎日明るく元気で挨拶を交わしながら、楽しく過ごせるように努力していきます。
- ・できる限りの外出を心がけています。ご近所の方たちとのコミュニケーションをとっています（おしゃべり、お花づくり等、共通の趣味を通じて楽しんでいます）。
- ・1日1回外へ出て、友人や近隣の人と言葉を交わすこと。認知症にならないように人と接すること。外出時に転倒などしないように気を付けている。

2. 高齢者意識調査結果

【16. 健康 メンタル】

- ・ストレスを溜めない。緑と太陽（自然の景観）を多くとる。
- ・毎日を明るく過ごすよう、心がけております。
- ・なんでもいいから目標を持つことだと思います。
- ・些細なことにくよくよしないで前向きに人との輪を大切に、笑って生きるように心がけております。

【17. 健康 趣味】

- ・お花を育てる、生ける、お茶を点てる、手芸をする、麻雀をする、食育（自然農法のもの）、運動をする、料理を作る、家の中を綺麗にする、全て楽しみながら、そして感謝をし、人とケンカをしない、親切にする等、常に興味を持って生きることになっています。
- ・趣味で長い間続けていることをできるだけ続けていくことを常に好奇心を忘れず、お友だち関係を大事にし、夫婦共にいたわり合っていきたいと思っております。
- ・①現在もそうですが食事、運動、手先の使う折り紙、絵、書道、漢字、電子辞書を使ったりしていろいろとやっています。②調理が好きなので何でも自分で作るようにしています。③電車、バスにも乗って、ぶらり散歩しています。また、車の運転をしてドライブしたりしています。④月に2回くらい友と話をしたり、町内のすし屋さんに行きいろいろな話をしたりしています。⑤スポーツ（市でやっている）に行きたいのですが、どこに行っても受け入れてくれるのか、また、あっても高い代金を払わないと入れなかったりするので、スムーズに受け入れるところがあればよいと思います。
- ・77歳よりカルチャーセンター（立川）に通い、人形づくりを学んでおります。7年目に入りました。月に2回、バス、電車を乗り継いでいくのが少しは刺激になっていると思います。年齢の違う友人もでき、よいようです。町内の小さな老人クラブにもなるべく参加しています。遠足と一泊旅行などもあります。
- ・頭と体を維持するために、週に太極拳と手芸（パッチワーク）とパソコン教室に行っています。

【18. 健康 頭を使う】

- ・心身ともにできるだけ健康でいられるように、日々の運動と頭脳的作業の両方を今後も続けていきたいと思う。
- ・転倒しないよう、足腰を鍛えている。もの忘れをしないよう、クイズ等で頭の運動をしている（認知症予防のため）。
- ・毎日、買い物に散歩か自転車で行くようにしている。支払いの際、前もって計算をしておくように、心がけている。
- ・自分の事は人に頼らず無理のない体を動かす、友達を沢山作り、交流を図る。また、頭の場合は字を書く等、本に親しむ等、脳の活性化になり、認知症の予防にも繋がる。私は地域のボランティア活動に参加。健康の源だと思う。健康体なので毎日が充実しています。ありがとうございました。

【19. 健康 医療】

- ・2ヶ月に一度の定期健診を続けています。妻や子ども、孫達などなるべく多く触れ合う時間を持つように心掛けています。

2. 高齢者意識調査結果

- ・①定期的に医者に診ていただく（内科、歯科、眼科）。②毎年1回、健康診断を受診する。③ヘルストロンで血行をよくしている。④毎日1万歩以上歩くようにしている。⑤決められた薬は3度飲む。⑥ビタミン、カルシウム、ブルーベリーなど必要に応じて補充する。

【20. 健康 その他】

- ・農作業等、作る喜びと満足感を持てる仕事。軽作業で他の人に喜ばれる仕事。一番良いのは自然に親しめるような行動。
- ・①朝夕、八王子市学校安全ボランティアの腕章をつけて、犬と散歩しながら安全パトロールを行っています（2000年～）。特に公園等注力している（長房小学校安全ボランティア登録）。②八王子センター元気（2013年～）。墨絵の講師として登録している。希望者がいれば指導。③高齢者（70歳以上）の仕事紹介をつくってほしい。
- ・現在、週5日間デイサービスのバスの送迎の運転を1日3時間やっております。自分自身健康維持だと思っております。

【21. その他】

- ・娘夫婦が車で20分くらいの所にいます。2人の孫もまだ小さいです。保育園で何かあれば、いつでも行ってやらねば、毎日の生活にも緊張感を持って暮らしております。私共の母親は介護サービス等のお世話になり、94歳まで生きることができました。看取りの時は日中、訪問医療の日でした。ケアさん達の親切に感謝しております。
- ・無年金者なので、子どもへの負担が大きく、これ以上の負担を強いられない。
- ・アンケートに回答しましたが、今は普通に送っているのでピンときません。現在ひとつでも病にかかっているならば、もっと真剣に考えたかもしれない。
- ・長期の計画はできませんけど、今日一日が楽しく過ごせばいいかと思っております。最期まで元気で、ピンピンコロリが理想です。
- ・今は友人がたくさんいますので、その中で楽しく年金の許す限り考えて生活しています。笑顔でいつもいたいな。
- ・いつまでも自分のことは自分でできるようにと心がけております。そのために、健康には特に注意しており、少しですが社会参加を心がけ、少しでもながく介護を受けなくて済むようにと考えて、市の体操教室等へ参加しております。老後の生活については、老人はもとより小学生くらいから老いを迎えることについての教育が必要だと思います。高齢化社会に向けて一層の福祉充実をお願いいたします。

八王子市高齢者計画・介護保険事業計画策定に係るアンケート

～調査ご協力をお願い～

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

現在、本市では「八王子市高齢者計画・介護保険事業計画」の策定に取り組んでいるところです。これは、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、地域における支え合い、助け合いを前提に、自助、共助、公助のバランスのとれた高齢社会をつくりあげていくための計画です。

このアンケートは、計画を策定するにあたり、高齢者福祉に関する皆さまの考えやご意見をお伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

今回は、本市在住の65歳以上の方で、介護保険の認定を受けていない方の中から無作為に約1,400人の方を抽出しました。ご回答いただいた内容は、すべてコンピューターで統計的に処理し、個々の回答内容が他に漏れたり、統計の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

答えにくいと感じる質問もあるかと思いますが、今後の施策を考えるうえで非常に重要な調査です。大変忙しい中おそれいますが、趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いします。

石森孝志

八王子市長

【ご不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください】

八王子市 福祉部 高齢者いきいき課
元気応援担当 電話 042-620-7243（直通）

ご記入にあたってのお願い

- 本調査票は、できる限り、あて名のご本人が答えいただきますようお願いいたします。また、ご本人がお答えになれない場合は、ご本人に代わってご家族の方などがご本人のことをお答えください。
- お答えは（○はひとつ）、（あてはまるものすべてに○）などの指示に従って、該当する項目の番号に○印をつけてください。
- 回答が「その他」の場合や記述回答の箇所は、回答欄に具体的に記入してください。
- 回答により、答えなくつよい質問があります。質問中の指示に従ってお進みください。
- 各質問は特に断りのない限り、平成26年5月20日時点のことをお答えください。
- 記入後は調査票を、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**6月18日（水）**までにポストに投函してください。

問1 この調査票はどなたが記入されていますか。（○はひとつ）

1. あて名のご本人 2. ご家族
3. その他（ ）

以下の質問で「あなた」とは、注意書きがない限りあて名のご本人のことです。

あなたご自身についてお伺いします

問2 あなたの年齢と性別についてお答えください。
①年齢（数字を記入）

____ 歳

②性別（○はひとつ）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの住まいの町名を記入してください。

問4 同居のご家族は何人ですか。あなた自身も含めてください。（数字を記入）

_____ 人

問5 あなたは現在どなたと一緒に住まいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ひとり暮らし

2. 配偶者（夫、妻） 3. 子ども
4. 父 5. 母
6. 孫 7. 兄弟姉妹
8. 子の配偶者 9. その他（ ）

「1」以外に○を付けた方は、次ページの問6へ

問5-1 （問5で「1」に○を付けた方のみ）
緊急時などにつけてくれる方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 八王子市内にいる 2. 八王子市外にいる
3. いない

問 10 あなたは、現在のご自宅から転居したいと考えていますか。現在、病院に入
院中の方、施設などに入所している方は、戻る予定のご自宅についてお答え
ください。(○はひとつ)

1. 現在の自宅に住み続けたい ⇒ 問 11へ

2. 転居したい

3. 転居したいができない

4. どちらとも言えない ⇒ 問 11へ

以下の問 10-1、10-2 は、問 10 で「2」または「3」に○を付けた方のみ
にお伺いします。

問 10-1 転居先として希望するところはどこですか。(○はひとつ)

1. 今住んでいる場所の近く (小・中学校区程度の範囲)

2. 八王子市内

3. 八王子市外

4. はっきりとした希望はない

問 10-2 転居先は、どのような種類の住宅を希望しますか。
(○はひとつ)

1. 持ち家 (一戸建て)

2. 持ち家 (マンションなどの集合住宅)

3. 民間の賃貸住宅 (一戸建て)

4. 民間の賃貸住宅 (マンションなどの集合住宅)

5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど

6. サービス付高齢者住宅

7. 公営住宅 (市営・都営)

8. その他 ()

あなたの健康状態などについてお伺いします

問 11 あなたの健康状態についてお答えください。(○はひとつ)

1. 大きな問題はない

2. 病気や障害などはあるが、身のまわりのことや外出は自分で行ける

3. 病気や障害などがあるが、身のまわりのことは自分で行けるが、
外出はできないことがある

4. 病気や障害などがあるが、身のまわりのことや外出に手助けが必要

5. 重い病気や障害があって、ベッドやふたんの上の生活が中心

問 6 あなたは普段、日中ひとりで過ごすことが多いですか。(土日・祝日などで
家族が家にいる場合を除く) (○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

問 7 あなたのか月当たりの収入額 (年金、仕事、仕送りなどすべて含む。配偶
者がある方はあなたと配偶者の収入額) は、合計でいくぐらいですか。
(○はひとつ)

1. 5万円未満

2. 5万円～10万円未満

3. 10万円～15万円未満

4. 15万円～20万円未満

5. 20万円～30万円未満

6. 30万円以上

7. わからない

あなたのお住まいについてお伺いします

問 8 あなたは、現在どこで生活していますか。(○はひとつ)

1. 自宅

2. 病院に入院中

3. 有料老人ホームなどの介護保険関連施設に入所している

4. その他 ()

問 9 あなたのお住まいはどのような種類の住宅ですか。現在、病院に入院中の方、
施設などに入所している方は、戻る予定のお住まいについてお答えください。
(○はひとつ)

1. 持ち家 (一戸建て) ⇒ 問 10へ

2. 持ち家 (マンションなどの集合住宅) ⇒ 問 10へ

3. 民間の賃貸住宅 (一戸建て)

4. 民間の賃貸住宅 (マンションなどの集合住宅)

5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど

6. サービス付高齢者住宅

7. 公営住宅 (市営・都営)

8. その他 () ⇒ 問 10へ

問 9-1 (問 9 で「3」から「7」に○を付けた方のみ)
現在の家賃(管理費などを含め)は月額でいくぐらいですか。(○はひとつ)

1. 5万円未満

2. 5万円～6万円未満

3. 6万円～8万円未満

4. 8万円～10万円未満

5. 10万円～12万円未満

6. 12万円以上

問 12 あなたが、健康のために日ごろから心がけていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. できるだけ身体を動かす	2. できるだけ頭をつかう
3. 栄養のバランスに気をつける	4. 規則正しい生活をする
5. 睡眠を十分とる	6. 定期的に医師の診断を受ける
7. その他 ()	
8. 特にない	

問 13 あなたには、かかりつけの診療所・病院、歯科医院、薬局がありますか。
(それぞれひとつに○)

①かかりつけの診療所・病院	1. ある	2. ない
②かかりつけの歯科医院	1. ある	2. ない
③かかりつけの薬局	1. ある	2. ない

問 14 あなたは、昨年 1 年間に、病気や障害のために医療機関を受診しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 受診しなかった
2. 一時的に、あるいは何度か通院した
3. 1 年間を通じて通院していた
4. 一時的に入院したことがある
5. 1 年間を通じて入院していた

問 15 あなたは、通院や医療に関して困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のつきそいを確保しにくい
2. 通院の際の交通手段
3. 医療機関に関する情報が少ない
4. 専門的な医療を受けられる機関が身近にない
5. 往診に来てくれる医療機関が身近にない
6. 医療に関する手続きが大変である
7. 医療費の負担が大きい
8. 院内でのつきそいに病院が対応してくれない
9. その他 ()
10. 特にない

お仕事についてお伺いします

問 16 あなたは収入を伴う仕事（パート・アルバイトを含む）をしていますか。
(○はひとつ)

1. 仕事をしている
2. 仕事をしたいができない
3. 仕事はしていない

⇒ 問 17 へ

問 16-1 (問 16 で「1」に○を付けた方のみ)
「仕事をしている」理由はどのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 生きがいや社会参加のため	2. 時間に余裕があるから
3. 健康に良いから	4. 能力や知識を活かしたいから
5. 自由に使えるお金を得るため	6. 家計の維持・補助のため
7. その他 ()	8. 特にない

問 16-2 (問 16 で「2」に○を付けた方のみ)
「仕事をしたいができない」理由はどのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 経験を活かせる仕事がない	2. 近くに働く場がない
3. 収入（賃金）が合わない	4. 就労の情報が入手できない
5. 家族の介護等で時間がない	6. 病気療養中で働けない
7. その他 ()	

運動についてお伺いします

問 17 あなたは、定期的に運動をしていますか。(○はひとつ)

1. 毎日運動している	2. 週に数回運動している
3. あまり運動していない	4. まったくしていない

問 17-1 (問 17 で「1」または「2」に○を付けた方のみ)
どのような運動をしていますか。回答欄に具体的にお書きください。

【回答欄】

次ページの問 17-2 へ

問 17-2 (問 17 で「3」または「4」に○をつけた方のみ)
運動していないのは、どのような理由ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 健康状態が悪くない | 2. 体調が悪化する恐れがあるから |
| 3. 望ましい運動がわからない | 4. 運動をする場所がない |
| 5. 運動する時間がない | 6. 運動に関心がない |
| 7. 運動するきっかけがない | 8. 気軽に参加できる活動がない |
| 9. その他 () | 10. 理由は特にない |

高齢者あんしん相談センターについてお伺いします

問 18 あなたは、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 知っており、利用したことがある | ⇒ 問 19へ |
| 2. 知っているが、利用したことはない | |
| 3. 知らない | |

【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）とは】

高齢者の皆さまが、いつまでも住みながら地域で生活ができるよう支援するため
の拠点です。介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関するさま
ざまな支援を行うため、社会福祉士、保健師または看護師、主任ケアマネジャーな
どの専門職員がご相談をお受けしています。

以下の問 18-1、問 18-2 は、問 18 で「1」に○を付けた方のみにお伺いします。

問 18-1 利用したのはどんなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 在宅介護に関する相談 |
| 2. 保健・医療・福祉に関する情報提供 |
| 3. 介護保険や各種公的サービスの利用相談や手続きの援助 |
| 4. 介護予防に関する相談 |
| 5. 介護機器の展示・紹介 |
| 6. 転倒予防・認知症予防などの介護予防教室 |
| 7. 権利擁護・虐待対応 |
| 8. その他 () |

問 18-2 対応やサービスについて、どのように感じましたか。(○はひとつ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 |
| 3. やや不満 | 4. 不満 |

高齢者の「サロン」についてお伺いします

【サロンとは】

ここでいう「サロン」とは、地域住民のグループ、町会・自治会、ボランティア
団体、NPO 法人などが運営する集いの場で、自由に時間を過ごせる場所が用意さ
れ、その他にも食事や喫茶などが提供されるところを指します。また、「サロン」
を拠点として、ひとり暮らし高齢者など、孤立しがちな方々を定期的に見守る活動
を行っていることもあります。

問 19 あなたのお住まいの近所に、気軽にふらっと立ち寄れる高齢者向けの「サロ
ン」があったら、利用してみたいですか。(○はひとつ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 「サロン」が近所にあり、利用している |
| 2. 「サロン」が近所にあるが、一度も利用したことがない |
| 3. 近所に「サロン」はないが、あったらぜひ利用したい |
| 4. 近所に「サロン」はないが、あってもあまり利用しないと思う |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

見守り訪問や地域支援についてお伺いします

【見守り訪問とは】

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように、地域のボランティアなど
がひとり暮らしの高齢者を訪問するなどして安否を確認するものです。

「見守り」には、地域の様々な方が、日々の生活や業務の中で行う「ゆるやかな
見守り」や、定期的な安否確認や声掛けが必要な方に、担当や役割を決めて行う「担
当による見守り」など、様々な方法が考えられますが、地域全体で見守りに関する
意識を持つことが大切です。

問 20 あなたは見守り訪問があれば希望 しますか。(○はひとつ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する |
| 2. 今は希望しないが、今後は希望するかもしれない |
| 3. 希望しない |
| 4. わからない |

問 21 もし、あなたが「ゆるやかな見守り訪問」を受けるとしたら、どなたの訪問
を希望 しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 民生委員 | 2. ボランティア |
| 3. 近所の住民 | 4. 市の研修を受けた人 |
| 5. 老人クラブ（次ページで説明） | 6. その他 () |

問 22 高齢者など地域の住民が安心して暮らしていただけるように、あなた自身が他の人にできる手助けにはどのようなことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 見守りや安否確認 | 2. 普段の話し相手 |
| 3. 介護などの相談相手 | 4. ちょっとした買い物やゴミ出し |
| 5. 食事づくりの手伝い | 6. 掃除の手伝い |
| 7. 洗濯の手伝い | 8. 電球交換など少し手間がかかる家事 |
| 9. 通院や外出の手助け | 10. 災害時の手助け |
| 11. その他 () | |
| 12. 特になし | |

老人クラブについてお伺いします

問 23 八王子市内に「老人クラブ」があることを知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【老人クラブとは】

高齢者が町会単位ほどの生活圏の中で自主的に組織した団体です。八王子市が考えているクラブの設置目的は、地域で生活する高齢者が、これまでの人生で培ってきた知識や経験を生かして、様々な活動を通じて、自らの生きがいづくりや健康づくりに取り組み、高齢期の生活を豊かにするとともに、高齢者が地域コミュニティの形成や社会貢献に取り組むことで、いきいきとした地域社会を実現することです。

問 24 あなたのお住まいの地域に「老人クラブ」があったら参加したいですか。
(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. すでに参加している ⇒ 問 25へ | |
| 2. 今は参加していないが、参加したい ⇒ 問 25へ | |
| 3. 参加したくない | |
| 4. わからない ⇒ 問 25へ | |

→問 24-1 (問 24 で「3」に○を付けた方のみ)
参加したくない理由はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. ほかにやりたいことがある | 2. 活動場所に行くのが大変 |
| 3. 活動内容が合わない | 4. 活動の時間が合わない |
| 5. まだ「老人クラブ」に加入する年齢ではないと思う | |
| 6. その他 () | |

防災についてお伺いします

問 25 あなたは災害時にひとりで避難できますか。できない場合は避難に協力してくれる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. ひとりで避難できる | 2. 家族・親族の協力で避難できる |
| 3. 近所の人の協力で避難できる | 4. 友人・知人の協力で避難できる |
| 5. ひとりで避難できないし、協力してくれる人もいない | |
| 6. その他 () | |

問 26 あなたは災害発生時における支援体制づくりのため、どこであればご自身の情報を提供してもよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 市役所 | 2. 警察 |
| 3. 消防 | 4. 民生委員 |
| 5. 町会・自治会 | 6. 高齢者あしん相談センター |
| 7. ケアマネジャー | 8. 提供したくない |
| 9. わからない | 10. その他 () |

問 27 あなたは災害が発生した際、どのようなことが心配ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 緊急時の情報の入手 | 2. 避難先への移動経路、手段 |
| 3. 家族・親族の安否 | 4. 友人・知人などの安否 |
| 5. 避難所での生活 | 6. 要介護者・病人などの対応 |
| 7. 自分自身の健康状態 | |
| 8. その他 () | |

次ページからの質問は、「人生の最期」に関することや「認知症になった場合」など、人生観や個人の尊厳に関わる質問となっております。

本来は個人がそれぞれに考えるべき事柄でもありますが、超高齢社会を迎えて、認知症となる方も今後大幅に増加することが予想される中、「社会全体で人生の最期をどのように豊かなものとするか」ということは、広く考えられるべき課題であり、課題自体を社会で共有することが必要な時期であると考えられます。

人によっては「回答することが難しい」と感じる質問もあると思いますが、今後の課題解決に向けた手掛かりとするため、そして「より豊かな八王子市」をつくりあげるためにも、ぜひ回答にご協力をお願いいたします。

「終活」などについてお伺いします

【終活とは】

「人生の終わりのための活動」の略であり、ご自身のための葬儀や墓所などの準備や、残された方がご自身の財産の相続を円滑に進められるための計画を立てておくことなどがあげられます。人生の最期を迎えるにあたって行うべきことを総括することを意味する言葉です。

問 28 あなたは「終活」の必要性について、どのように思いますか。(○はひとつ)

1. 必要だと思う 2. まあまあ必要だと思う
3. あまり必要だと思わない 4. 必要ではない
5. わからない 6. その他 ()

→ 問 28-1 (問 28 で「1」または「2」に○を付けた方のみ)

「終活」として準備していることがありましたら、回答欄に具体的に
お書きください。

【回答欄】

【エンディングノートとは】

人生の最期に備えて、ご自身の希望を書き留めておくノートのことを言います。遺言と異なり法的効力を有する性格の文書ではありません。存命中や家族の将来の負担を減らすことなどを目的としています。

問 29 あなたは「エンディングノート」についてどのようなに思いますか。
(○はひとつ)

1. 必要だと思う 2. まあまあ必要だと思う
3. あまり必要だと思わない 4. 必要ではない
5. わからない 6. その他 ()

→ 問 29-1 (問 29 で「1」または「2」に○を付けた方のみ)

エンディングノートを既に書いていますか。(○はひとつ)

1. もう既に書いている 2. まだ書いてはいない

「看取（みとり）」についてお伺いします

【看取（みとり）とは】

もとは「病人のそばにいて世話をする」、「人生の最期まで見守る」、「看病する」という、患者を介護する行為そのものを示す言葉でしたが、人生の最期を迎える場面のことを、単に「看取り」と言い表すことも多くなっています。

問 30 あなたが治る見込みのない病気になる場合、最期をどこで過ごしたいと思いますか。(○はひとつ)

1. 自宅で過ごしたい
2. 介護保険施設（有料老人ホームなど）で過ごしたい ⇒ 問 31へ
3. 病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい ⇒ 問 31へ
4. わからない ⇒ 問 31へ
5. その他 () ⇒ 問 31へ

→ 問 30-1 (問 30 で「1」に○を付けた方のみ)

自宅などで「看取り」を迎えられる場合、課題や不安な点はありませんか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしであるため、「看取り」をしてくれる人がいない
2. 相続や、家財等の財産の処分が上手くいくかどうか不安である
3. 「看取り」についての希望を家族などにどう伝えて良いかわからない
4. 「看取り」について誰に相談すればよいかわからない
5. 自宅での「看取り」に何か必要かわからない
6. その他 ()
7. 特にない

成年後見制度などについてお伺いします

問 31 あなたは成年後見制度を知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている 2. 知らない

【成年後見制度とは】

障害などで十分な判断能力がない方を対象に、法律面や生活面で、本人の希望に沿った支援をし、保護することを目的としています。

福祉・医療・介護サービスなどの各種手続きや契約行為、財産の管理や日常的な金銭の管理について、本人の意思をできるだけ尊重し、生活を送るうえで一方的に不利益が生じないよう、権利や財産を守るための制度です。

問 32 あなたは、将来認知力に不安を抱えるようになったとき、金銭の管理などを任せられる人はいいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 同居の子・孫 |
| 3. 別居の子・孫 | 4. その他の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. 特にいない |
| 7. 成年後見制度を利用している | 8. その他（ ） |

認知症についてお伺いします

【認知症とは】

脳や体の疾患を原因として、記憶や判断力などの障害がおき、日常生活まで支障をきたすようになった状態のことを言います。認知症の症状としては、①記憶障害（少し前のことが覚えていられない）、②注意力低下（2つの事が一度にできない）、③見当識障害（今日の日付や時間がわからない）④失語、失認、失行（言葉や、洋服の着方がわからない）などがあります。

問 33 もし、あなたが認知症を発症したら、どのように感じますか。また、既に認知症であるとの診断を受けている方は、どのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-----------------------------|
| 1. あきらめずに、前向きに治療を続けたい |
| 2. 落ち込んでしまい、治療に取り組む気になれない |
| 3. 早めに周りの人に伝え、理解が得られるようにしたい |
| 4. 認知症であることを隠していたい |
| 5. 近所の人からの支援が期待できる |
| 6. 近所の人からの支援は期待できない |
| 7. 家族からの支援が期待できる |
| 8. 家族からの支援は期待できない |
| 9. わからない |
| 10. その他（ ） |

介護予防や介護保険制度などについてお伺いします

問 34 あなたは介護予防について、どのような事業を希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 転倒予防などの運動教室 | 2. 栄養バランスなどの食事指導 |
| 3. 歯磨きなどの口腔ケアの指導 | 4. 飲み込みなどの指導 |
| 5. 認知症を予防するための頭の体操教室 | |
| 6. 生きがいづくりを目的としたボランティア養成講座 | |
| 7. 介護予防の全般を知る講座 | 8. その他（ ） |
| 9. 特にない | |

問 35 現在の介護保険料の支払いについて、あなたはどのように感じますか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 負担に感じない | 2. あまり負担に感じない |
| 3. やや負担に感じる | 4. 負担に感じる |
| 5. わからない | |

問 36 高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。（○はひとつ）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない |
| 2. 利用者の自己負担を増やすのがよい |
| 3. できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい |
| 4. できる範囲での対応となっても、利用料などの負担は現状程度がよい |
| 5. 保険料や利用料の負担を減らすべきで、サービスの充実は望まない |
| 6. 保険料・利用料以外の税を、より投入してサービスを充実するべき |
| 7. わからない |
| 8. その他（ ） |

問 37 今後の介護について、どのような希望をお持ちですか。現在介護を必要としない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。（○はひとつ）

- | |
|--|
| 1. 家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい |
| 2. 介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい |
| 3. 高齢者に配慮した介護付きの住まいに移り、そこで暮らしたい |
| 4. わからない |
| 5. その他（ ） |

その他、ご意見などをお伺いします

問 38 あなたが、健康維持などで特に気を付けていること、あれば良いとお考えのサービス、その他ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

同封の封筒（切手不要）に調査票を入れて、

6月18日（水）までにご投函ください。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

1. あなたご自身について	3-1
2. あなたのお住まいについて	3-12
3. 家族などによる介護状況などについて	3-17
4. あなたの健康状態などについて	3-26
5. 介護保険などのサービスについて	3-28
6. 運動について	3-43
7. 高齢者の「サロン」について	3-45
8. 見守り訪問や地域支援について	3-46
9. 老人クラブについて	3-48
10. 防災について	3-50
11. 「看取（みと）り」について	3-53
12. 成年後見制度などについて	3-55
13. 認知症について	3-57
14. 介護予防や介護保険制度などについて	3-59
15. その他、ご意見など	3-63
【資料】調査票	3-70

要支援・要介護認定者調査の概要

1. 調査対象者

平成26年4月1日時点において、要支援・要介護認定を受けている市内在住の65歳以上の高齢者1,400名を、住民基本台帳から無作為抽出

2. 調査方法

郵送配布、郵送回収

3. 調査期間

平成26年5月30日（金）～6月18日（水）

4. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率
要支援・要介護認定者調査	1,400	843	60.2%

調査結果の見方

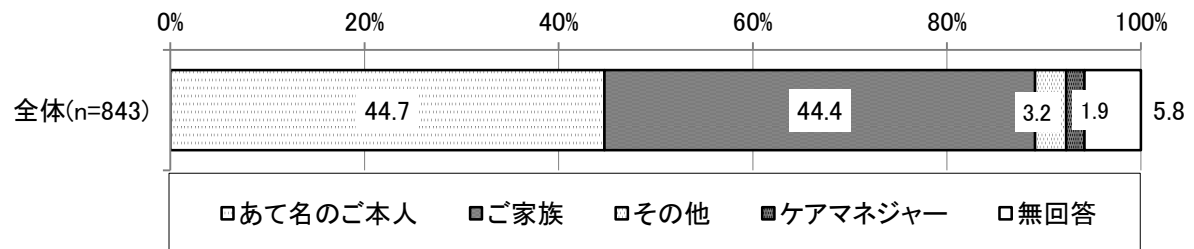
- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
 - (2) 集計した数値（％）は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100％にならないことがあります。
 - (3) 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100％を超えます。
 - (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
 - (5) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
 - (6) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。
- ※ 平成22年度に実施した調査と共通する内容の設問については、参考値として比較図を掲載しています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

1. あなたご自身について

問1 この調査票はどなたが記入されていますか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. あて名のご本人（44.7%） | 3. ケアマネジャー（1.9%） |
| 2. ご家族（44.4%） | 4. その他（3.2%） |

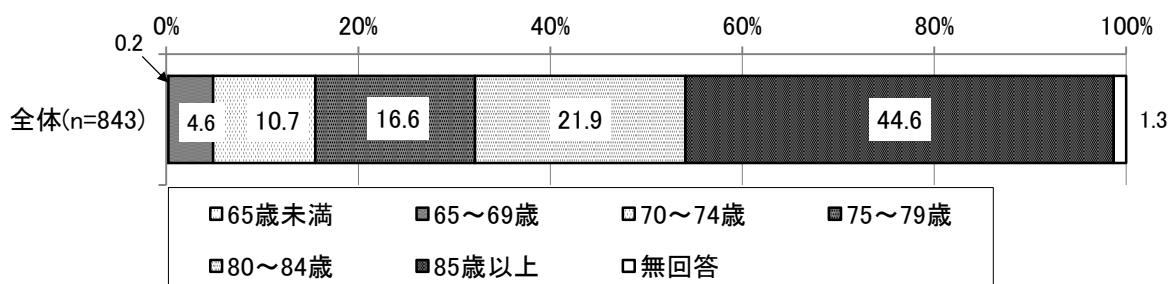


調査票の記入者は、「あて名のご本人」が最も多く44.7%、次いで「ご家族」が44.4%となっています。「その他」は、「別居の親族」、「施設職員」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問2 あなたの年齢と性別についてお答えください。

①年齢（数字を記入）

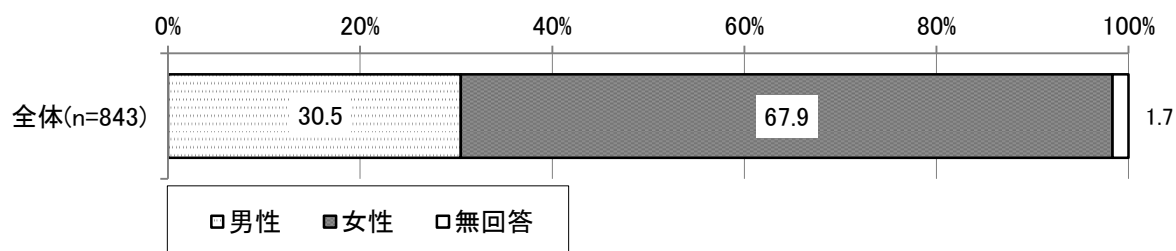


回答者が記入した年齢を集計したところ、「85歳以上」が44.6%で最も多く、次いで「80～84歳」が21.9%、「75～79歳」が16.6%と、年齢が若くなるにつれ、回答者の割合が低くなっています。

②性別（○はひとつ）

1. 男性（30.5%）

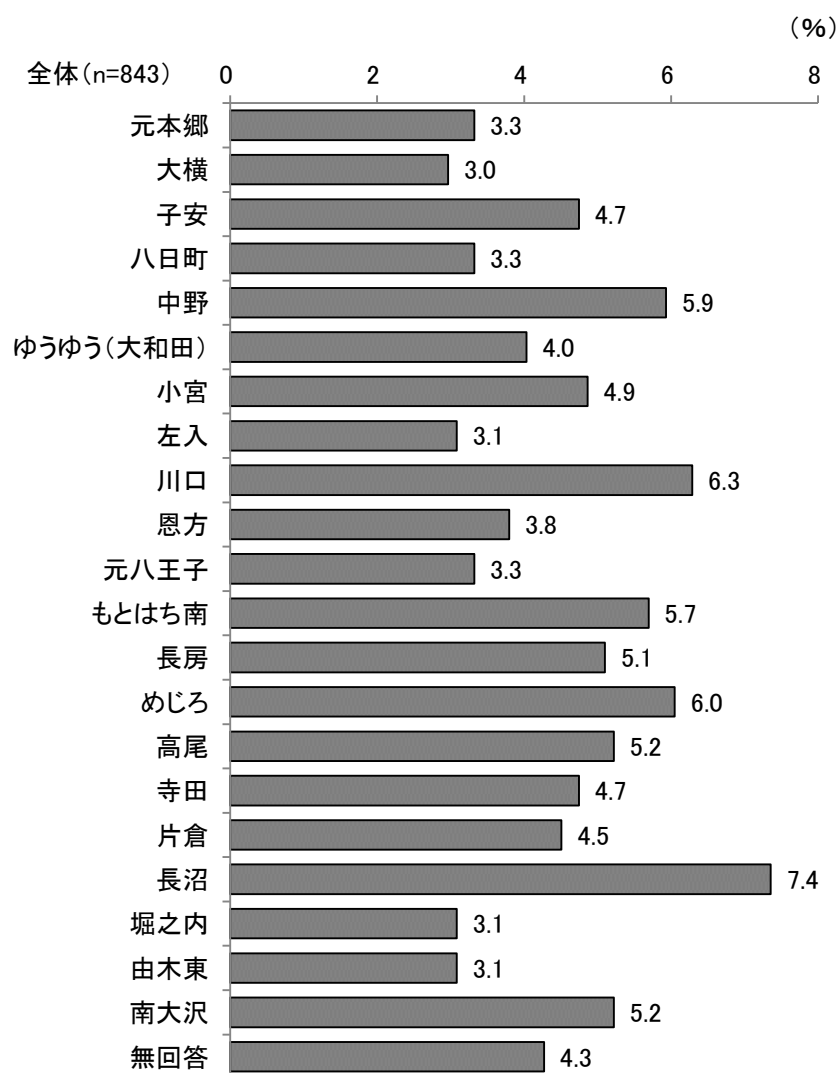
2. 女性（67.9%）



回答者の性別は、「男性」が30.5%、「女性」が67.9%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問3 あなたのお住まいの町名を記入してください。

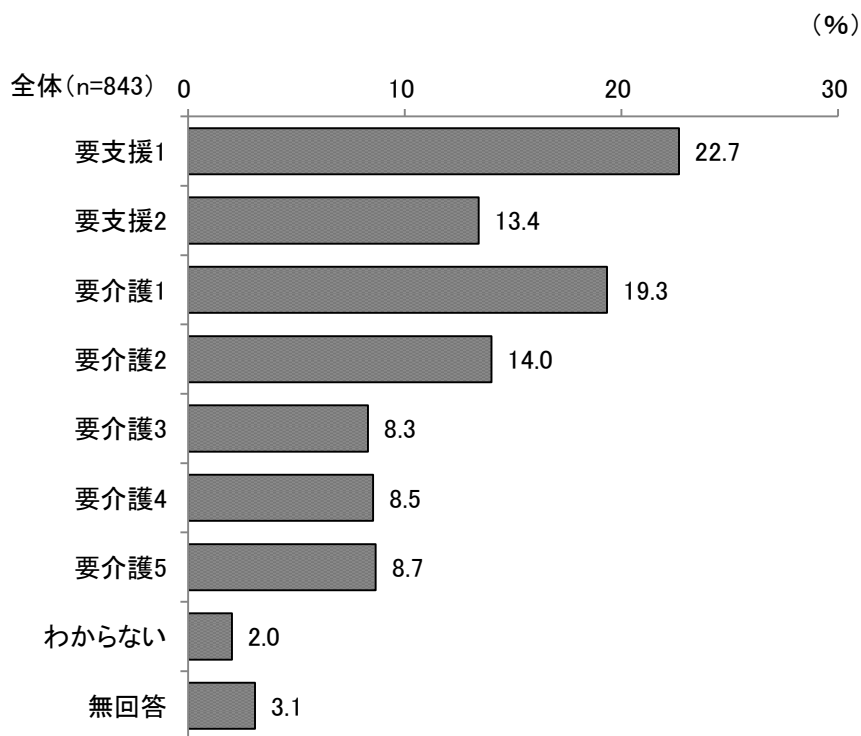


回答者が記入した町名を圏域別（全体の「調査の概要」4ページ参照）に集計したところ、「長沼」が7.4%で最も多く、次いで「川口」が6.3%、「めじろ」が6.0%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問4 あなたの、現在の要介護度はどれにあたりますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 要支援1（22.7%） | 5. 要介護3（8.3%） |
| 2. 要支援2（13.4%） | 6. 要介護4（8.5%） |
| 3. 要介護1（19.3%） | 7. 要介護5（8.7%） |
| 4. 要介護2（14.0%） | 8. わからない（2.0%） |

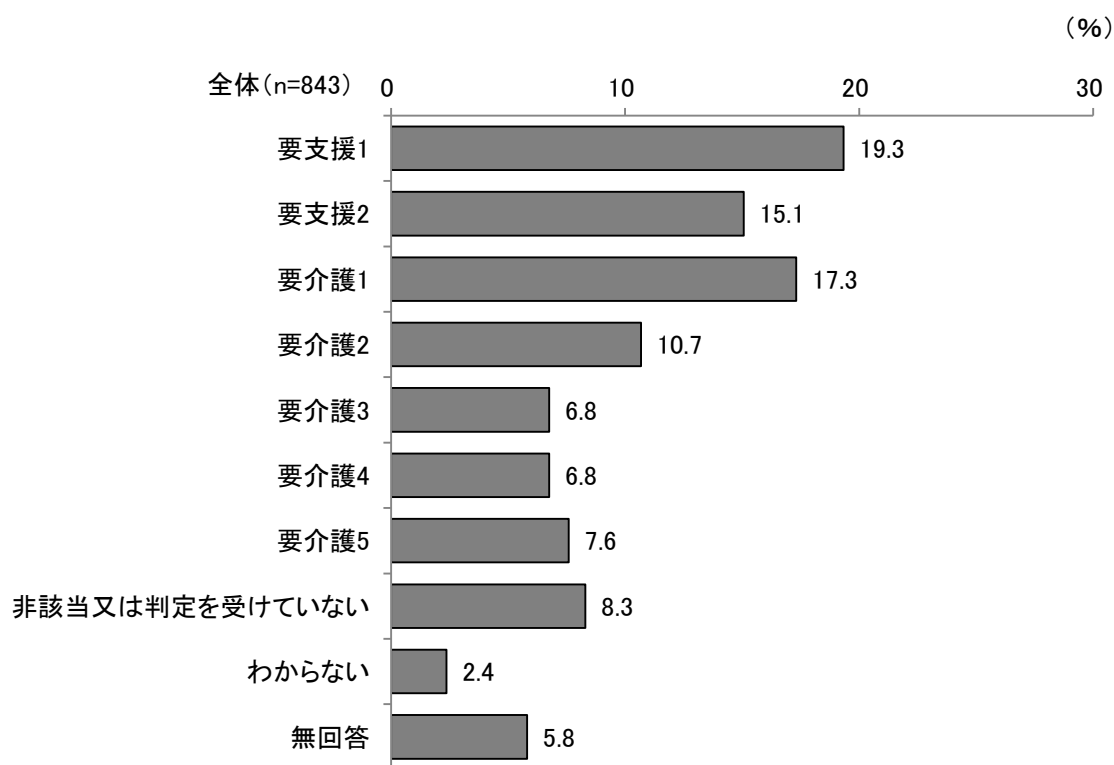


要介護度について尋ねたところ、「要支援1」が22.7%で最も多く、次いで「要介護1」が19.3%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問5 昨年（平成25年5月中旬）の要介護度を教えてください。（○はひとつ）

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 要支援1（19.3%） | 6. 要介護4（6.8%） |
| 2. 要支援2（15.1%） | 7. 要介護5（7.6%） |
| 3. 要介護1（17.3%） | 8. 非該当又は判定を受けていない（8.3%） |
| 4. 要介護2（10.7%） | 9. わからない（2.4%） |
| 5. 要介護3（6.8%） | |



昨年（平成25年5月中旬）の要介護度について尋ねたところ、「要支援1」が19.3%で最も多く、次いで「要介護1」が17.3%となっています。

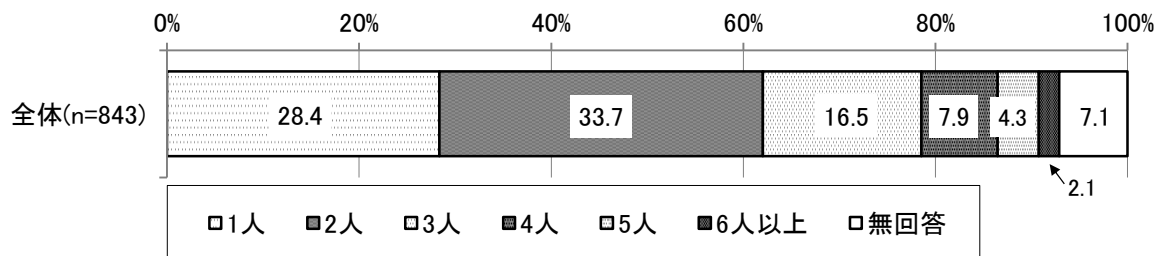
3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問5 現在の要介護度と昨年（平成25年5月中旬）の要介護度の比較表】

		昨 年 の 要 介 護 度										
		全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当又は 判定を 受けていない	わからない	無回答
全体		843 100.0	163 19.3	127 15.1	146 17.3	90 10.7	57 6.8	57 6.8	64 7.6	70 8.3	20 2.4	49 5.8
現 在 の 要 介 護 度	要支援1	191 100.0	130 68.1	16 8.4	7 3.7	2 1.0	－ －	1 0.5	－ －	21 11.0	1 0.5	13 6.8
		要支援2	113 100.0	14 12.4	77 68.1	7 6.2	3 2.7	－ －	1 0.9	－ －	7 6.2	－ －
	要介護1	163 100.0	10 6.1	16 9.8	100 61.3	9 5.5	－ －	2 1.2	－ －	18 11.0	2 1.2	6 3.7
		要介護2	118 100.0	5 4.2	6 5.1	25 21.2	61 51.7	4 3.4	4 3.4	1 0.8	7 5.9	3 2.5
	要介護3	70 100.0	1 1.4	3 4.3	4 5.7	6 8.6	40 57.1	3 4.3	4 5.7	4 5.7	1 1.4	4 5.7
		要介護4	72 100.0	2 2.8	5 6.9	2 2.8	7 9.7	9 12.5	37 51.4	3 4.2	6 8.3	1 1.4
	要介護5	73 100.0	－ －	1 1.4	－ －	1 1.4	2 2.7	9 12.3	55 75.3	4 5.5	－ －	1 1.4
		わからない	17 100.0	1 5.9	2 11.8	－ －	－ －	－ －	－ －	1 5.9	1 5.9	12 70.6
	無回答	26 100.0	－ －	1 3.8	1 3.8	1 3.8	2 7.7	－ －	－ －	2 7.7	－ －	19 73.1

現在の要介護度と昨年（平成25年5月中旬）の要介護度を比較すると、いずれの要介護度でも変化していない人の割合（表中網掛けの部分）が過半数となっています。

問6 同居のご家族は何人ですか。あなた自身も含めてください。（数字を記入）

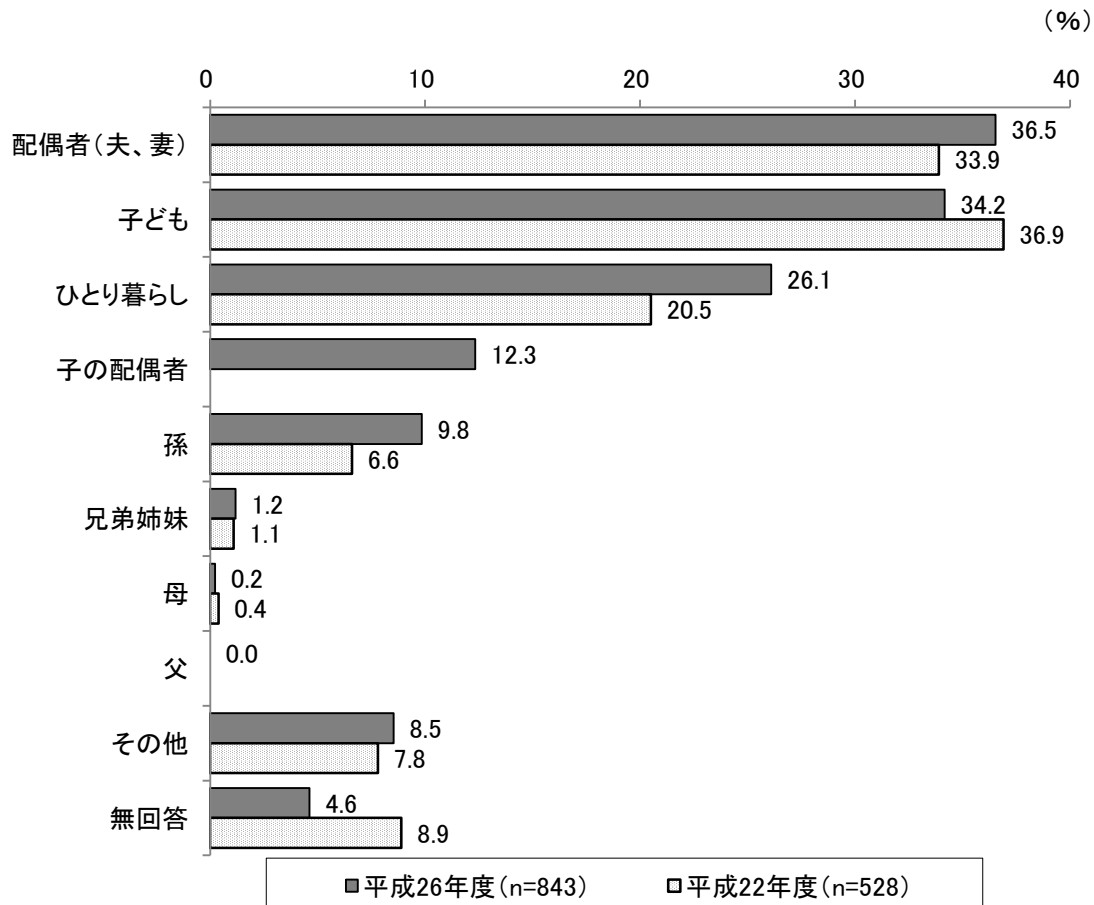


回答者が記入した同居の家族の人数を集計したところ、「2人」が最も多く33.7%、次いで「1人」（ひとり暮らし）が28.4%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問7 あなたは現在どなたと一緒に住まいですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし（26.1%） | 6. 孫（9.8%） |
| 2. 配偶者（夫、妻）（36.5%） | 7. 兄弟姉妹（1.2%） |
| 3. 子ども（34.2%） | 8. 子の配偶者（12.3%） |
| 4. 父（0.0%） | 9. その他（8.5%） |
| 5. 母（0.2%） | |



※前回調査では「子ども」と「子の配偶者」は「子・子の配偶者」、「母」、「父」は、「あなたやあなたの配偶者の親」という選択肢なので、それぞれの結果は「子ども」及び「母」の項目に表示しています。

一緒に住んでいる人について尋ねたところ、「配偶者（夫、妻）」が最も多く36.5%、次いで「子ども」が34.2%となっています。「その他」は、「施設入所中」などとなっています。前回調査と比較すると、「ひとり暮らし」が5.6ポイント上昇しています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問7 一緒に住んでいる人のクロス集計表】

		全体	ひとり暮らし	配偶者 (夫、妻)	子ども	父	母	孫	兄弟姉妹	子の配偶者	その他	無回答
全体		843	220	308	288	—	2	83	10	104	72	39
		100.0	26.1	36.5	34.2	—	0.2	9.8	1.2	12.3	8.5	4.6
要介護度別	要支援1	191	68	74	57	—	1	10	3	16	2	6
		100.0	35.6	38.7	29.8	—	0.5	5.2	1.6	8.4	1.0	3.1
	要支援2	113	38	48	27	—	—	13	—	11	3	4
		100.0	33.6	42.5	23.9	—	—	11.5	—	9.7	2.7	3.5
	要介護1	163	42	54	71	—	—	25	2	25	7	3
		100.0	25.8	33.1	43.6	—	—	15.3	1.2	15.3	4.3	1.8
	要介護2	118	25	55	44	—	1	14	2	17	10	3
		100.0	21.2	46.6	37.3	—	0.8	11.9	1.7	14.4	8.5	2.5
	要介護3	70	17	19	23	—	—	5	1	5	12	4
		100.0	24.3	27.1	32.9	—	—	7.1	1.4	7.1	17.1	5.7
年齢別	要介護4	72	7	23	27	—	—	5	—	14	18	2
		100.0	9.7	31.9	37.5	—	—	6.9	—	19.4	25.0	2.8
	要介護5	73	11	23	31	—	—	8	1	13	18	5
		100.0	15.1	31.5	42.5	—	—	11.0	1.4	17.8	24.7	6.8
	わからない	17	7	7	5	—	—	—	—	—	—	—
		100.0	41.2	41.2	29.4	—	—	—	—	—	—	—
	無回答	26	5	5	3	—	—	3	1	3	2	12
		100.0	19.2	19.2	11.5	—	—	11.5	3.8	11.5	7.7	46.2
	65～69歳	39	14	22	13	—	—	—	—	2	—	1
		100.0	35.9	56.4	33.3	—	—	—	—	5.1	—	2.6
年齢別	70～74歳	90	22	45	28	—	1	8	4	2	10	4
		100.0	24.4	50.0	31.1	—	1.1	8.9	4.4	2.2	11.1	4.4
	75～79歳	140	38	68	39	—	—	6	2	8	8	2
		100.0	27.1	48.6	27.9	—	—	4.3	1.4	5.7	5.7	1.4
	80～84歳	185	50	80	59	—	—	23	1	19	14	4
		100.0	27.0	43.2	31.9	—	—	12.4	0.5	10.3	7.6	2.2
年齢別	85歳以上	376	95	91	148	—	—	46	3	73	40	18
		100.0	25.3	24.2	39.4	—	—	12.2	0.8	19.4	10.6	4.8
年齢別	無回答	13	1	2	1	—	1	—	—	—	—	10
		100.0	7.7	15.4	7.7	—	7.7	—	—	—	—	76.9

要介護度別では、要支援1及び要支援2で「ひとり暮らし」の割合が3割以上となっています。

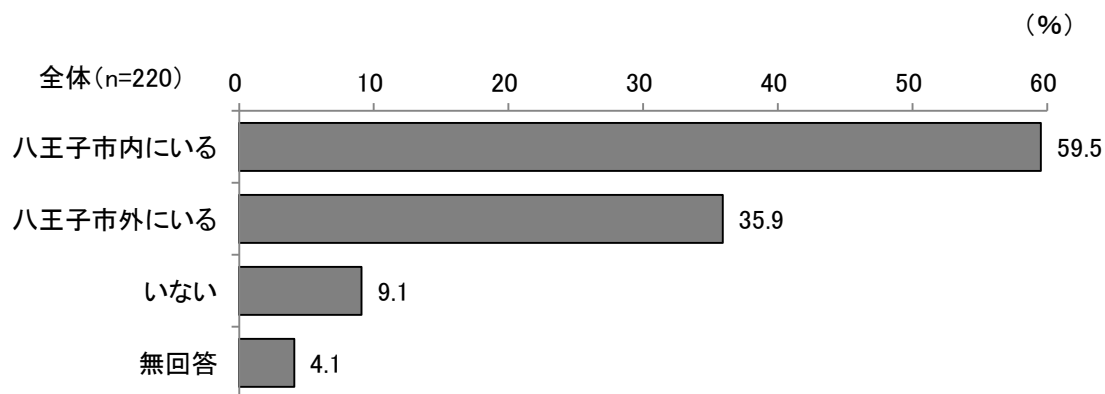
年齢別では、65～69歳で「ひとり暮らし」の割合が35.9%と他の年齢よりも高く、85歳以上で「配偶者」の割合が3割以下となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問7で「1」と答えた方のみ】

問7-1 緊急時などにつけてくれる方はいませんか。（あてはまるものすべてに○）

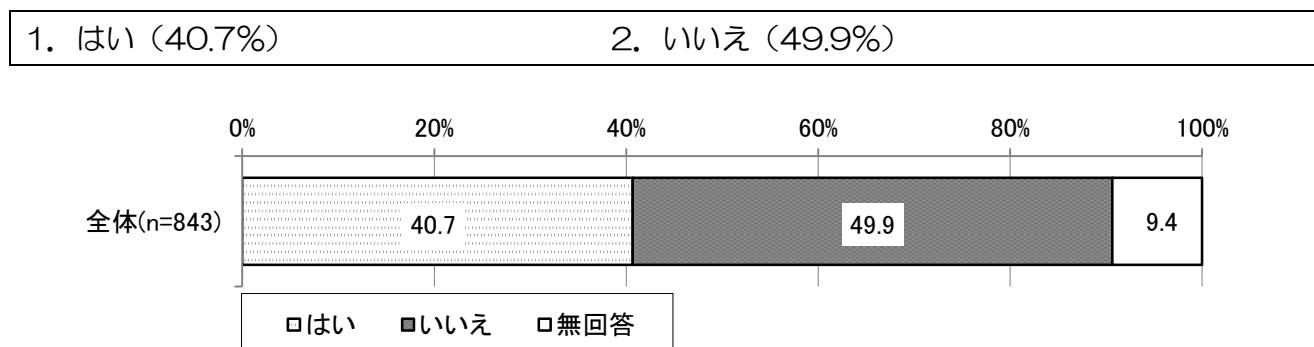
- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 八王子市内にいる（59.5%） | 3. いない（9.1%） |
| 2. 八王子市外にいる（35.9%） | |



問7で「1. ひとり暮らし」と回答した人に、緊急時につけてくれる人の有無を尋ねたところ、「八王子市内にいる」が59.5%、「八王子市外にいる」が35.9%、「いない」が9.1%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問8 あなたは普段、日中ひとりで過ごすことが多いですか。（土日・祝日などで家族が家にいる場合を除く）（○はひとつ）



「はい（日中ひとりで過ごすことが多い）」と答えた人は40.7%となっています。

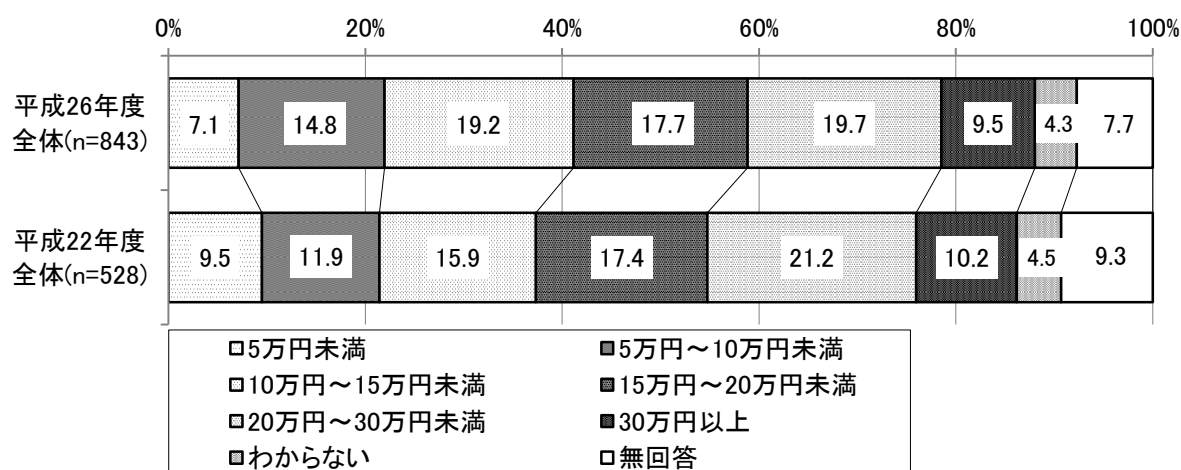
		全体	はい	いいえ	無回答
全体		843 100.0	343 40.7	421 49.9	79 9.4
要介護 度別	要支援1	191 100.0	101 52.9	75 39.3	15 7.9
	要支援2	113 100.0	61 54.0	40 35.4	12 10.6
	要介護1	163 100.0	75 46.0	85 52.1	3 1.8
	要介護2	118 100.0	40 33.9	71 60.2	7 5.9
	要介護3	70 100.0	21 30.0	42 60.0	7 10.0
	要介護4	72 100.0	16 22.2	52 72.2	4 5.6
	要介護5	73 100.0	15 20.5	39 53.4	19 26.0
	わからない	17 100.0	9 52.9	8 47.1	－ －
	無回答	26 100.0	5 19.2	9 34.6	12 46.2

要介護度別では、要支援1及び要支援2で「はい（日中ひとりで過ごすことが多い）」と答えた人が過半数となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問9 あなたの一个月当たりの収入額（年金、仕事、仕送りなどすべて含む。配偶者がいる方はあなたと配偶者の収入額）は、合計でいくらぐらいですか。（〇はひとつ）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 5万円未満（7.1%） | 5. 20万円～30万円未満（19.7%） |
| 2. 5万円～10万円未満（14.8%） | 6. 30万円以上（9.5%） |
| 3. 10万円～15万円未満（19.2%） | 7. わからない（4.3%） |
| 4. 15万円～20万円未満（17.7%） | |



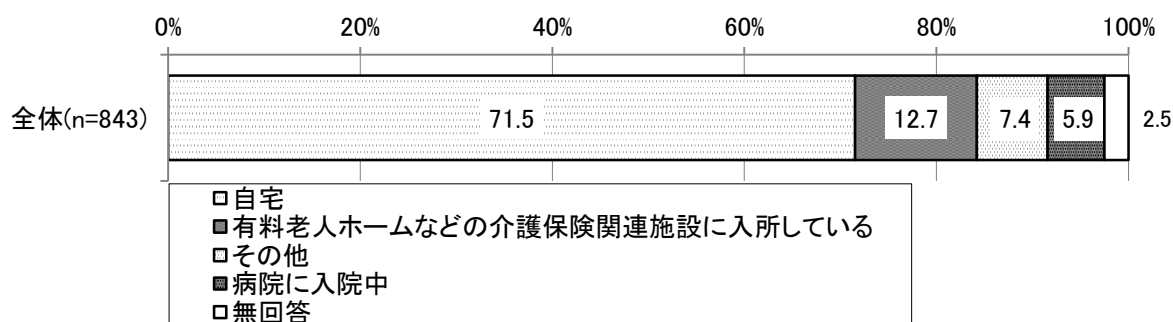
一か月当たりの収入額（年金、仕事、仕送りなどすべて含む。配偶者がいる方はあなたと配偶者の収入額）を尋ねたところ、「20万円～30万円未満」が最も多く19.7%、次いで「10万円～15万円未満」が19.2%、「15万円～20万円未満」が17.7%となっています。前回調査と比べて、特に大きな差異はありません。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

2. あなたのお住まいについて

問10 あなたは、現在どこで生活していますか。（○はひとつ）

1. 自宅（71.5%）
2. 病院に入院中（5.9%）
3. 有料老人ホームなどの介護保険関連施設に入所している（12.7%）
4. その他（7.4%）



生活している場所について尋ねたところ、「自宅」が71.5%となっています。「その他」は、「子どもの家」などとなっています。

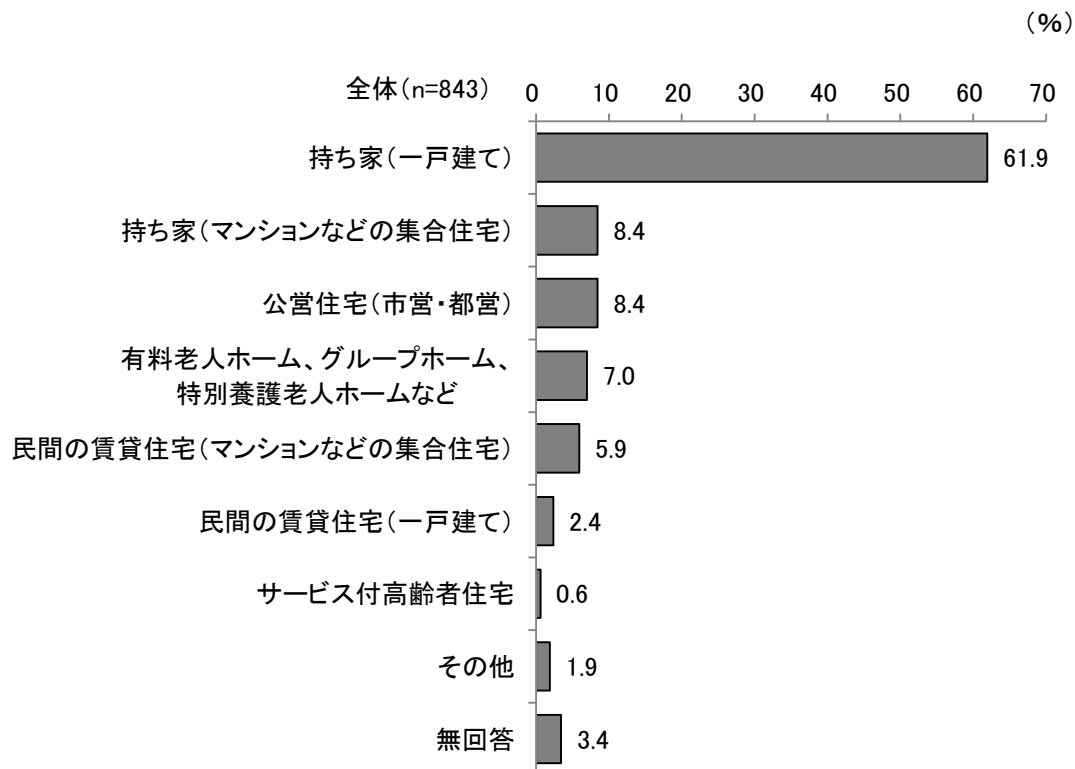
		全体	自宅	病院に 入院中	有料老人 ホームなどの 介護保険 関連施設に 入所している	その他	無回答
全体		843 100.0	603 71.5	50 5.9	107 12.7	62 7.4	21 2.5
要介護度別	要支援1	191 100.0	164 85.9	— —	2 1.0	20 10.5	5 2.6
	要支援2	113 100.0	96 85.0	— —	6 5.3	8 7.1	3 2.7
	要介護1	163 100.0	141 86.5	3 1.8	12 7.4	7 4.3	— —
	要介護2	118 100.0	88 74.6	5 4.2	11 9.3	14 11.9	— —
	要介護3	70 100.0	35 50.0	6 8.6	22 31.4	6 8.6	1 1.4
	要介護4	72 100.0	33 45.8	13 18.1	25 34.7	1 1.4	— —
	要介護5	73 100.0	21 28.8	21 28.8	29 39.7	2 2.7	— —
	わからない	17 100.0	15 88.2	— —	— —	2 11.8	— —
	無回答	26 100.0	10 38.5	2 7.7	— —	2 7.7	12 46.2

要介護度別では、要介護3以上で「有料老人ホームなどの介護保険関連施設に入所している」が3割を超えています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問11 あなたのお住まいはどのような種類の住宅ですか。現在、病院に入院中の方、施設などに入所している方は、戻る予定のお住まいについてお答えください。
(〇はひとつ)

1. 持ち家（一戸建て）（61.9%）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）（8.4%）
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て）（2.4%）
4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）（5.9%）
5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど（7.0%）
6. サービス付高齢者住宅（0.6%）
7. 公営住宅（市営・都営）（8.4%）
8. その他（1.9%）



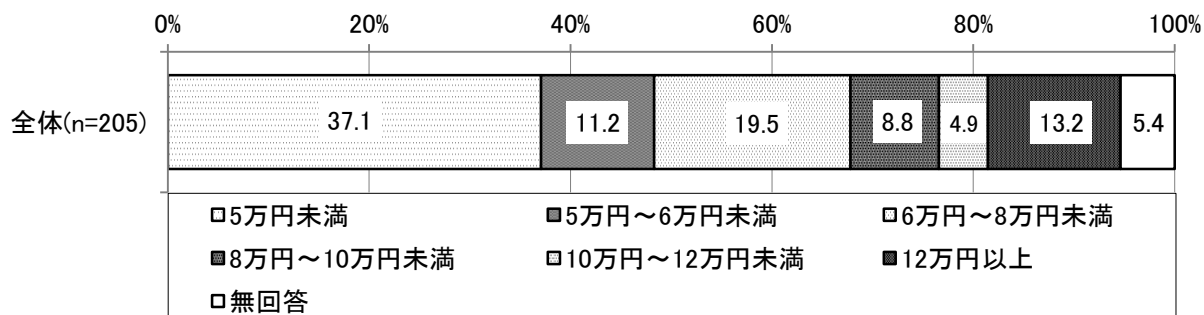
住まいの種類について尋ねたところ、「持ち家（一戸建て）」が61.9%となっています。他の種類はいずれも10%未満となっています。「その他」は、「子どもの家」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問11で「3」から「7」と答えた方のみ】

問11-1 現在の家賃（管理費などを含め）は月額でいくらぐらいですか。（〇はひとつ）

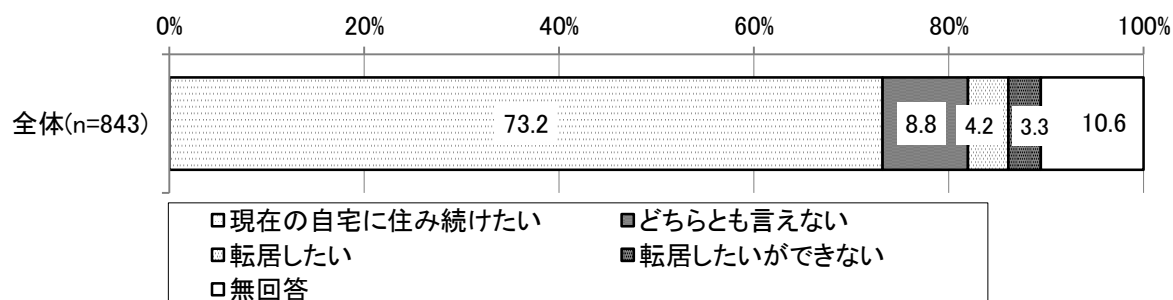
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 5万円未満（37.1%） | 4. 8万円～10万円未満（8.8%） |
| 2. 5万円～6万円未満（11.2%） | 5. 10万円～12万円未満（4.9%） |
| 3. 6万円～8万円未満（19.5%） | 6. 12万円以上（13.2%） |



問11で「持ち家」、「その他」以外に住んでいると回答した人に、家賃（管理費などを含め）の月額について尋ねたところ、「5万円未満」が最も多く37.1%、次いで「6万円～8万円未満」が19.5%となっています。

問12 あなたは、現在のご自宅から転居したいと考えていますか。現在、病院に入院中の方、施設などに入所している方は、戻る予定のご自宅についてお答えください。（〇はひとつ）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 現在の自宅に住み続けたい（73.2%） | 3. 転居したいができない（3.3%） |
| 2. 転居したい（4.2%） | 4. どちらとも言えない（8.8%） |



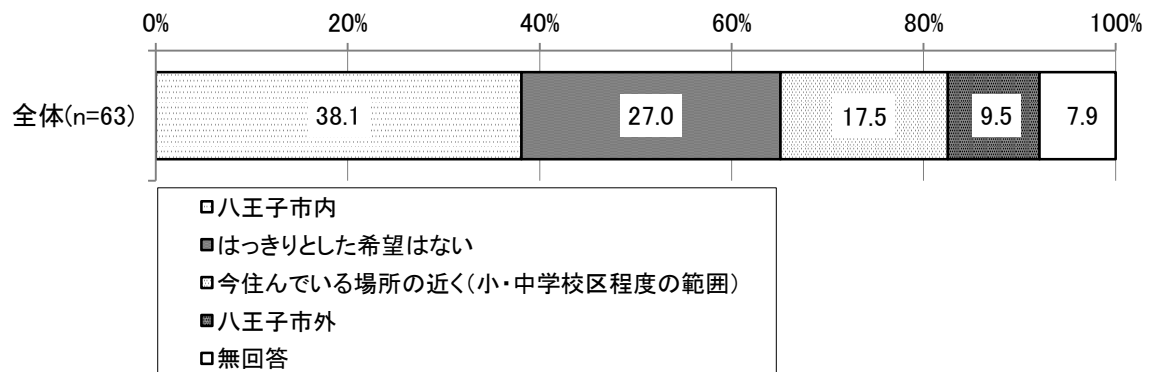
今後の居住意向を尋ねたところ、「現在の自宅に住み続けたい」が73.2%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問12で「2」または「3」と答えた方のみ】

問12-1 転居先として希望するところはどこですか。（○はひとつ）

1. 今住んでいる場所の近く（小・中学校区程度の範囲）（17.5%）
2. 八王子市内（38.1%）
3. 八王子市外（9.5%）
4. はっきりとした希望はない（27.0%）



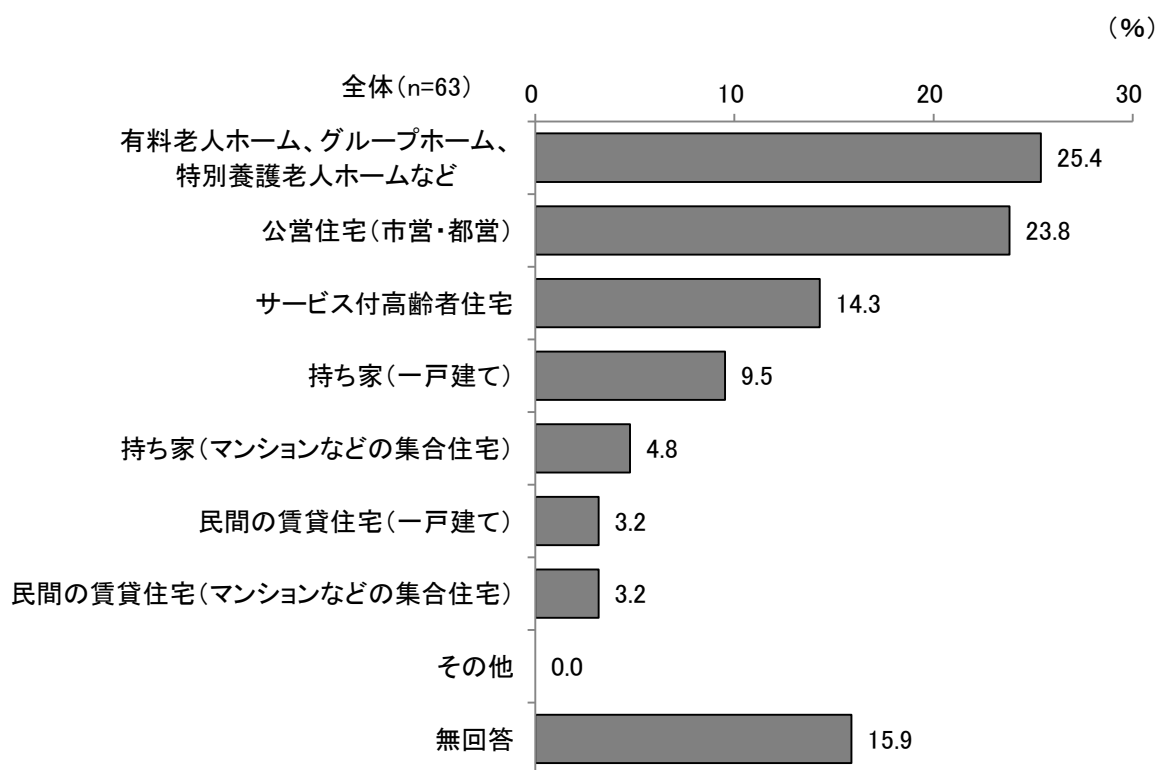
問12で、「2. 転居したい」、「3. 転居したいができない」と答えた人に転居先の希望を尋ねたところ、「八王子市内」が最も多く38.1%、次いで「はっきりとした希望はない」が27.0%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問12で「2」または「3」と答えた方のみ】

問12-2 転居先は、どのような種類の住宅を希望しますか。（○はひとつ）

1. 持ち家（一戸建て）（9.5%）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）（4.8%）
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て）（3.2%）
4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）（3.2%）
5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど（25.4%）
6. サービス付高齢者住宅（14.3%）
7. 公営住宅（市営・都営）（23.8%）
8. その他（0.0%）



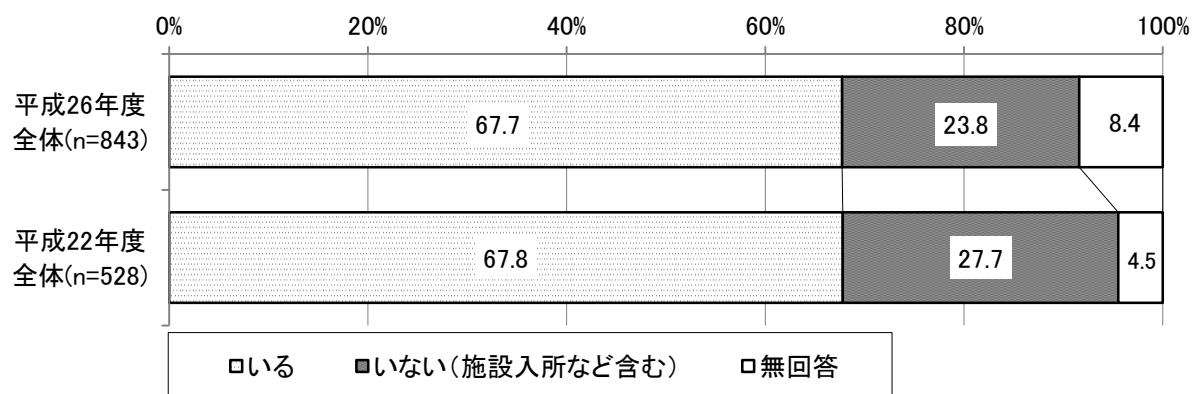
問12で、「2. 転居したい」、「3. 転居したいができない」と答えた人に希望する転居先の住居の種類を尋ねたところ、「有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど」が最も多く25.4%、次いで「公営住宅（市営・都営）」が23.8%となっています。

3. 家族などによる介護状況などについて

問13 あなたを介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問いません）はいますか。（○はひとつ）

1. いる（67.7%）

2. いない（施設入所など含む）（23.8%）



介護をしている家族や親族が「いる」人は、67.7%となっています。
 前回調査と比較すると、「いる」人の割合はほとんど変わっていません。

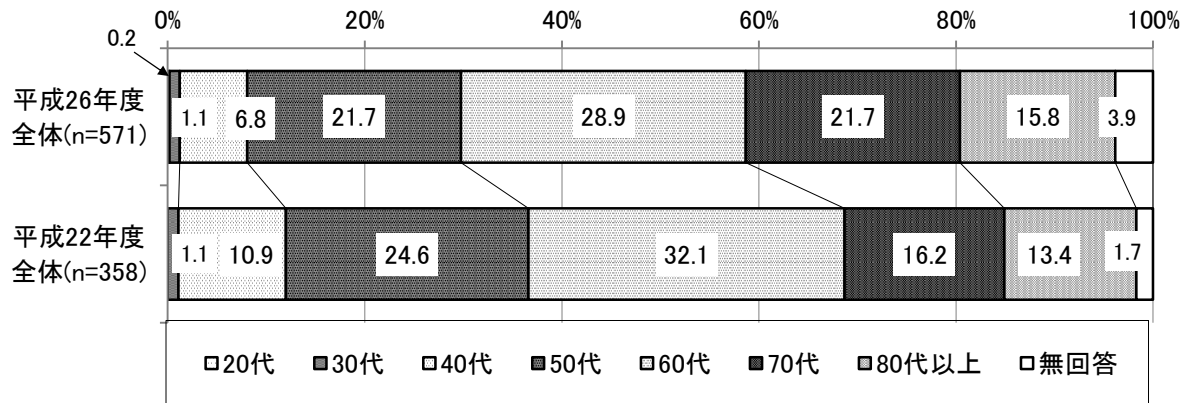
3. 要支援・要介護認定者調査結果

あて名のご本人を主に介護している方についてお伺いします。

【問13で「1」と答えた方のみ】

問14 主に介護している方の年齢と性別についてお答えください。

①年齢（数字を記入）



※前回調査は、「20代」、「30代」は「30代以下」となっているため、「30代」として集計しています。

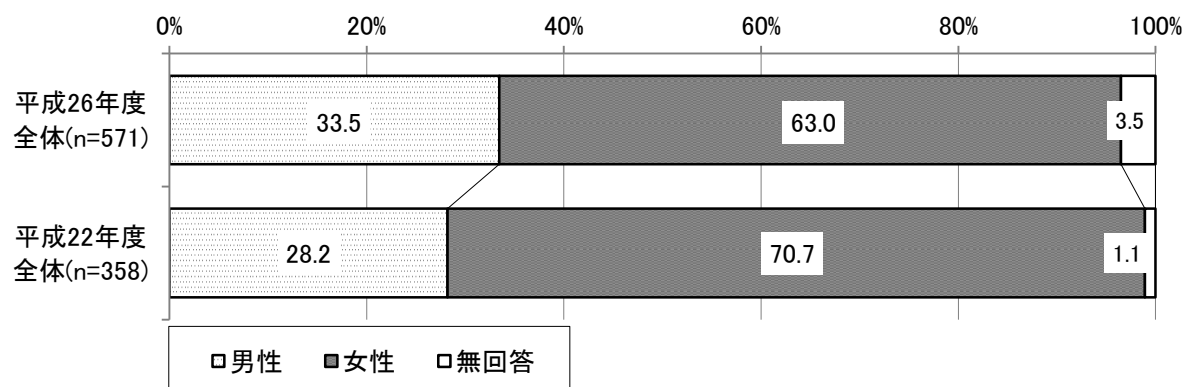
問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人の介護をしている人の年齢を集計したところ、「60代」が最も多く28.9%、次いで「50代」と「70代」が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、70代が5.5ポイント上昇しています。

②性別（○はひとつ）

1. 男性（33.5%）

2. 女性（63.0%）



介護をしている方の性別について尋ねたところ「男性」が33.5%、「女性」が63.0%となっています。

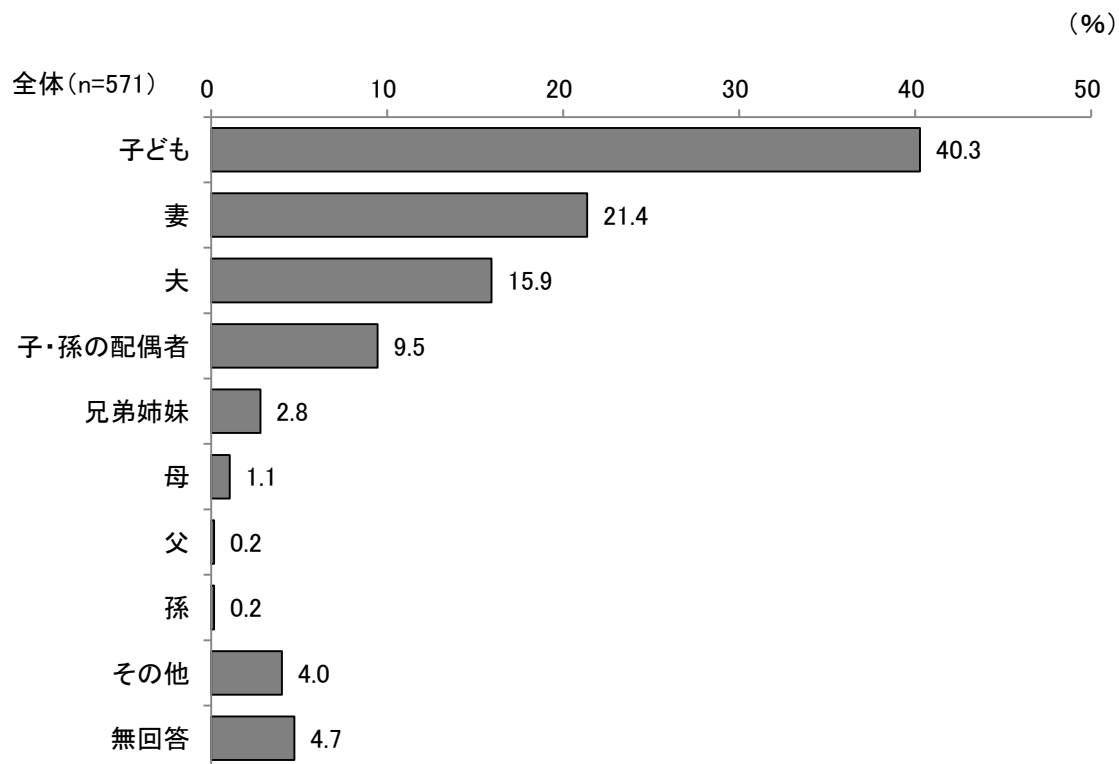
前回調査と比較すると、女性の割合が7.7ポイント低下し、男性の割合が5.3ポイント上昇しています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問13で「1」と答えた方のみ】

問15 あて名のご本人を、主に介護している方はどなたですか。（○はひとつ）

1. 夫（15.9%）	6. 孫（0.2%）
2. 妻（21.4%）	7. 兄弟姉妹（2.8%）
3. 子ども（40.3%）	8. 子・孫の配偶者（9.5%）
4. 父（0.2%）	9. その他（4.0%）
5. 母（1.1%）	



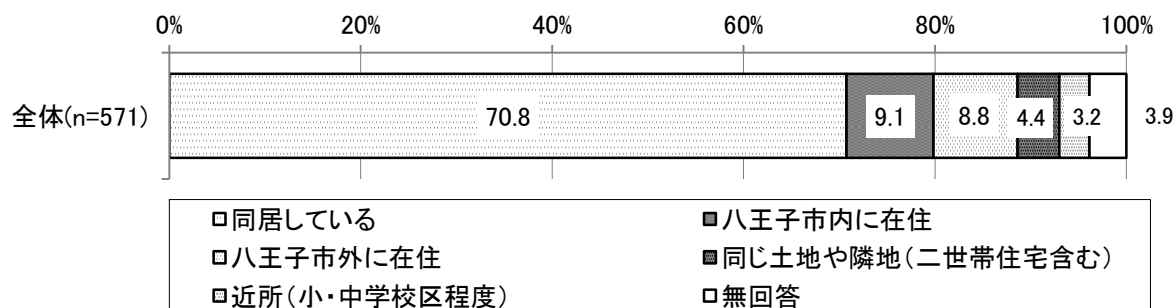
問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人の介護をしている人の続柄について尋ねたところ、「子ども」が最も多く40.3%、次いで「妻」が21.4%、「夫」が15.9%となっています。「その他」は、「親族」、「施設職員」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問13で「1」と答えた方のみ】

問16 主に介護している方はどこに住んでいますか。（○はひとつ）

1. 同居している（70.8%）	4. 八王子市内に在住（9.1%）
2. 同じ土地や隣地（二世帯住宅含む）（4.4%）	5. 八王子市外に在住（8.8%）
3. 近所（小・中学校区程度）（3.2%）	



問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人を主に介護をしている人が住んでいるところは、「同居している」が最も多く70.8%、次いで「八王子市内に在住」が9.1%、「八王子市外に在住」が8.8%となっています。

		全体	同居している	同じ土地や隣地 （二世帯住宅含む）	近所 （小・中学校区程度）	八王子市内 に在住	八王子市外 に在住	無回答
全体		571 100.0	404 70.8	25 4.4	18 3.2	52 9.1	50 8.8	22 3.9
要介護度別	要支援1	104 100.0	68 65.4	5 4.8	3 2.9	7 6.7	12 11.5	9 8.7
	要支援2	69 100.0	43 62.3	2 2.9	3 4.3	5 7.2	13 18.8	3 4.3
	要介護1	132 100.0	98 74.2	3 2.3	8 6.1	6 4.5	15 11.4	2 1.5
	要介護2	91 100.0	75 82.4	3 3.3	1 1.1	8 8.8	2 2.2	2 2.2
	要介護3	51 100.0	30 58.8	5 9.8	— —	10 19.6	5 9.8	1 2.0
	要介護4	52 100.0	39 75.0	3 5.8	— —	5 9.6	2 3.8	3 5.8
	要介護5	48 100.0	36 75.0	1 2.1	— —	10 20.8	— —	1 2.1
	わからない	8 100.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5	— —	— —	— —
	無回答	16 100.0	10 62.5	1 6.3	2 12.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3

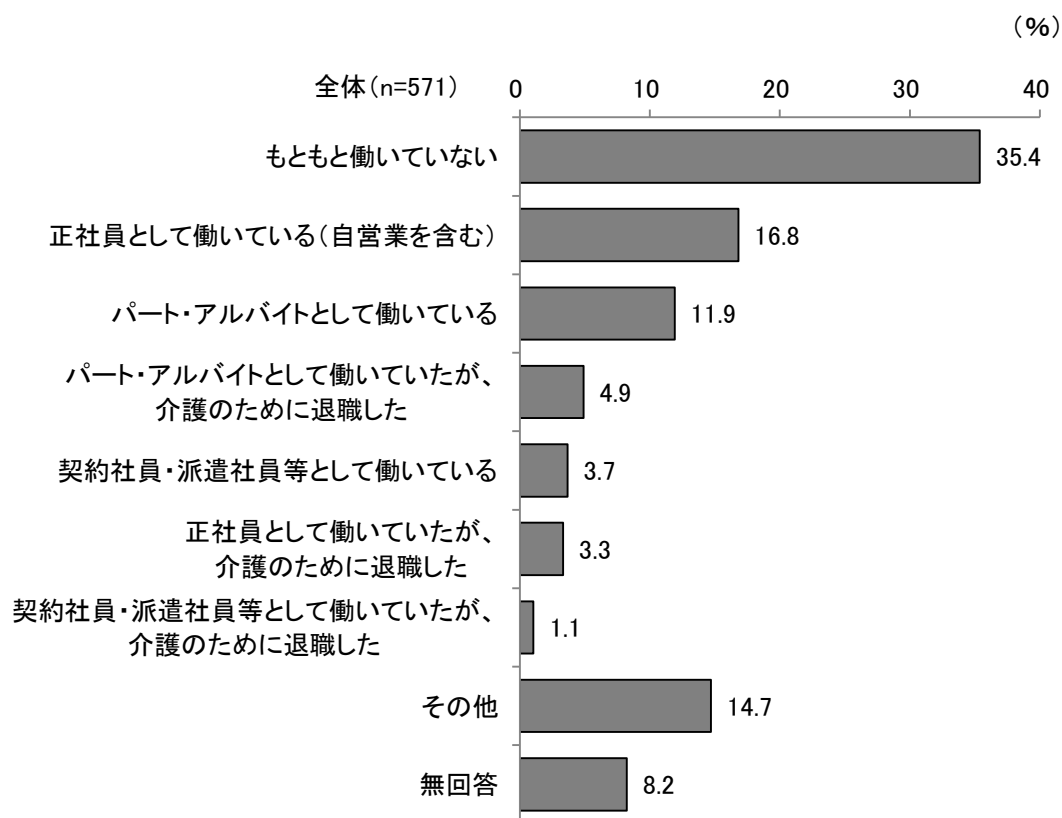
要介護度別では、「八王子市外に在住」という回答が、要支援1、要支援2、要介護1で10%以上となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問13で「1」と答えた方のみ】

問17 主に介護している方は就労していますか。（○はひとつ）

1. 正社員として働いている（自営業を含む）（16.8%）
2. 契約社員・派遣社員等として働いている（3.7%）
3. パート・アルバイトとして働いている（11.9%）
4. 正社員として働いていたが、介護のために退職した（3.3%）
（介護のため自営業をやめた場合を含む）
5. 契約社員・派遣社員等として働いていたが、介護のために退職した（1.1%）
6. パート・アルバイトとして働いていたが、介護のために退職した（4.9%）
7. もともと働いていない（35.4%）
8. その他（14.7%）



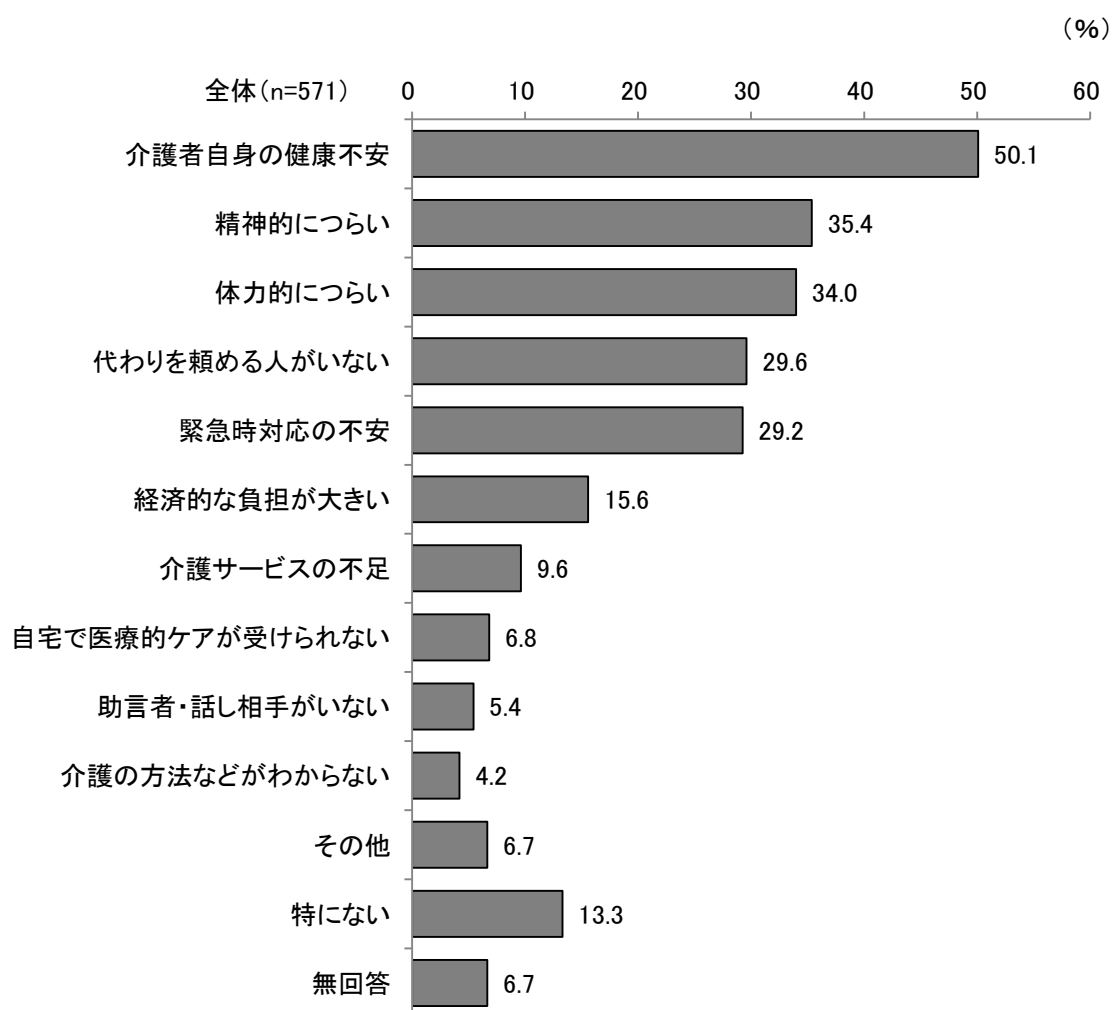
問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人を主に介護している人の就労について尋ねたところ、「もともと働いていない」が最も多く35.4%、次いで「正社員として働いている」が16.8%となっています。「その他」は、「定年退職した」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問13で「1」と答えた方のみ】

問18 主に介護している方が困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護者自身の健康不安（50.1%）	7. 介護サービスの不足（9.6%）
2. 体力的につらい（34.0%）	8. 自宅で医療的ケアが受けられない（6.8%）
3. 精神的につらい（35.4%）	9. 助言者・話し相手がない（5.4%）
4. 代わりを頼める人がいない（29.6%）	10. 介護の方法などがわからない（4.2%）
5. 緊急時対応の不安（29.2%）	11. その他（6.7%）
6. 経済的な負担が大きい（15.6%）	12. 特にない（13.3%）



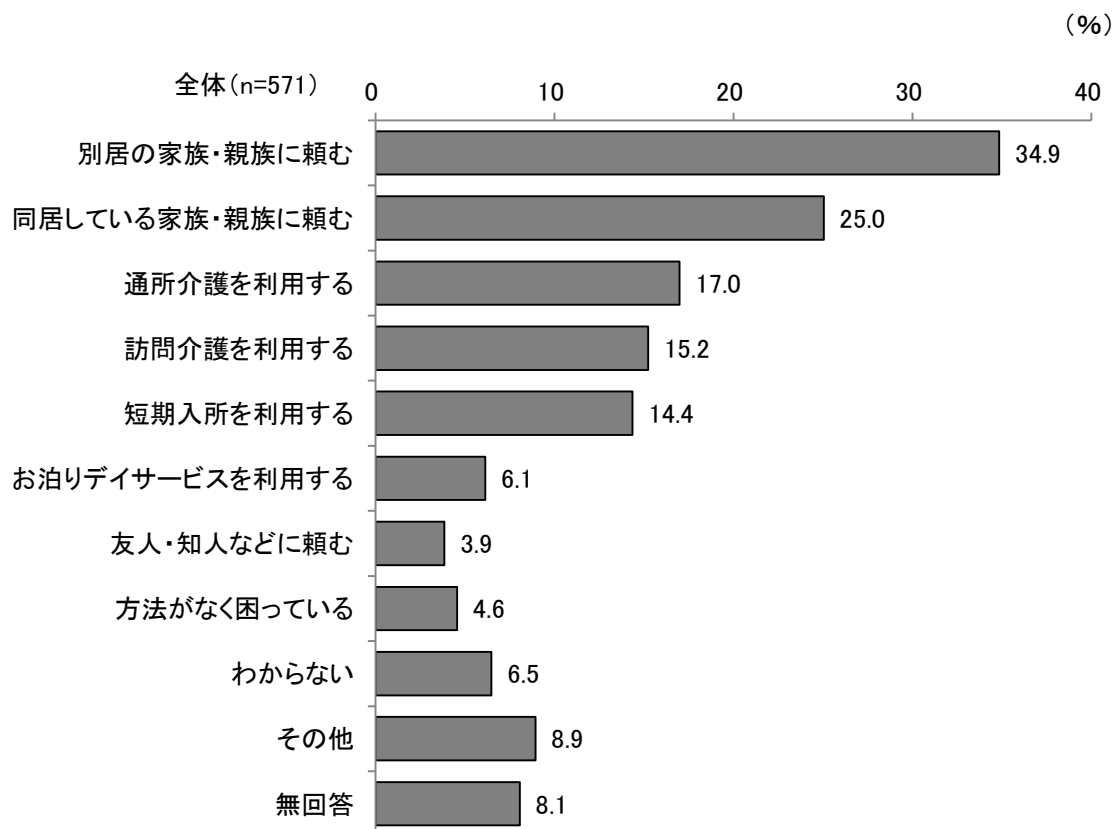
問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人を主に介護している人が困っていることについて尋ねたところ、「介護者自身の健康不安」が最も多く50.1%、次いで「精神的につらい」が35.4%、「体力的につらい」が34.0%となっています。「その他」は、「遠隔地から介護」、「先の不安」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問13で「1」と答えた方のみ】

問19 主に介護している方が、病気や用事などで介護できないときに、どのように対処していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 同居している家族・親族に頼む（25.0%）
2. 別居の家族・親族に頼む（34.9%）
3. 友人・知人などに頼む（3.9%）
4. 訪問介護（ホームヘルプ）を利用する（15.2%）
5. 短期入所（ショートステイ）を利用する（14.4%）
6. 通所介護（デイサービス）を利用する（17.0%）
7. お泊りデイサービスを利用する（6.1%）
8. 方法がなく困っている（4.6%）
9. わからない（6.5%）
10. その他（8.9%）



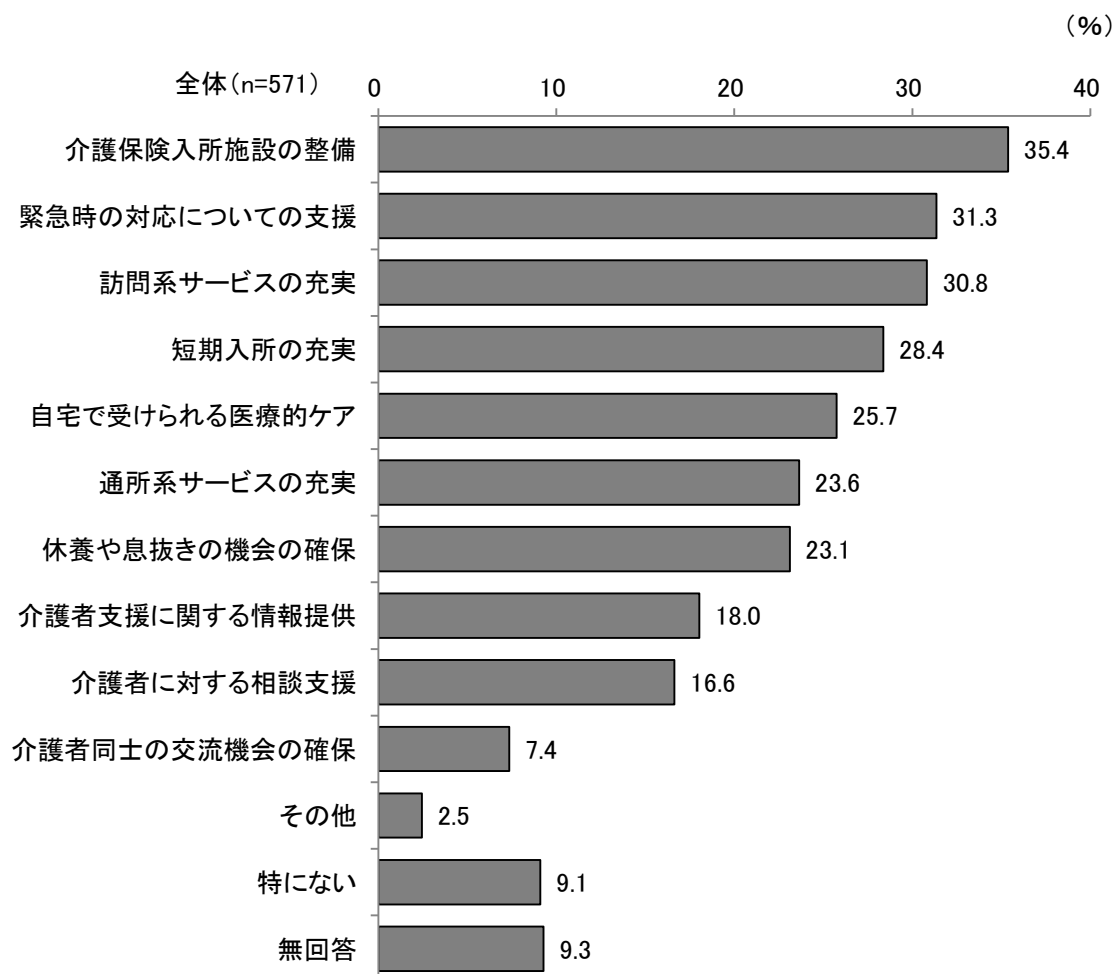
問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人を主に介護している人が、病気や用事などで介護できないときにどのように対処しているか尋ねたところ、「別居の家族・親族に頼む」が最も多く34.9%、次いで「同居している家族・親族に頼む」が25.0%となっています。「その他」は、「これまでにそのようなことがなかった」、「そのときに考える」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問13で「1」と答えた方のみ】

問20 主に介護している方は、今後どのような介護者支援が必要だとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問系サービスの充実（ホームヘルプなど）（30.8%）
2. 通所系サービスの充実（デイサービスなど）（23.6%）
3. 短期入所（ショートステイ）の充実（28.4%）
4. 介護保険入所施設の整備（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など）（35.4%）
5. 緊急時の対応についての支援（31.3%）
6. 自宅で受けられる医療的ケア（25.7%）
7. 介護者支援に関する情報提供（18.0%）
8. 介護者に対する相談支援（16.6%）
9. 休養や息抜きの機会の確保（23.1%）
10. 介護者同士の交流機会の確保（7.4%）
11. その他（2.5%）
12. 特にない（9.1%）



3. 要支援・要介護認定者調査結果

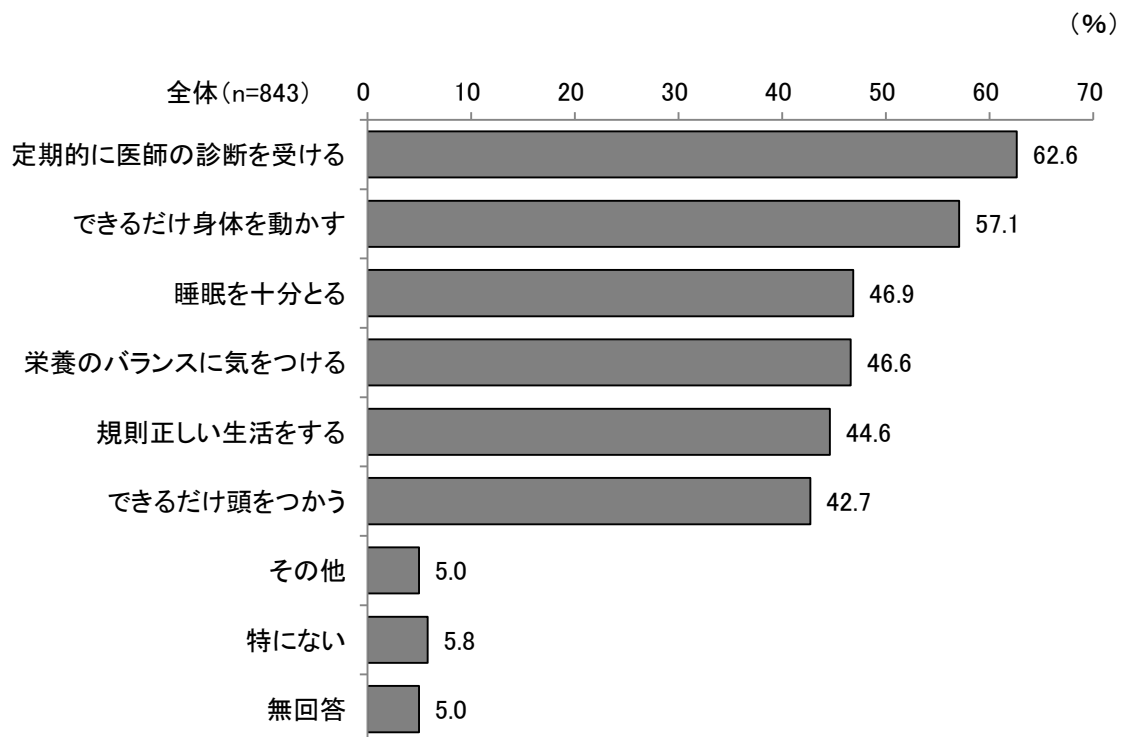
問13で介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問わない）が「1. いる」と答えた人を主に介護している人に、今後どのような介護者支援が必要かを尋ねたところ、「介護保険入所施設の整備（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など）」が最も多く35.4%、次いで「緊急時の対応についての支援」が31.3%、「訪問系サービスの充実（ホームヘルプなど）」が30.8%、「短期入所（ショートステイ）の充実」が28.4%となっています。

4. あなたの健康状態などについて

ここからはまた、あて名のご本人についてお伺いします。

問21 あなたが、健康のために日ごろから心がけていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. できるだけ身体を動かす (57.1%)
2. できるだけ頭をつかう (42.7%)
3. 栄養のバランスに気をつける (46.6%)
4. 規則正しい生活をする (44.6%)
5. 睡眠を十分とる (46.9%)
6. 定期的に医師の診断を受ける (62.6%)
7. その他 (5.0%)
8. 特にない (5.8%)



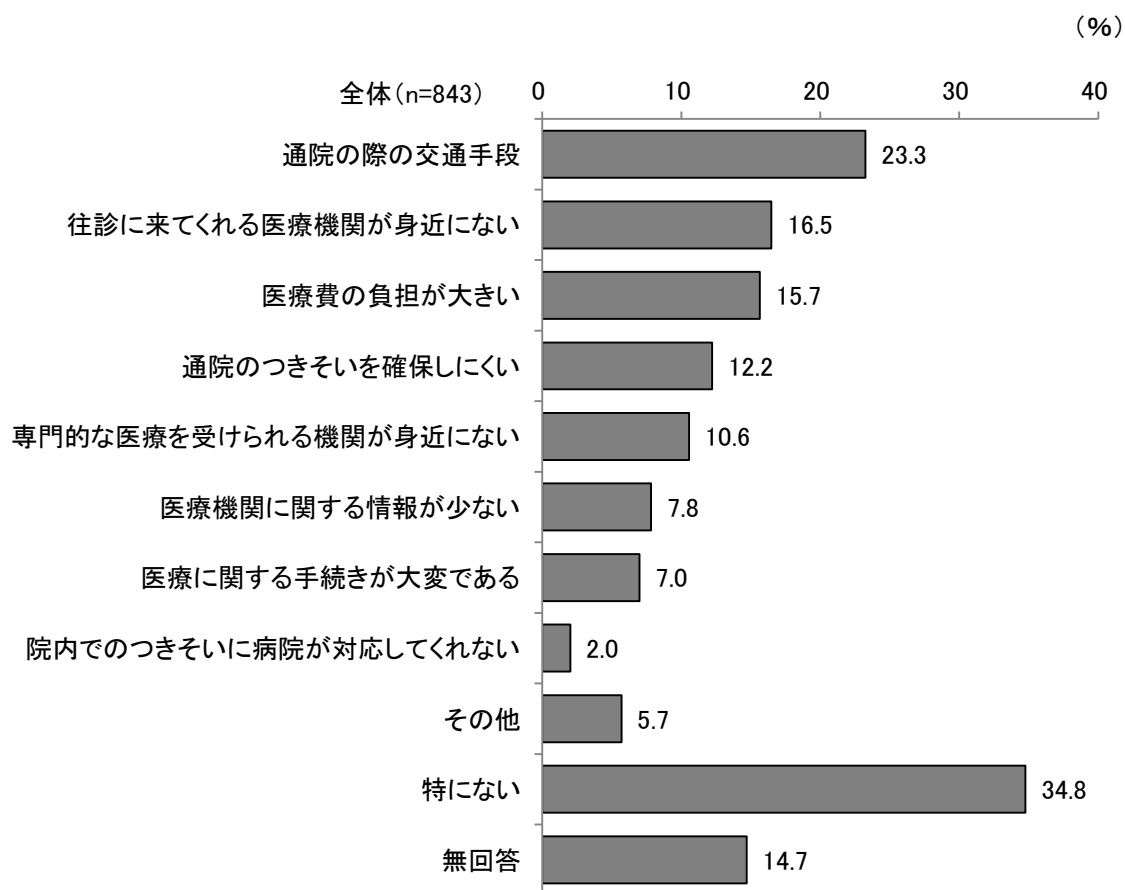
健康のために日ごろから心がけていることについて尋ねたところ、「定期的に医師の診断を受ける」が最も多く62.6%、次いで「できるだけ身体を動かす」が57.1%となっています。「その他」は、「入院中」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問22 あなたは、通院や医療に関して困っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のつきそいを確保しにくい (12.2%)
2. 通院の際の交通手段 (23.3%)
3. 医療機関に関する情報が少ない (7.8%)
4. 専門的な医療を受けられる機関が身近にない (10.6%)
5. 往診に来てくれる医療機関が身近にない (16.5%)
6. 医療に関する手続きが大変である (7.0%)
7. 医療費の負担が大きい (15.7%)
8. 院内でのつきそいに病院が対応してくれない (2.0%)
9. その他 (5.7%)
10. 特にない (34.8%)



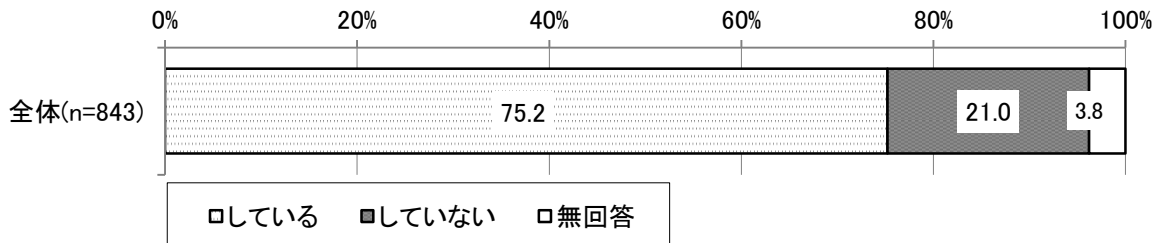
通院や医療に関して困っていることについて尋ねたところ、「特にない」が最も多く 34.8%、次いで「通院の際の交通手段」が23.3%となっています。「その他」は、「待ち時間が長い」などとなっています。

5. 介護保険などのサービスについて

問23 あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。（○はひとつ）

1. している（75.2%）

2. していない（21.0%）



介護保険サービスを利用しているかを尋ねたところ、「している」が75.2%、「していない」が21.0%となっています。

問24から問29は、問23で「1」と答えた方にお伺います。

問24 あなたは、介護保険サービスを利用したことで、利用する前と比べ心身の状況（要介護度など）がどう変化了吗とじていますか。（○はひとつ）

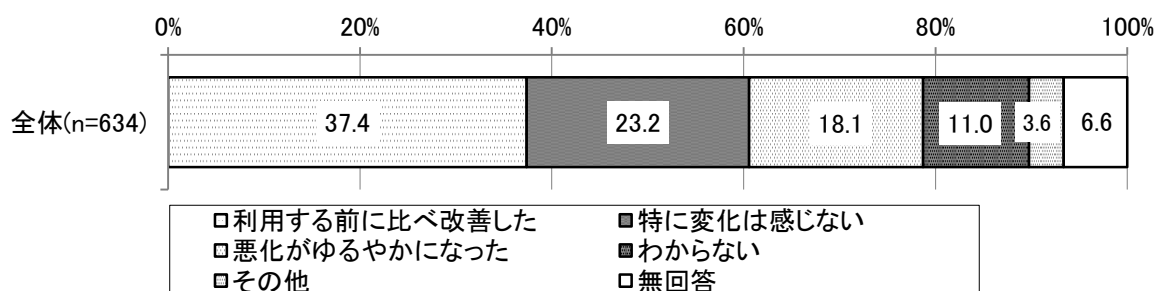
1. 利用する前に比べ改善した（37.4%）

4. その他（3.6%）

2. 悪化がゆるやかになった（18.1%）

5. わからない（11.0%）

3. 特に変化は感じない（23.2%）



介護保険サービスの利用で心身の状況がどう変化了吗とじているか尋ねたところ、「利用する前に比べ改善した」が最も多く37.4%、次いで「特に変化は感じない」が23.2%となっています。「その他」は、「悪化している」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

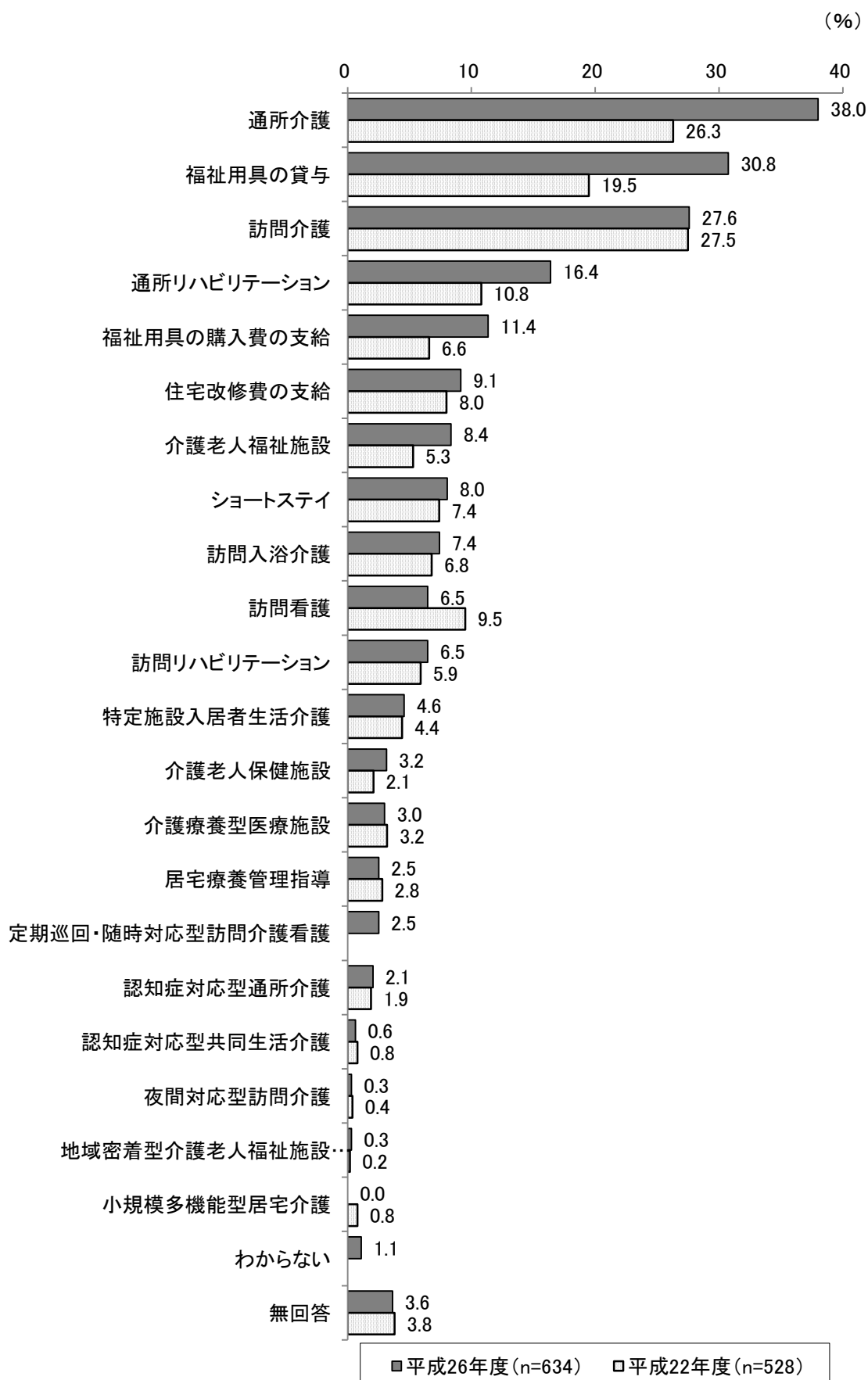
問25 あなたが、現在利用している介護保険サービスは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護（ホームヘルプ）（27.6%）
2. 訪問入浴介護（7.4%）
3. 訪問看護（看護師などが自宅を訪問し療養上の世話や診療補助を行う）（6.5%）
4. 訪問リハビリテーション（6.5%）
5. 居宅療養管理指導（医師や薬剤師などが自宅を訪問して指導を行う）（2.5%）
6. 通所介護（デイサービス）（38.0%）
7. 通所リハビリテーション（デイケア）（16.4%）
8. ショートステイ（短期入所生活介護・短期入所療養介護）（8.0%）
9. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホームなど）（4.6%）
10. 福祉用具の貸与（30.8%）
11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（2.5%）
12. 夜間対応型訪問介護（0.3%）
13. 認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）（2.1%）
14. 小規模多機能型居宅介護（0.0%）
15. 認知症対応型共同生活介護（認知症対応型グループホーム）（0.6%）
16. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（0.3%）
17. 福祉用具の購入費の支給（11.4%）
18. 住宅改修費の支給（9.1%）
19. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（8.4%）
20. 介護老人保健施設（老人保健施設）（3.2%）
21. 介護療養型医療施設（3.0%）
22. わからない（1.1%）

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問25 現在利用している介護保険サービスのグラフ】



※前回調査には、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「わからない」という選択肢はありません。

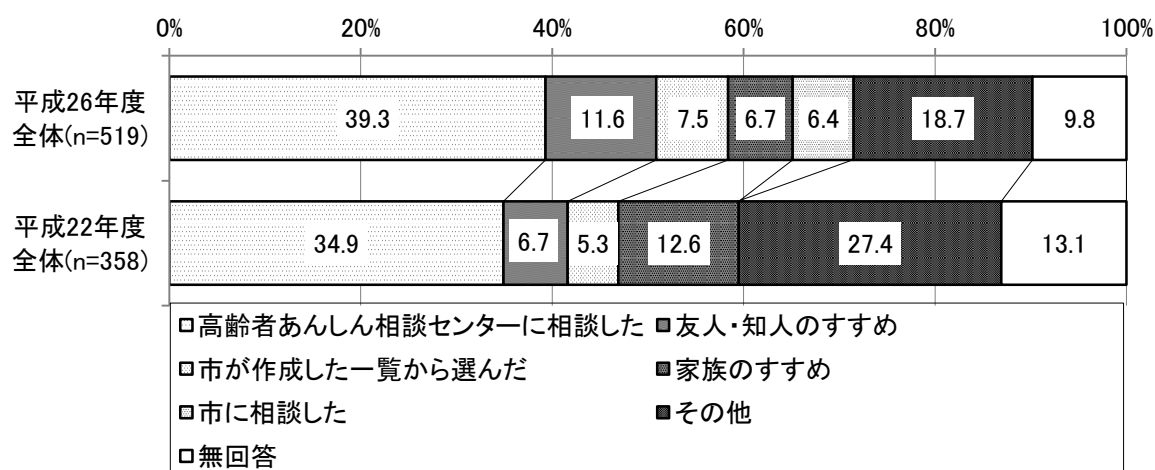
3. 要支援・要介護認定者調査結果

現在利用している介護保険サービスは、「通所介護」が最も多く38.0%、次いで「福祉用具の貸与」が30.8%、「訪問介護」が27.6%となっています。前回調査と比較すると、通所介護が11.7ポイント、「福祉用具の貸与」が11.3ポイント上昇しています。

【問25で「1」から「18」と答えた方のみ】

問26 あなたがケアプラン作成を依頼したケアマネジャー（介護支援専門員）は、どのようなきっかけで選びましたか。（〇はひとつ）

1. 市が作成した一覧から選んだ（7.5%）
2. 市に相談した（6.4%）
3. 友人・知人のすすめ（11.6%）
4. 家族のすすめ（6.7%）
5. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）に相談した（39.3%）
6. その他（18.7%）



※前回調査には、「市に相談した」という選択肢はありません。また、前回調査の「認定調査にきた事業者に相談して決めた」「サービス事業者に相談して決めた」は、「その他」に含んでいます。

ケアプラン作成を依頼したケアマネジャーをどのようなきっかけで選んだか尋ねたところ、「高齢者あんしん相談センターに相談した」が最も多く39.3%、次いで「その他」が18.7%、「友人・知人のすすめ」が11.6%となっています。「その他」は、「家の近くだった」、「病院からのすすめ」などとなっています。

前回調査と比較すると、「高齢者あんしん相談センターに相談した」が4.4ポイント、「友人・知人のすすめ」が4.9ポイントそれぞれ上昇しています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問26 ケアマネジャーを選んだきっかけのクロス集計表】

		全体	市が 作成した 一覧から 選んだ	市に 相談した	友人・知人の すすめ	家族の すすめ	高齢者 あんしん 相談センター に 相談した	その他	無回答
全体		519 100.0	39 7.5	33 6.4	60 11.6	35 6.7	204 39.3	97 18.7	51 9.8
要 介 護 度 別	要支援1	84 100.0	6 7.1	4 4.8	6 7.1	7 8.3	38 45.2	11 13.1	12 14.3
	要支援2	68 100.0	4 5.9	1 1.5	7 10.3	3 4.4	36 52.9	10 14.7	7 10.3
	要介護1	140 100.0	8 5.7	9 6.4	16 11.4	16 11.4	59 42.1	19 13.6	13 9.3
	要介護2	96 100.0	8 8.3	10 10.4	11 11.5	4 4.2	37 38.5	21 21.9	5 5.2
	要介護3	44 100.0	3 6.8	3 6.8	6 13.6	2 4.5	13 29.5	13 29.5	4 9.1
	要介護4	40 100.0	4 10.0	2 5.0	9 22.5	1 2.5	8 20.0	12 30.0	4 10.0
	要介護5	29 100.0	4 13.8	1 3.4	4 13.8	— —	7 24.1	8 27.6	5 17.2
	わからない	5 100.0	— —	3 60.0	— —	— —	— —	2 40.0	— —
	無回答	13 100.0	2 15.4	— —	1 7.7	2 15.4	6 46.2	1 7.7	1 7.7

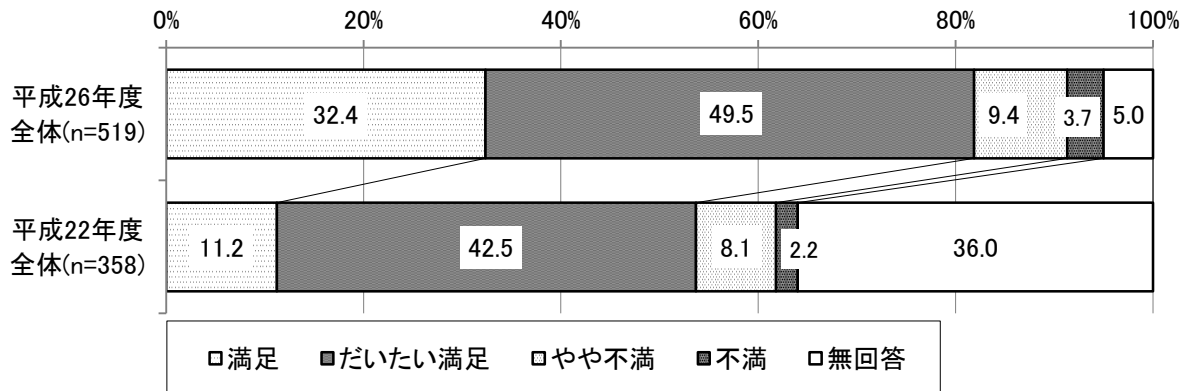
要介護度別では、要支援2で「高齢者あんしん相談センターに相談した」という回答の割合が過半数となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問25で「1」から「18」と答えた方のみ】

問27 あなたは、現在利用している介護保険サービスの内容に満足していますか。
(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 満足 (32.4%) | 3. やや不満 (9.4%) |
| 2. だいたい満足 (49.5%) | 4. 不満 (3.7%) |



現在利用している介護保険サービスの内容に満足しているか尋ねたところ、「だいたい満足」が最も多く49.5%、次いで「満足」が32.4%となっています。前回調査と比較すると、「満足」が21.2ポイント上昇しています。

		全体	満足	だいたい満足	やや不満	不満	無回答
全体		519	168	257	49	19	26
		100.0	32.4	49.5	9.4	3.7	5.0
要介護度別	要支援1	84	38	37	6	1	2
		100.0	45.2	44.0	7.1	1.2	2.4
	要支援2	68	14	40	5	5	4
		100.0	20.6	58.8	7.4	7.4	5.9
	要介護1	140	49	65	15	4	7
		100.0	35.0	46.4	10.7	2.9	5.0
	要介護2	96	27	52	10	4	3
		100.0	28.1	54.2	10.4	4.2	3.1
	要介護3	44	14	19	5	1	5
		100.0	31.8	43.2	11.4	2.3	11.4
	要介護4	40	13	20	3	1	3
		100.0	32.5	50.0	7.5	2.5	7.5
	要介護5	29	4	18	3	2	2
		100.0	13.8	62.1	10.3	6.9	6.9
	わからない	5	4	-	-	1	-
		100.0	80.0	-	-	20.0	-
	無回答	13	5	6	2	-	-
		100.0	38.5	46.2	15.4	-	-

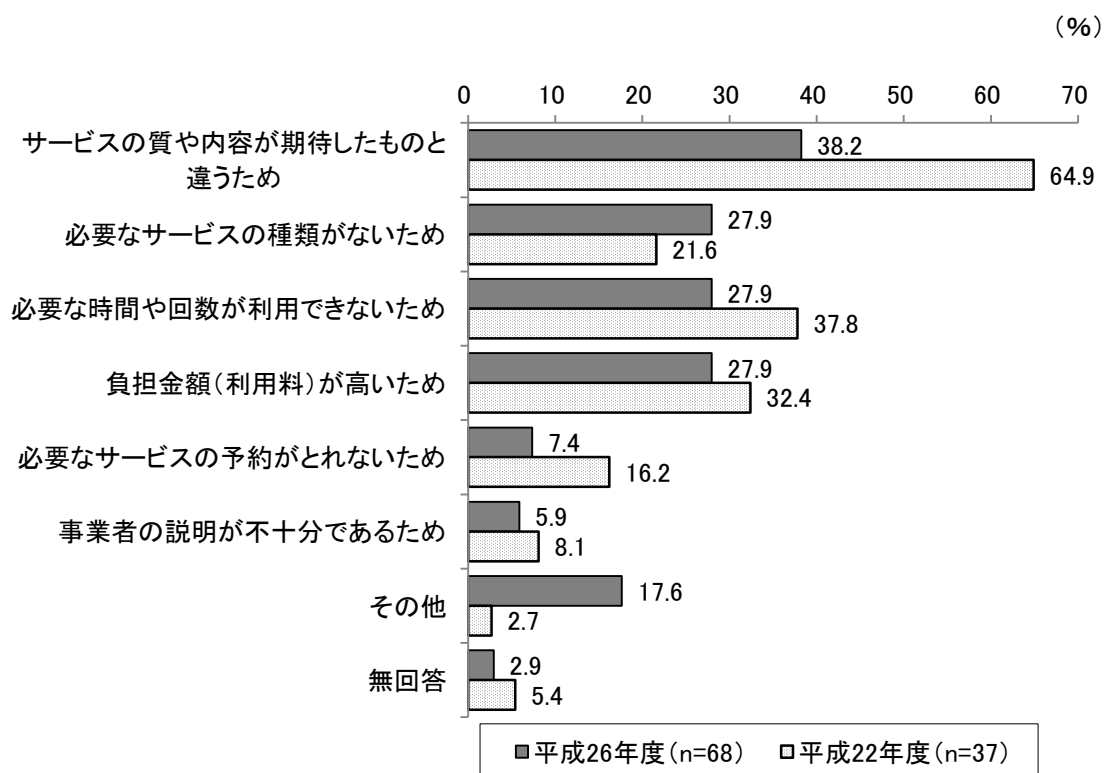
要介護度別では、要支援1で「満足」が45.2%と最も高くなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問27で「3」または「4」と答えた方のみ】

問27-1 どのような理由で不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 必要なサービスの種類がないため（27.9%）
2. 必要なサービスの予約がとれないため（7.4%）
3. 必要な時間や回数が利用できないため（27.9%）
4. サービスの質や内容が期待したものと違うため（38.2%）
5. 事業者の説明が不十分であるため（5.9%）
6. 負担金額（利用料）が高いため（27.9%）
7. その他（17.6%）



問27で「3. 不満」、「4. やや不満」と答えた方にその理由を尋ねたところ、「サービスの質や内容が期待したものと違うため」が最も多く38.2%、次いで「必要なサービスの種類がないため」、「必要な時間や回数が利用できないため」、「負担金額が高いため」がそれぞれ27.9%となっています。「その他」は、「使いたいサービスがない」、「情報不足」などとなっています。

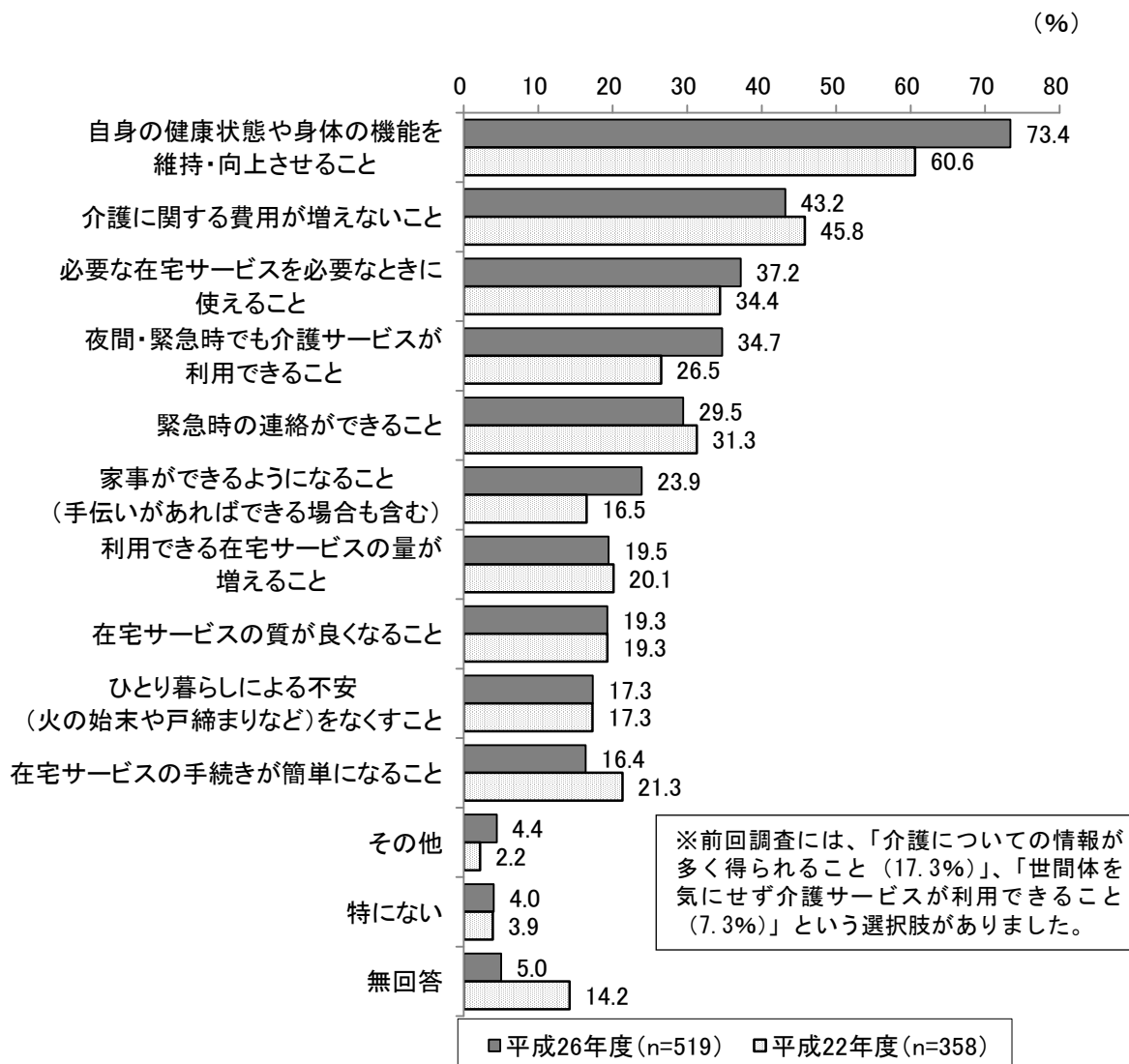
前回調査と比較すると「サービスの質や内容が期待したものと違うため」が、26.7ポイント低下しています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問25で「1」から「18」と答えた方のみ】

問28 あなたが今後もしもご自宅での生活をするためには、何が必要だとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ご自身の健康状態や身体の機能を維持・向上させること (73.4%)
2. 家事ができるようになること (手伝いがあればできる場合も含む) (23.9%)
3. ひとり暮らしによる不安 (火の始末や戸締まりなど) をなくすこと (17.3%)
4. 緊急時の連絡ができること (29.5%)
5. 介護に関する費用が増えないこと (43.2%)
6. 必要な在宅サービスを必要なときに使えること (37.2%)
7. 利用できる在宅サービスの量が増えること (19.5%)
8. 在宅サービスの質が良くなること (19.3%)
9. 在宅サービスの手続きが簡単になること (16.4%)
10. 夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること (34.7%)
11. その他 (4.4%)
12. 特になし (4.0%)



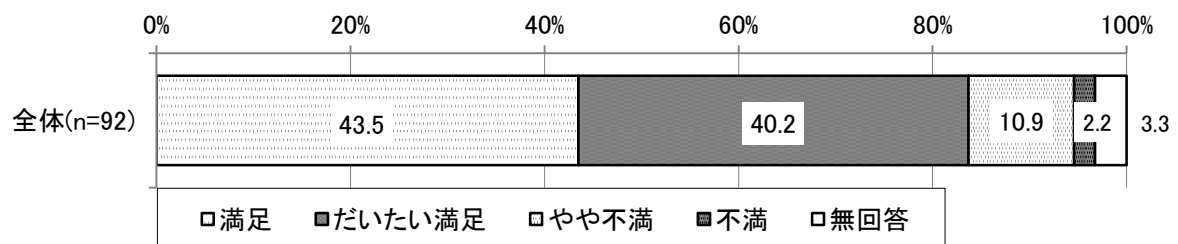
3. 要支援・要介護認定者調査結果

今後も自宅で生活をするには何が必要だと考えているか尋ねたところ、「自身の健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が最も多く73.4%、次いで「介護に関する費用が増えないこと」が43.2%、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」が37.2%となっています。

【問25で「19」から「21」と答えた方のみ】

問29 あなたは、現在の入所施設に満足していますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 満足（43.5%） | 3. やや不満（10.9%） |
| 2. だいたい満足（40.2%） | 4. 不満（2.2%） |



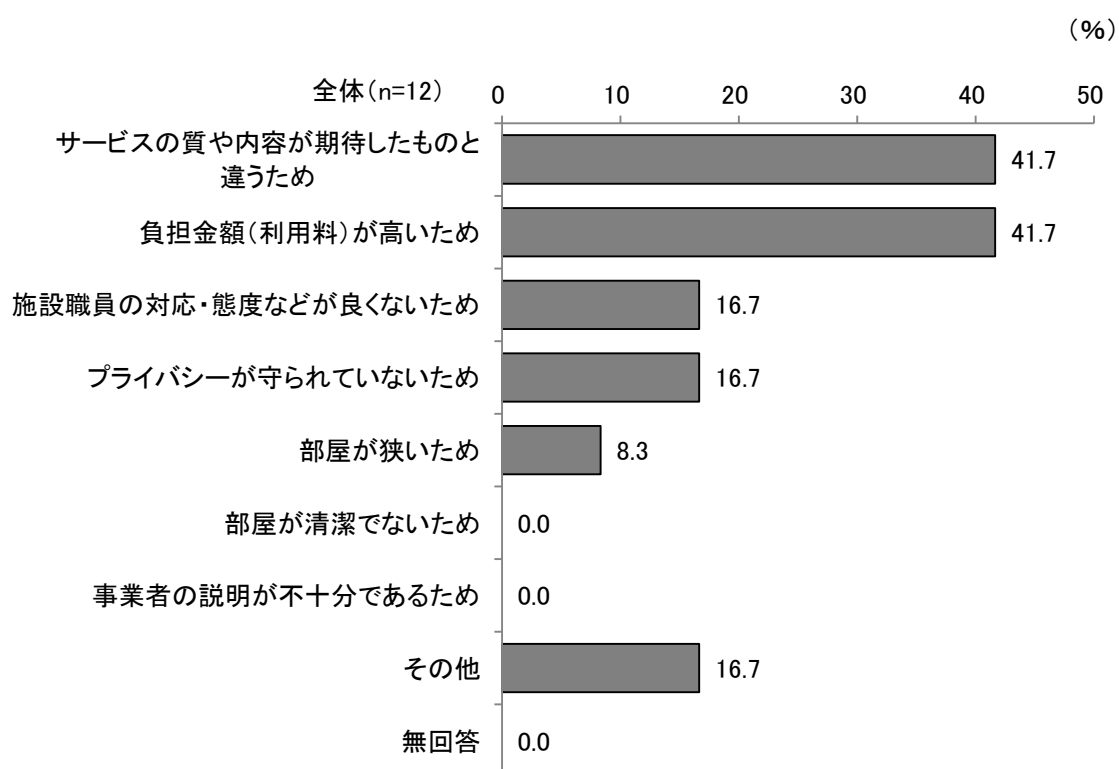
現在の入所施設に満足しているか尋ねたところ、「満足」が最も多く43.5%、次いで「だいたい満足」が40.2%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問29で「3」または「4」と答えた方のみ】

問29-1 どのような理由で不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設職員の対応・態度などが良くないため（16.7%）
2. 部屋が狭いため（8.3%）
3. 部屋が清潔でないため（0.0%）
4. プライバシーが守られていないため（16.7%）
5. サービスの質や内容が期待したものと違うため（41.7%）
6. 事業者の説明が不十分であるため（0.0%）
7. 負担金額（利用料）が高いため（41.7%）
8. その他（16.7%）



問29で「3. やや不満」、「4. 不満」と感じた理由を尋ねたところ、「サービスの質や内容が期待したものと違うため」、「負担金額が高いため」がそれぞれ41.7%で最も多く、次いで「施設職員の対応・態度などが良くないため」、「プライバシーが守られていないため」がそれぞれ16.7%となっています。「その他」は、「入所の期間を長くしてほしい」、「偏食があるので不満」、「かかってないので分からない」、「時間が不足で頼めない」などとなっています。なお、この設問は回答者が少数であることにご留意ください。

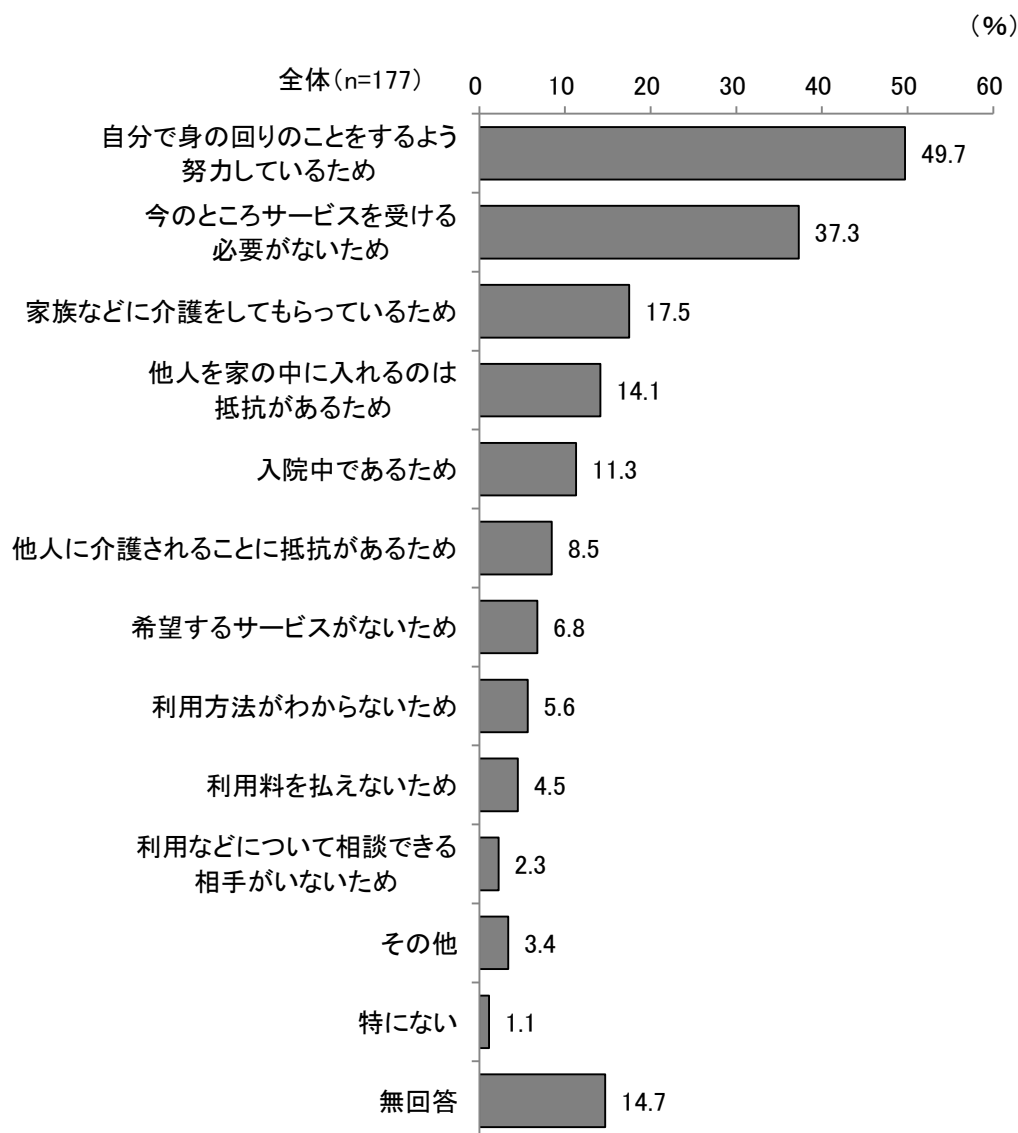
3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問23で「2」と答えた方のみ】

問30 あなたが介護保険サービスを利用しない理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 入院中であるため (11.3%)
2. 自分で身の回りのことをするよう努力しているため (49.7%)
3. 家族などに介護をしてもらっているため (17.5%)
4. 他人を家の中に入れるのは抵抗があるため (14.1%)
5. 他人に介護されることに抵抗があるため (8.5%)
6. 利用方法がわからないため (5.6%)
7. 利用などについて相談できる相手がいないため (2.3%)
8. 希望するサービスがないため (6.8%)
9. 利用料を払えないため (4.5%)
10. 今のところサービスを受ける必要がないため (37.3%)
11. その他 (3.4%)
12. 特にない (1.1%)



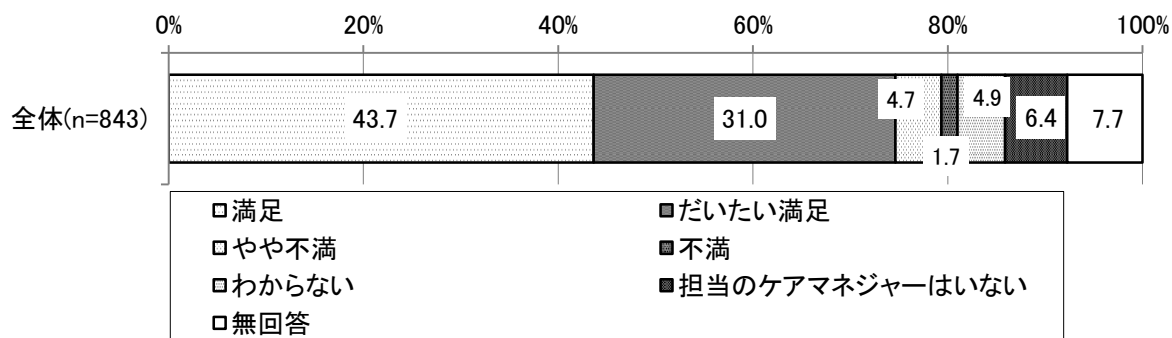
3. 要支援・要介護認定者調査結果

介護保険サービスを利用しない理由を尋ねたところ、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」が最も多く49.7%、次いで「今のところサービスを受ける必要がないため」が37.3%となっています。

ここからはふたたび、**すべての方**にお伺いします。

問31 あなたは、ケアプラン作成を担当しているケアマネジャー（高齢者あんしん相談センターの職員を含む）の対応に満足していますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 満足（43.7%） | 4. 不満（1.7%） |
| 2. だいたい満足（31.0%） | 5. わからない（4.9%） |
| 3. やや不満（4.7%） | 6. 担当のケアマネジャーはいない（6.4%） |

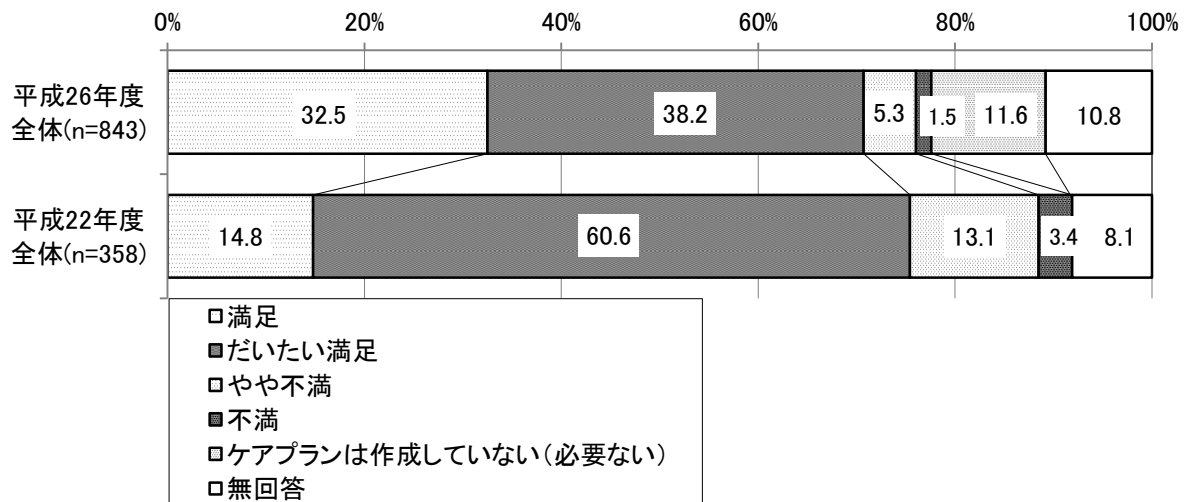


ケアプラン作成を担当しているケアマネジャーの対応に満足しているかを尋ねたところ、「満足」が最も多く43.7%、次いで「だいたい満足」が31.0%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問32 あなたは現在のケアプランの内容に満足していますか。（○はひとつ）

1. 満足（32.5%）
2. だいたい満足（38.2%）
3. やや不満（5.3%）
4. 不満（1.5%）
5. ケアプランは作成していない（必要ない）（11.6%）



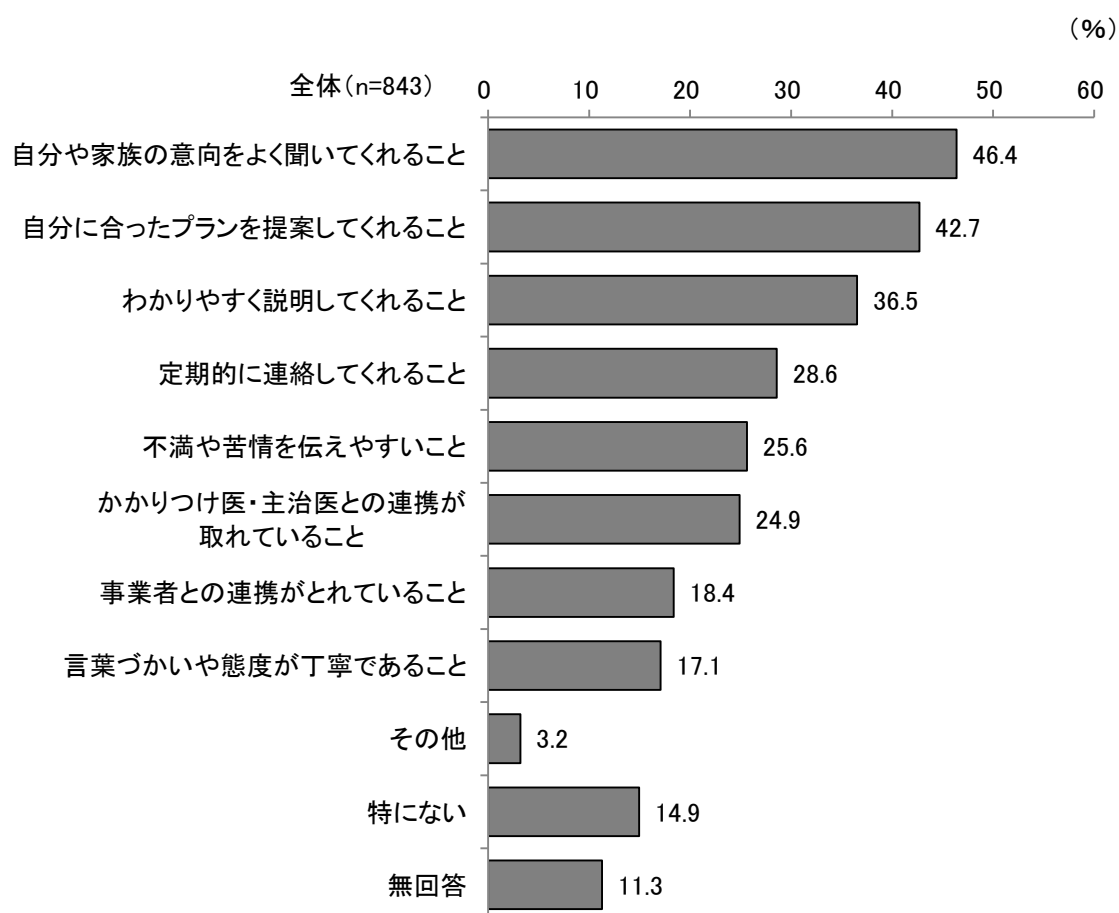
※前回調査は、「ケアプランは作成していない（必要ない）」という選択肢はありません。

現在のケアプランの内容に満足しているか尋ねたところ、「だいたい満足」が最も多く38.2%、次いで「満足」が32.5%となっています。前回調査と比較すると、「満足」が17.7ポイント上昇しています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問33 あなたは、ケアマネジャー（高齢者あんしん相談センターの職員を含む）にどのようなことを希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分や家族の意向をよく聞いてくれること（46.4%）
2. 自分に合ったプランを提案してくれること（42.7%）
3. わかりやすく説明してくれること（36.5%）
4. 言葉づかいや態度が丁寧であること（17.1%）
5. 不満や苦情を伝えやすいこと（25.6%）
6. 定期的に連絡してくれること（28.6%）
7. 事業者との連携がとれていること（18.4%）
8. かかりつけ医・主治医との連携が取れていること（24.9%）
9. その他（3.2%）
10. 特にない（14.9%）

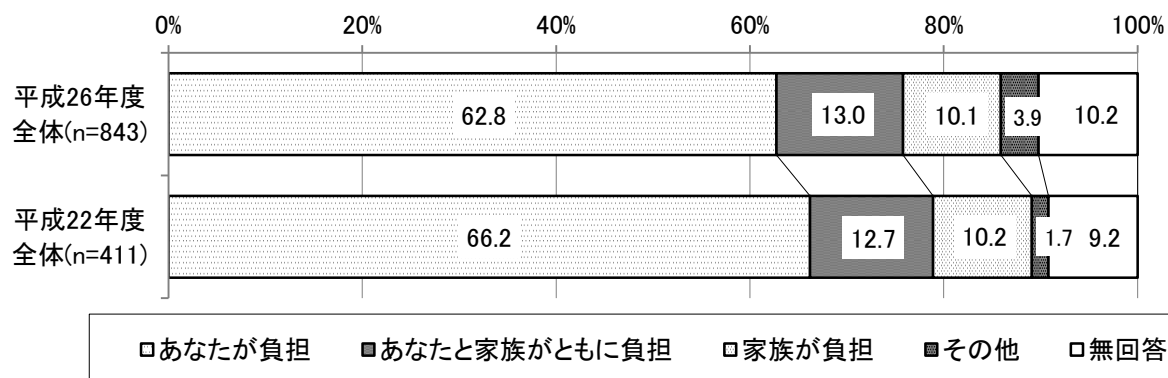


ケアマネジャーへの希望を尋ねたところ、「自分や家族の意向をよく聞いてくれること」が最も多く46.4%、次いで「自分に合ったプランを提案してくれること」が42.7%、「わかりやすく説明してくれること」が36.5%となっています。「その他」は、「情報提供」、「ケアプランに介護を受ける人の希望を反映すること」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問34 介護保険の利用にかかる費用は、どなたが負担していますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. あなたが負担（62.8%） | 3. あなたと家族がともに負担（13.0%） |
| 2. 家族が負担（10.1%） | 4. その他（3.9%） |



介護保険の利用にかかる費用はどなたが負担しているかについて尋ねたところ、「あなたが負担」が最も多く62.8%、次いで「あなたと家族がともに負担」が13.0%、「家族が負担」が10.1%となっています。「その他」は、「生活保護」などとなっています。

前回調査と比較すると、大きな差異はありません。

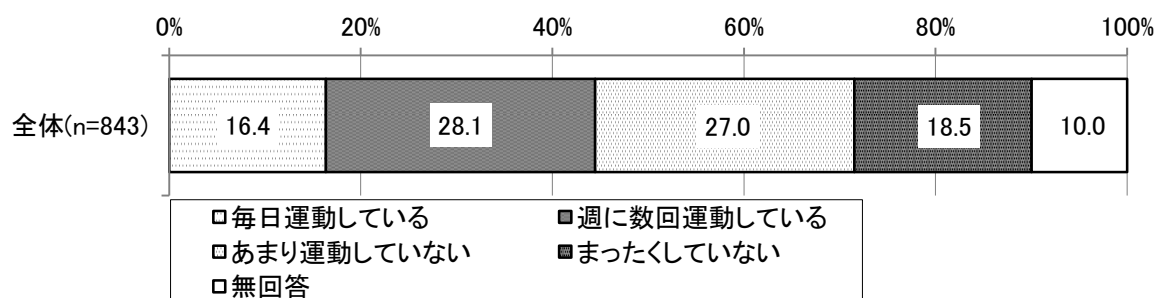
		全体	あなたが負担	家族が負担	あなたと家族がともに負担	その他	無回答
全体		843 100.0	529 62.8	85 10.1	110 13.0	33 3.9	86 10.2
年齢別	65～69歳	39 100.0	15 38.5	5 12.8	10 25.6	7 17.9	2 5.1
	70～74歳	90 100.0	45 50.0	10 11.1	10 11.1	12 13.3	13 14.4
	75～79歳	140 100.0	92 65.7	14 10.0	21 15.0	4 2.9	9 6.4
	80～84歳	185 100.0	116 62.7	16 8.6	23 12.4	4 2.2	26 14.1
	85歳以上	376 100.0	251 66.8	37 9.8	46 12.2	6 1.6	36 9.6
	無回答	13 100.0	10 76.9	3 23.1	— —	— —	— —
性別	男性	257 100.0	182 70.8	10 3.9	29 11.3	11 4.3	25 9.7
	女性	572 100.0	337 58.9	71 12.4	81 14.2	22 3.8	61 10.7
	無回答	14 100.0	10 71.4	4 28.6	— —	— —	— —

年齢別では、65歳～69歳で「あなたが負担」が4割以下となっています。性別では、女性のほうが「家族が負担」の割合が男性より8.5ポイント高くなっており、「あなたが負担」の割合が11.9ポイント低くなっています。

6. 運動について

問35 あなたは、定期的に運動をしていますか。（○はひとつ）

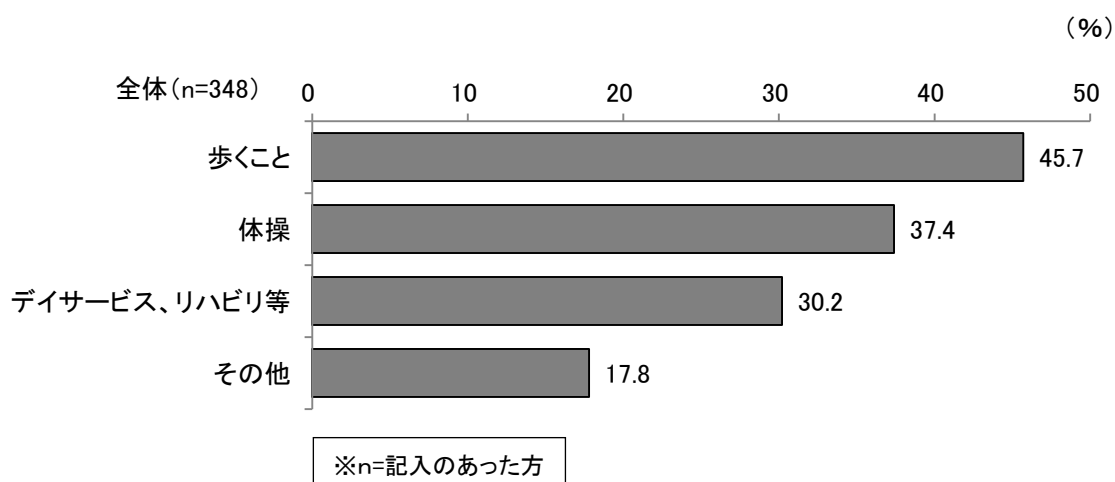
- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 毎日運動している（16.4%） | 3. あまり運動していない（27.0%） |
| 2. 週に数回運動している（28.1%） | 4. まったくしていない（18.5%） |



定期的に運動しているかを尋ねたところ、「週に数回運動している」が最も多く28.1%、次いで「あまり運動していない」が27.0%となっています。

【問35で「1」または「2」と答えた方のみ】

問35-1 どのような運動をしていますか。回答欄に具体的にお書きください。



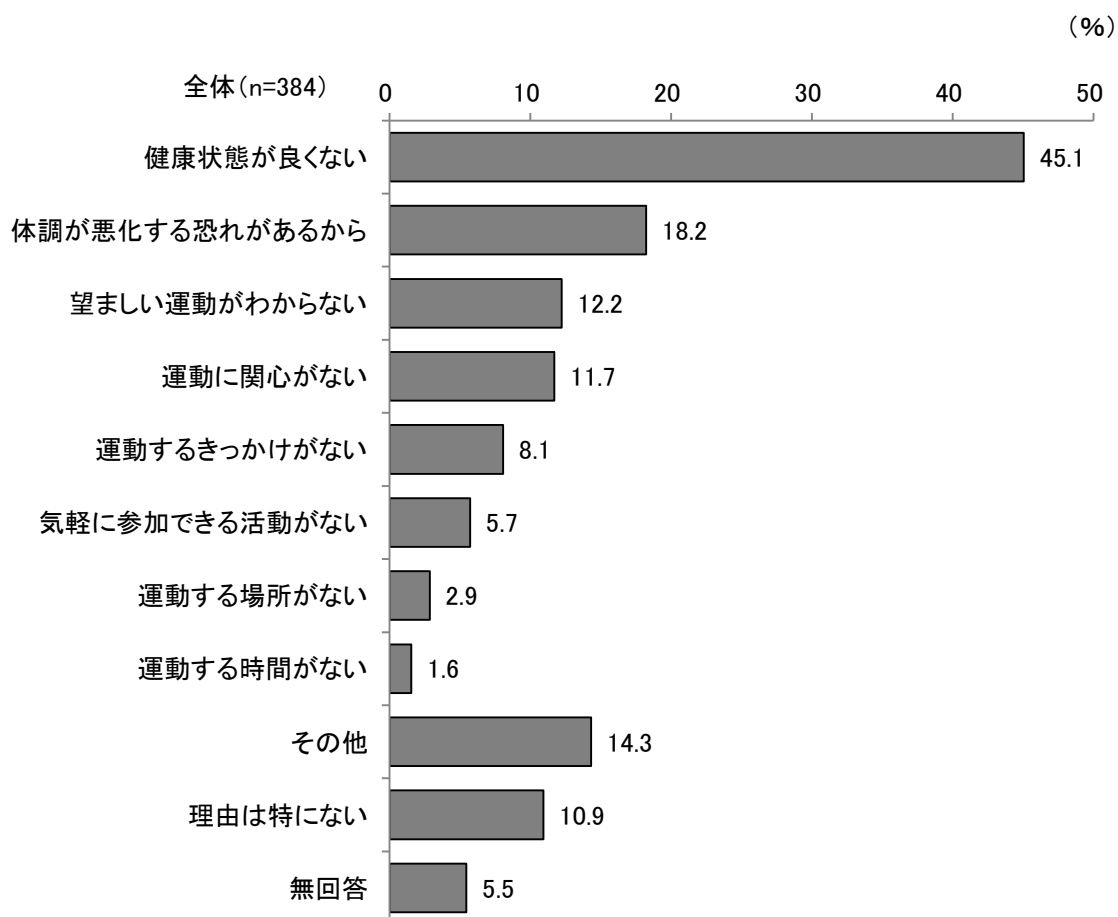
記述内容を整理したところ、散歩やウォーキングなど「歩くこと」が45.7%、「体操」が37.4%、「デイサービス、リハビリ等」が30.2%となっています。「その他」は、「野球」などの競技スポーツなどとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問35で「3」または「4」と答えた方のみ】

問35-2 運動していないのは、どのような理由ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康状態が良くない（45.1%）
2. 体調が悪化する恐れがあるから（18.2%）
3. 望ましい運動がわからない（12.2%）
4. 運動をする場所がない（2.9%）
5. 運動する時間がない（1.6%）
6. 運動に関心がない（11.7%）
7. 運動するきっかけがない（8.1%）
8. 気軽に参加できる活動がない（5.7%）
9. その他（14.3%）
10. 理由は特にない（10.9%）

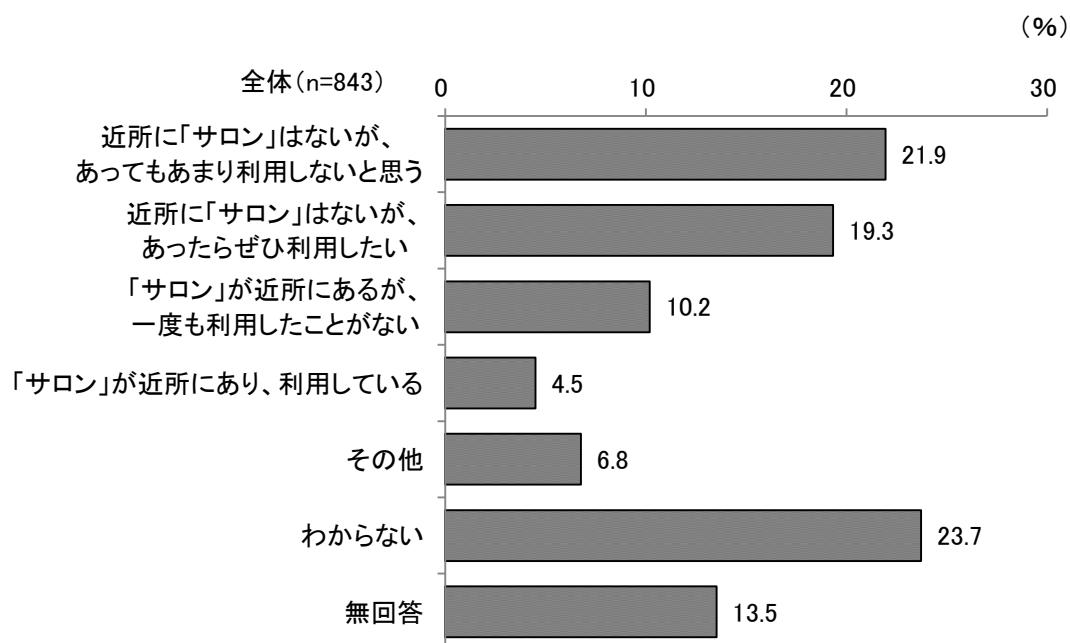


問35で「3. あまり運動していない」、「4. まったくしていない」に回答した人に、運動していない理由について尋ねたところ、「健康状態が良くない」が最も多く45.1%、次いで「体調が悪化する恐れがあるから」が18.2%となっています。「その他」は、「車いす利用」、「身体機能に問題がある」などとなっています。

7. 高齢者の「サロン」について

問36 あなたのお住まいの近所に、気軽にふらっと立ち寄れる高齢者向けの「サロン」があったら、利用してみたいですか。（○はひとつ）

1. 「サロン」が近所にあり、利用している（4.5%）
2. 「サロン」が近所にあるが、一度も利用したことがない（10.2%）
3. 近所に「サロン」はないが、あったらぜひ利用したい（19.3%）
4. 近所に「サロン」はないが、あってもあまり利用しないと思う（21.9%）
5. その他（6.8%）
6. わからない（23.7%）

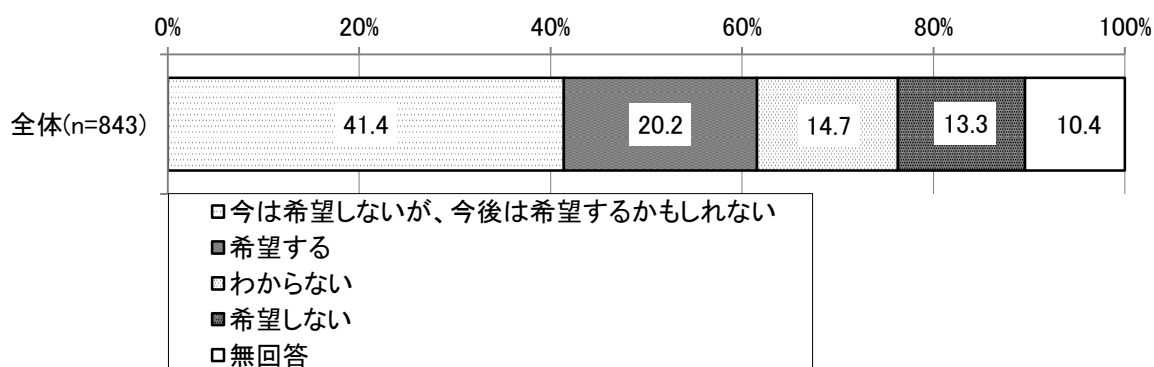


近所にサロンがあったら利用してみたいか尋ねたところ、「わからない」が最も多く23.7%、次いで「近所に『サロン』はないが、あってもあまり利用しないと思う」が21.9%、「近所に『サロン』はないが、あったらぜひ利用したい」が19.3%となっています。「その他」は、「外出が困難」、「情報が無い」などとなっています。

8. 見守り訪問や地域支援について

問37 あなたは見守り訪問があれば希望しますか。（○はひとつ）

1. 希望する（20.2%）
2. 今は希望しないが、今後は希望するかもしれない（41.4%）
3. 希望しない（13.3%）
4. わからない（14.7%）



見守り訪問があれば希望するかを尋ねたところ、「今は希望しないが、今後は希望するかもしれない」が最も多く41.4%、次いで「希望する」が20.2%となっています。

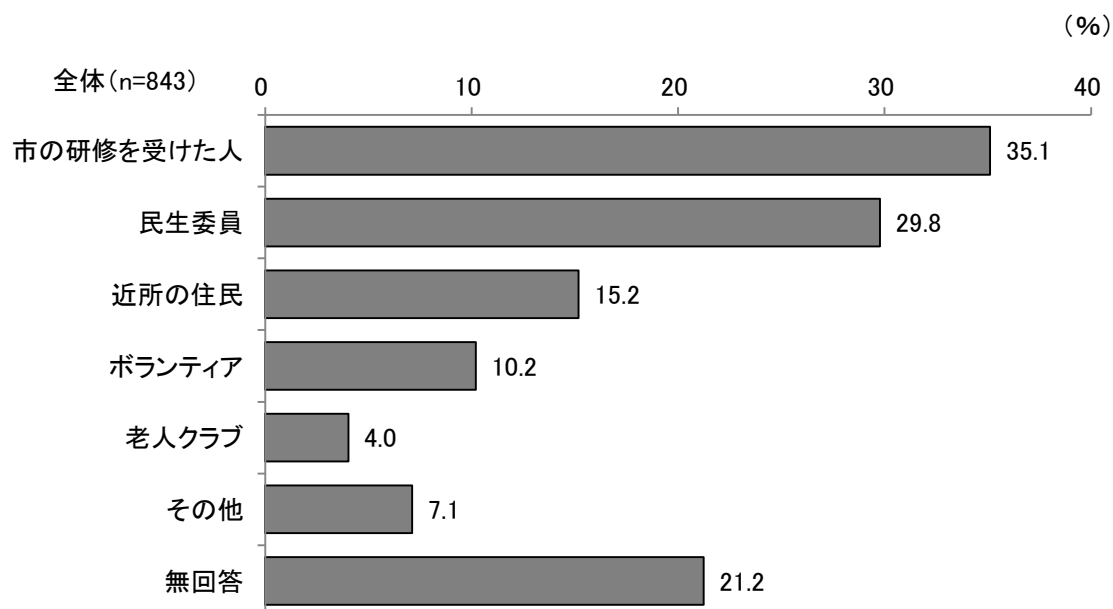
		全体	希望する	今は希望しないが、今後は希望するかもしれない	希望しない	わからない	無回答
全体		843 100.0	170 20.2	349 41.4	112 13.3	124 14.7	88 10.4
年齢別	65～69歳	39 100.0	4 10.3	14 35.9	4 10.3	12 30.8	5 12.8
	70～74歳	90 100.0	13 14.4	41 45.6	9 10.0	19 21.1	8 8.9
	75～79歳	140 100.0	28 20.0	74 52.9	14 10.0	13 9.3	11 7.9
	80～84歳	185 100.0	46 24.9	83 44.9	18 9.7	18 9.7	20 10.8
	85歳以上	376 100.0	72 19.1	133 35.4	67 17.8	62 16.5	42 11.2
	無回答	13 100.0	7 53.8	4 30.8	— —	— —	2 15.4

年齢別では、75～79歳で「今は希望しないが、今後は希望するかもしれない」が過半数となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問38 もし、あなたが「ゆるやかな見守り訪問」を受けるとしたら、どなたの訪問を希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 民生委員（29.8%） | 4. 市の研修を受けた人（35.1%） |
| 2. ボランティア（10.2%） | 5. 老人クラブ（4.0%） |
| 3. 近所の住民（15.2%） | 6. その他（7.1%） |



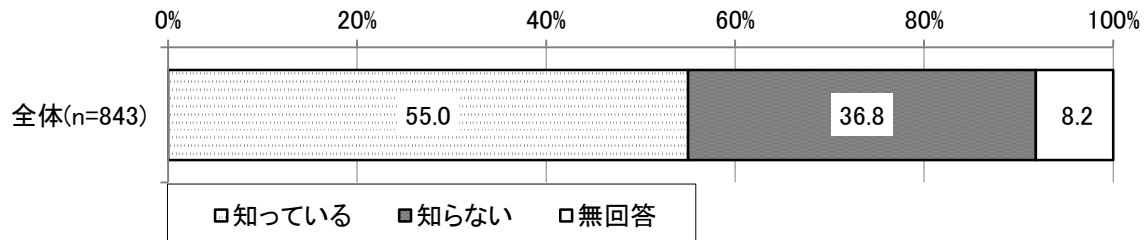
「ゆるやかな見守り訪問」を受けるとしたらどなたの訪問を希望するかを尋ねたところ、「市の研修を受けた人」が最も多く35.1%、次いで「民生委員」が29.8%となっています。「その他」は、「ケアマネジャー等の介護職員」などとなっています。

9. 老人クラブについて

問39 八王子市内に「老人クラブ」があることを知っていますか。（〇はひとつ）

1. 知っている（55.0%）

2. 知らない（36.8%）



「老人クラブ」があることを知っているかを尋ねたところ、「知っている」が55.0%、「知らない」が36.8%となっています。

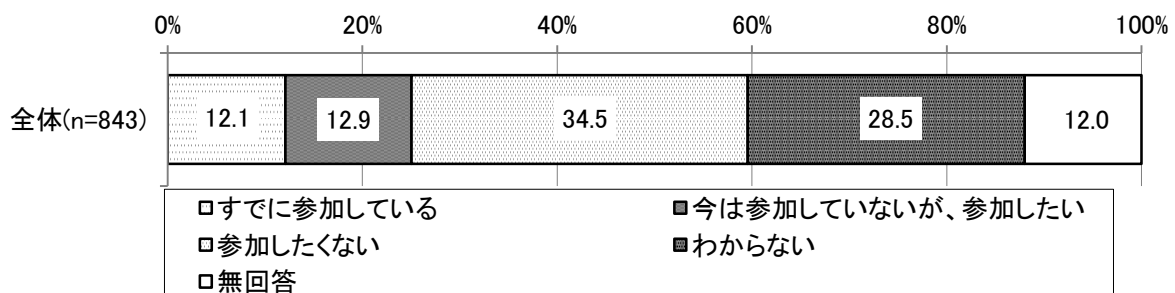
問40 あなたのお住まいの地域に「老人クラブ」があったら参加したいですか。（〇はひとつ）

1. すでに参加している（12.1%）

3. 参加したくない（34.5%）

2. 今は参加していないが、参加したい（12.9%）

4. わからない（28.5%）



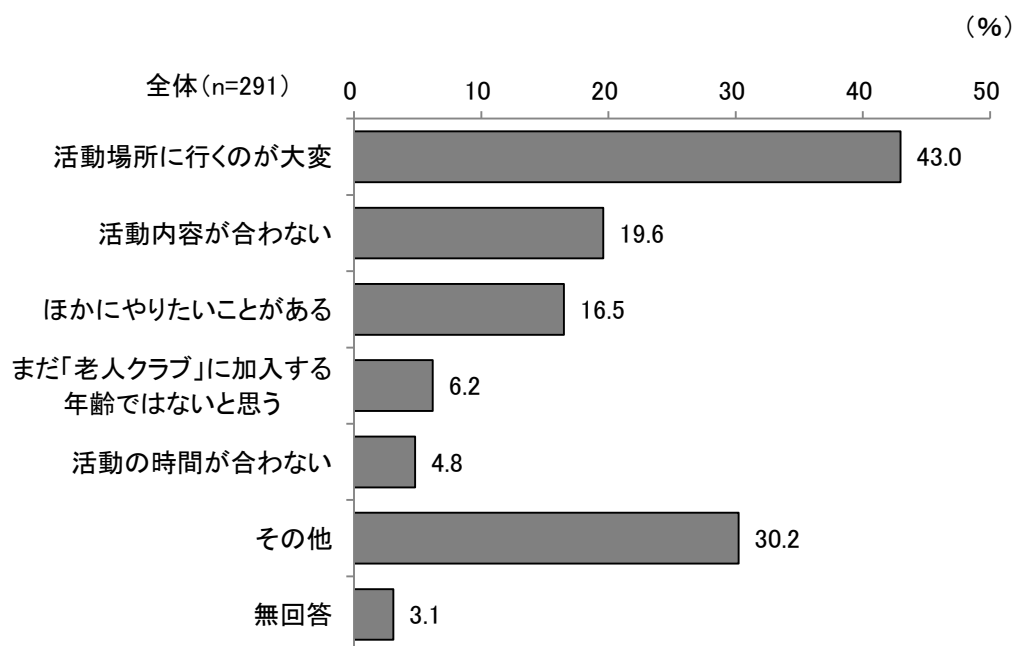
住んでいる地域に「老人クラブ」があったら参加したいかを尋ねたところ、「参加したくない」が最も多く34.5%、次いで「わからない」が28.5%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問40で「3」と答えた方のみ】

問40-1 参加したくない理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ほかにやりたいことがある（16.5%）
2. 活動場所に行くのが大変（43.0%）
3. 活動内容が合わない（19.6%）
4. 活動の時間が合わない（4.8%）
5. まだ「老人クラブ」に加入する年齢ではないと思う（6.2%）
6. その他（30.2%）

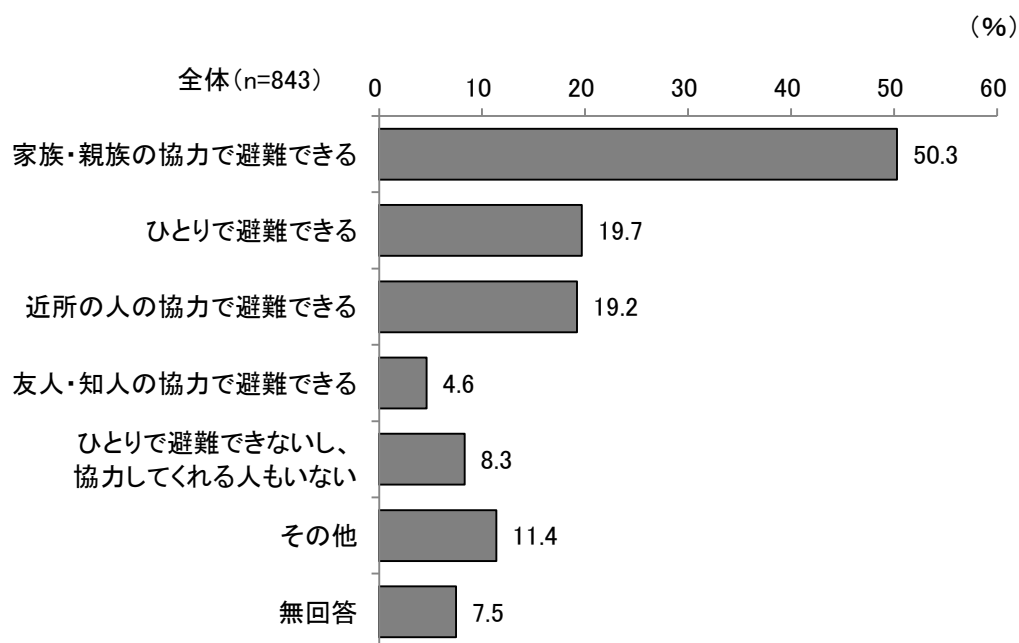


問40で「3. 参加したくない」と回答した人に、理由を尋ねたところ、「活動場所に行くのが大変」が最も多く43.0%となっています。「その他」は、「外出が困難」、「体調が悪い」などとなっています。

10. 防災について

問41 あなたは災害時にひとりで避難できますか。できない場合は避難に協力してくれる人がいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ひとりで避難できる（19.7%）
2. 家族・親族の協力で避難できる（50.3%）
3. 近所の人との協力で避難できる（19.2%）
4. 友人・知人の協力で避難できる（4.6%）
5. ひとりで避難できないし、協力してくれる人もいない（8.3%）
6. その他（11.4%）

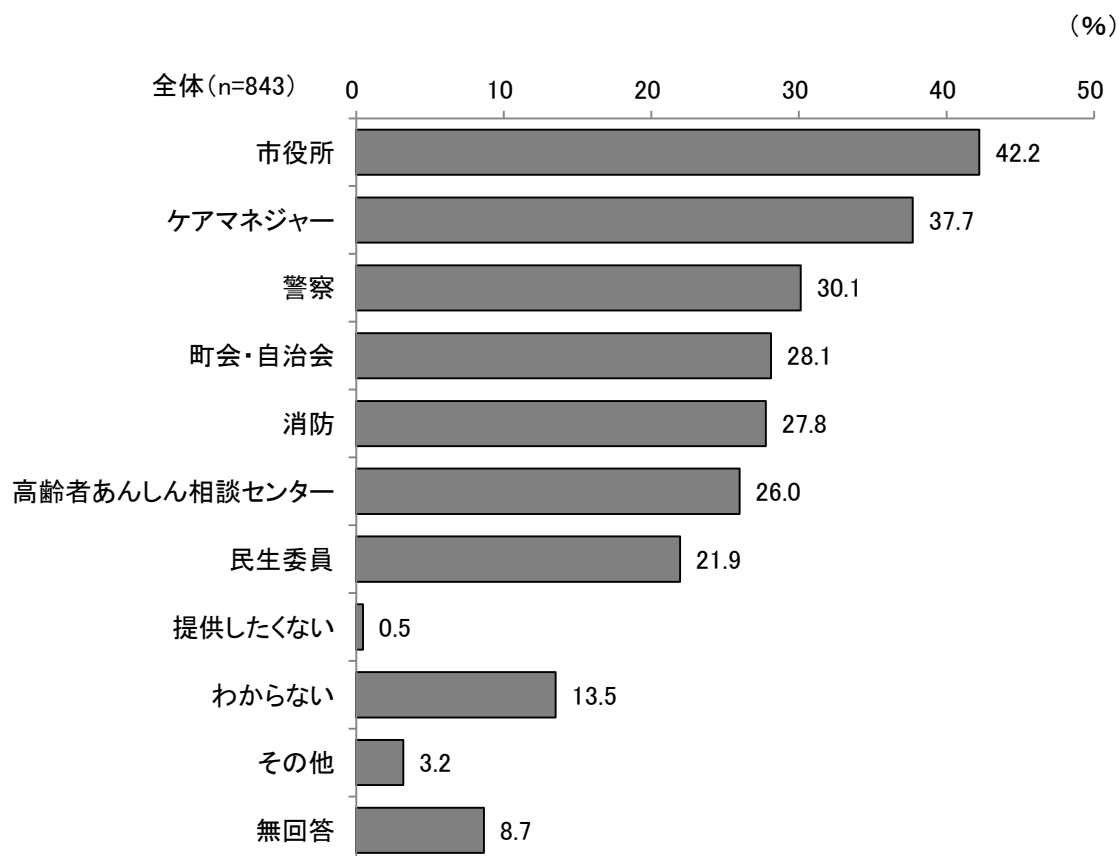


災害時にひとりで避難できるか、できない場合は避難に協力してくれる人がいるかを尋ねたところ、「家族・親族の協力で避難できる」が50.3%、次いで「ひとりで避難できる」が19.7%、「近所の人との協力で避難できる」が19.2%となっています。「その他」は、「施設・病院等の職員が避難させてくれる」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問42 あなたは災害発生時における支援体制づくりのため、どこであれば自身の情報を提供してもよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市役所（42.2%）	6. 高齢者あんしん相談センター（26.0%）
2. 警察（30.1%）	7. ケアマネジャー（37.7%）
3. 消防（27.8%）	8. 提供したくない（0.5%）
4. 民生委員（21.9%）	9. わからない（13.5%）
5. 町会・自治会（28.1%）	10. その他（3.2%）



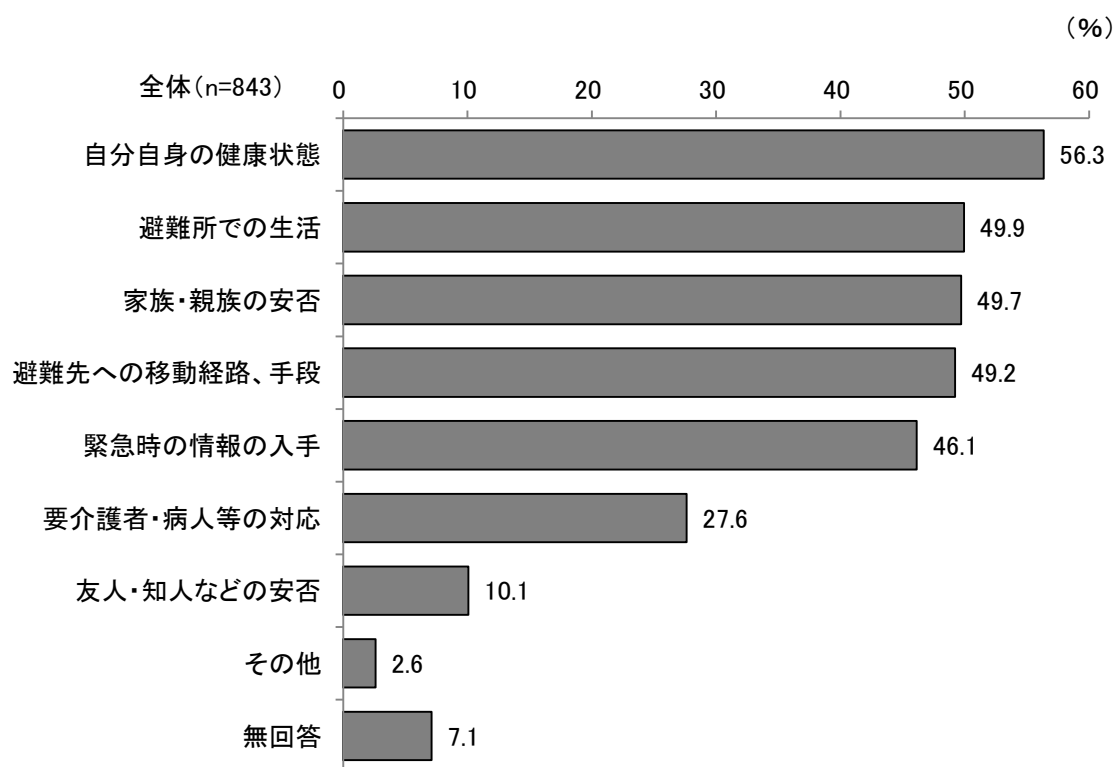
災害発生時における支援体制づくりのため、どこであれば自身の情報を提供してもよいと思うか尋ねたところ、「市役所」が最も多く42.2%、次いで「ケアマネジャー」が37.7%となっています。「その他」は、「施設で対応している」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問43 あなたは災害が発生した際、どのようなことが心配ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 緊急時の情報の入手 (46.1%) | 5. 避難所での生活 (49.9%) |
| 2. 避難先への移動経路、手段 (49.2%) | 6. 要介護者・病人等の対応 (27.6%) |
| 3. 家族・親族の安否 (49.7%) | 7. 自分自身の健康状態 (56.3%) |
| 4. 友人・知人などの安否 (10.1%) | 8. その他 (2.6%) |

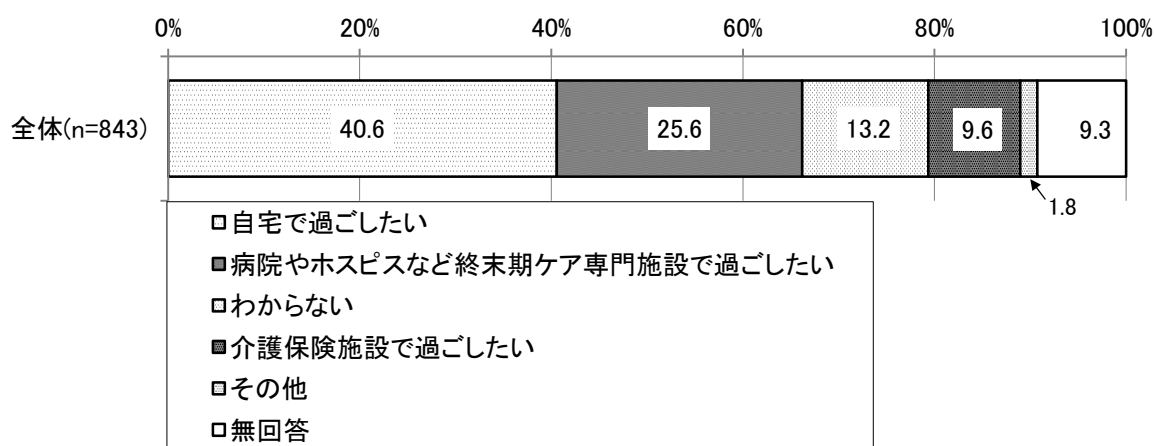


災害が発生した際の心配事について尋ねたところ、「自分自身の健康状態」が最も多く56.3%、次いで「避難所での生活」が49.9%、「家族・親族の安否」が49.7%、「避難先への移動経路、手段」が49.2%、「緊急時の情報の入手」が46.1%となっています。「その他」は、「胃ろう、ストーマ等の対応への不安」などとなっています。

11. 「看取（みと）り」について

問44 あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期をどこで過ごしたいと思いますか。（○はひとつ）

1. 自宅で過ごしたい（40.6%）
2. 介護保険施設（有料老人ホームなど）で過ごしたい（9.6%）
3. 病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい（25.6%）
4. わからない（13.2%）
5. その他（1.8%）



治る見込みのない病気になった場合、最期をどこで過ごしたいかについて尋ねたところ、「自宅で過ごしたい」が最も多く40.6%、次いで「病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい」が25.6%となっています。「その他」は、「延命治療したくない」、「家族の迷惑にならないところ」などとなっています。

	全体	自宅で 過ごしたい	介護保険施設 (有料老人ホームなど) で 過ごしたい	病院やホスピス など終末期ケア 専門施設で 過ごしたい	わからない	その他	無回答
全体	843 100.0	342 40.6	81 9.6	216 25.6	111 13.2	15 1.8	78 9.3
性別	男性	257 100.0	134 52.1	18 7.0	52 20.2	31 12.1	4 1.6
	女性	572 100.0	203 35.5	59 10.3	160 28.0	80 14.0	11 1.9
	無回答	14 100.0	5 35.7	4 28.6	4 28.6	-	1 7.1

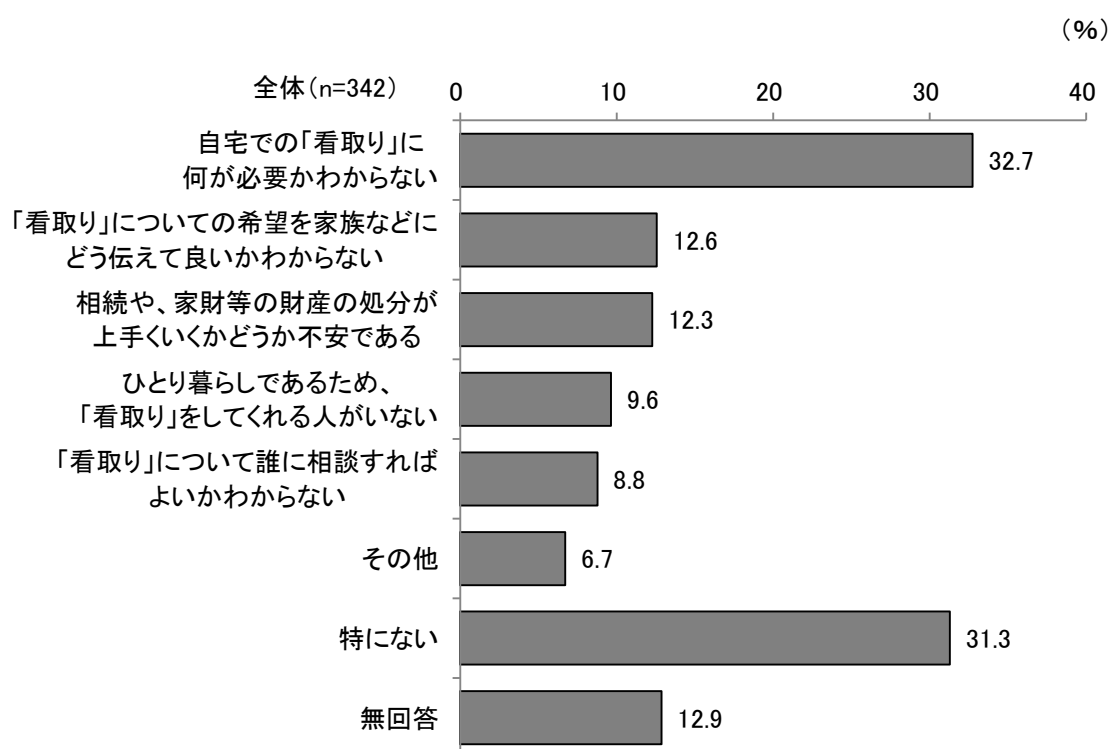
性別では、男性の方が女性より「自宅で過ごしたい」という回答が16.6ポイント高くなっており、「病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい」は女性の方が7.8ポイント高くなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

【問44で「1」と答えた方のみ】

問44-1 自宅などで「看取り」を迎えられる場合、課題や不安な点はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしであるため、「看取り」をしてくれる人がいない (9.6%)
2. 相続や、家財等の財産の処分が上手くいくかどうか不安である (12.3%)
3. 「看取り」についての希望を家族などにどう伝えて良いかわからない (12.6%)
4. 「看取り」について誰に相談すればよいかわからない (8.8%)
5. 自宅での「看取り」に何が必要かわからない (32.7%)
6. その他 (6.7%)
7. 特にない (31.3%)



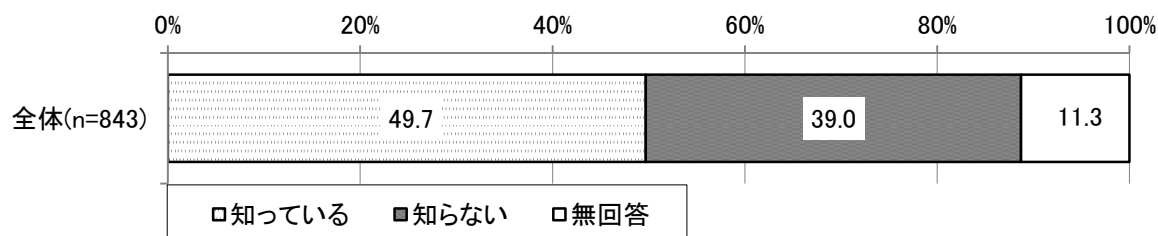
問44で「1. 自宅で過ごしたい」と回答した人に、自宅などで「看取り」を迎えられる場合の課題や不安な点を尋ねたところ、「自宅での『看取り』に何が必要かわからない」が最も多く32.7%、次いで「特にない」が31.3%となっています。「その他」は、「家族への負担が大きい」などとなっています。

12. 成年後見制度などについて

問45 あなたは成年後見制度を知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っている（49.7%）

2. 知らない（39.0%）

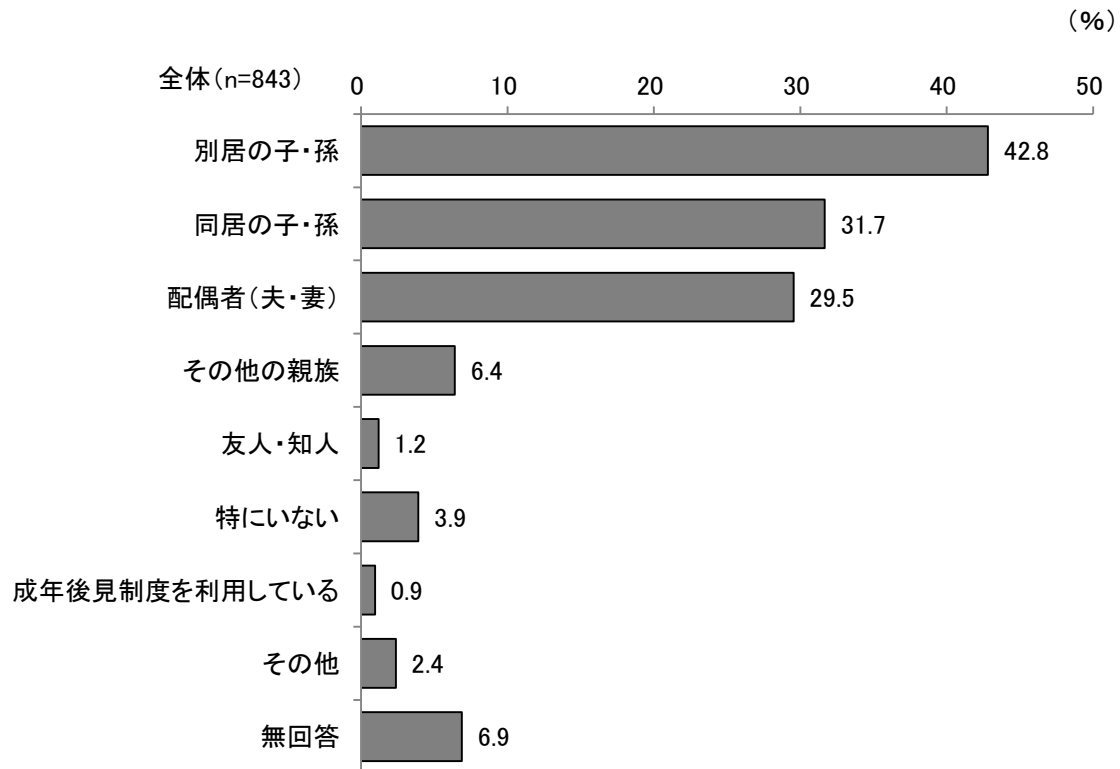


成年後見制度について知っているかを尋ねたところ、「知っている」が49.7%、「知らない」が39.0%となっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問46 あなたは、将来認知力に不安を抱えるようになったとき、金銭の管理などを任せられる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 配偶者（夫・妻）（29.5%） | 5. 友人・知人（1.2%） |
| 2. 同居の子・孫（31.7%） | 6. 特になし（3.9%） |
| 3. 別居の子・孫（42.8%） | 7. 成年後見制度を利用している（0.9%） |
| 4. その他の親族（6.4%） | 8. その他（2.4%） |



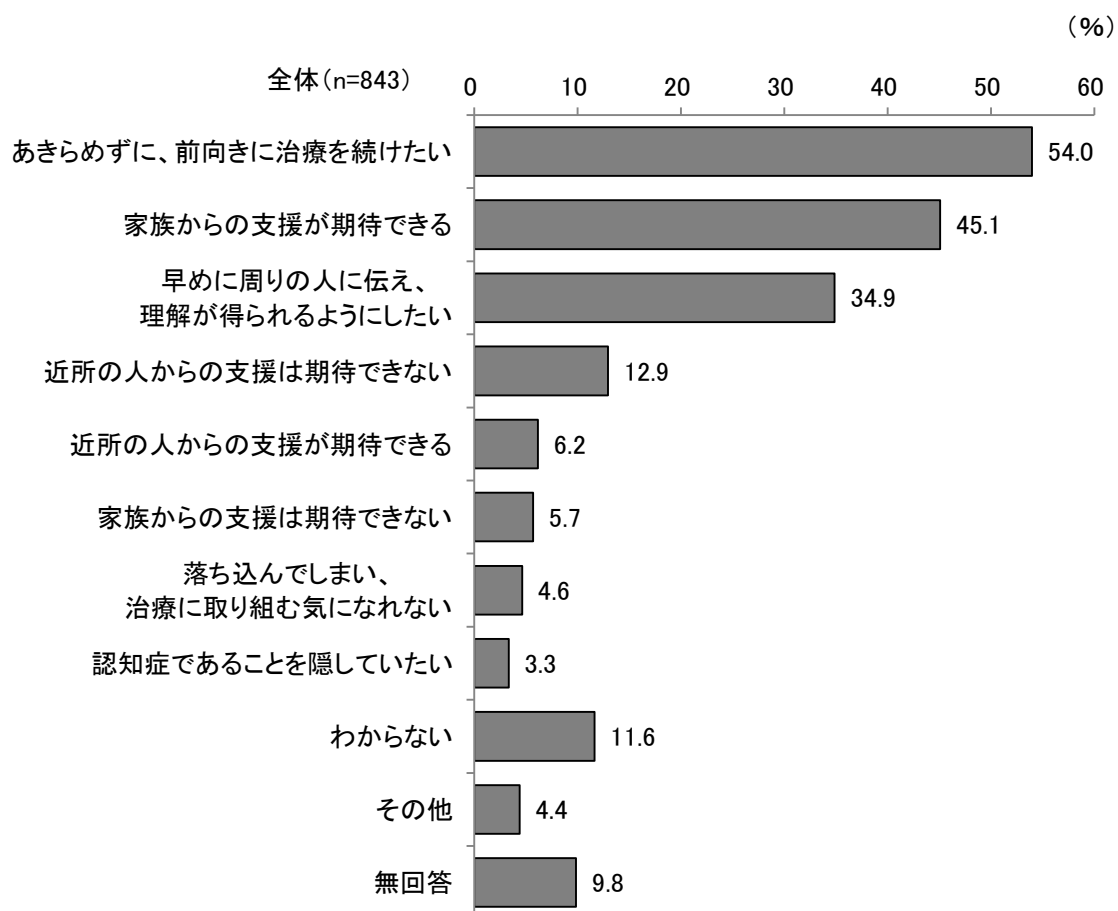
将来認知力に不安を抱えるようになったとき、金銭の管理などを任せられる人がいるかを尋ねたところ、「別居の子・孫」が最も多く42.8%、次いで「同居の子・孫」が31.7%、「配偶者（夫・妻）」が29.5%となっています。「その他」は、「わからない」などとなっています。

13. 認知症について

問47 もし、あなたが認知症を発症したら、どのように感じますか。また、既に認知症であるとの診断を受けている方は、どのように感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. あきらめずに、前向きに治療を続けたい (54.0%)
2. 落ち込んでしまい、治療に取り組む気になれない (4.6%)
3. 早めに周りの人に伝え、理解が得られるようにしたい (34.9%)
4. 認知症であることを隠していたい (3.3%)
5. 近所の人からの支援が期待できる (6.2%)
6. 近所の人からの支援は期待できない (12.9%)
7. 家族からの支援が期待できる (45.1%)
8. 家族からの支援は期待できない (5.7%)
9. わからない (11.6%)
10. その他 (4.4%)



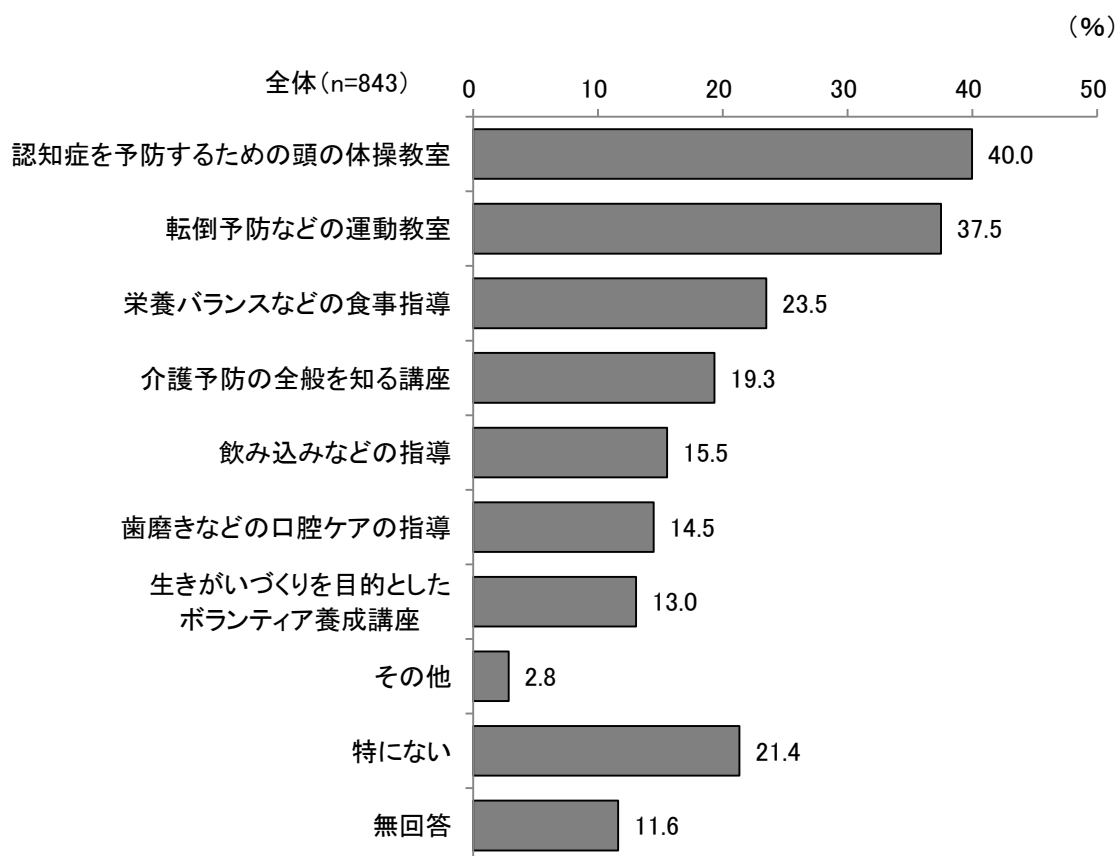
3. 要支援・要介護認定者調査結果

認知症を発症したらどのように感じるか、既に認知症であるとの診断を受けている場合どのように感じているかを尋ねたところ、「あきらめずに、前向きに治療を続けたい」が最も多く54.0%、次いで「家族からの支援が期待できる」が45.1%となっています。「その他」は、「なってみなければわからない」、「すでに認知症である」などとなっています。

14. 介護予防や介護保険制度などについて

問48 あなたは介護予防について、どのような事業を希望しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 転倒予防などの運動教室 (37.5%)
2. 栄養バランスなどの食事指導 (23.5%)
3. 歯磨きなどの口腔ケアの指導 (14.5%)
4. 飲み込みなどの指導 (15.5%)
5. 認知症を予防するための頭の体操教室 (40.0%)
6. 生きがいづくりを目的としたボランティア養成講座 (13.0%)
7. 介護予防の全般を知る講座 (19.3%)
8. その他 (2.8%)
9. 特にない (21.4%)



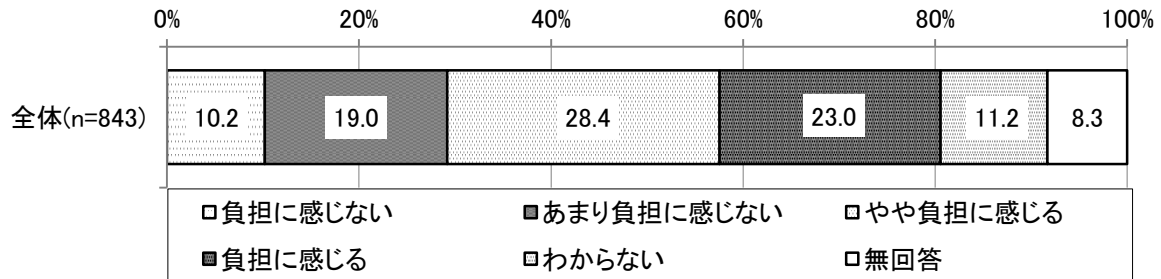
介護予防についてどのような事業を希望するかについて尋ねたところ、「認知症を予防するための頭の体操教室」が最も多く40.0%、次いで「転倒予防などの運動教室」が37.5%となっています。「その他」は、「わからない」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問49 現在の介護保険料の支払いについて、あなたはどのように感じますか。

(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 負担に感じない (10.2%) | 4. 負担を感じる (23.0%) |
| 2. あまり負担に感じない (19.0%) | 5. わからない (11.2%) |
| 3. やや負担を感じる (28.4%) | |



現在の介護保険料についてどのように感じているかを尋ねたところ、「やや負担を感じる」が最も多く28.4%、次いで「負担を感じる」が23.0%となっています。

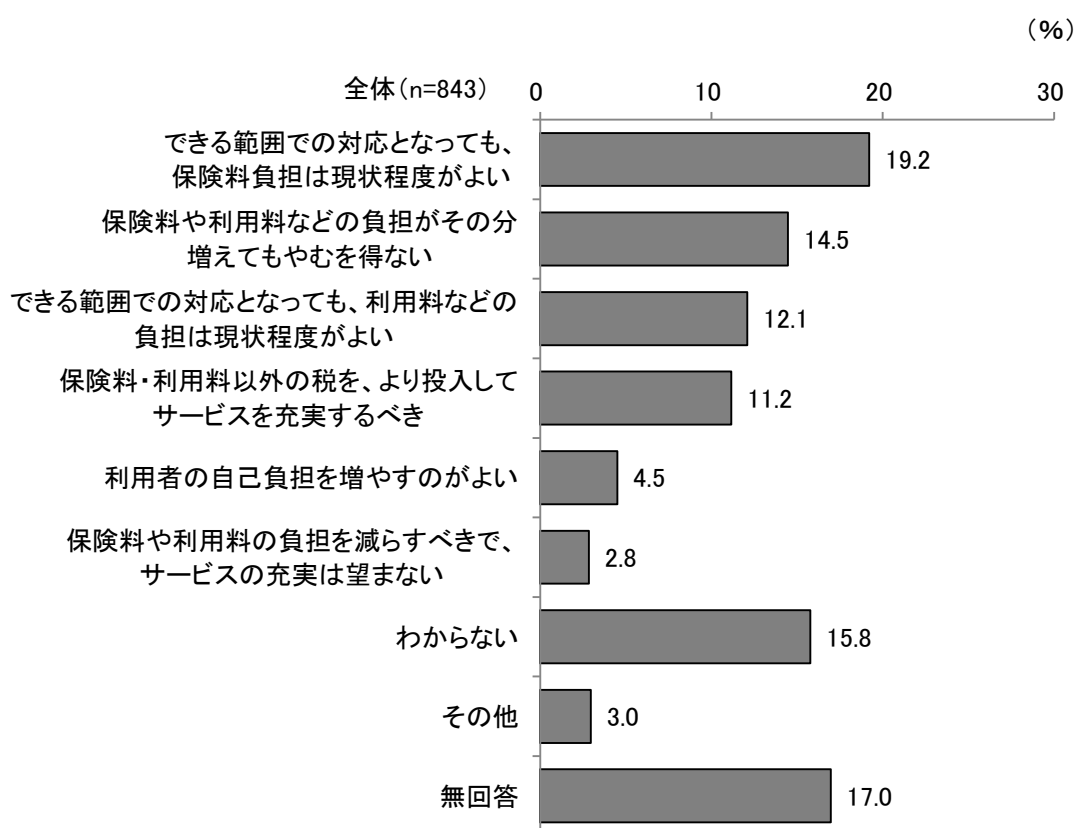
		全体	負担に 感じない	あまり負担に 感じない	やや負担に 感じる	負担を感じる	わからない	無回答
全体		843 100.0	86 10.2	160 19.0	239 28.4	194 23.0	94 11.2	70 8.3
要介護度別	要支援1	191 100.0	20 10.5	28 14.7	56 29.3	44 23.0	21 11.0	22 11.5
	要支援2	113 100.0	15 13.3	23 20.4	33 29.2	26 23.0	9 8.0	7 6.2
	要介護1	163 100.0	20 12.3	36 22.1	44 27.0	38 23.3	17 10.4	8 4.9
	要介護2	118 100.0	11 9.3	21 17.8	44 37.3	29 24.6	7 5.9	6 5.1
	要介護3	70 100.0	4 5.7	12 17.1	18 25.7	20 28.6	9 12.9	7 10.0
	要介護4	72 100.0	8 11.1	19 26.4	18 25.0	16 22.2	9 12.5	2 2.8
	要介護5	73 100.0	4 5.5	15 20.5	17 23.3	13 17.8	13 17.8	11 15.1
	わからない	17 100.0	2 11.8	1 5.9	2 11.8	3 17.6	7 41.2	2 11.8
	無回答	26 100.0	2 7.7	5 19.2	7 26.9	5 19.2	2 7.7	5 19.2
年齢別	65～69歳	39 100.0	2 5.1	4 10.3	8 20.5	14 35.9	7 17.9	4 10.3
	70～74歳	90 100.0	6 6.7	16 17.8	29 32.2	22 24.4	8 8.9	9 10.0
	75～79歳	140 100.0	8 5.7	23 16.4	46 32.9	41 29.3	14 10.0	8 5.7
	80～84歳	185 100.0	18 9.7	37 20.0	47 25.4	38 20.5	24 13.0	21 11.4
	85歳以上	376 100.0	52 13.8	78 20.7	104 27.7	76 20.2	39 10.4	27 7.2
	無回答	13 100.0	-	2 15.4	5 38.5	3 23.1	2 15.4	1 7.7

要介護度別では、要介護3で「負担を感じる」が28.6%と最も多くなっています。
年齢別では65～69歳で「負担を感じる」が35.9%と最も多くなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問50 高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。（〇はひとつ）

1. 保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない（14.5%）
2. 利用者の自己負担を増やすのがよい（4.5%）
3. できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい（19.2%）
4. できる範囲での対応となっても、利用料などの負担は現状程度がよい（12.1%）
5. 保険料や利用料の負担を減らすべきで、サービスの充実は望まない（2.8%）
6. 保険料・利用料以外の税を、より投入してサービスを充実するべき（11.2%）
7. わからない（15.8%）
8. その他（3.0%）

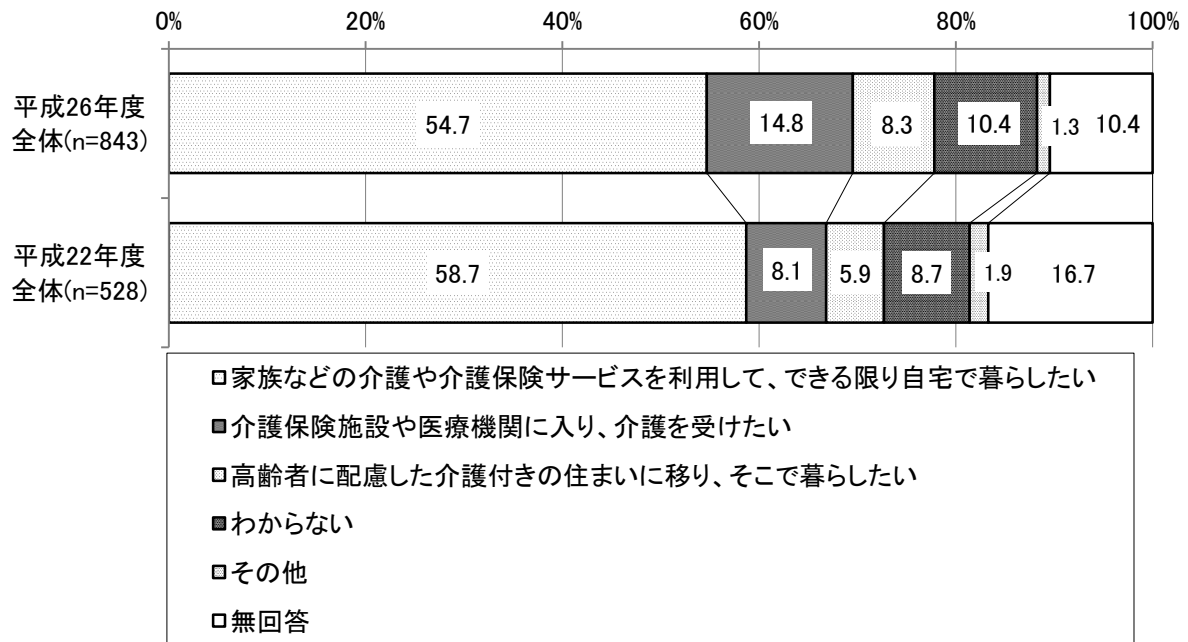


費用負担が増えることについて尋ねたところ、「できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい」が最も多く19.2%、次いで「わからない」が15.8%、「保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」が14.5%となっています。「その他」は、「先行きが不安」、「無駄を省いてほしい」などとなっています。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問51 今後の介護について、どのような希望をお持ちですか。現在介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。（○はひとつ）

1. 家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい（54.7%）
2. 介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい（14.8%）
3. 高齢者に配慮した介護付きの住まいに移り、そこで暮らしたい（8.3%）
4. わからない（10.4%）
5. その他（1.3%）



今後の介護についての希望を尋ねたところ、「家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい」が最も多く54.7%、次いで「介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい」が14.8%となっています。「その他」は、「すでに施設に入っている」などとなっています。前回調査と比較すると、「介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい」が6.7ポイント上昇しています。

15. その他、ご意見など

問52 あなたが、健康維持などで特に気を付けていること、あれば良いとお考えのサービス、その他ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

235名が意見を寄せました。内容を整理すると、以下のような結果となっています。一人の方が複数の内容の意見を書いている場合があるので、件数の合計は235以上となっています。健康維持について具体的な内容があるものについては、「運動」、「食事」、「転倒防止、生活上の注意」、「その他」に分類しました。主な意見を掲載します。なお、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っています。

記述内容	件数
1. 本人の状況	24
2. 介護／福祉サービス	24
3. 家族／介護者について	20
4. 介護保険制度について	17
5. 入所施設について	17
6. 情報提供／相談対応について	15
7. サービス提供事業者について	15
8. 介護保険料やサービス利用料	13
9. 介護予防	9
10. 緊急時対応	8
11. 医療	8
12. 移動支援	8
13. 健康維持 運動	37
14. 健康維持 食事	21
15. 健康維持 転倒防止、生活上の注意	11
16. 健康維持 その他	27
17. このアンケートについて	20
18. その他	31

主な意見

【1. 本人の状況】

- ・認知症になって外に出て帰宅できず、捜索願を警察に何回も出しました。探しようがありません。変だと感じた方が110番してくださって見つかっています。この件の対応を考えていただきたいです。
- ・現在のところなんとも言えませんが、現状維持を続けられたら幸いです。病気持ちですので、

3. 要支援・要介護認定者調査結果

今後が心配です。今のところ気丈に生きています。マンションで一人暮らし。なんとも不安です。

- ・高齢になりましたが、今のところ主人も同居していますので、安心して暮らしています。そのときどきにに応じて力になっていただけるよう、ケアマネージャーの方をお願いします。
- ・現在入院中で要介護5です。昨年の12月から人工呼吸器により生命を保っている状態です。本人はたぶん夫を認識していないと思いますが、声をかけると笑いますし、手を握ると握りかえしてきます。現在市から生活保護を受けています。本当に助かっています。
- ・私は腹部2回、心臓1回の手術を受けていますが、現在のところ余病も出ず毎日の生活に不自由は感じていません。が、現在88歳の主人と外出毎日1回、食事の支度も3回（夕食は娘が1日おきにやってくれますが）、買い物も料理もあまり苦でなくやっています。月1回の通院で薬を服用していますが、この先は健康に不安もあります。いざというときは、民生委員の方やケアマネージャーに相談するつもりです。

【2. 介護／福祉サービス】

- ・ご飯を一緒に食べてくれるサービスがあるといい（食事代は利用者負担）。望まれるサービスは家庭や個人によって違うはず。わが家では皆働いているので、自己負担により夕食をつくり、一緒に食べてくださる方を雇っている。
- ・父は96歳ですが、口ではもう十分だからとは言っておりますが、本音は違います。もっと健康を取り戻したい、元気に歩きたいという気持ちを失っていません。リスクがあるのは分かりますが、老人ホームでも積極的なリハビリをしていただけたらと、日々思います。
- ・同居家族のいる場合のサービスの利用は、大変狭いものになります。独身の息子と同居している場合、ほとんど利用できません。家のまわりの片付け、草取り等、力仕事ができない場合の手助けがほしいと思います。
- ・介護保険外のことですが、年金を金融機関より引き落としを代行してくれる、信用できる人を紹介してほしい。
- ・病気になってから、息子が会社で一人でいるときは不安になるときがあるので、信用できる人（民生委員の人でも）が話しに来てくれれば心強いと思います。デイサービスに行く日は楽しみにしています。

【3. 家族／介護者について】

- ・介護している立場から一言。最近特に記憶障害、見当識障害が進み、一緒にいると確認ばかりしていますが、1回2回は優しくふれあえますが、何回も同じことを質問されると、つい声が荒くなり、そんな自分が落ち込んでいる毎日です。本人はデイサービスに行かず家にいるから大丈夫といいますが、現在週に2回のデイサービスに通っています。毎日、もうやめたい、行きたくないと言っていますが、家で見ている私には週2回がとても大事です。このときにあれもこれもと用事をしています。これがずうっと続くと思い覚悟して落胆しています。どうせなら楽しく思ってもみたりしながら…。
- ・現在、老々介護の大変さをしみじみ味わっています。夫は認知症で89歳、衣服の脱着まで手伝うので、私自身の術後の経過も思わしくありません。ですから、このアンケートの記入は私自身より介護人としての問題が大きくて、返答に窮しました。老々介護の相方（夫婦）の介護の

3. 要支援・要介護認定者調査結果

問題は、より深刻なので実態を調査してください。

- ・ケアを受けたくない人の妻として、自由のなさに困り果てています。どうでしょう。
- ・介護人よりの意見。私も82歳ですので、これから老々介護になりとても不安です。ホームヘルプや各施設等を利用できれば幸いと思います。脳卒中で13年間介護を一人でやっています。あまり頑張らず、介護の人をお願いしたいと思います。

【4. 介護保険制度について】

- ・介護保険の抜本的改正をして欲しい。年齢より介護と福祉を分けるのではなく、本来福祉で対応するものは福祉で対応して欲しい。
- ・15年ほど前の父のときの介護の状況と今を比べると、まさに「サービス」といえる部分がとても多く驚いています。昔と違い世の中の生活形態が変わり、親と同居することも少なくなり、家族の人数も減っているからか、施設へ入る方も多いと聞きます。専門家に任せた方がよい部分、家族でした方がよい部分があると思うので、すべてをお任せではなく、各々が各々の事情に合わせて暮らしていければと思います。
- ・母が85歳のときに、今後のことを考えて、風呂とトイレをバリアフリーに改修しました。87歳のときには、自転車事故で骨折入院し、幸い杖を使って歩けるようになって退院できましたが、家の中での不安をなくすため、手摺り等の改修をしました。どちらも介護認定を受けていなかったもので、費用等の援助は受けられませんでした。動きが不自由にならなければ援助がないのでは介護の予防（ケガをさせない等）にはならないのでは…。年齢等を考えて元気なうちにも、受けられる援助が必要と思いました。

【5. 入所施設について】

- ・私は現在認知症の姉を介護しております。幸いケアマネージャーの方に恵まれ、彼女の指導のもと通所介護、短期入所、老人保健施設等利用しながら、自宅介護を続けて、その大変さを身をもって体験しておりますが、すでに自分達（夫婦）ともに後期高齢に達していますので、介護するのが苦痛です。長期に入院できる介護施設の充実を切に願います。
- ・私自身、現在は意識はしっかりしているつもりですが、いずれ認知症状態になると想像すると、大変不安になります。介護付き老人施設を安価（年金の範囲内）で利用できることを希望します。家族、ご近所に迷惑や心配をかけたくないのです。
- ・92歳の母と私はてんかんの持病があり、発作などがあり、妹は精神的にも肉体的にも限界です。義兄との関係もあり参っているようです。どこか施設に入ることができないと、一家破滅状態です。二人をみていくことは身体の弱い妹にとっては無理がある。障害年金をもらっているので、特養は入れなくても、どこか施設はないのでしょうか。
- ・81歳ですが、現在は一人で銀行、病院、買い物等はいたしていますが、子どものない自分は、認知症になったときのことを考えると心配です。安心して老人が入れるアパート（老人福祉）が八王子に多くできますこと、よろしくお願い致します。

【6. 情報提供／相談対応について】

- ・認知症予防のための、①ほどよい運動②バランスのいい食事③誰でもできる頭の体操。これらのことを広報はちおうじに毎回一頁くらい載せてください。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

- ・今一番望むことは、定期的に認知症の知識を学んだ方が、相談相手になって下さったり、的確なアドバイスをしてくださるとありがたいと思います。主人は7年前、くも膜下出血になりました。このところ認知症なのか、くも膜下出血の影響なのか、もの忘れの症状があります。どの程度で病院に行った方がよいのか悩みます。
- ・ある時期になり、年齢になったら、なかば強く広報教育をしていただくとか、巡回教育とか、集合教育とかをしていただければ、ものすごく役に立つなあと実感しています。1回では無理で、繰り返し繰り返しお願いとは無理でしょうか（せっかく立派な制度をつくっていただいていますのに）。
- ・一番最初に何をすべきかが分からなかった。昨年11月下旬に倒れ要介護3となり、病院から在宅になったとき、何をしたらいいのか、ケアマネージャーとは何をしてくれるのかも理解するのに時間がかかった。大変なことだと思うが、介護をもっと身近に知らないといけないと思った。

【7. サービス提供事業者について】

- ・市は有料老人ホームの実態はよく分かっていないと思うが、人手が不足し、介護予防にあまり積極性が感じられない。介護予防として体操などホームにもあるが、大人数で強制的なものではないので、母はやっていない。
- ・各施設によって、職員の質、サービスの質、介護施設の新旧度に差が大きすぎるように感じます。すべての施設が均一、均質につとめてほしいと思います。入居者が施設を選ぶことができずに、介護の差が生まれます。ぜひ改善、質の向上を期待します。
- ・介護施設では夜間看護体制加算と称して月31日分、個別機能訓練加算と称して月31日分の料金を取っているが、夜間の見守りはなく朝方近く（5時頃）今までに5、6回ベッドから転倒し骨折までしている。個別機能に関しては（本人が望まないと言い）。毎日の訓練をしないため、体力も付かず、毎日本人は椅子に座っているという有様です。利用料はしっかり加算しているが実質が伴っていない施設でサービスの質や内容が期待できないところです。この不満や改善策をどこにぶつけたらよいのでしょうか？施設に指導をお願いしたいです。

【8. 介護保険料やサービス利用料】

- ・一度サービスを受けようとしたら、料金が高いのにびっくり。やめて家族に相談して、家族の言う通りにした。家族皆、私のことをとても大切にしてくれる。
- ・今一番困っていることは、2階が住居のためデイサービスの送迎が利用できない。そのため介護タクシーを利用し、送迎は自己負担のため、金銭的に大変です。階段の昇降も介護保険がきくようにしてほしい。また階段の昇降をしてくれるデイサービスを増やしてほしい。
- ・福祉用具貸与では何年も同じものを使っても利用料は同じまま。減価償却後は価格の見直しも必要なのは。

【9. 介護予防】

- ・介護保険サービスを受けるようになって、初めてこの制度のありがたみを実感した。それに介護サービスを受けなければやっていけない老人の多いのに驚いた。これからは要介護の人を少しでも増加させないためにも、地域の老人クラブや、あと分かりませんが保険を利用しないで

3. 要支援・要介護認定者調査結果

も行ける施設などで、認知症予防運動などに「声かけ」を行い、元気な老後を送れるよう指導していただきたいと思います。

- ・ 自宅で一人暮らしですが、なるべく寝込まぬように、認知症にもならぬように努力していますが、日々衰えを感じます。近くにサロンがあり、軽い体操等ができると嬉しいなと…希望しています。ただおしゃべりだけの集まりには出たくありません。
- ・ できるだけ自宅で暮らしたい。そのために備え、身体、頭の体操を心掛けたい。そのためのサービスは受けてみたいが、日々体力の衰えを感じるので、遠くへの外出は望まない。時間、場所に縛られず、気楽に続けられるものがあればよい。

【10. 緊急時対応】

- ・ 介護する人が急病、急用のときに、すぐに対応してくれる施設を見付けるのが大変です。また新しい施設でのサービスを受けるときの手続きが大変です。本人が対応できなく、介護する人が無理なときはどうすればよいのか心配です。
- ・ 実は26年2月2日に主人を見送り、目下相続の最中。急に一人になり心が乱れる日々です。今は頭は大丈夫と思いますが、分かりません。86歳ですので。急なときにベルでも下げて、助けを呼ぶことができることを望んでいます。
- ・ 家族が急な用事が入ったときに、頼れるところがあるといい。前もってではなく、緊急のときなど、システムを分かりやすく教えてほしい。

【11. 医療】

- ・ 脳梗塞です。65歳になり病院のリハビリがなくなり、教わったことを自宅でやっていますが、思うようにはいきません。空のペットボトルに水を入れて、バーベルにみたいにやっています。でも病院のリハビリのときより、体、足、腕、麻痺している方は前より硬くなっています。できれば週1回でも病院のリハビリを受けたいです。
- ・ 今現在は利用していませんが、将来利用することになったら訪問看護のサービスを受けたいと思っています。

【12. 移動支援】

- ・ 外出するには一人で出かけられない。車もバスも電車もない。付き添ってくれる制度があればいいなと思う。
- ・ 歩行と視力が不自由なため、段差のあるところは分かりやすいように、白い色か何かでしていただきたいと思います。今はどうにか夫が運転できますが、できなくなったときタクシーを使う場合、半額にて乗車したいと願います。バスは半額（70歳以上）なのに不自然であり困ります。

【13. 健康維持 運動】

- ・ 数年前、中国の昆明に旅行した際、リコウという川の畔で朝6時頃何千という人たちが集まって、ほとんどが家族単位で太極拳を始めた。皆それぞれ家族単位で、ニイハオの挨拶をしたあと、ごく自然に始めた。この運動は大人も子どもも一緒に、見ていてこれは私にもできると思い、帰宅後は始めた。現在も続けている。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

- ・母を介護している私も高齢者となり、南大沢でボランティアさんたちによる、介護予防体操を週1回参加しています。おかげさまで南大沢に通うことが生きがいとなっています（ユズの会とプラチニア体操です）。
- ・①通院の際の安全を考えて。月数回、バスの乗り降り、歩行をしている（杖の転倒時に留意）。以前からの医者のも勧めでもあり肝要。②毎日行っていること（大変気楽を感じるようになった）。簡単な日記とラジオ体操のまねごと。
- ・地域でのストレッチ体操の維持。始めた頃の倍の人数が増えて、この4年間、入院患者が出ないのが、努力の賜物だと思っています。雨の日、雪の日、今日はこないと思っても、皆集まってくる、嬉しいかぎりです。

【14. 健康維持 食事】

- ・家族との会話が大事だと思います。食事も別メニューにせず、若い人たちと同じものを食べる（量で調節する）。
- ・食事、一日のカロリー、水分、塩分減。主治医の意見を参考になるべく気をつけています。運動不足を少しでも改善するために、トイレに行ったときに廊下を歩くように努力をしています。
- ・若いときには考えなかったバランスのよい食事を今はもっと早く知っておけば良かったと思います。テレビで知って70代でかなり改善しました。

【15. 健康維持 転倒防止、生活上の注意】

- ・①自分でできることはできるだけする。②転倒を避けるため、ステッキは必ず利用する。③食育、バランスを考えて食事を取る。特に野菜。④インフルエンザにかからないように無理をしない。
- ・現在通院治療中です。病気のため歩行困難です。転ばないよう、特に気をつけています。6月からデイサービスのリハビリに通い始めました。少しでも長く歩けるよう努力したいと思っています。
- ・転ばないように気をつけている。誰かがやってくれると思わず、自分でやること、自立が大切である。

【16. 健康維持 その他】

- ・支援を受けること以上に、まだできる能力が誰かの役に立てる場があったら、生きがいをもらえます。
- ・なるべく自立した状態を永く続けたい。友だちとのおつきあいは積極的にする。身体を動かす努力をする。栄養面に気をつける。
- ・私はカラオケに週に2回行っております。とても楽しいです。
- ・テレビ、読み物、出掛けていって（たまに）友人と集まる。笑いを忘れないようにしている。今のところあればよいと思うサービスは分かりません。

【17. このアンケートについて】

- ・このようなアンケート結果がまとまり、役立つことを望みます。少子化もそうですが、早く手を打たないと大変です。あまり長生きしてもと思うこともありますよ。

3. 要支援・要介護認定者調査結果

- ・介護者からです。本人にはほとんど理解力がなく、読んでやって書いています。
- ・私は身体障害者（1種2級）なので、生活面では片腕のためできないこと（腕を痛めたとき）があるため、介護保険を利用しています。身体障害で高齢のための質問はありませんでした。障害者のことも考えてください。

【18. その他】

- ・看取りを考えると。医療制度連携の見直し。訪問看護はサービスを使えるが（夜間救急のための看護）、訪問診療は使えない。看取りをしてあげたいが、高齢化（子ども）の負担が大きい…。体力的にも無理なのかもしれない。家族のサポートも必要かもしれない。
- ・大腿骨骨折、現在は杖歩行で少々は歩ける。また、脊椎狭窄症のため、腰痛がひどく、階段の上り下りができず、また昼間は子供夫婦がフルタイムで働いている（市外）。そのため土曜、日曜、祝日以外は帰りが遅いため、夕食は宅配を利用、緊急時は対応できず、災害時も不安である。また、少し散歩をしたいが、歩道もなく交通量が多く思うようにできず困っている。
- ・出来れば自宅に戻して生活をさせたい（代筆をした配偶者の率直な希望）。
- ・認知症のため、見当識障害があつて、自宅にいても「家に帰りたい」と言います。一度保護されたことがあり、鍵をつけたりと注意はしています。自宅をデイサービス、家族は職員とされているようで、だんだんと自宅介護は難しくなってくるのではないかと考えています。
- ・①夫の父を99歳まで自宅で看護できたことは良かったと思う。私自身が去年3ヶ月以上入院して、通院患者として入院しているものも、留守の家人もたいへんだったと痛感した。②夫94歳、妻（私）91歳の二人暮らしがなんとか無事に過ごせることはありがたい。毎日みえる家政婦さん方のおかげと心から感謝している。次に二人の娘夫婦たちの家族ぐるみの協力があるため、私たちはまわりを囲んでいる人たちのおかげで生きていけると感謝である。

介護保険などに関するアンケート

～介護保険認定を受けている方の声をお聞かせください～

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

現在、本市では平成 27 年度から始まる新たな「八王子市高齢者計画・介護保険事業計画」の策定に取り組んでおります。これは、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、地域における支え合い、助け合いを前提に、自助、共助、公助のバランスのとれた高齢社会をつくりあげるための計画です。

このアンケートは、計画を策定するにあたり、高齢者福祉に関する皆さまの考えやご意見をお伺いするものです。いただいたお考えやご意見は、計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

今回は、平成 26 年 4 月 1 日現在、本市で要支援・要介護の認定を受けている方の中から無作為に約 1,400 人を抽出しています。ご回答いただいた内容は、すべてコンピュータで統計的に処理し、個々の回答内容が他に漏れたり、統計の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

答えにくいと感じる質問もあるかと思いますが、今後の施策を考えるうえで非常に重要なアンケートです。大変忙しい中おそれいりますが、趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いします。

石森孝志

八王子市長

【ご不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください】

八王子市 福祉部 高齢者いきいき課
元気応援担当 電話 042-620-7243（直通）

ご記入にあたってのお願い

- 本調査票は、できる限り、あて名のご本人と主に介護している方がお答えいただきますようお願いいたします。また、ご本人がお答えにならない場合は、ご本人に代わってご家族の方などがご本人のことをお答えください。
- お答えは（○はひとつ）、（あてはまるものすべてに○）などの指示に従って、該当する項目の番号に○印をつけてください。
- 回答が「その他」の場合や記述回答の箇所は、回答欄に具体的に記入してください。
- 回答により、答えなくともよい質問があります。質問中の指示に従ってお進みください。
- 各質問は特に断りのない限り、平成 26 年 5 月 20 日時点でお答えください。
- 記入後は調査票を、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**6 月 18 日（水）**までにポストに投函してください。

問 1 この調査票はどなたが記入されていますか。（○はひとつ）

1. あて名のご本人 2. ご家族
3. ケアマネジャー 4. その他（ ）

以下の質問で「あなた」とは、注意書きがない限りあて名のご本人のことです。

あなたご自身についてお伺いします

問 2 あなたの年齢と性別についてお答えください。
①年齢（数字を記入）

____ 歳

②性別（○はひとつ）

1. 男性 2. 女性

問 3 あなたのお住まいの町名を記入してください。

問 4 あなたの、現在の要介護度はどれにあたりますか。（○はひとつ）

1. 要支援 1 2. 要支援 2 3. 要介護 1
4. 要介護 2 5. 要介護 3 6. 要介護 4
7. 要介護 5 8. わからない

問 5 昨年（平成 25 年 5 月中旬）の要介護度を教えてください。（○はひとつ）

1. 要支援 1 2. 要支援 2 3. 要介護 1
4. 要介護 2 5. 要介護 3 6. 要介護 4
7. 要介護 5 8. 非該当又は判定を受けていない
9. わからない

問 6 同居のご家族は何人ですか。あなた自身も含めてください。（数字を記入）

_____ 人

問 7 あなたは現在どなたと一緒にお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らし

2. 配偶者(夫、妻)
3. 子ども
4. 父
5. 母
6. 孫
7. 兄弟姉妹
8. 子の配偶者
9. その他()

「1」以外に○を付けた方は、問 8へ

問 7-1 (問 7で「1」に○を付けた方のみ)
緊急時などにかけてくれる方はいいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 八王子市内にいる
3. いない

2. 八王子市外にいる

問 8 あなたは普段、日中ひとりで過ごすことが多いですか。(土日・祝日などで家族が家にいる場合を除く)(○はひとつ)

1. はい

2. いいえ

問 9 あなたの一か月当たりの収入額(年金、仕事、仕送りなどすべて含む。配偶者がいる方はあなたと配偶者の収入額)は、合計でいくぐらいですか。
(○はひとつ)

1. 5万円未満
3. 10万円～15万円未満
5. 20万円～30万円未満
7. わからない

2. 5万円～10万円未満
4. 15万円～20万円未満
6. 30万円以上

あなたのお住まいについてお伺いします

問 10 あなたは、現在どこで生活していますか。(○はひとつ)

1. 自宅
2. 病院に入院中
3. 有料老人ホームなどの介護保険関連施設に入所している
4. その他()

問 11 あなたのお住まいはどのような種類の住宅ですか。現在、病院に入院中、施設などに入所している方は、戻る予定のお住まいについてお答えください。(○はひとつ)

1. 持ち家(一戸建て) ⇒ 問 12へ
2. 持ち家(マンションなどの集合住宅) ⇒ 問 12へ
3. 民間の賃貸住宅(一戸建て)
4. 民間の賃貸住宅(マンションなどの集合住宅)
5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど
6. サービス付高齢者住宅
7. 公営住宅(市営・都営)
8. その他() ⇒ 問 12へ

問 11-1 (問 11で「3」から「7」に○を付けた方のみ)
現在の家賃(管理費などを含め)は月額でいくぐらいですか。
(○はひとつ)

1. 5万円未満
3. 6万円～8万円未満
5. 10万円～12万円未満

2. 5万円～6万円未満
4. 8万円～10万円未満
6. 12万円以上

問 12 あなたは、現在のご自宅から転居したいと考えていますか。現在、病院に入院中の方、施設などに入所している方は、戻る予定のご自宅についてお答えください。(○はひとつ)

1. 現在の自宅に住み続けたい ⇒ 次ページの問 13へ
2. 転居したい
3. 転居したいができない
4. どちらとも言えない ⇒ 次ページの問 13へ

以下の問 12-1 と次ページの問 12-2は、
問 12で「2」または「3」に○を付けた方のみにお伺いします。

問 12-1 転居先として希望するところはどこですか。(○はひとつ)

1. 今住んでいる場所の近く(小・中学校区程度の範囲)
2. 八王子市内
3. 八王子市外
4. はっきりとした希望はない

問 12-2 転居先は、どのような種類の住宅を希望しますか。(○はひとつ)

1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て）
4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）
5. 有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなど
6. サービス付高齢者住宅
7. 公営住宅（市営・都営）
8. その他（ ）

家族などによる介護状況などについてお伺いします

問 13 あなたを介護しているご家族や親族などの方（同居・別居は問いません）はいますか。(○はひとつ)

1. いる
2. いない（施設入所など含む） ⇒ 6 ページの問 21へ

問 14 主介護している方の年齢と性別についてお答えください。
①年齢（数字を記入） ②性別（○はひとつ）

歳

1. 男性

2. 女性

問 15 あて名のご本人を、主に介護している方はどなたですか。(○はひとつ)

1. 夫
2. 妻
3. 子ども
4. 父
5. 母
6. 孫
7. 兄弟姉妹
8. 子・孫の配偶者
9. その他（ ）

問 16 主に介護している方はどこに住んでいますか。(○はひとつ)

1. 同居している
2. 同じ土地や隣地（二世帯住宅含む）
3. 近所（小・中学校区程度）
4. 八王子市内に在住
5. 八王子市外に在住

問 17 主に介護している方は就労していますか。(○はひとつ)

1. 正社員として働いている（自営業を含む）
2. 契約社員・派遣社員等として働いている
3. パート・アルバイトとして働いている
4. 正社員として働いていたが、介護のために退職した（介護のため自営業をやめた場合を含む）
5. 契約社員・派遣社員等として働いていたが、介護のために退職した
6. パート・アルバイトとして働いていたが、介護のために退職した
7. ちとも働いていない
8. その他（ ）

問 18 主に介護している方が困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 介護者自身の健康不安
2. 体力的につらい
3. 精神的につらい
4. 代わりを頼める人がいない
5. 緊急時対応の不安
6. 経済的な負担が大きい
7. 介護サービスの不足
8. 自宅で医療的ケアが受けられない
9. 助言者・話し相手がいらない
10. 介護の方法などがわからない
11. その他（ ）
12. 特にない

問 19 主に介護している方が、病気や用事などで介護できないときに、どのように対処していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 同居している家族・親族に頼む
2. 別居の家族・親族に頼む
3. 友人・知人などに頼む
4. 訪問介護（ホームヘルプ）を利用する
5. 短期入所（ショートステイ）を利用する
6. 通所介護（デイサービス）を利用する
7. お泊りデイサービスを利用する
8. 方法がなく困っている
9. わからない
10. その他（ ）

問 20 主に介護している方は、今後どのような介護者支援が必要だとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問系サービスの充実（ホームヘルプなど）
2. 通所系サービスの充実（デイサービスなど）
3. 短期入所（ショートステイ）の充実
4. 介護保険入所施設の整備（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設など）
5. 緊急時の対応についての支援
6. 自宅で受けられる医療的ケア
7. 介護者支援に関する情報提供
8. 介護者に対する相談支援
9. 休養や息抜きのための確保
10. 介護者同士の交流機会の確保
11. その他（ ）
12. 特になし

ここからはまた、**あて名のご本人**についてお伺いします。

あなたの健康状態などについてお伺いします

問 21 あなたが、健康のために日ごろから心がけていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. できるだけ身体を動かす	2. できるだけ頭をつかう
3. 栄養のバランスに気をつける	4. 規則正しい生活をする
5. 睡眠を十分とる	6. 定期的に医師の診断を受ける
7. その他（ ）	
8. 特になし	

問 22 あなたは、通院や医療に関して困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通院のつきそいを確保しにくい
2. 通院の際の交通手段
3. 医療機関に関する情報が少ない
4. 専門的な医療を受けられる機関が身近にない
5. 往診に来てくれる医療機関が身近にない
6. 医療に関する手続が大変である
7. 医療費の負担が大きい
8. 院内でのつきそいに病院が対応してくれない
9. その他（ ）
10. 特になし

介護保険などのサービスについて伺います

問 23 あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。(○はひとつ)

1. している	2. していない ⇒ 9 ページの間 30 へ
---------	-------------------------

問 24 あなたは、介護保険サービスを利用したことで、利用する前と比べ心身の状況（要介護度など）がどう変化したと感じていますか。(○はひとつ)

1. 利用する前に比べ改善した	2. 悪化がゆるやかになった
3. 特に変化は感じない	
4. その他（ ）	
5. わからない	

問 25 あなたが、現在利用している介護保険サービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問介護（ホームヘルプ）
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護（看護師などが自宅を訪問し療養上の世話や診療補助を行う）
4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導（医師や薬剤師などが自宅を訪問して指導を行う）
6. 通所介護（デイサービス）
7. 通所リハビリテーション（デイケア）
8. ショートステイ（短期入所生活介護・短期入所療養介護）
9. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホームなど）
10. 福祉用具の貸与
11. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
12. 夜間対応型訪問介護
13. 認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）
14. 小規模多機能型居宅介護
15. 認知症対応型共同生活介護（認知症対応型グループホーム）
16. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
17. 福祉用具の購入費の支給
18. 住宅改修費の支給
19. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
20. 介護老人保健施設（老人保健施設）
21. 介護療養型医療施設
22. わからない ⇒ 10 ページの間 31 へ

→ 次ページの、問 26 から 28 へ

9 ページの間 29 へ

問 26 から問 28 は、問 25 で「1」から「18」に○を付けた方にお伺いします。

問 26 あなたがケアプラン作成を依頼したケアマネジャー（介護支援専門員）は、どのようなきっかけで選びましたか。（○はひとつ）

1. 市が作成した一覧から選んだ
2. 市に相談した
3. 友人・知人のすすめ
4. 家族のすすめ
5. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）に相談した
6. その他（ ）

問 27 あなたは、現在利用している介護保険サービスの内容に満足していますか。（○はひとつ）

1. 満足 ⇒ 問 28 へ
2. だいたい満足 ⇒ 問 28 へ
3. やや不満
4. 不満

問 27-1 （問 27 で「3」または「4」に○を付けた方のみ）
どのような理由で不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 必要なサービスの種類がないため
2. 必要なサービスの予約がとれないため
3. 必要な時間や回数が利用できないため
4. サービスの質や内容が期待したものと違うため
5. 事業者の説明が不十分であるため
6. 負担金額（利用料）が高いため
7. その他（ ）

問 28 あなたが今後もご自宅での生活を続けるためには、何が必要だとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ご自身の健康状態や身体機能を維持・向上させること
2. 家事ができるようになること（手伝いがあればできる場合も含む）
3. ひとり暮らしによる不安（火の始末や戸締まりなど）をなくすること
4. 緊急時の連絡ができること
5. 介護に関する費用が増えないこと
6. 必要な在宅サービスを必要ときに使えること
7. 利用できる在宅サービスの量が増えること
8. 在宅サービスの質が良くなること
9. 在宅サービスの手続きが簡単になること
10. 夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること
11. その他（ ）
12. 特にない

問 29、29-1 は、問 25 で「19」から「21」に○を付けた方にお伺いします。

問 29 あなたは、現在の入所施設に満足していますか。（○はひとつ）

1. 満足 ⇒ 問 31 へ
2. だいたい満足 ⇒ 問 31 へ
3. やや不満
4. 不満

問 29-1 （問 29 で「3」または「4」に○を付けた方のみ）
どのような理由で不満を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設職員の対応・態度などが良くないため
2. 部屋が狭いため
3. 部屋が清潔でないため
4. プライバシーが守られていないため
5. サービスの質や内容が期待したものと違うため
6. 事業者の説明が不十分であるため
7. 負担金額（利用料）が高いため
8. その他（ ）

次のページの
問 31 へ

問 30 は、問 23 で「2」に○を付けた方に伺います。

問 30 あなたが介護保険サービスを利用しない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 入院中であるため
2. 自分で身の回りのことをするよう努力しているため
3. 家族などに介護をしてもらっているため
4. 他人を家の中に入れるのは抵抗があるため
5. 他人に介護されることに抵抗があるため
6. 利用方法がわからないため
7. 利用などについて相談できる相手がいないため
8. 希望するサービスがないため
9. 利用料を払えないため
10. 今のところサービスを受ける必要がないため
11. その他（ ）
12. 特にない

ここからは、ふたたび、すべての方にお伺いします。

問 31

あなたは、ケアプラン作成を担当しているケアマネジャー（高齢者あんしん相談センターの職員を含む）の対応に満足していますか。（○はひとつ）

1. 満足

2. だいたい満足

3. やや不満

4. 不満

5. わからない

6. 担当のケアマネジャーはいない

問 32

あなたは現在のケアプランの内容に満足していますか。（○はひとつ）

1. 満足

2. だいたい満足

3. やや不満

4. 不満

5. ケアプランは作成していない（必要ない）

問 33

あなたは、ケアマネジャー（高齢者あんしん相談センターの職員を含む）にどのようなことを希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自分や家族の意向をよく聞いてくれること

2. 自分に合ったプランを提案してくれること

3. わかりやすく説明してくれること

4. 言葉づかいや態度が丁寧であること

5. 不満や苦情を伝えやすいこと

6. 定期的に連絡してくれること

7. 事業者との連携がとれていること

8. かかりつけ医・主治医との連携が取れていること

9. その他（ ）

10. 特にない

問 34

介護保険の利用にかかる費用は、どなたが負担していますか。（○はひとつ）

1. あなたが負担

2. 家族が負担

3. あなたと家族がともに負担

4. その他（ ）

運動についてお伺いします

問 35

あなたは、定期的に運動をしていますか。（○はひとつ）

1. 毎日運動している

2. 週に数回運動している

3. あまり運動していない

4. まったくしていない

問 35-1

（問 35 で「1」または「2」に○を付けた方のみ）
どのような運動をしていますか。回答欄に具体的に書きください。

【回答欄】

問 35-2

（問 35 で「3」または「4」に○を付けた方のみ）
運動していないのは、どのような理由ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 健康状態が良くない

2. 体調が悪化する恐れがあるから

3. 望ましい運動がわからない

4. 運動する場所がない

5. 運動する時間がない

6. 運動に関心がない

7. 運動するきっかけがない

8. 気軽に参加できる活動がない

9. その他（ ）

10. 理由は特にない

高齢者の「サロン」についてお伺いします

【サロンとは】

ここでいう「サロン」とは、地域住民のグループ、町会・自治会、ボランティア団体、NPO法人などが運営する集いの場で、自由に時間を過ごせる場所が用意され、その他にも食事や喫茶などが提供されるところを指します。また、「サロン」を拠点として、ひとり暮らし高齢者など、孤立しがちな方々を定期的に見守る活動を行っていることもあります。

問 36

あなたのお住まいの近所に、気軽にふらっと立ち寄れる高齢者向けの「サロン」があったら、利用してみたいですか。（○はひとつ）

1. 「サロン」が近所にあり、利用している

2. 「サロン」が近所にあるが、一度も利用したことがない

3. 近所に「サロン」はないが、あったらぜひ利用したい

4. 近所に「サロン」はないが、あってもあまり利用しないと思う

5. その他（ ）

6. わからない

3-75

- 10 -

- 11 -

見守り訪問や地域支援についてお伺いします

【見守り訪問とは】

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように、地域のボランティアなどがひとり暮らしの高齢者を訪問するなどして安否を確認するものです。
「見守り」には、地域の様々な方が、日々の生活や業務の中で行う「ゆるやかな見守り」や、定期的な安否確認や声掛けが必要な方に、担当や役割を決めて行う「担当による見守り」など、様々な方法が考えられますが、地域全体で見守りに関する意識を持つことが大切です。

問 37 あなたは見守り訪問があれば希望しますか。(○はひとつ)

1. 希望する
2. 今は希望しないが、今後は希望するかもしれない
3. 希望しない
4. わからない

問 38 もし、あなたが「ゆるやかな見守り訪問」を受けるとしたら、どなたの訪問を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員
2. ボランティア
3. 近所の住民
4. 市の研修を受けた人
5. 老人クラブ (次の質問で説明)
6. その他 ()

老人クラブについてお伺いします

問 39 八王子市内に「老人クラブ」があることを知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 知らない

【老人クラブとは】

高齢者が町会単位ほどの生活圏の中で自主的に組織した団体です。八王子市が考えているクラブの設置目的は、地域で生活する高齢者が、これまでの人生で培ってきた知識や経験を生かし、様々な活動を通じて、自らの生きがいづくりや健康づくりに取り組み、高齢期の生活を豊かにするとともに、高齢者が地域コミュニティの形成や社会貢献に取り組むことで、いきいきとした地域社会を実現することです。

問 40 あなたのお住まいの地域に「老人クラブ」があったら参加したいですか。(○はひとつ)

1. すでに参加している ⇒ 問 41 ⇐
2. 今は参加していないが、参加したい ⇒ 問 41 ⇐
3. 参加したくない
4. わからない ⇒ 問 41 ⇐

→問 40-1 (問 40 で「3」に○を付けた方のみ)
参加したくない理由はどのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. ほかにやりたいことがある
2. 活動場所に行くのが大変
3. 活動内容が合わない
4. 活動の時間が合わない
5. まだ「老人クラブ」に加入する年齢ではないと思う
6. その他 ()

防災についてお伺いします

問 41 あなたは災害時にひとりで避難できますか。できない場合は避難に協力してくれる人がいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとりで避難できる
2. 家族・親族の協力で避難できる
3. 近所の人の協力で避難できる
4. 友人・知人の協力で避難できる
5. ひとりで避難できないし、協力してくれる人もいない
6. その他 ()

問 42 あなたは災害発生時における支援体制づくりのため、どこであればご自身の情報を提供してもよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所
2. 警察
3. 消防
4. 民生委員
5. 町会・自治会
6. 高齢者あんしん相談センター
7. ケアマネジャー
8. 提供したくない
9. わからない
10. その他 ()

問 43 あなたは災害が発生した際、どのようなことが心配ですか。
(あてはまるものをすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 緊急時の情報の入手 | 2. 避難先への移動経路、手段 |
| 3. 家族・親族の安否 | 4. 友人・知人などの安否 |
| 5. 避難所での生活 | 6. 要介護者・病人等の対応 |
| 7. 自分自身の健康状態 | |
| 8. その他 () | |

ここからの質問は、「人生の最期」に関することや「認知症になった場合」など、人生観や個人の尊厳に関わる質問となっております。

本来は個人がそれぞれに考えるべき事柄ではありますが、超高齢社会を迎えて、認知症となる方も今後大幅に増加することが予想される中、「社会全体で人生の最期をどのように豊かなものとするか」ということは、広く考えられるべき課題であり、課題自体を社会で共有することが必要な時期であると考えられます。

人によっては「回答することが難しい」と感じる質問もありますが、今後の課題解決に向けた手掛かりとするため、そして「より豊かな八王子市」をつくり上げるためにも、ぜひ回答にご協力をお願いいたします。

「看取（みとり）」についてお伺いします

【看取（みとり）とは】

もとは「病人のそばにいて世話をする」、「人生の最期まで見守る」、「看病する」という、患者を介護する行為そのものを示す言葉でしたが、人生の最期を迎える場面のことを、単に「看取り」と言い表すことも多くなっています。

問 44 あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期をどこで過ごしたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 自宅で過ごしたい ⇒ 問 45 へ | |
| 2. 介護保険施設（有料老人ホームなど）で過ごしたい ⇒ 問 45 へ | |
| 3. 病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい ⇒ 問 45 へ | |
| 4. わからない ⇒ 問 45 へ | |
| 5. その他 () | ⇒ 問 45 へ |

→ 次ページの問 44-1 へ

問 44-1 (問 44 で「1」に○を付けた方のみ)

自宅などで「看取り」を迎えられる場合、課題や不安な点がありますか。
(あてはまるものをすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. ひとり暮らしであるため、「看取り」をしてくれる人がいない |
| 2. 相続や、家財等の財産の処分が上手くいくかどうか不安である |
| 3. 「看取り」についての希望を家族などにどう伝えて良いかわからない |
| 4. 「看取り」について誰に相談すればよいかわからない |
| 5. 自宅での「看取り」に何か必要かわからない |
| 6. その他 () |
| 7. 特になし |

成年後見制度などについてお伺いします

問 45 あなたは成年後見制度を知っていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【成年後見制度とは】

障害などで十分な判断能力がない方を対象に、法律面や生活面で、本人の希望に沿った支援をし、保護することを目的としています。

福祉・医療・介護サービスなどの各種手続きや契約行為、財産の管理や日常的な金銭の管理について、本人の意思をできるだけ尊重し、生活を送るうえで一方的に不利益が生じないよう、権利や財産を守るための制度です。

問 46 あなたは、将来認知力に不安を抱えるようになったとき、金銭の管理などを任せられる人はいいますか。(あてはまるものをすべてに○)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 同居の子・孫 |
| 3. 別居の子・孫 | 4. その他の親族 |
| 5. 友人・知人 | 6. 特になし |
| 7. 成年後見制度を利用している | 8. その他 () |

問 43 あなたは災害が発生した際、どのようなことが心配ですか。
(あてはまるものをすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 緊急時の情報の入手 | 2. 避難先への移動経路、手段 |
| 3. 家族・親族の安否 | 4. 友人・知人などの安否 |
| 5. 避難所での生活 | 6. 要介護者・病人等の対応 |
| 7. 自分自身の健康状態 | |
| 8. その他 () | |

ここからの質問は、「人生の最期」に関することや「認知症になった場合」など、人生観や個人の尊厳に関わる質問となっております。

本来は個人がそれぞれに考えるべき事柄ではありますが、超高齢社会を迎えて、認知症となる方も今後大幅に増加することが予想される中、「社会全体で人生の最期をどのように豊かなものとするか」ということは、広く考えられるべき課題であり、課題自体を社会で共有することが必要な時期であると考えられます。

人によっては「回答することが難しい」と感じる質問もありますが、今後の課題解決に向けた手掛かりとするため、そして「より豊かな八王子市」をつくり上げるためにも、ぜひ回答にご協力をお願いいたします。

「看取（みとり）」についてお伺いします

【看取（みとり）とは】

もとは「病人のそばにいて世話をする」、「人生の最期まで見守る」、「看病する」という、患者を介護する行為そのものを示す言葉でしたが、人生の最期を迎える場面のことを、単に「看取り」と言い表すことも多くなっています。

問 44 あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期をどこで過ごしたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 自宅で過ごしたい ⇒ 問 45 へ | |
| 2. 介護保険施設（有料老人ホームなど）で過ごしたい ⇒ 問 45 へ | |
| 3. 病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい ⇒ 問 45 へ | |
| 4. わからない ⇒ 問 45 へ | |
| 5. その他 () | ⇒ 問 45 へ |

→ 次ページの問 44-1 へ

認知症についてお伺いします

【認知症とは】

脳や体の疾患を原因として、記憶や判断力などの障害がおき、日常生活まで支障をきたすようになってしまう状態のことを言います。認知症の症状としては、①記憶障害（少し前のことが覚えていられない）、②注意力低下（2つの事が一度にできない）、③見当識障害（今日の日付や時間がわからず）、④失語、失認、失行（言葉や、洋服の着方がわからない）などがあります。

問 47 もし、あなたが認知症を発症したら、どのように感じますか。また、既に認知症であるとの診断を受けている方は、どのように感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. あきらめずに、前向きに治療を続けたい
2. 落ち込んでしまい、治療に取り組む気にならない
3. 早めに周りの人に伝え、理解が得られるようにしたい
4. 認知症であることを隠したい
5. 近所の人からの支援が期待できる
6. 近所の人からの支援が期待できない
7. 家族からの支援が期待できる
8. 家族からの支援は期待できない
9. わからない
10. その他（ ）

介護予防や介護保険制度などについてお伺いします

問 48 あなたは介護予防について、どのような事業を希望しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 転倒予防などの運動教室
2. 栄養バランスなどの食事指導
3. 歯磨きなどの口腔ケアの指導
4. 飲み込みなどの指導
5. 認知症を予防するための頭の体操教室
6. 生きがいづくりを目的としたボランティア養成講座
7. 介護予防の全般を知る講座
8. その他（ ）
9. 特にない

問 49 現在の介護保険料の支払いについて、あなたはどのように感じますか。
(○はひとつ)

1. 負担に感じない
2. あまり負担に感じない
3. やや負担に感じる
4. 負担に感じる
5. わからない

問 50 高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
2. 利用者の自己負担を増やすのがよい
3. できる範囲での対応となっても、保険料負担は現状程度がよい
4. できる範囲での対応となっても、利用料などの負担は現状程度がよい
5. 保険料や利用料の負担を減らすべきで、サービスの充実は望まない
6. 保険料・利用料以外の税を、より投入してサービスを充実するべき
7. わからない
8. その他（ ）

問 51 今後の介護について、どのような希望をお持ちですか。現在介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。
(○はひとつ)

1. 家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい
2. 介護保険施設や医療機関に入り、介護を受けたい
3. 高齢者に配慮した介護付きの住まいに移り、そこで暮らしたい
4. わからない
5. その他（ ）

その他、ご意見などをお伺いします

問 52 あなたが、健康維持などで特に気を付けていること、あれば良いとお考えのサービス、その他ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたりご協力ありがとうございました。
同封の封筒（切手不要）に調査票を入れて、
6月18日（水）までにご投函ください。

4. 介護サービス事業者調査結果

1. サービス種別等	4-1
2. 介護人材育成・確保について	4-8
3. 在宅医療・介護について	4-15
4. 介護予防・日常生活支援総合事業などについて	4-19
5. 自由記述	4-22
【資料】調査票	4-24

介護サービス事業者調査の概要

1. 調査対象者

平成26年8月15日現在、八王子市内で介護サービスを提供している事業者から無作為抽出

2. 調査方法

FAX配布、FAX回収（記名式）

3. 調査期間

平成26年8月22日（金）～8月29日（金）

4. 回収結果

調査種別	配布数	回収数	回収率
介護サービス事業者調査	200	171	85.5%

調査結果の見方

- (1) 図中の「n」は、当該設問の対象者数を表します。対象を限定した設問では、「n」の値が全体の対象者数より小さくなります。
- (2) 集計した数値（％）は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100％にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100％を超えます。
- (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現しています。
- (5) 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- (6) 「無回答」には、単数回答を求めている設問で複数の選択肢に○が付されている等、集計から除外した票数を含みます。

4. 介護サービス事業者調査結果

1. サービス種別等

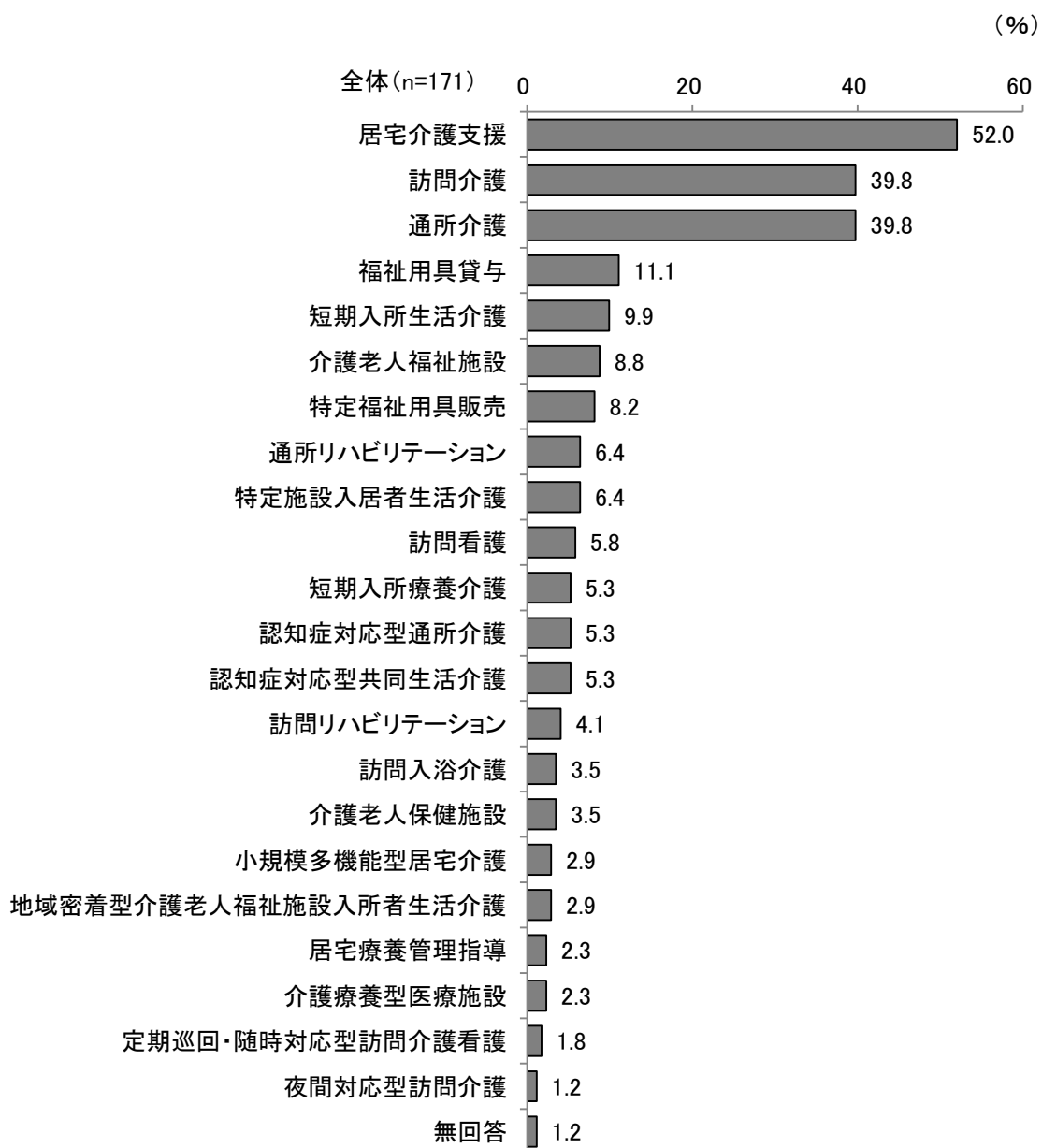
問1 八王子市内で提供しているサービス種別を選択してください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援 (52.0%)
2. 訪問介護 (39.8%)
3. 訪問入浴介護 (3.5%)
4. 訪問看護 (5.8%)
5. 訪問リハビリテーション (4.1%)
6. 居宅療養管理指導 (2.3%)
7. 通所介護 (39.8%)
8. 通所リハビリテーション (6.4%)
9. 短期入所生活介護 (9.9%)
10. 短期入所療養介護 (5.3%)
11. 特定施設入居者生活介護 (6.4%)
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (1.8%)
13. 夜間対応型訪問介護 (1.2%)
14. 認知症対応型通所介護 (5.3%)
15. 小規模多機能型居宅介護 (2.9%)
16. 認知症対応型共同生活介護 (5.3%)
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (2.9%)
18. 介護老人福祉施設 (8.8%)
19. 介護老人保健施設 (3.5%)
20. 介護療養型医療施設 (2.3%)
21. 福祉用具貸与 (11.1%)
22. 特定福祉用具販売 (8.2%)

4. 介護サービス事業者調査結果

【問1 八王子市内で提供しているサービス種別のグラフ】



八王子市内で提供しているサービス種別について尋ねたところ、「居宅介護支援」が52.0%で最も多く、次いで「訪問介護」、「通所介護」がともに39.8%となっています。

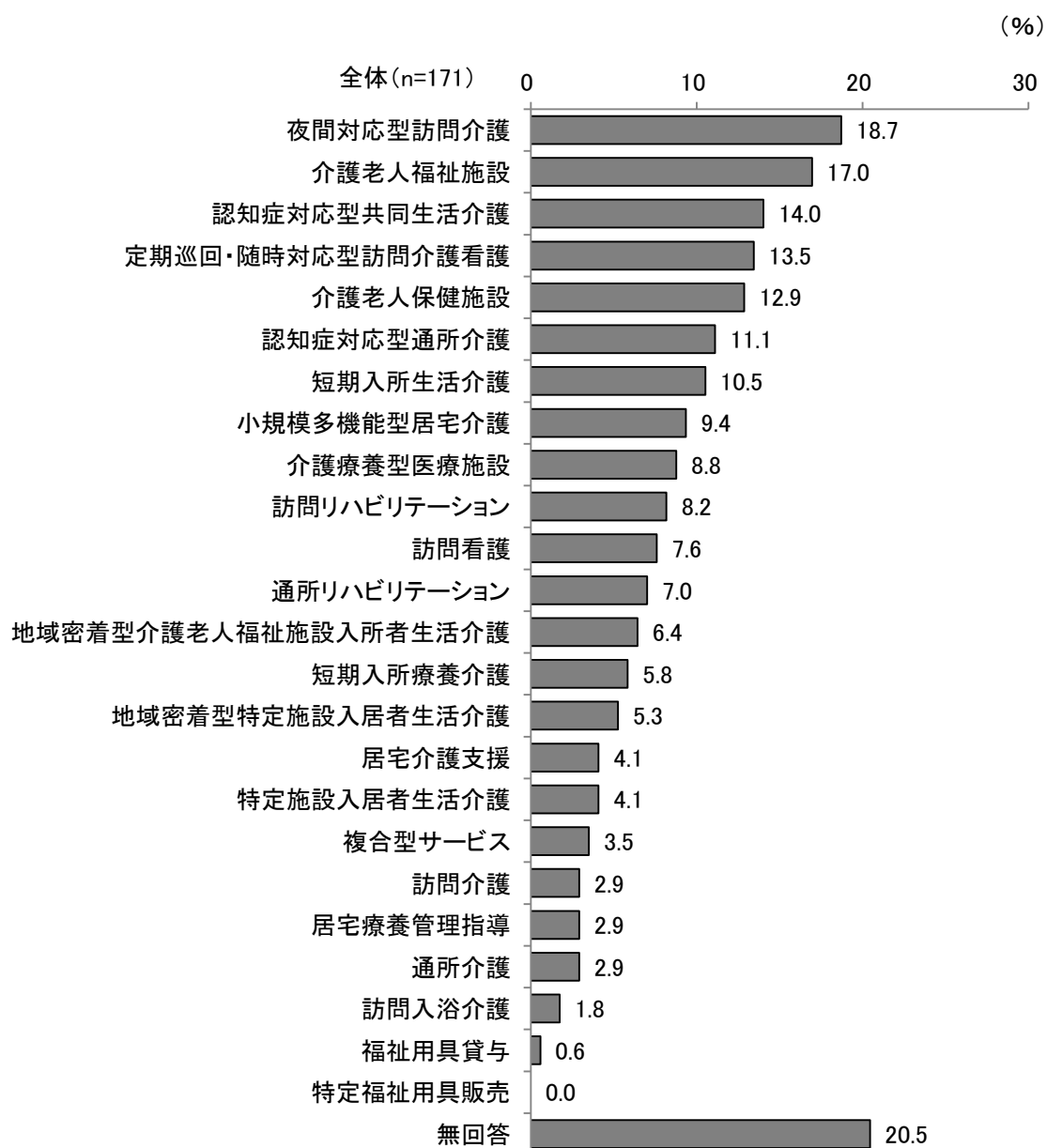
4. 介護サービス事業者調査結果

問2 八王子市民に対して不足していると考えるサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援 (4.1%)
2. 訪問介護 (2.9%)
3. 訪問入浴介護 (1.8%)
4. 訪問看護 (7.6%)
5. 訪問リハビリテーション (8.2%)
6. 居宅療養管理指導 (2.9%)
7. 通所介護 (2.9%)
8. 通所リハビリテーション (7.0%)
9. 短期入所生活介護 (10.5%)
10. 短期入所療養介護 (5.8%)
11. 特定施設入居者生活介護 (4.1%)
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (13.5%)
13. 夜間対応型訪問介護 (18.7%)
14. 認知症対応型通所介護 (11.1%)
15. 小規模多機能型居宅介護 (9.4%)
16. 認知症対応型共同生活介護 (14.0%)
17. 地域密着型特定施設入居者生活介護 (5.3%)
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (6.4%)
19. 複合型サービス (3.5%)
20. 介護老人福祉施設 (17.0%)
21. 介護老人保健施設 (12.9%)
22. 介護療養型医療施設 (8.8%)
23. 福祉用具貸与 (0.6%)
24. 特定福祉用具販売 (0.0%)

4. 介護サービス事業者調査結果

【問2 八王子市民に対して不足しているとするサービス種別のグラフ】



八王子市民に対して不足しているとするサービス種別について尋ねたところ、「夜間対応型訪問介護」が18.7%で最も多く、次いで「介護老人福祉施設」が17.0%となっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

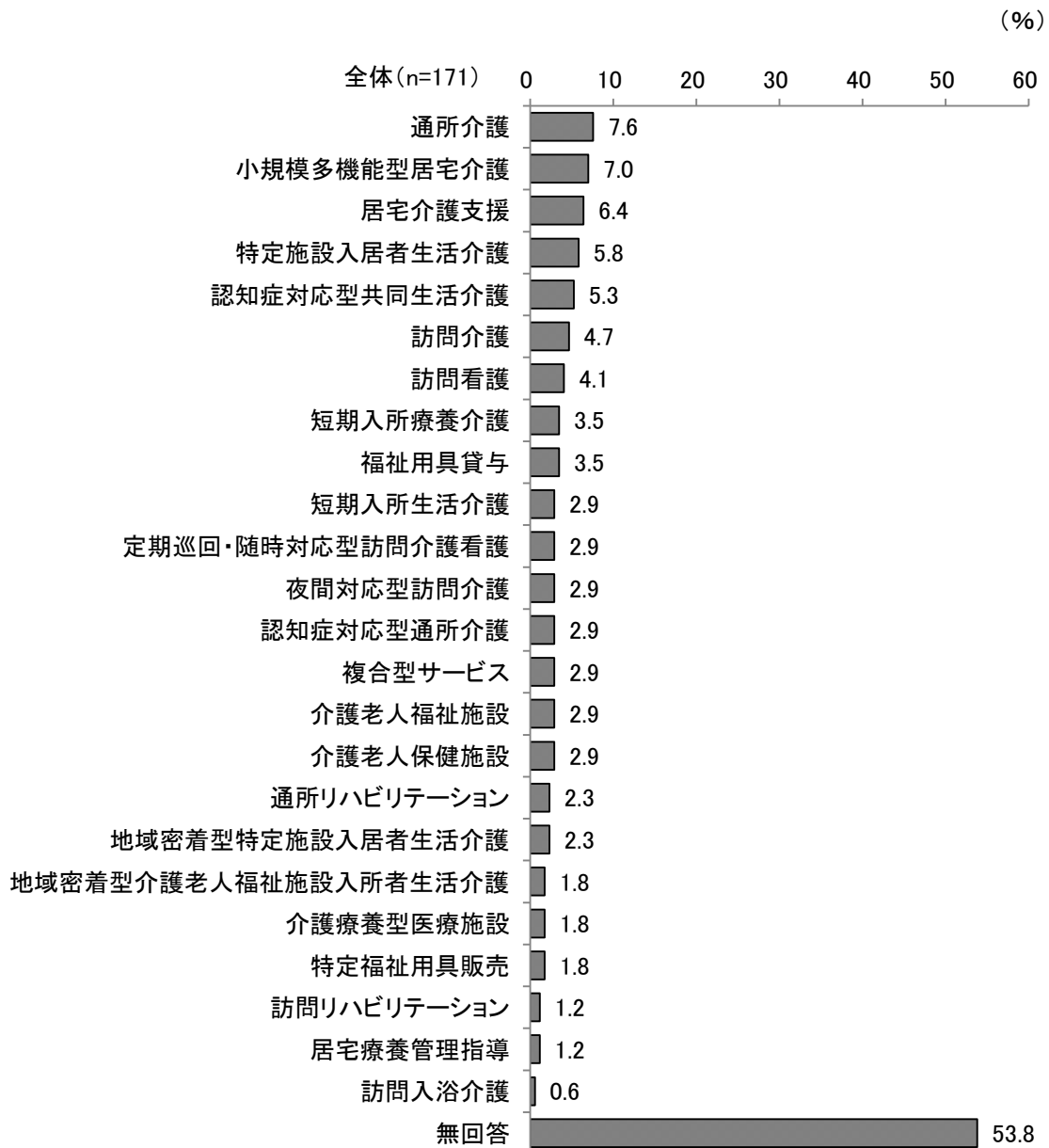
また、今後、八王子市内で新規に事業展開したいサービスはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 居宅介護支援 (6.4%)
2. 訪問介護 (4.7%)
3. 訪問入浴介護 (0.6%)
4. 訪問看護 (4.1%)
5. 訪問リハビリテーション (1.2%)
6. 居宅療養管理指導 (1.2%)
7. 通所介護 (7.6%)
8. 通所リハビリテーション (2.3%)
9. 短期入所生活介護 (2.9%)
10. 短期入所療養介護 (3.5%)
11. 特定施設入居者生活介護 (5.8%)
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (2.9%)
13. 夜間対応型訪問介護 (2.9%)
14. 認知症対応型通所介護 (2.9%)
15. 小規模多機能型居宅介護 (7.0%)
16. 認知症対応型共同生活介護 (5.3%)
17. 地域密着型特定施設入居者生活介護 (2.3%)
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (1.8%)
19. 複合型サービス (2.9%)
20. 介護老人福祉施設 (2.9%)
21. 介護老人保健施設 (2.9%)
22. 介護療養型医療施設 (1.8%)
23. 福祉用具貸与 (3.5%)
24. 特定福祉用具販売 (1.8%)

4. 介護サービス事業者調査結果

【問2 今後、八王子市内で新規に事業展開したいサービス種別のグラフ】

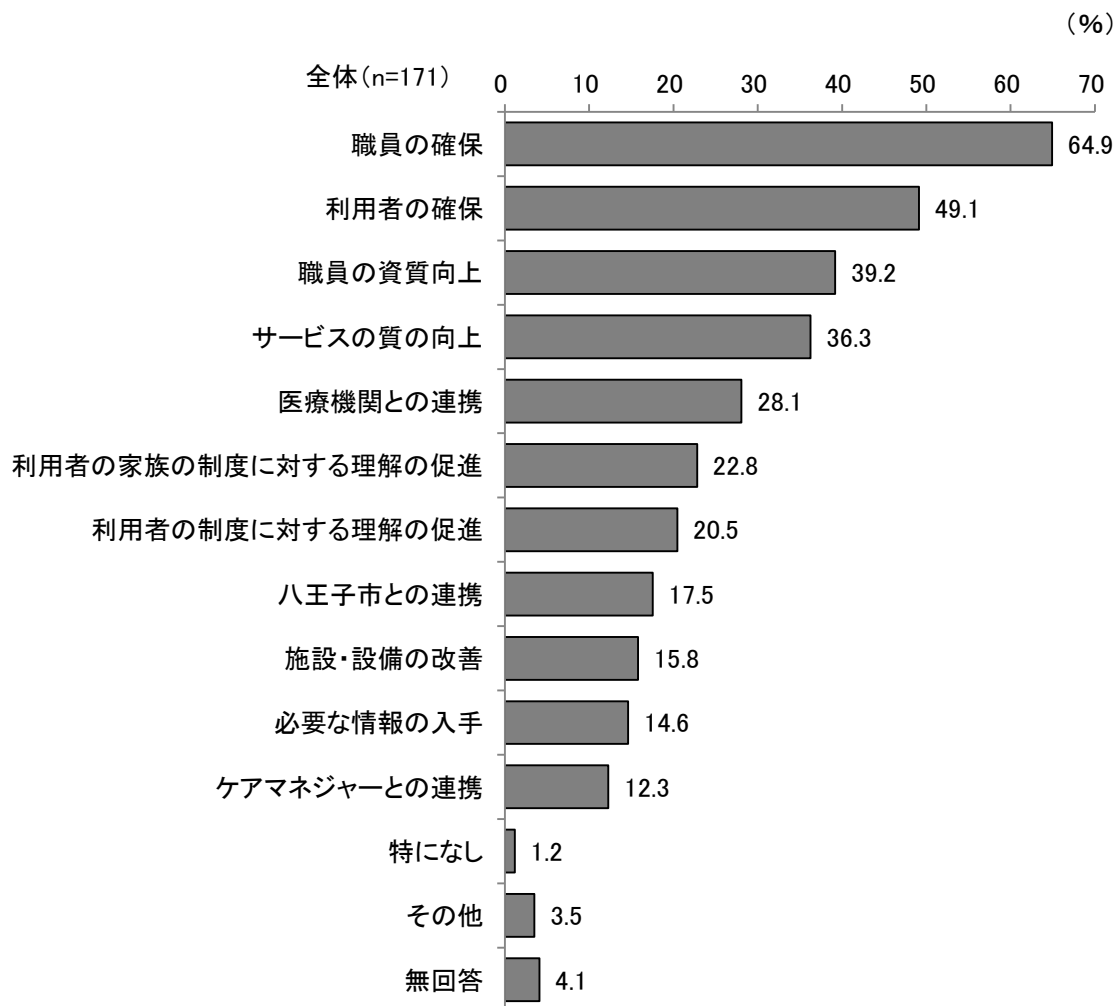


今後、八王子市内で新規に事業展開したいサービス種別について尋ねたところ、いずれのサービスも、10%未満の少数となっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問3 運営にあたり課題となっていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 職員の確保（64.9%） | 9. ケアマネジャーとの連携（12.3%） |
| 2. サービスの質の向上（36.3%） | 10. 八王子市との連携（17.5%） |
| 3. 利用者の確保（49.1%） | 11. 医療機関との連携（28.1%） |
| 4. 施設・設備の改善（15.8%） | 12. 特になし（1.2%） |
| 5. 必要な情報の入手（14.6%） | 13. その他（3.5%） |
| 6. 職員の資質向上（39.2%） | |
| 7. 利用者の制度に対する理解の促進（20.5%） | |
| 8. 利用者の家族の制度に対する理解の促進（22.8%） | |



運営にあたり課題になっていることを尋ねたところ、「職員の確保」が64.9%で最も多く、次いで「利用者の確保」が49.1%となっています。「その他」は、「広域の特養に比べ利用者一人あたりの単価（報酬）が低すぎること」、「高齢者あんしん相談センターとケアマネジャーを含めた連携」、「他社との差別化」などとなっています。

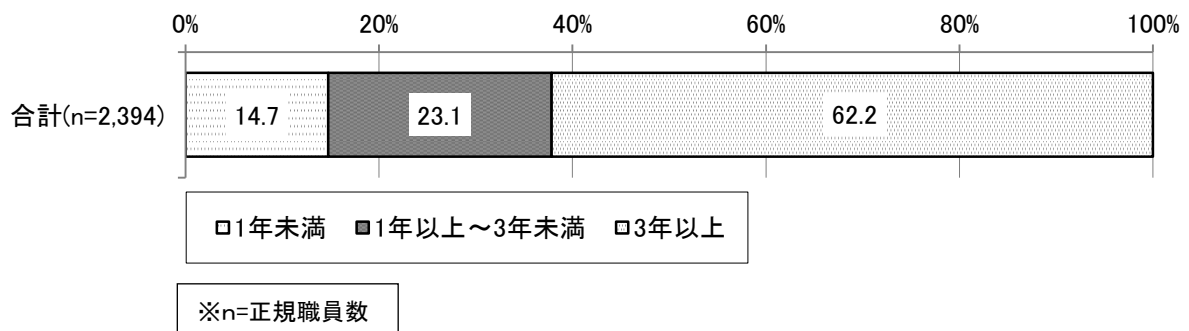
4. 介護サービス事業者調査結果

2. 介護人材育成・確保について

問4 職員数（事務職等を含む）を、勤務年数ごとに、正規・非正規に分けて人数をご記入ください。

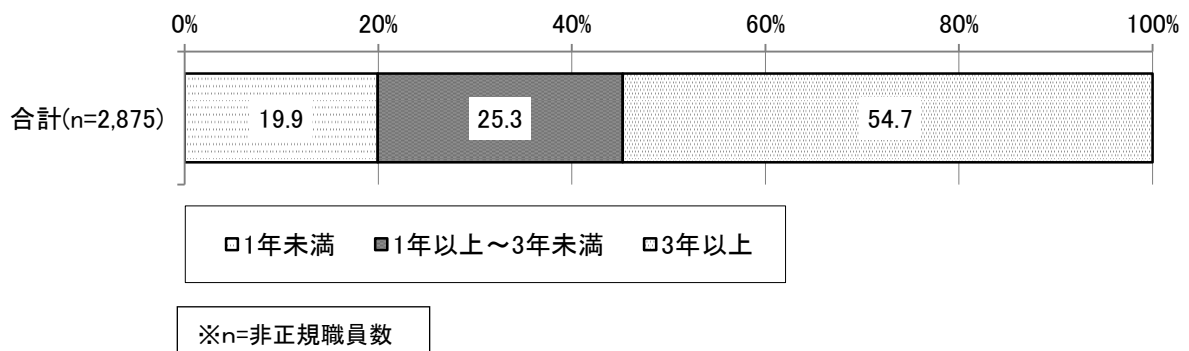
正規	1年未満（14.7%）	1年以上～3年未満（23.1%）	3年以上（62.2%）
非正規	1年未満（19.9%）	1年以上～3年未満（25.3%）	3年以上（54.7%）

【正規職員数の割合】



正規職員の勤続年数について尋ねたところ「3年以上」が62.2%、「1年以上～3年未満」が23.1%、「1年未満」が14.7%となっています。

【非正規職員数の割合】

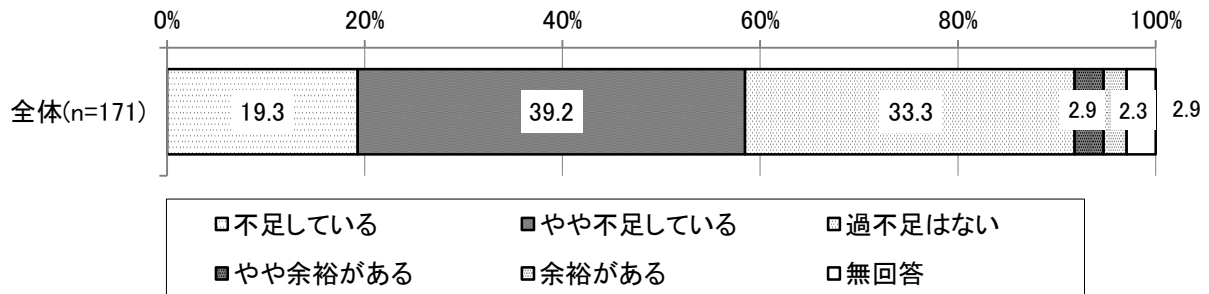


非正規職員の勤続年数について尋ねたところ、「3年以上」が54.7%、「1年以上～3年未満」が25.3%、「1年未満」が19.9%となっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問5 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 不足している（19.3%） | 4. やや余裕がある（2.9%） |
| 2. やや不足している（39.2%） | 5. 余裕がある（2.3%） |
| 3. 過不足はない（33.3%） | |

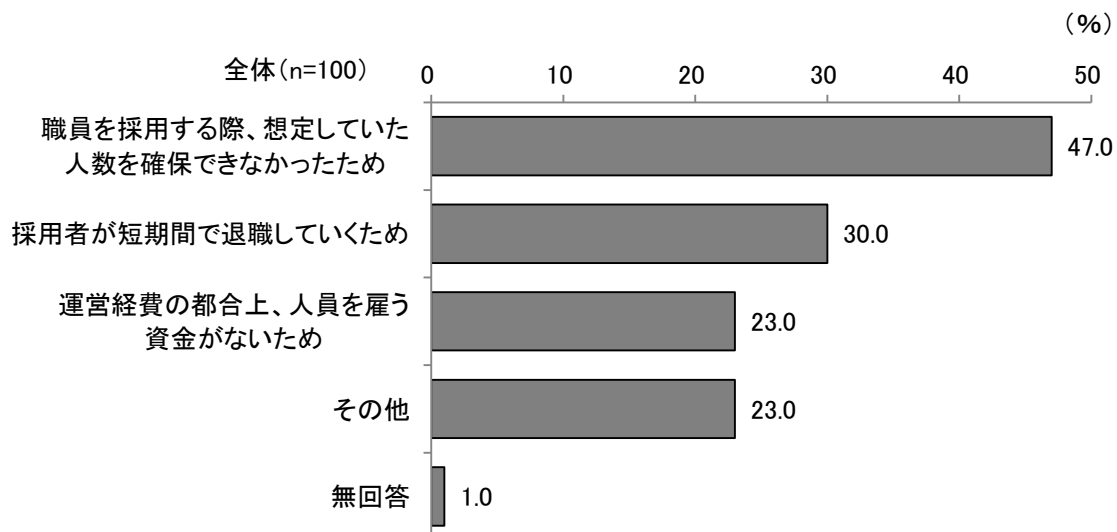


職員数の過不足について尋ねたところ、「やや不足している」が39.2%で最も多く、次いで「過不足はない」が33.3%、「不足している」が19.3%となっています。

【問5で「1」または「2」と答えた事業所のみ】

問6 職員数が不足している主な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 職員を採用する際、想定していた人数を確保できなかったため（47.0%） |
| 2. 採用者が短期間で退職していくため（30.0%） |
| 3. 運営経費の都合上、人員を雇う資金がないため（23.0%） |
| 4. その他（23.0%） |

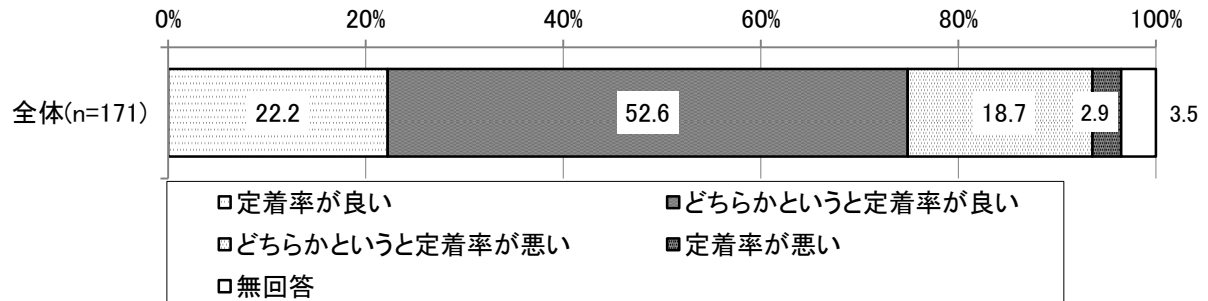


問5で「1. 不足している」または「2. やや不足している」と答えた事業所にその理由を尋ねたところ、「職員を採用する際、想定していた人数を確保できなかったため」が47.0%で最も多く、次いで「採用者が短期間で退職していくため」が30.0%となっています。「その他」は、「募集しても集まらない」、「利用者が増加している」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問7 職員の定着率をどう感じていますか。（〇はひとつ）

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 定着率が良い（22.2%） | 3. どちらかという而定着率が悪い（18.7%） |
| 2. どちらかという而定着率が良い（52.6%） | 4. 定着率が悪い（2.9%） |



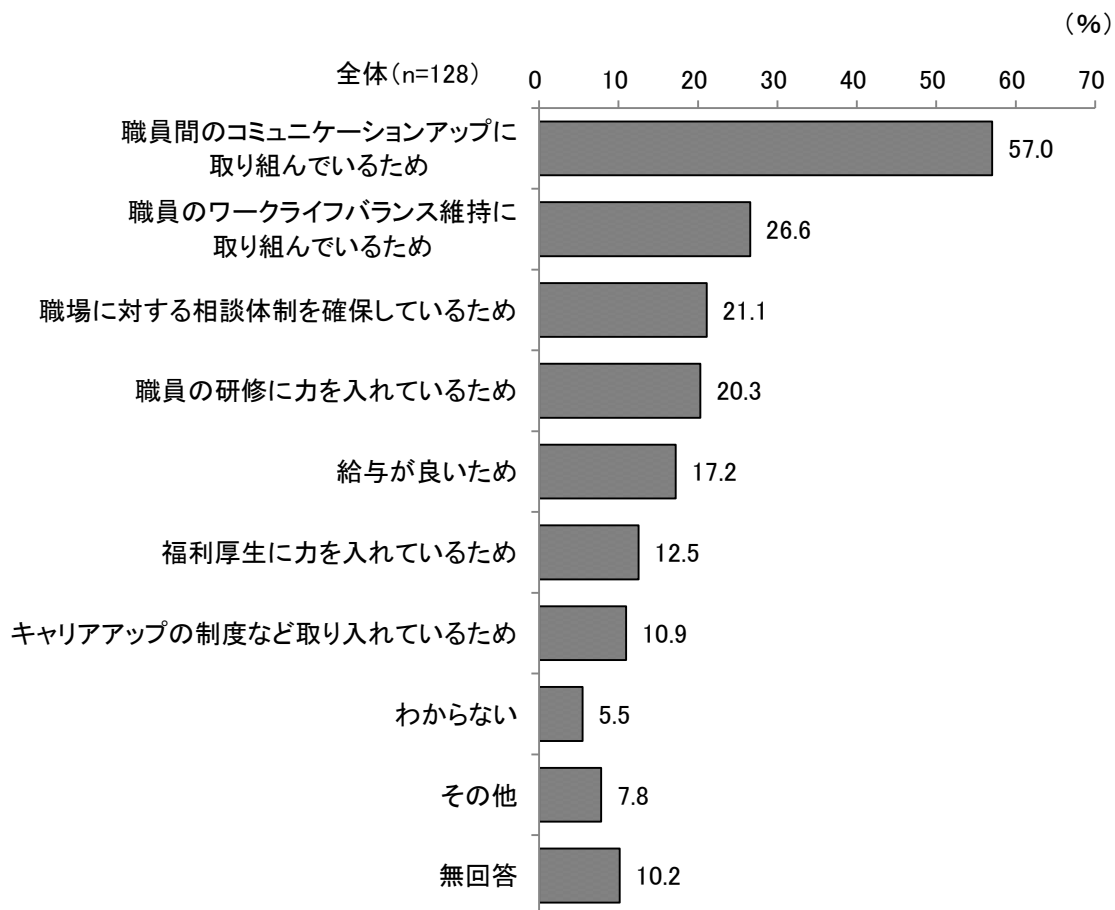
職員の定着率をどう感じているか尋ねたところ、「どちらかという而定着率が良い」が52.6%で最も多く、次いで「定着率が良い」が22.2%、「どちらかという而定着率が悪い」が18.7%となっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

【問7で「1」または「2」と答えた事業所のみ】

問8 職員の定着率が良い主な理由は何だと思いますか。（〇は3つまで）

1. 給与が良いため（17.2%）
2. 福利厚生に力を入れているため（12.5%）
3. 職員の研修に力を入れているため（20.3%）
4. 職員間のコミュニケーションアップに取り組んでいるため（57.0%）
5. 職員のワークライフバランス維持に取り組んでいるため（26.6%）
6. キャリアアップの制度など取り入れているため（10.9%）
7. 職場に対する相談体制を確保しているため（21.1%）
8. わからない（5.5%）
9. その他（7.8%）



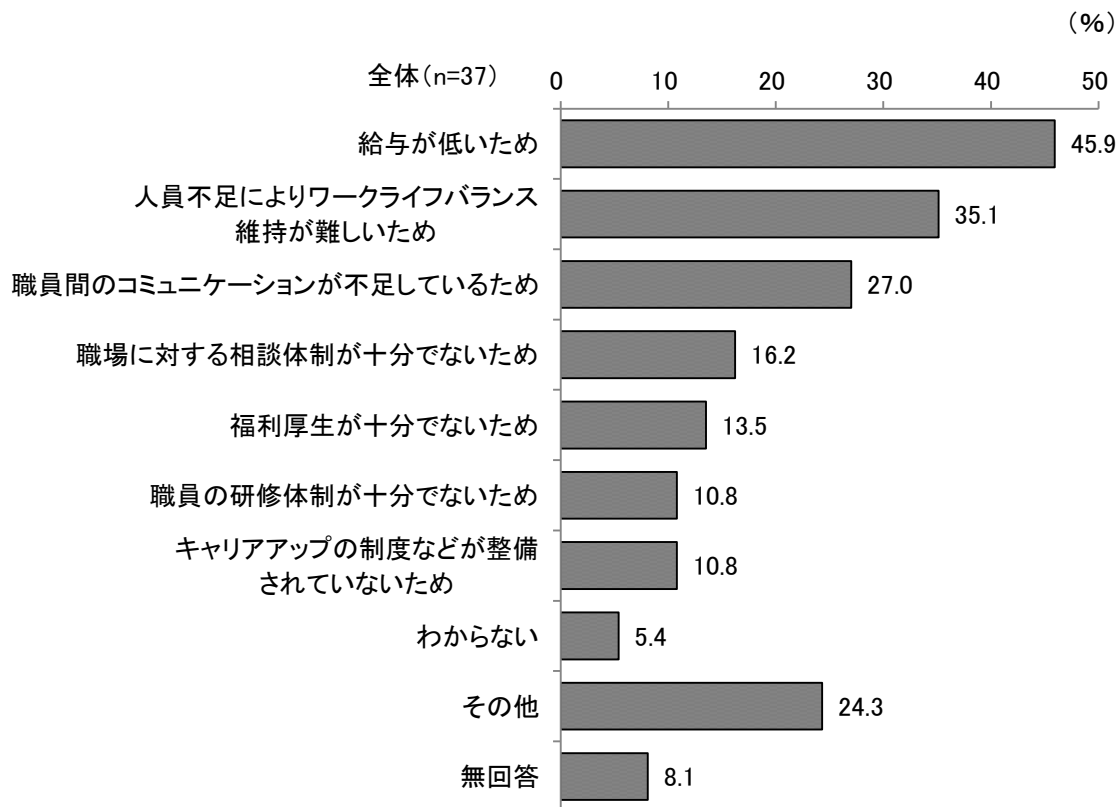
問7で「1. 定着率が良い」または「2. どちらかという而定着率が良い」と答えた事業所にその理由を尋ねたところ、「職員間のコミュニケーションアップに取り組んでいるため」が57.0%で最も多く、次いで「職員のワークライフバランス維持に取り組んでいるため」が26.6%、「職場に対する相談体制を確保しているため」が21.1%、「職員の研修に力を入れているため」が20.3%となっています。「その他」は「職員が1人のため」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

【問7で「3」または「4」と答えた事業所のみ】

問9 職員の定着率が悪い主な理由は何だと思いますか。（〇は3つまで）

1. 給与が低いため（45.9%）
2. 福利厚生が十分でないため（13.5%）
3. 職員の研修体制が十分でないため（10.8%）
4. 職員間のコミュニケーションが不足しているため（27.0%）
5. 人員不足によりワークライフバランス維持が難しいため（35.1%）
6. キャリアアップの制度などが整備されていないため（10.8%）
7. 職場に対する相談体制が十分でないため（16.2%）
8. わからない（5.4%）
9. その他（24.3%）

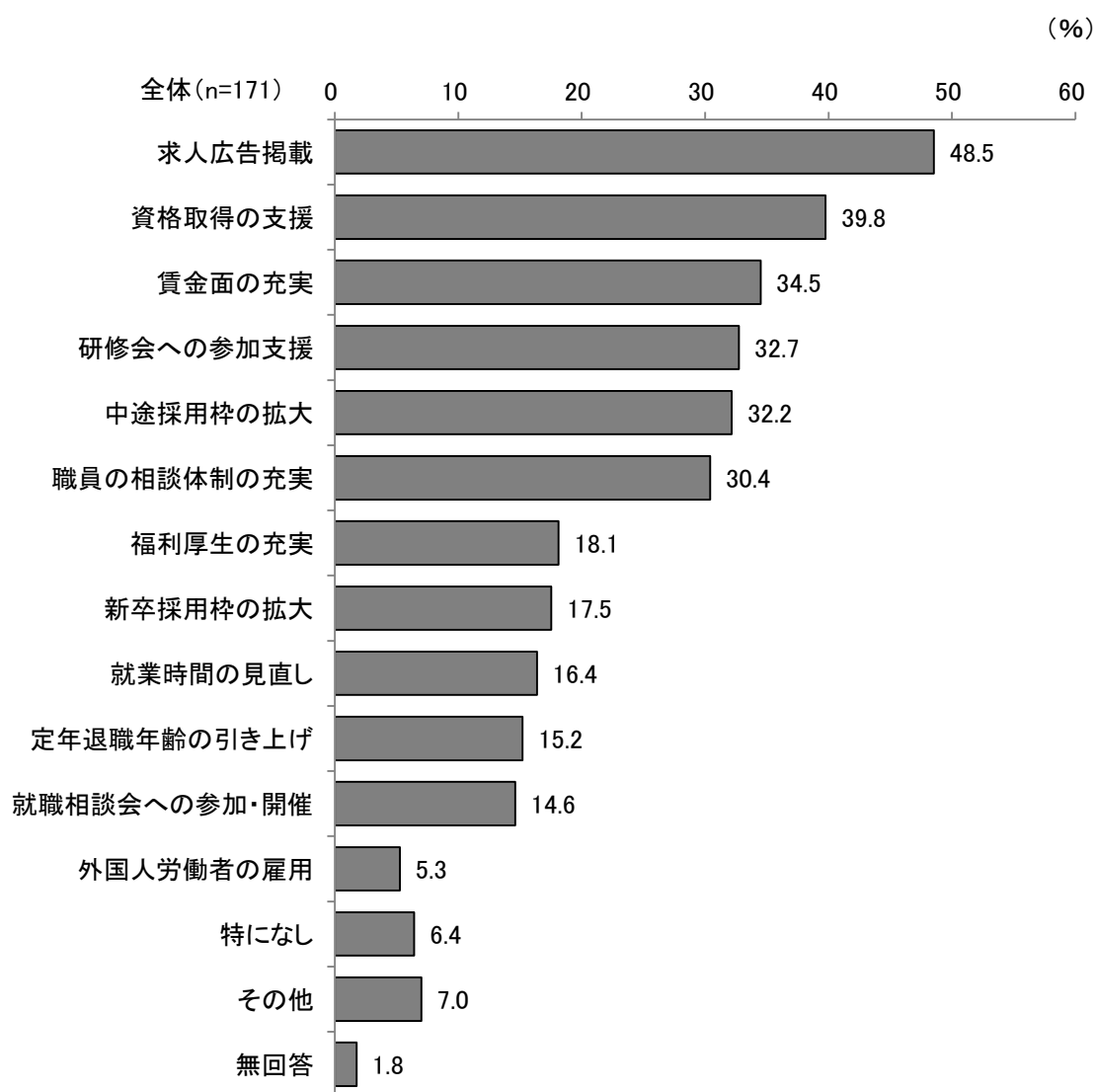


問7で「3. どちらかという而定着率が悪い」または「4. 定着率が悪い」と答えた事業所にその理由を尋ねたところ、「給与が低いため」が45.9%で最も多く、次いで「人員不足によりワークライフバランス維持が難しいため」が35.1%、「職員間のコミュニケーションが不足しているため」が27.0%となっています。「その他」は、「シフトが合わない」、「求職者の資質」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問10 人材確保のために行っている取り組みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 新卒採用枠の拡大（17.5%）	8. 資格取得の支援（39.8%）
2. 中途採用枠の拡大（32.2%）	9. 職員の相談体制の充実（30.4%）
3. 定年退職年齢の引き上げ（15.2%）	10. 外国人労働者の雇用（5.3%）
4. 福利厚生の充実（18.1%）	11. 求人広告掲載（48.5%）
5. 就業時間の見直し（16.4%）	12. 就職相談会への参加・開催（14.6%）
6. 賃金面の充実（34.5%）	13. 特になし（6.4%）
7. 研修会への参加支援（32.7%）	14. その他（7.0%）



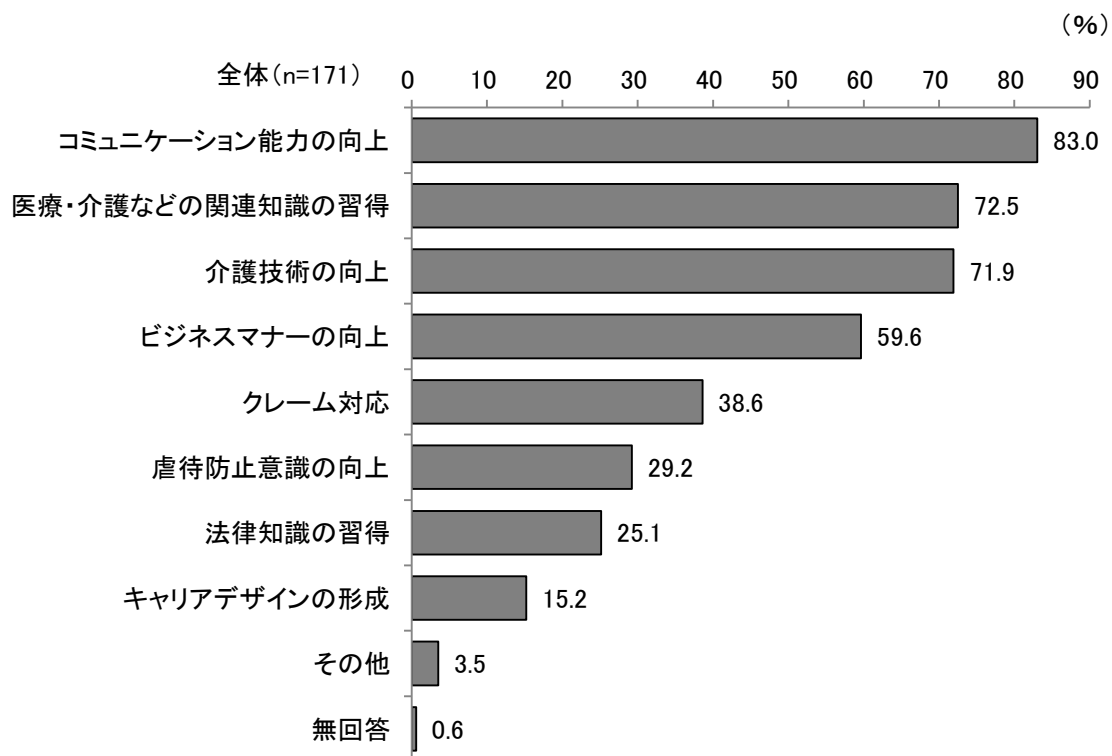
人材確保のために行っている取り組みを尋ねたところ、「求人広告掲載」が48.5%で最も多く、次いで「資格取得の支援」が39.8%、「賃金面の充実」が34.5%、「研修会への参加支援」が32.7%、「中途採用枠の拡大」が32.2%、「職員の相談体制の充実」が30.4%となっています。「その他」は、「ハローワークとの連携」、「託児所整備」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問11 職員の資質向上のために必要だと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 介護技術の向上 (71.9%) | 6. 医療・介護などの関連知識の習得 (72.5%) |
| 2. ビジネスマナーの向上 (59.6%) | 7. 虐待防止意識の向上 (29.2%) |
| 3. コミュニケーション能力の向上 (83.0%) | 8. キャリアデザインの形成 (15.2%) |
| 4. 法律知識の習得 (25.1%) | 9. その他 (3.5%) |
| 5. クレーム対応 (38.6%) | |



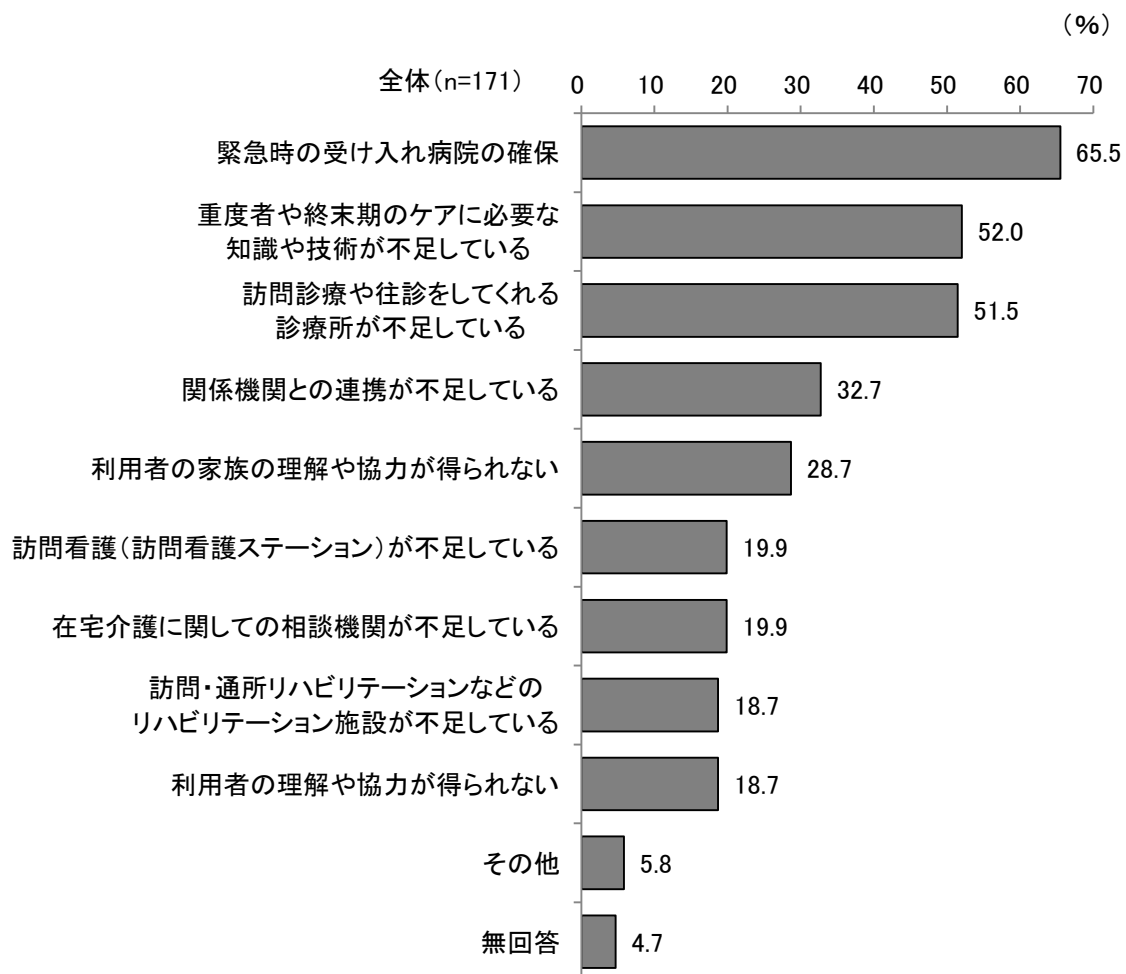
職員の資質向上のために必要だと思うことについて尋ねたところ、「コミュニケーション能力の向上」が83.0%で最も多く、次いで「医療・介護などの関連知識の習得」が72.5%、「介護技術の向上」が71.9%となっています。「その他」は、「意識の向上」、「事業所の理念の理解」などとなっています。

3. 在宅医療・介護について

問12 地域包括ケアシステムの推進に伴い、今後在宅での介護が増加すると思われますが、在宅で介護するうえで課題だと思えることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所が不足している (51.5%)
2. 訪問看護 (訪問看護ステーション) が不足している (19.9%)
3. 訪問・通所リハビリテーションなどのリハビリテーション施設が不足している (18.7%)
4. 緊急時の受け入れ病院の確保 (65.5%)
5. 在宅介護に関しての相談機関が不足している (19.9%)
6. 重度者や終末期のケアに必要な知識や技術が不足している (52.0%)
7. 利用者の理解や協力が得られない (18.7%)
8. 利用者の家族の理解や協力が得られない (28.7%)
9. 関係機関との連携が不足している (32.7%)
10. その他 (5.8%)



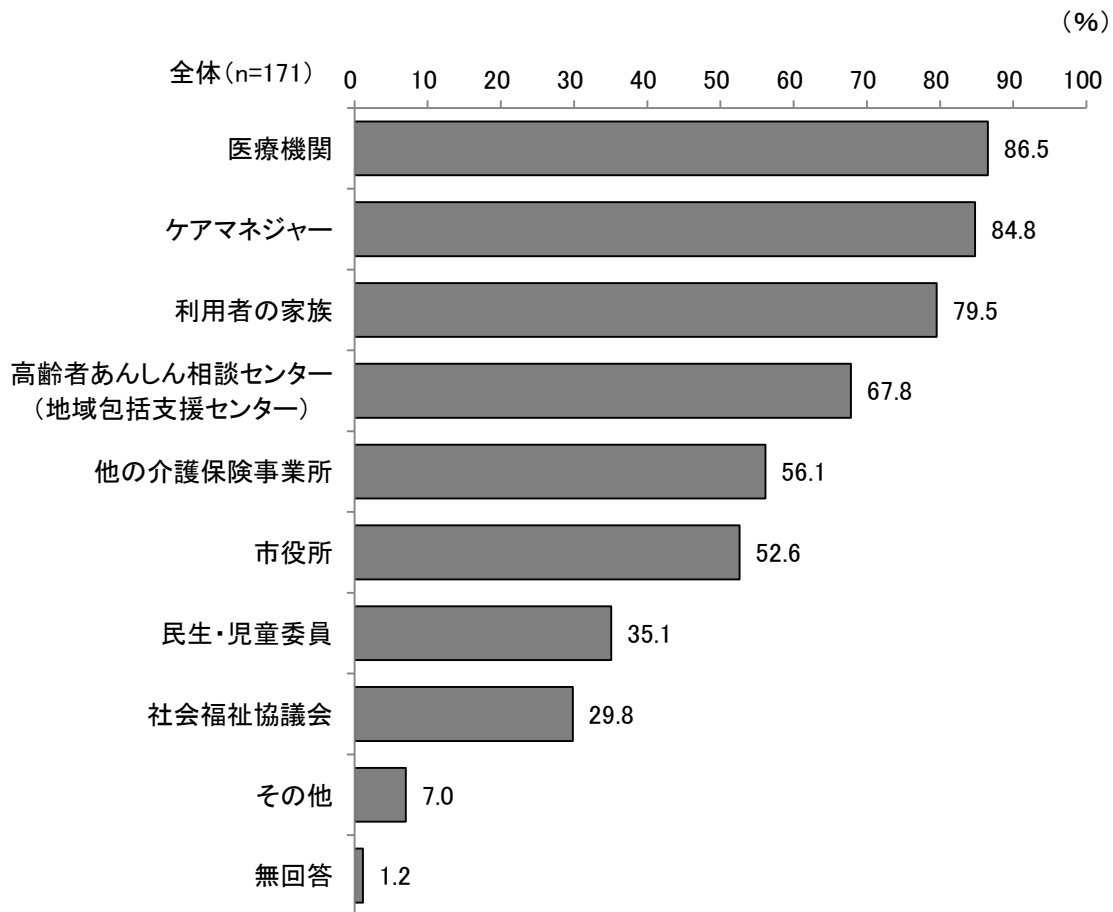
4. 介護サービス事業者調査結果

在宅で介護するうえで課題だと思うことを尋ねたところ、「緊急時の受け入れ病院の確保」が65.5%で最も多く、次いで「重度者や終末期のケアに必要な知識や技術が不足している」が52.0%、「訪問診療や往診をしてくれる診療所が不足している」が51.5%となっています。「その他」は、「独居利用者への対応」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問13 在宅での介護を支えていくうえで、連携が必要だと考えている関係機関・関係者をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. ケアマネジャー（84.8%）
2. 医療機関（86.5%）
3. 他の介護保険事業所（56.1%）
4. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）（67.8%）
5. 利用者の家族（79.5%）
6. 民生・児童委員（35.1%）
7. 社会福祉協議会（29.8%）
8. 市役所（52.6%）
9. その他（7.0%）



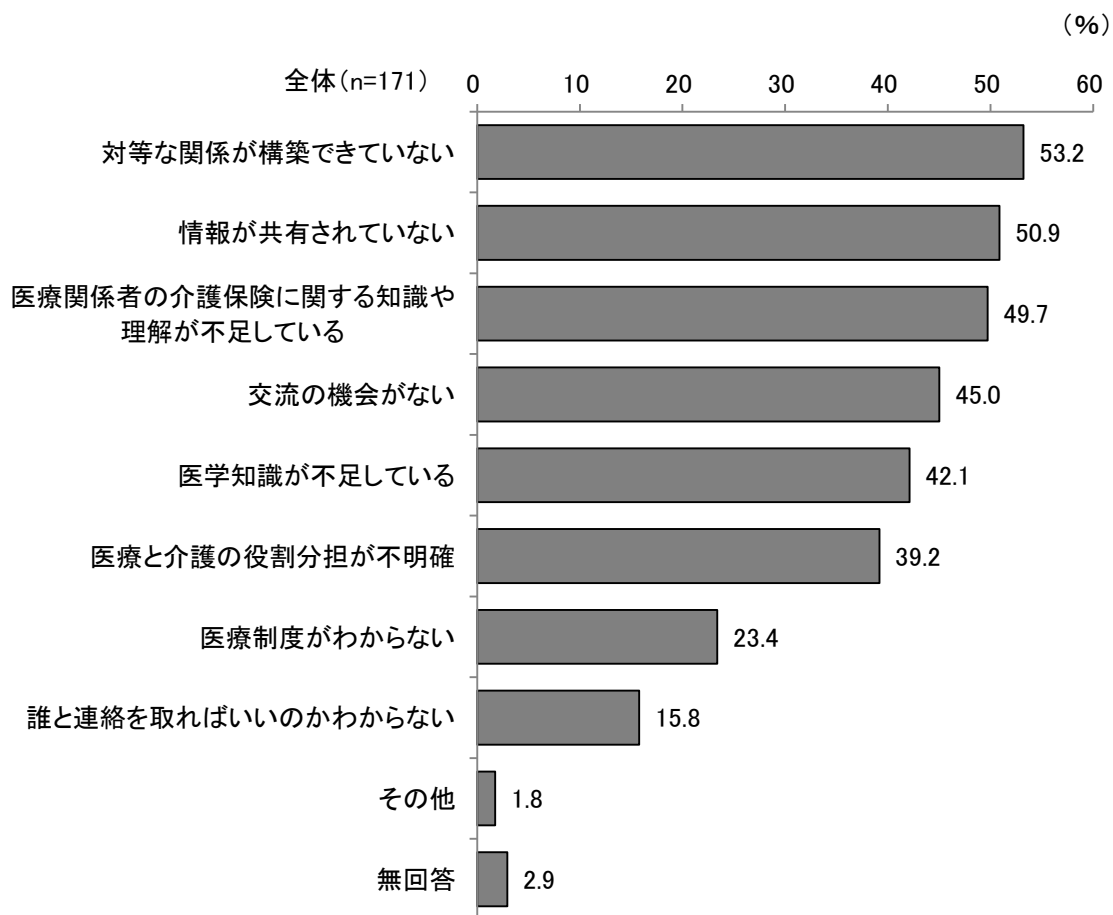
在宅での介護を支えていくうえで、連携が必要だと考えている関係機関・関係者を尋ねたところ、「医療機関」が86.5%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が84.8%、「利用者の家族」が79.5%となっています。「その他」は、「NPO」、「ボランティア」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問14 医療と介護が連携していくうえで、課題だと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 医学知識が不足している (42.1%)
2. 医療制度がわからない (23.4%)
3. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している (49.7%)
4. 誰と連絡を取ればいいのかわからない (15.8%)
5. 情報が共有されていない (50.9%)
6. 交流の機会がない (45.0%)
7. 医療と介護の役割分担が不明確 (39.2%)
8. 対等な関係が構築できていない (53.2%)
9. その他 (1.8%)



医療と介護が連携していくうえで、課題だと思うことを尋ねたところ、「対等な関係が構築できていない」が53.2%で最も多く、次いで「情報が共有されていない」が50.9%、「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」が49.7%となっています。「その他」は、「医療と介護は根本が違う」、「八王子市の求める地域包括ケアシステム像がみえない」などとなっています。

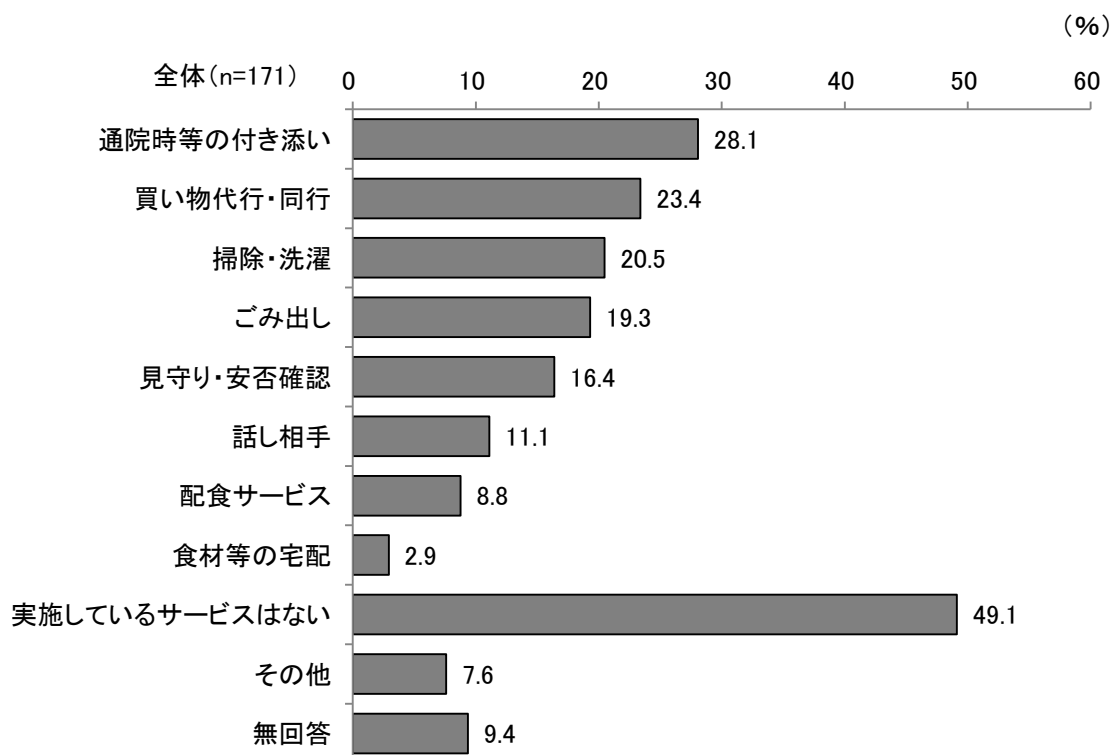
4. 介護サービス事業者調査結果

4. 介護予防・日常生活支援総合事業などについて

問15 現在八王子市内で実施しているサービスはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 配食サービス (8.8%) | 6. 通院時等の付き添い (28.1%) |
| 2. 食材等の宅配 (2.9%) | 7. 見守り・安否確認 (16.4%) |
| 3. 買い物代行・同行 (23.4%) | 8. 話し相手 (11.1%) |
| 4. 掃除・洗濯 (20.5%) | 9. 実施しているサービスはない (49.1%) |
| 5. ごみ出し (19.3%) | 10. その他 (7.6%) |



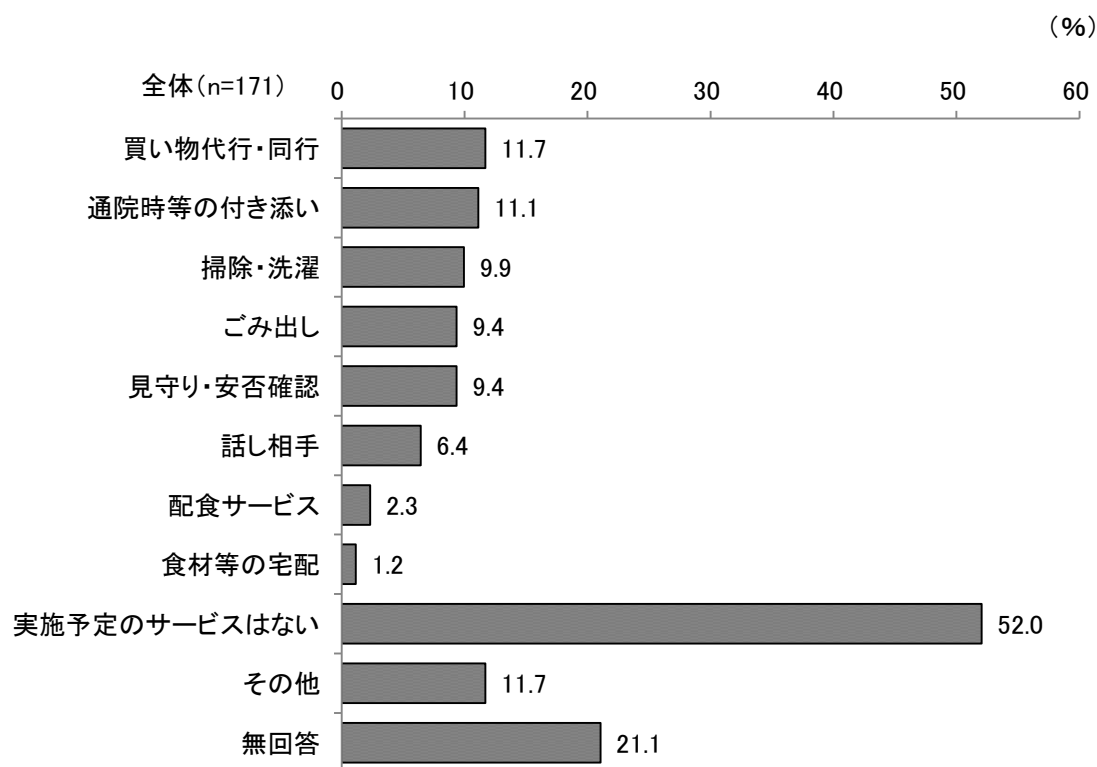
現在八王子市内で実施しているサービスについて尋ねたところ、「実施しているサービスはない」が49.1%で最も多く、次いで「通院時等の付き添い」が28.1%、「買い物代行・同行」が23.4%となっています。「その他」は、「持ち帰り弁当」、「福祉有償輸送」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問16 今後、八王子市内で実施する予定のあるサービスはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 配食サービス (2.3%) | 6. 通院時等の付き添い (11.1%) |
| 2. 食材等の宅配 (1.2%) | 7. 見守り・安否確認 (9.4%) |
| 3. 買い物代行・同行 (11.7%) | 8. 話し相手 (6.4%) |
| 4. 掃除・洗濯 (9.9%) | 9. 実施予定のサービスはない (52.0%) |
| 5. ごみ出し (9.4%) | 10. その他 (11.7%) |

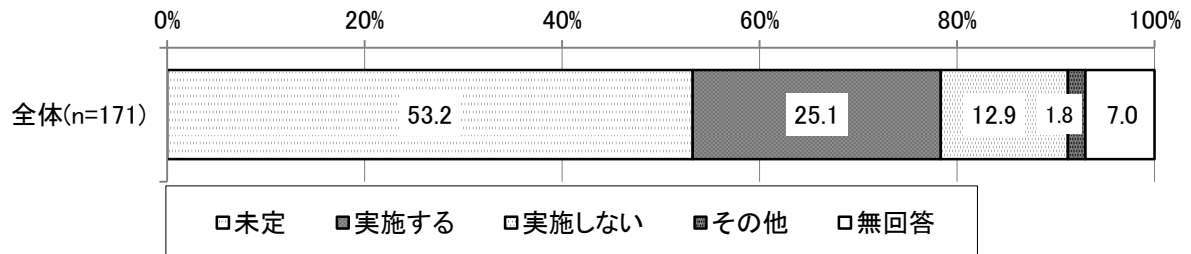


今後八王子市内で実施する予定のあるサービスについて尋ねたところ、「実施予定のサービスはない」が52.0%で最も多く、次いで「買い物代行・同行」が11.7%、「通院時等の付き添い」が11.1%となっています。「その他」は、「未定」、「子育て支援」、「認知症カフェ」などとなっています。

4. 介護サービス事業者調査結果

問17 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」について、今後設定される国の報酬単価と本市が設定する単価が同じだと仮定した場合の実施予定をお答えください。
(〇はひとつ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 実施する (25.1%) | 3. 未定 (53.2%) |
| 2. 実施しない (12.9%) | 4. その他 (1.8%) |



新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」について尋ねたところ、「実施する」が25.1%、「実施しない」が12.9%、「未定」が53.2%となっています。

5. 自由記述

問18 制度改正や本市の取り組み、地域包括ケアシステムの推進などについて、ご意見・ご提案などがありましたら、自由記述回答欄への記入をお願いします。

45事業所が、意見を寄せました。内容を整理すると、以下のような結果となっています。一つの事業所が複数の内容の意見を書いている場合があるので、件数の合計は45以上となっています。そのうち主な意見を掲載します。なお、文意を損なわない範囲で要約や表現の変更を行っています。

記述内容	件数
1. 情報提供等について	12
2. 介護保険制度・行政施策について	13
3. 人材について	4
4. その他	23

主な意見

【1. 情報提供等について】

- ・制度改正にともなう取り組み、地域包括ケアシステムの推進等、市としての早めの情報提供と実施内容の周知をよろしくお願い致します。
- ・地域包括主催のケア会議等があれば良いと思っています（包括とのコミュニケーションづくりにもなるかなと考えます）。
- ・要注意者に対する、地域ケア会議（利用者ごとに）の開催（ケアマネ、事務所、医療機関だけでなく、地域としてどう関わっていくのかを話し合える場。個人情報保護のため制限はあると思いますが、絶えず見守りが必要な方など、民生委員さんやボランティアの参加など検討していきたいと思っています）。

【2. 介護保険制度・行政施策について】

- ・介護予防は設定されている報酬単価が低すぎる（居宅介護支援）。3ヶ月に1回程度の訪問で良いとされているが、それにかかる事務、電話対応時間を考えると、もう少し改善してほしい。
- ・介護予防、日常生活支援事業について、市の取り組みや方向性がまだよく見えない。果たしてボランティアの数が十分確保できるのか、責任の所在がどうなるのか、報酬は？等、早期に具体的にしてほしい。
- ・医療、保健、福祉は専門性が必要であり、来年度より中核市になり、地域ケアを推進するためにはより高度な専門性が求められる（必要不可欠な）はずです。中核市に向けての事前の準備や体制の確保に忙しいと思いますが、安定して継続性のある施策（市民サービス）を提供するためにも局制にすることが必要であると思います。
- ・八王子市独自の若年性認知症の方に対する、取り組みを考えていただきたい。

4. 介護サービス事業者調査結果

- ・介護認定で（要介護←→要支援）介護度が軽くなったり、重くなったりしている方が多くいます。どっちに変更になっても、スムーズなサービス利用と安心な在宅生活をおくれるように支援できる制度になってほしいです。

【3. 人材について】

- ・訪問介護事業所では訪問介護員の人材不足が深刻な問題となっております。今までは登録型の訪問介護員を主としてきましたが、制度改正等により短時間のサービスとなったことで訪問介護員の退職が増えました。今後、常勤訪問介護員を主として運営できるような報酬単価を見直していただきたい。
- ・リハビリに関して専門職が軸になり、介護職も介入ができるように、在宅においては何でも屋のような人がいるといいのでは。

【4. その他】

- ・元気な高齢者および子育て世代による近隣の見守り、安否確認応援隊を組織化したい。認知症カフェ等気軽に立ち寄り集える場の提供を、認知症サポーター講座修了者の力を借り、現在外部に広報していない喫茶コーナーを活用できたらと考えています。定期的なセミナー開催で認知症、生活習慣病等、医療的な知識を身近に学ぶ機会を提供したい。定期的な相談コーナーを包括の出張相談等を開設したい。
- ・買い物をするだけでも町中のスーパーの近くに住んでいる方と、バスも通っていない山間部で暮らす方とでは、生活スタイルが大きく違うので、地域性を考慮した取り組みをしていただきたい。
- ・多数ある介護事業所の連絡体制や、それを取りまとめる機関が明確にあり、事業計画を推進出来る仕組みが必要かと思います。また、各事業所の特色を活用できればと思います。
- ・地域で環境の差が大きい。同じ身体レベルでも川口エリアは近所の病院・店・バス停までも距離があり行けないという例が多いです。タクシー代も往復で1万円近くなることもあり、外出を控える人もいます。社会資源の少ない地域にこそ、公的な支援が必要だと思います。家族の意見調整や治療拒否の人も増えて、そのことに時間が多く取られ本来の業務に支障がでています。自宅で看取りについても病院から説明が少なく不安で決心できない家族も多いです。

高齢者計画・第6期介護保険事業計画策定に係るアンケート
～調査ご協力をお願いします～

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。
この度、八王子市では、第6期の介護保険事業計画を作成する上での基礎資料とすること
を目的に、市内の介護保険事業所の皆様を対象に、事業の状況や今後の事業展開などを
お聞きするアンケート調査を実施することといたしました。本調査は平成 26 年 8 月 22
日現在、八王子市内で介護サービスを提供している事業所から、無作為に約 200 の事業
所を抽出しました。皆様の率直なご意見をお聞かせください。

**お忙しいところ、また提出までの期間が短く大変申し訳ございませんが、今後の制度改
正などに関する質問も含まれておりますので、何卒ご協力くださいますよう、よろしくお
願いたします。**

【送付文書】①依頼文（本紙）、②質問票（4枚）、③回答票（1枚）

《記入にあたってのお願い》

- 質問は全部で 18 問です。回答は、別紙「回答票」にご記入ください。
- この調査票は、貴事業所について、サービスの管理者またはそれに準じる方がすべて
ご記入ください。
- 回答は（ひとつ選ぶ）、（あてはまる番号をすべて選ぶ）などに沿って、該当する項目
の番号にチェックを入れてください。
- 「その他」にあてはまる場合は、別紙「回答票」に、内容を具体的に記入してください。
- 各質問は、平成 26 年 8 月 22 日時点でお答えください。
- ご記入いただきましたら、9 月 3 日（水）までに別紙「回答票」を下記担当まで FAX
にてご提出ください。

★ご不明な点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

《調査に関する問合せ・調査票の提出先》

八王子市 福祉部 高齢者いきいき課（元気応援担当）：増田・中濱・野口
電話 042-620-7243（直通）

FAX 042-624-7720

問 1 八王子市内で提供しているサービス種別を選択してください。

（あてはまる番号をすべて選ぶ）

1. 居宅介護支援	2. 訪問介護	3. 訪問入浴介護	4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション	6. 居宅療養管理指導	7. 通所介護	
8. 通所リハビリテーション	9. 短期入所生活介護	10. 短期入所療養介護	
11. 特定施設入居者生活介護	12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
13. 夜間対応型訪問介護	14. 認知症対応型通所介護	15. 小規模多機能型居宅介護	
16. 認知症対応型共同生活介護	17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
18. 介護老人福祉施設	19. 介護老人保健施設	20. 介護療養型医療施設	
21. 福祉用具貸与	22. 特定福祉用具販売		

問 2 八王子市民に対して不足していると考えるサービスはありますか。

また、今後、八王子市内で新規に事業展開したいサービスはありますか。

（あてはまる番号をすべて選ぶ）

1. 居宅介護支援	2. 訪問介護	3. 訪問入浴介護	4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション	6. 居宅療養管理指導	7. 通所介護	
8. 通所リハビリテーション	9. 短期入所生活介護	10. 短期入所療養介護	
11. 特定施設入居者生活介護	12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
13. 夜間対応型訪問介護	14. 認知症対応型通所介護	15. 小規模多機能型居宅介護	
16. 認知症対応型共同生活介護	17. 地域密着型特定施設入居者生活介護		
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19. 複合型サービス		
20. 介護老人福祉施設	21. 介護老人保健施設	22. 介護療養型医療施設	
23. 福祉用具貸与	24. 特定福祉用具販売		

問 3 運営にあたり課題となっていることはありますか。（あてはまる番号をすべて選ぶ）

1. 職員の確保	2. サービスの質の向上	3. 利用者の確保	4. 施設・設備の改善
5. 必要な情報の入手	6. 職員の資質向上	7. 利用者の制度に対する理解の促進	
8. 利用者の家族の制度に対する理解の促進	9. ケアマネジャーとの連携		
10. 八王子市との連携	11. 医療機関との連携	12. 特になし	13. その他（ ）

【介護人材育成・確保について】

問 4 職員数（事務職等含む）を、勤務年数ごとに、正規・非正規に分けてご記入くださ
い。

正規	1 年未満（ 名）	1 年以上～3 年未満（ 名）	3 年以上（ 名）
非正規	1 年未満（ 名）	1 年以上～3 年未満（ 名）	3 年以上（ 名）

問 5 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。（ひとつ選ぶ）

1. 不足している	2. やや不足している	問 6へ
3. 過不足はない	4. やや余裕がある	5. 余裕がある

問6 問5で、「1」もしくは「2」と答えた事業所にのみお聞きします。職員数が不足している主な理由はなんですか。(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 職員を採用する際、想定していた人数を確保できなかったため
2. 採用者が短期間で退職していくため
3. 運営経費の都合上、人員を雇う資金がないため
4. その他 ()

問7 職員の定着率をどう感じていますか。(ひとつ選ぶ)

1. 定着率が良い	2.どちらかという而定着率が良い	問8へ
3. どちらかという而定着率が悪い	4. 定着率が悪い	問9へ

問8 問7で「1」もしくは「2」と答えた事業所にのみお聞きします。職員の定着率が低い主な理由は何だと思えますか。(3つまで選ぶ)

1. 給与が良いため	2. 福利厚生に力を入れているため
3. 職員の研修に力を入れているため	
4. 職員間のコミュニケーションアップに取り組んでいるため	
5. 職員のワークライフバランス維持に取り組んでいるため	
6. キャリアアップの制度など取り入れているため	
7. 職場に対する相談体制を確保しているため	
8. わからない	9. その他 ()

問9 問7で「3」もしくは「4」と答えた事業所にのみお聞きします。職員の定着率が悪い主な理由は何だと思えますか。(3つまで選ぶ)

1. 給与が低いため	2. 福利厚生が十分でないため
3. 職員の研修体制が十分でないため	
4. 職員間のコミュニケーションが不足しているため	
5. 人員不足によりワークライフバランス維持が難しいため	
6. キャリアアップの制度などが整備されていないため	
7. 職場に対する相談体制が十分でないため	
8. わからない	9. その他 ()

問10 人材確保のために行っている取り組みは何ですか。(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 新卒採用枠の拡大	2. 中途採用枠の拡大	3. 定年退職年齢の引き上げ (歳)
4. 福利厚生の充実	5. 就業時間の見直し	6. 賃面の充実
7. 研修会への参加支援	8. 資格取得の支援	9. 職員の相談体制の充実
10. 外国人労働者の雇用	11. 求人広告掲載	12. 就職相談会への参加・開催
13. 特になし	14. その他 ()	

問11 職員の資質向上のために必要だと思うことは何ですか。(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 介護技術の向上	2. ビジネスマナーの向上	3. コミュニケーション能力の向上
4. 法律知識の習得	5. クレーム対応	6. 医療・介護などの関連知識の習得
7. 虐待防止意識の向上	8. キャリアデザインの形成	9. その他 ()

【在宅医療・介護について】

問12 地域包括ケアシステムの推進に伴い、今後在宅での介護が増加すると思われますが、在宅で介護するうえで課題だと思うことはありますか。(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 訪問診療や住診をしてくれる診療所が不足している
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）が不足している
3. 訪問・通所リハビリテーションなどのリハビリテーション施設が不足している
4. 緊急時の受け入れ病院の確保
5. 在宅介護に関する相談機関が不足している
6. 重度者や終末期のケアに必要な知識や技術が不足している
7. 利用者の理解や協力が得られない
8. 利用者の家族の理解や協力が得られない
9. 関係機関との連携が不足している
10. その他 ()

問13 在宅での介護を支えていくうえで、連携が必要だと考えている関係機関・関係者をお答えください。(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. ケアマネジャー	2. 医療機関	3. 他の介護保険事業所	
4. 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）	5. 利用者の家族		
6. 民生・児童委員	7. 社会福祉協議会	8. 市役所	9. その他 ()

問14 医療と介護が連携していくうえで、課題だと思うことは何ですか。(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 医学知識が不足している	2. 医療制度がわからない
3. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している	
4. 誰と連絡を取ればいいのかからない	5. 情報が共有されていない
6. 交流の機会がない	7. 医療と介護の役割分担が不明確
8. 対等な関係が構築できていない	9. その他 ()

【介護予防・日常生活支援総合事業などについて】
この度予定されている制度改正において、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」が、今後実施されますが、この事業を実施するうえでの見通しなどについて伺います。

問 15 現在八王子市内で実施しているサービスはありますか。
(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 配食サービス	2. 食材等の宅配	3. 買い物代行・同行	4. 掃除・洗濯
5. ごみ出し	6. 通院時等の付き添い	7. 見守り・安否確認	8. 話し相手
9. 実施しているサービスはない	10. その他 ()		

問 16 今後、八王子市内で実施する予定のあるサービスはありますか。
(あてはまる番号をすべて選ぶ)

1. 配食サービス	2. 食材等の宅配	3. 買い物代行・同行	4. 掃除・洗濯
5. ごみ出し	6. 通院時等の付き添い	7. 見守り・安否確認	8. 話し相手
9. 実施予定のサービスはない	10. その他 ()		

問 17 新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」について、今後設定される国の報酬単価と本市が設定する単価が同じだと仮定した場合の実施予定をお答えください。
(ひとつ選ぶ)

1. 実施する	2. 実施しない	3. 未定	4. その他 ()
---------	----------	-------	-----------------------

問 18 制度改正や本市の取り組み、地域包括ケアシステムの推進などについて、ご意見・ご提案などがありましたら、自由記述回答欄への記入をお願いします。

アンケートは以上で終了です。
長時間にわたり、ご記入にご協力ありがとうございました。
9月3日(水)までに別紙「回答票」をFAXにてご提出ください。
【高齢者いきいき課 FAX 042-624-7720】

**八王子市
高齢者計画・第6期介護保険事業計画
策定にあたっての実態調査
報告書**

平成26年10月 発行

八王子市 福祉部 高齢者いきいき課
〒192-8501

東京都八王子市元本郷町3-24-1

T E L 042-620-7243

F A X 042-624-7720